

住みやすさ指標に係るアンケート 調査報告書



令和4年1月
守山市

目 次

序 章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象および調査方法	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査項目	1
(4) 調査期間	1
(5) 回収状況	1
3. 調査結果の記号表示について	2
○主観的な評価による記号表示	2
○総合評価による記号表示	2
(1) 「住みやすさ実感度」の記号表示	2
(2) 総合評価の記号表示	2
(3) 評価項目の記号表示	2
(4) 評価項目のハート数の求め方	3
4. その他	3
第1章 主観によるハート数について（アンケート問1、問2）	4
第2章 住みやすさ実感度について	5
第3章 評価項目の肯定的回答について	7
第4章 回答者の属性	8
(1) 性 別	8
(2) 年 齢	8
(3) 職 業	9
(4) 自由に使える時間	9
(5) 世帯年収	10
(6) 通勤先・通学先	10
(7) 住まいの形態	11
(8) 配偶者の有無	11
(9) 世帯構成	12
(10) 学 区	12

(11) 居住年数	13
(12) 居住の意思	13
(13) 市政への意思の反映	14
(14) 新型コロナウイルス感染症拡大により困っていること等	14
第5章 主観による「住み心地」について	15
1. 全体平均について	15
2. 「住み心地」についての属性別平均ハート数	16
第6章 主観による「幸せ感」について	23
1. 全体平均について	23
2. 「幸せ感」についての属性別平均ハート数	24
第7章 住みやすさ実感度（総合評価）	31
第8章 評価分野ごとのアンケート結果について	32
(1) 健康・医療について	32
(2) 教育・学習・子育てについて	44
(3) 環境について	56
(4) 安全・安心について	68
(5) 福祉について	78
(6) 暮らしと働きについて	88
(7) 文化・スポーツについて	98
(8) つながりについて	110

【資料編】 アンケート調査票

住みやすさ指標にかかるこれまでの経過

守山市市民参加と協働のまちづくり条例および施行規則

序章 調査の概要

1. 調査の目的

「住みやすさ日本一が実感できるまち守山」を目指し、市民のみなさまの幸せに対する実感や日常生活への思い、また新型コロナウイルス感染拡大による生活様式の変化と住みやすさ実感の関係性を見出すため、市民の「住みやすさ」の実感度合いを評価する指標（住みやすさ指標）を、市民アンケートにより把握した上で集計・分析し、今後の施策に反映させることを目的とします。

2. 調査対象および調査方法

(1) 調査対象

住民基本台帳に記載された 18 歳以上の市民を無作為に抽出した 2,000 人

(2) 調査方法

郵送またはインターネット

(3) 調査項目

全 60 項目

（「住み心地」に関する項目：23 項目、「幸せ感」に関する項目：23 項目、性別や年齢など回答者の属性等に関する項目：14 項目）

(4) 調査期間

令和 3 年 8 月 25 日(水)から令和 3 年 9 月 17 日(金)まで

(5) 回答状況

送付数	全体	回 答 数				回答率
		郵送（割合）		インターネット（割合）		
2, 000	917	702	(76. 6%)	215	(23. 4%)	45. 9%

■住みやすさ指標について

- ・この指標は守山市市民参加と協働のまちづくり条例第 2 条第 1 項第 7 号で定義されており、施行規則において「もりやま“大好き”指標」と定義されています。
- ・もりやま“大好き”指標のイメージを表現するため、評価の単位を♡で表現することとします。
- ・平成 28 年 第 1 回目実施
第 1 回目は点数、第 2 回目は♡（読み「ハート」）を単位としています。

3. 調査結果の記号表示について

調査結果は以下の方法で行います。

○主観的な評価による記号表示

回答者の主観的な思いとしての『住み心地』と『幸せ感』をそれぞれ10段階（実感度の数値の単位は♥（読み「ハート」）で表示します。）で評価して表示します。

○総合評価による記号表示

(1) 「住みやすさ実感度」の記号表示

総合評価の『住み心地』と『幸せ感』を10段階（実感度の数値の単位は♥（読み「ハート」）で表示します。）で評価して、その合計ハート数を【住みやすさ実感度】として表示します。

(2) 総合評価の記号表示

8つの評価分野の内、『住み心地』としては「健康・医療」、「教育・学習・子育て」、「環境」、「安全・安心」を、『幸せ感』としては「福祉」、「暮らしと働き」、「文化・スポーツ」、「つながり」で構成し、それぞれ5段階（総合評価の数値の単位は♥（読み「ハート」）で表示します。）で評価します。

4つの評価分野で構成された『住み心地』と『幸せ感』を総合評価として、4つの評価項目の平均ハート数（♥）を総合評価として表示します。この結果を、主観による評価と比較できるように10段階に換算して表示します。

また、住みやすさ実感度は、総合評価の平均値とします。

住みやすさ実感度	総合評価 (1 評価最高 10♥)	評価分野 (1 分野最高 5♥)			
総合評価の平均値	『住み心地』 平均評価×2	健康・医療	教育・学習 ・子育て	環 境	安全・安心
	『幸 せ 感』 平均評価×2	福 祉	暮らしと働き	文化・スポーツ	つ な が り

(3) 評価項目の記号表示

8つの評価分野には、それぞれ5つ～7つの評価項目を設けており、全46項目となります。それぞれの指標項目はアンケートの調査項目と対応しており、アンケートの回答からハート数を算出し、その平均を評価項目の5段階（評価項目の数値の単位は♥（読み「ハート」）で表示）で評価します。

評価項目のハート数の求め方は次頁に記載します。

(4) 評価項目のハート数の求め方

全 46 項目ある評価項目に対応したアンケート調査項目に対する回答から、以下の方法により実感度を算出し、その平均値をハート数（♥）として表示します。

実感度		選択肢（一例）	選択肢（一例）
ハート数	数値		
♥♥♥♥♥	5	そう思う	感じる
♥♥♥♥	4	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば感じる
♥♥♥	3	どちらともいえない	どちらともいえない
♥♥	2	どちらかといえばそう思わない	どちらかといえば感じない
♥	1	そう思わない	感じない
なし	0	わからない	わからない

実感度（平均値）のハート数

{「そう思う」の回答数×（5♥）+「どちらかといえばそう思う」の回答数×（4♥）+「どちらともいえない」の回答数×（3♥）+「どちらかといえばそう思わない」の回答数×（2♥）+「そう思わない」の回答数×（1♥）} ÷ {回答数－（「わからない」+「不明・無回答」）}

※ハート数の平均値は、少数点第2位を切り上げて求めます。

（一例）平均値：3.33→3.4（♥♥♥♥）とします。

合計	総合評価	評価分野		評価項目（0.1♥単位）		
【住みやすさ実感度】 総合評価の平均値	『住み心地』 平均評価×2	(1) 健康・医療	評価項目ごと平均評価	①健康の実感、②病気への予防、③介護予防、④運動の実施、⑤医療の充実、⑥心の安らぎ	23項目	評価項目ごと5段階評価
		(2) 教育・学習・子育て		①子育てへの安心感、②子育て・教育環境の整備、③子育てへの理解・協力、④学習環境の整備、⑤教育内容の充実、⑥青少年の社会参加の推進（奉仕活動）		
		(3) 環境		①自然環境保全、②緑化推進、③水辺環境の保全、④良好な都市景観の形成、⑤廃棄物対策・地球温暖化対策、⑥ホテル愛護		
		(4) 安全・安心		①治安・防犯、②防災機能の整備、③防災意識、④交通安全（ハード）、⑤交通安全（ソフト）		
	『幸せ感』 平均評価×2	(5) 福祉	評価項目ごと平均評価	①高齢者福祉の充実、②障害者福祉の充実、③多文化共生の推進、④支え合う地域福祉の推進、⑤まちのバリアフリー	23項目	評価項目ごと5段階評価
		(6) 暮らしと働き		①ワークライフ・バランス、②雇用環境の充実・安定した就労機会、③移動環境の快適さ、④買い物の利便性、⑤ライフデザイン（現在の生活に対する満足感）		
		(7) 文化・スポーツ		①地域行事の保存・参加、②スポーツ活動の充実、③芸術活動の充実、④社会教育資本の整備・充実（文化）、⑤社会教育資本の整備・充実（生涯学習）、⑥社会教育資本の整備・充実（スポーツ）		
		(8) つながり		①地域と学校との協力、②子どものコミュニケーション力の育成、③人権意識の推進、④男女共同参画社会意識の推進、⑤コミュニティ活動の充実、⑥市民公益活動・協働の推進、⑦地域コミュニケーション		

4. その他

- ・グラフ中の構成比（％）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は 100.0％にならない場合があります。
- ・グラフ中の構成比（％）は、「不明・無回答」を除いて表しています。
- ・本文中の「ポイント」とは、「％」の差を表しています。
- ・前回調査との比較についても「ポイント」を使用しています。

第1章 主観によるハート数について

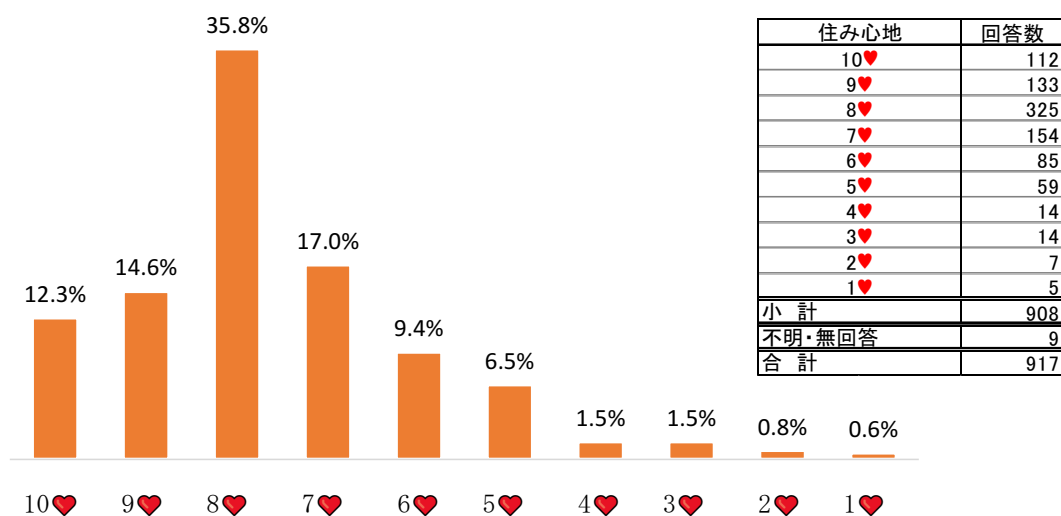
アンケートでは問1、問2で回答者の主観的な思いとしての『住み心地』と『幸せ感』を10ハート数で評価しています。それを10ハートに換算すると

『住み心地』は、7.6♥

『幸せ感』は、7.3♥ となりました。

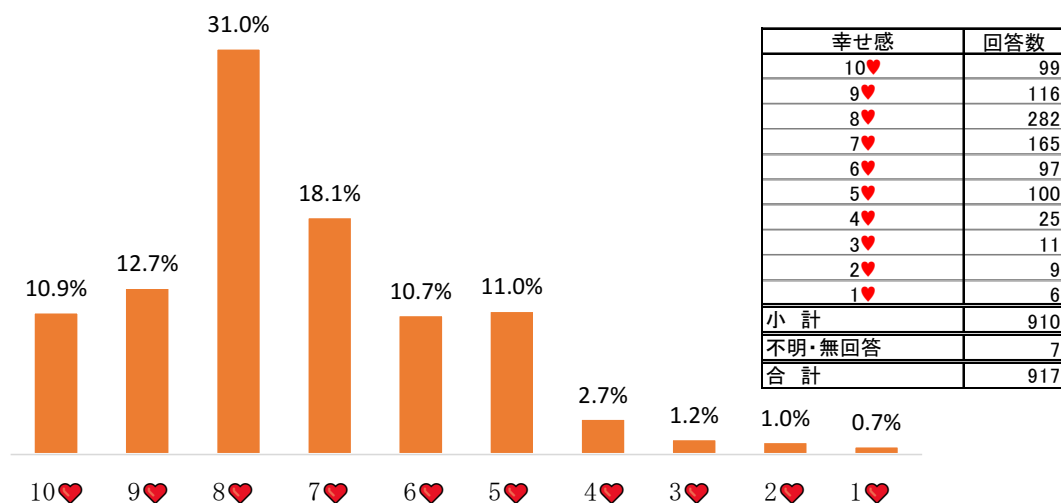
問1 守山市は住みやすいまちだと思いますか。「とても住みやすい」を10、「とても住みにくい」を1とすると、何くらいになると思いますか。

住み心地



問2 あなたは現在幸せですか。「とても幸せ」を10、「とても不幸せ」を1とすると、何くらいになると思いますか。

幸せ感



属性別の平均ハート数など、詳しい結果は第5章（P. 15～）以降に記載しています。

第2章 住みやすさ実感度について

評価分野ごとの結果による住みやすさ実感度は、

7.0♥ となりました。

評価分野の表示

本調査は「健康・医療」、「教育・学習」、「環境」、「安全・安心」、「福祉」、「暮らしと働き」、「文化・スポーツ」、「つながり」の8つの評価分野で構成しており、各評価分野に5つ～7つの評価項目を設けています。それぞれの評価項目はアンケートの調査項目と対応しており、それぞれの評価項目の回答から平均評価（最高5♥）を算出します。

総合評価の表示

8つ評価分野の内「健康・医療」、「教育・学習・子育て」、「環境」、「安全・安心」は『住み心地』を、評価分野の内「福祉」、「暮らしと働き」、「文化・スポーツ」、「つながり」は『幸せ感』を構成するものとします。

4つの評価分野で構成された『住み心地』と『幸せ感』を総合評価と称し、4つの評価分野の平均値（最高5♥）を主観による評価と比較できるように10段階（最高10♥）に換算して表示します。

住みやすさ実感度の表示

総合評価の『住み心地』と『幸せ感』の平均値を【住みやすさ実感度】として表示します。

結果の内訳は、次頁のとおりです。

実 感 度	住 み や す さ			
	もりやま “大好き” 指標 7.0♥（6.8）			
総合評価の平均値 （住み心地 7.2♥ + 幸せ感 6.8♥）÷ 2				
総 合 評 価	住み心地 7.2♥（7.2）		幸せ感 6.8♥（6.3）	
	10♥段階に換算 3.6♥×2=7.2♥		10♥段階に換算 3.4♥×2=6.8♥	
1 評価 最高 10♥	健康・医療 3.6♥ 教育・学習・子育て 3.5♥ 環 境 3.7♥ 安心・安全 3.4♥ 平 均 値 3.6♥		福 祉 3.2♥ 暮らしと働き 3.4♥ 文化・スポーツ 3.3♥ つ な が り 3.5♥ 平 均 値 3.4♥	
評 価 分 野				
	健康・医療 3.6 (3.6)		福祉 3.2 (3.2)	
評 価 分 野	教育・学習・子育て 3.5 (3.4)		暮らしと働き 3.4 (3.6)	
	環境 3.7 (3.8)		文化・スポーツ 3.3 (2.4)	
1 分野 最高 5♥	安心・安全 3.4 (3.6)		つながり 3.5 (3.4)	

※（ ）は前回（平成 28 年度）の結果

第3章 評価項目の肯定的回答について

評価項目の肯定的回答【「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」、「感じる」または「どちらかといえば感じる」等の割合】は、以下のとおりです。

肯定的回答が50%を超えている項目は、全46項目中18項目です。

順位	評価項目	割合
1	ホタル愛護	73.1%
2	治安・防犯	72.1%
3	病気への予防	71.6%
4	水辺環境の保全	70.1%
5	地域コミュニケーション	69.1%
6	子育てへの安心感	64.7%
7	緑化推進	64.3%
8	買い物の利便性	63.3%
9	健康の実感	63.0%
10	医療の充実	61.5%
11	子育て・教育環境の整備	60.8%
12	社会教育資本の整備・充実 (生涯学習)	59.4%
13	コミュニティ活動の充実	57.0%
14	心の安らぎ 社会教育資本の整備・充実 (スポーツ)	53.6%
16	良好な都市景観の形成	52.6%
17	社会教育資本の整備・充実 (文化)	50.5%
18	生活に対する満足度	50.2%
19	人権意識の推進	49.4%
20	交通安全（ハード）	48.8%
21	防災機能の整備	48.1%
22	自然環境保全	47.7%
23	子育てへの理解・協力	47.1%

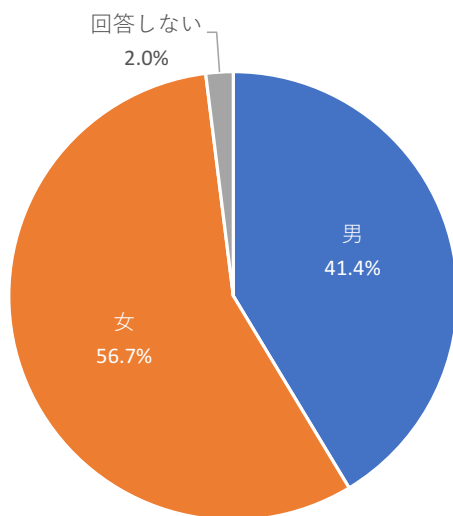
順位	評価項目	割合
24	学習環境の整備	47.0%
25	地域と学校との協力	46.8%
26	ワークライフ・バランス	45.8%
27	廃棄物対策・地球温暖化対策	44.7%
28	市民公益活動・協働の推進	44.5%
29	高齢者福祉の充実	44.0%
30	地域行事の保存・参加	43.8%
31	運動の実施	42.6%
	教育内容の充実	
33	移動環境の快適さ	42.5%
34	男女共同参画社会意識の推進	42.1%
35	介護予防	40.0%
36	支え合う地域福祉の推進	39.4%
37	雇用環境の 充実・安定した就労機会	38.7%
38	交通安全（ソフト）	37.9%
39	多文化共生の推進	35.3%
40	青少年の社会参加の推進 (奉仕活動)	35.0%
41	子どものコミュニケーション 力の育成	34.9%
42	障害者福祉の充実	32.3%
43	防災意識	29.1%
44	スポーツ活動の充実	26.1%
45	芸術活動の充実	22.6%
46	まちのバリアフリー	21.5%

第4章 回答者の属性

本アンケートは、無作為に抽出した 18 歳以上の市民 2,000 人を対象に調査を行い、917 人から有効回答をいただきました。なお、対象となる性別および年齢は、守山市の人口比率に合わせてアンケートを郵送しています。

性別や年齢など回答者の属性については、以下のとおりです。

(1) あなたの性別は、次のうちどれですか。

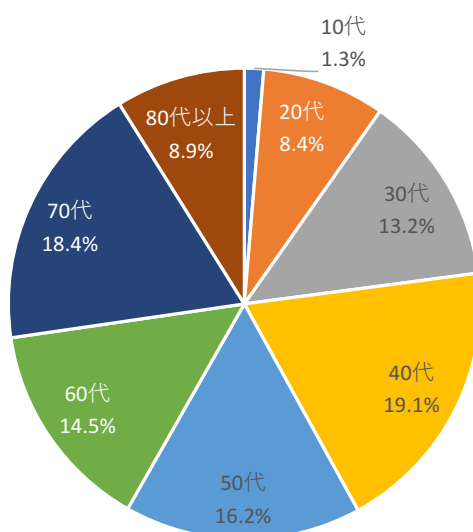


性別	送付数	回答数	回答率
男	970	378	39.0%
女	1030	518	50.3%
回答しない	-	18	-
小計	2000	914	-
不明・無回答	-	3	-
合計	2000	917	-

「女性」が 57%、「男性」が 41%、「回答しない」が 2%となっており、女性の回答が高くなっています。

また、送付数に対する回答率についても、「女性」が 50%と高くなっています。

(2) あなたの年齢は、次のうちどれですか。

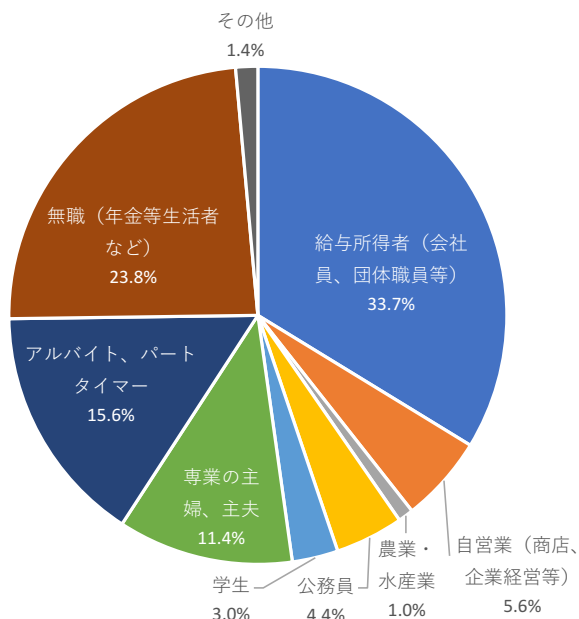


年齢	送付数	回答数	回答率
10代(18歳以上)	38	12	31.6%
20代	251	77	30.7%
30代	306	120	39.2%
40代	412	174	42.2%
50代	318	148	46.5%
60代	246	132	53.7%
70代	266	168	63.2%
80代以上	163	81	49.7%
小計	2000	912	-
不明・無回答	0	5	-
合計	2000	917	-

「40代」が 19%と最も高くなっていますが、「50～70代」も 14～18%と比較的高くなっています。一方、「10～20代」は 10%未満と低くなっています。

また、送付数に対する回答率は、「60～70代」が 5 割以上と高くなっています。

(3) あなたの職業は、次のうちどれですか。

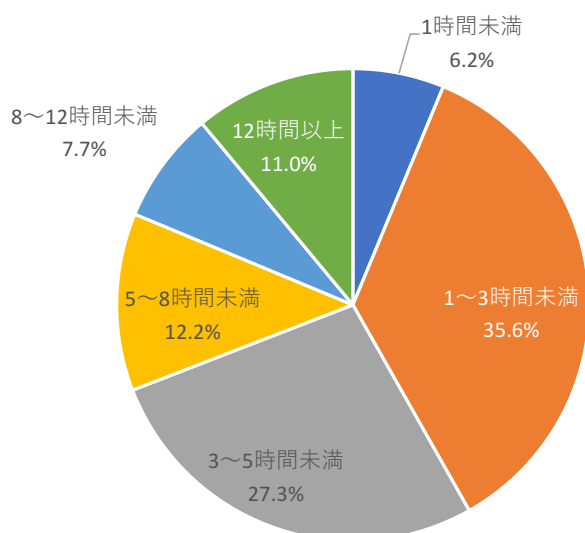


職業	回答数
給与所得者(会社員、団体職員等)	305
自営業(商店、企業経営等)	51
農業・水産業	9
公務員	40
学生	27
専業主婦、主夫	103
アルバイト、パートタイマー	141
無職(年金等生活者など)	215
その他	13
小計	904
不明・無回答	13
合計	917

「給与所得者」が33%と最も高く、次いで「無職」が23%、「アルバイト、パートタイマー」が15%となっています。

また、「無職」・「専業主婦、主夫」・「学生」をあわせた“非就業者”は、全体の約38%を占めています。

(4) あなたが一日あたり自由に使える時間はどのくらいですか。

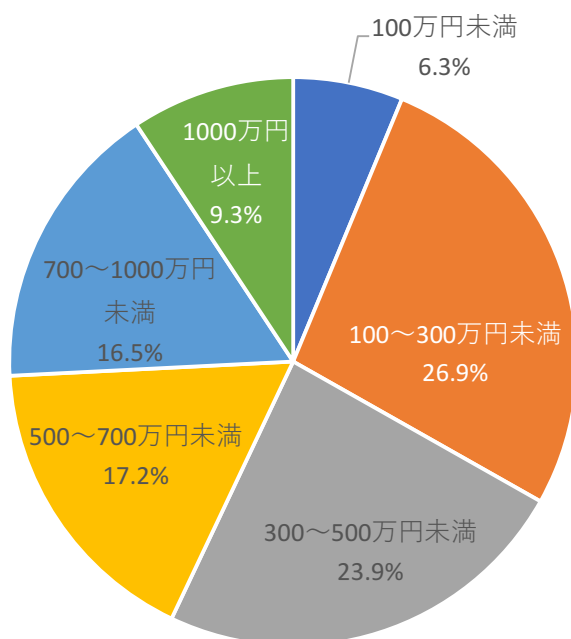


自由時間	回答数
1時間未満	56
1～3時間未満	319
3～5時間未満	245
5～8時間未満	109
8～12時間未満	69
12時間以上	99
小計	897
不明・無回答	20
合計	917

「1～3時間未満」が35%と最も高く、次いで「3～5時間未満」が27%となっています。

自由時間が5時間未満の割合は、約7割を占めています。

(5) あなたの世帯年収（年金を含む。）は、おおよそどのくらいですか。

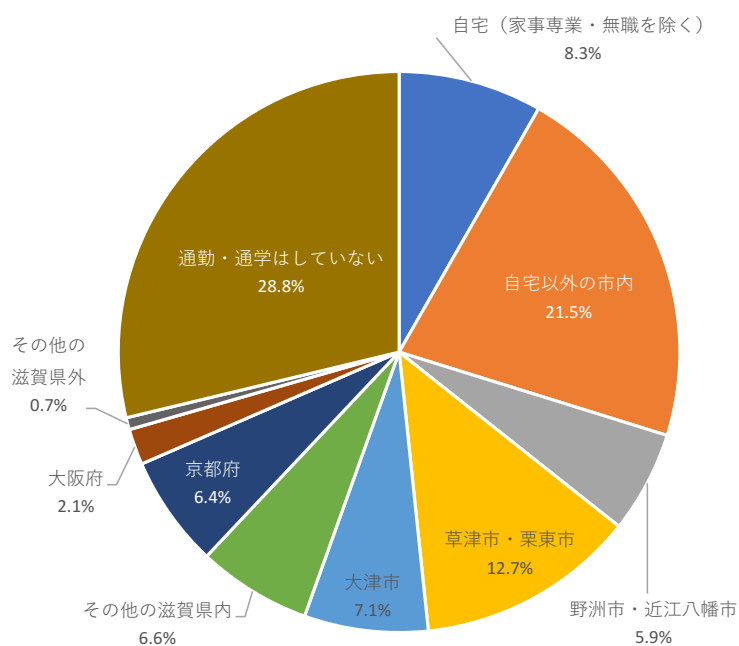


世帯年収	回答数
100万円未満	55
100～300万円未満	237
300～500万円未満	210
500～700万円未満	151
700～1000万円未満	145
1000万円以上	82
小計	880
不明・無回答	37
合計	917

「100～300 万円未満」が 26%と最も高くなっています。

年収が 300 万円未満の割合は、約 3 割となっています。

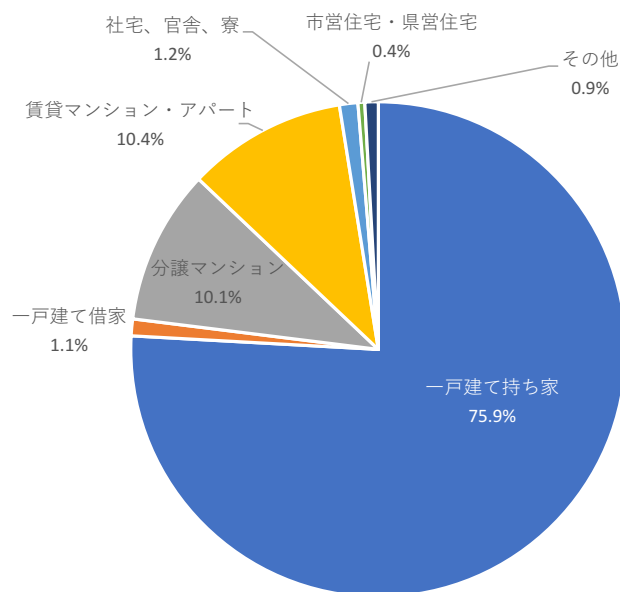
(6) あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。



通勤先・通学先	回答数
自宅（家事専業・無職を除く）	72
自宅以外の市内	187
野洲市・近江八幡市	51
草津市・栗東市	110
大津市	62
その他の滋賀県内	57
京都府	56
大阪府	18
その他の滋賀県外	6
通勤・通学はしていない	250
小計	869
不明・無回答	48
合計	917

通勤・通学している方は 62%を占めており、この内「市内」は 21%で最も高く、次いで「草津市・栗東市」の 12%となっています。また、県外へ通勤・通学している方は約 1 割となっています。

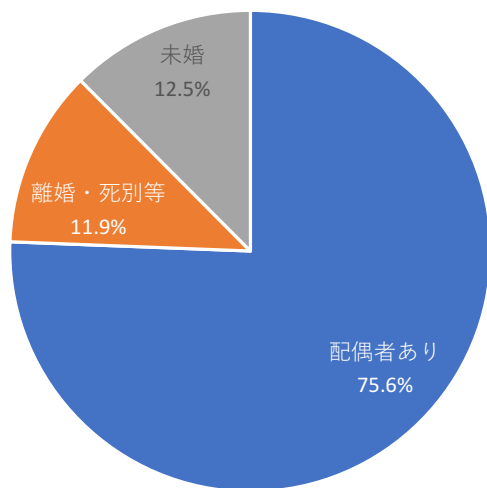
(7) あなたのお住まいは、次のうちどれですか。



住まい形態	回答数
一戸建て持ち家	692
一戸建て借家	10
分譲マンション	92
賃貸マンション・アパート	95
社宅、官舎、寮	11
市営住宅・県営住宅	4
その他	8
小計	912
不明・無回答	5
合計	917

「一戸建て持ち家」が75%と最も高く、次いで「賃貸マンション・アパート」と「分譲マンション」が10%となっています。

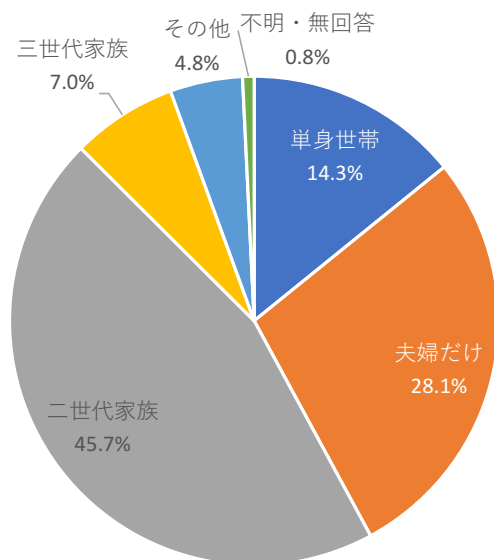
(8) あなたには配偶者がいますか。



配偶者	回答数
配偶者あり	685
離婚・死別等	108
未婚	113
小計	906
不明・無回答	11
合計	917

「配偶者あり」が75%となっています。結婚経験者は約9割となっています。

(9) あなたの世帯構成は、次のうちどれですか。

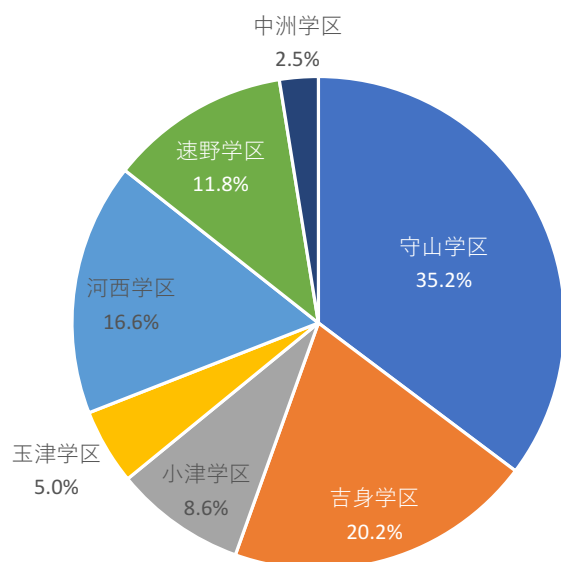


世帯構成	回答数
単身世帯	130
夫婦だけ	256
二世世代家族	416
三世代家族	64
その他	44
小計	910
不明・無回答	7
合計	917

「二世世代家族」が45%と最も高く、次いで「夫婦だけ」が28%、「単身世帯」が14%となっています。

家族と同居している割合は8割となっています。

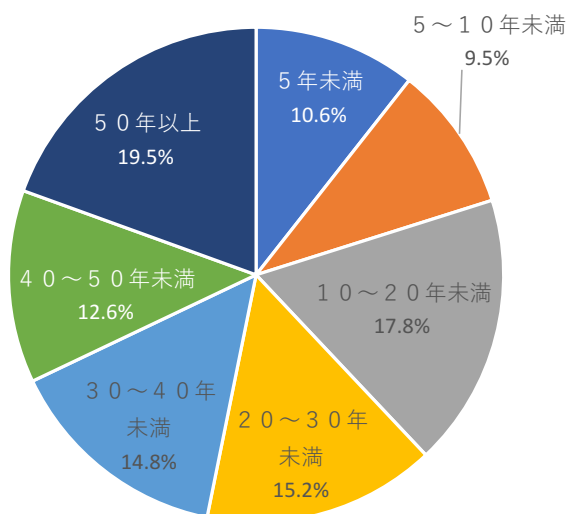
(10) あなたがお住まいの学区はどこですか。



居住学区	回答数
守山学区	319
吉身学区	183
小津学区	78
玉津学区	45
河西学区	150
速野学区	107
中洲学区	23
小計	905
不明・無回答	12
合計	917

「守山学区」が35%と最も高く、次いで「吉身学区」が20%、「河西学区」が16%となっています。

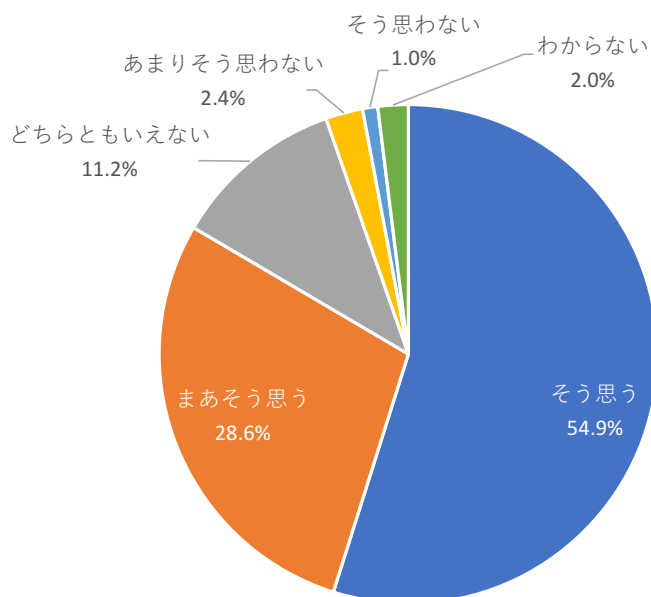
(11) あなたは、守山市に居住して何年になりますか。



居住年数	回答数
5年未満	97
5～10年未満	87
10～20年未満	163
20～30年未満	139
30～40年未満	135
40～50年未満	115
50年以上	178
小計	914
不明・無回答	3
合計	917

「50年以上」が19%と最も高くなっていますが、いずれの居住年数も同程度の割合となっています。

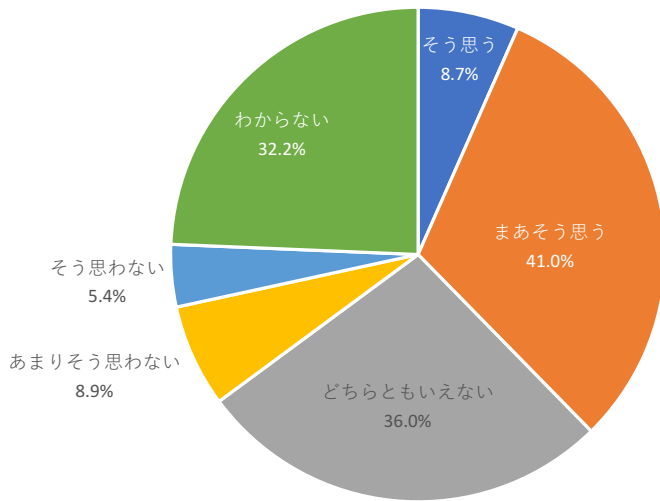
(12) 今後も守山に住み続けたいですか。



居住の意思	回答数
そう思う	501
まあそう思う	261
どちらともいえない	102
あまりそう思わない	22
そう思わない	9
わからない	18
小計	913
不明・無回答	4
合計	917

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』は83%を占めています。一方、『そう思わない』は3%となっています。

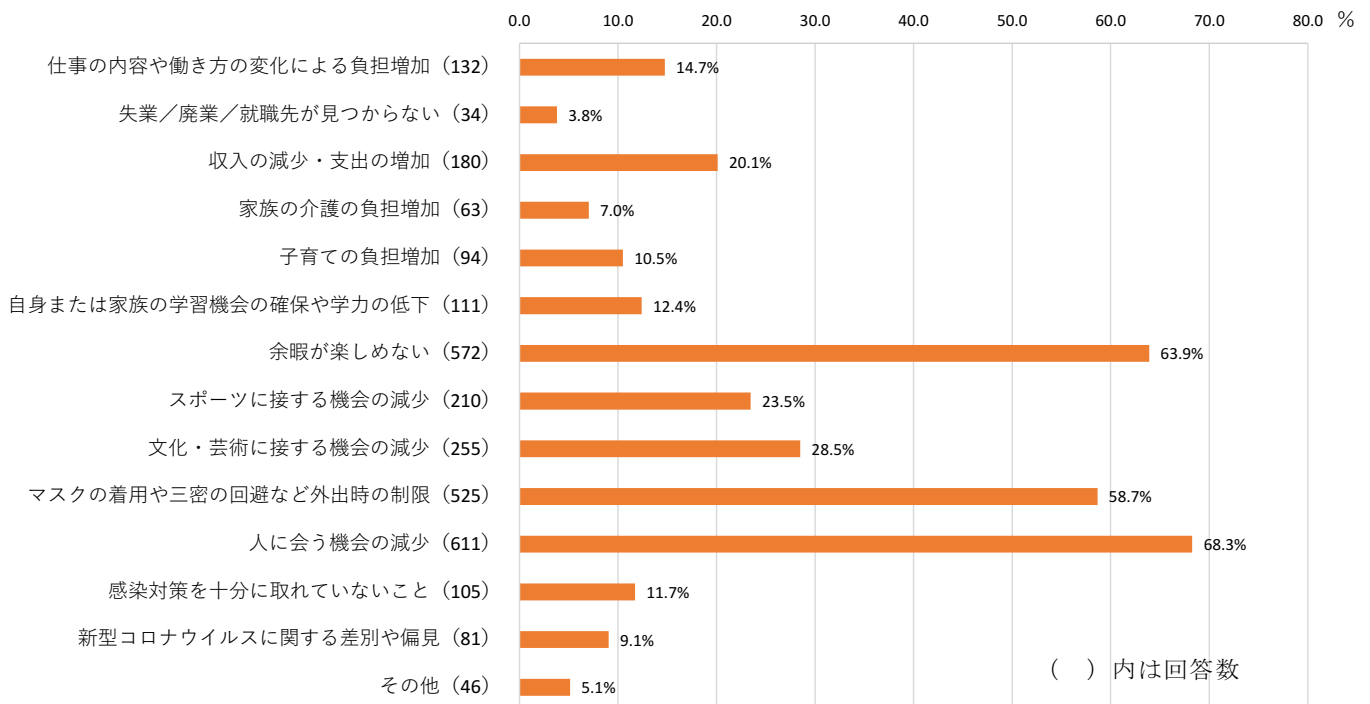
(13) 守山市政は、住民の意思が活かされていると思いますか。



市政への意思の反映	回答数
そう思う	60
まあそう思う	282
どちらともいえない	247
あまりそう思わない	61
そう思わない	37
わからない	221
小計	908
不明・無回答	9
合計	917

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』は49%となっています。また、「わからない」が32%と3番目に多い割合になっています。

(14) 新型コロナウイルス感染症拡大により、生活の中で困っていること・不安に感じていることを選択してください。(複数選択可)

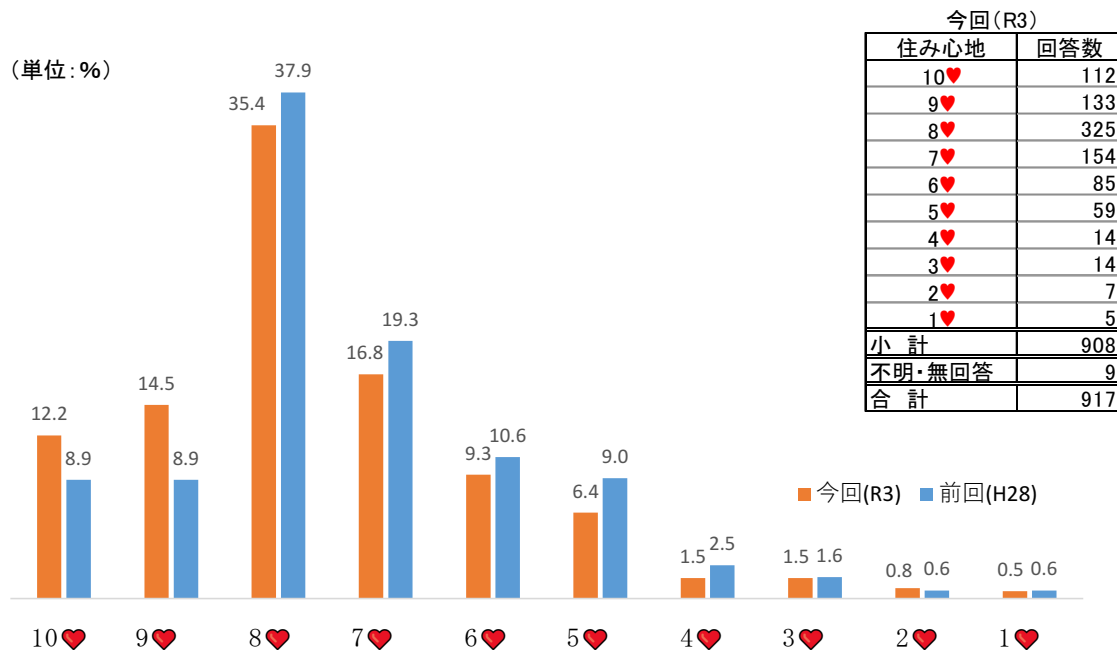


「人に出会う機会の減少」が68%と最も高く、次いで「余暇が楽しめない」が63%、「マスクの着用や三密の回避など外出時の制限」が58%となっています。

第5章 主観による「住み心地」について

住み心地

問1 守山市は住みやすいまちだと思いますか。「とても住みやすい」を10、「とても住みにくい」を1とすると、何くらいになると思いますか。



1. 全体平均について

すべての回答の平均は **7.6♥** です。前回調査 (H28) は 7.3 点だったので、同じハート数に換算し直すと、0.3 ポイント高くなっています。

ハート数で見ると、「8♥」が 35.4% と最も高く、次いで「7♥」が 16.8%、「9♥」が 14.5% となっています。

総合評価による『住み心地』は **7.2♥** です。

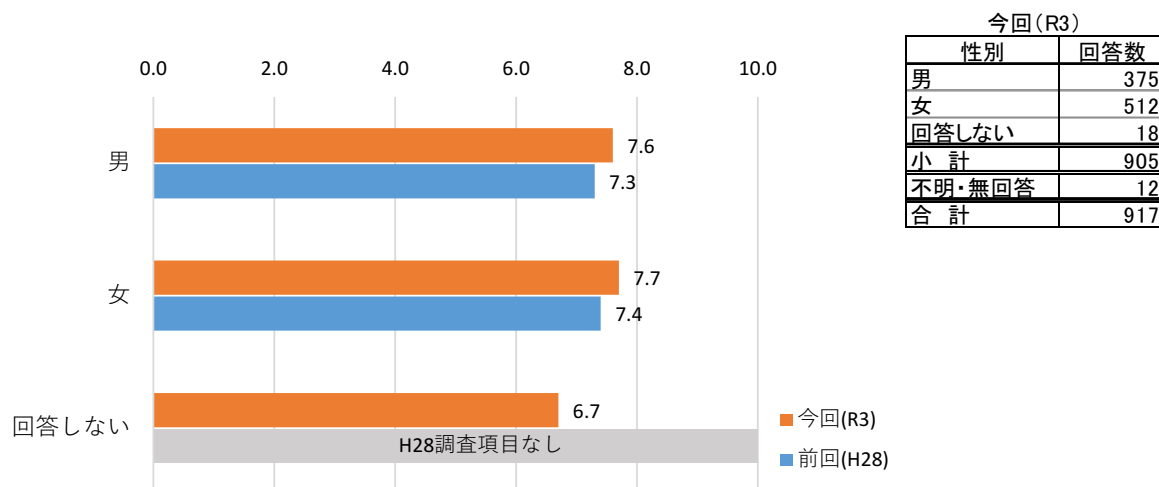
※総合評価の算出方法：「健康・医療」、「教育・学習・子育て」、「環境」、「安全・安心」の各評価分野の平均値（最高 5♥）を、主観による評価と比較できるように 10 段階（最高 10♥）に換算します。

主観による『住み心地』は、総合評価による『住み心地』より 0.4 ポイント高くなっています。

2. 「住み心地」についての属性別平均ハート数

主観による「住み心地」のハート数について、属性ごとに平均を算出します。

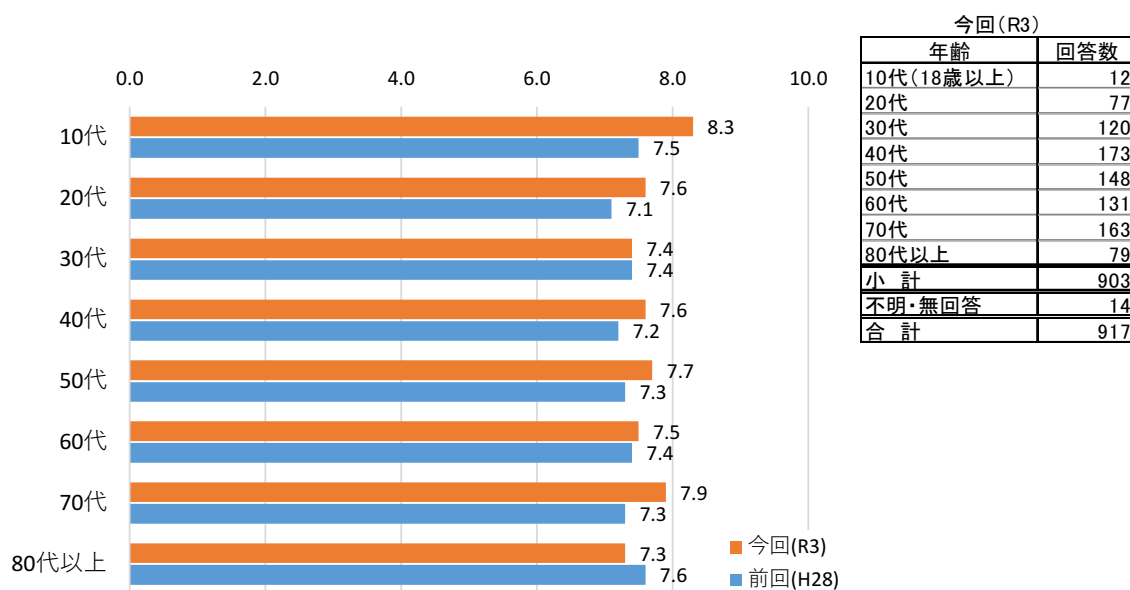
性別



男女でのハート数の差はほとんどありません。

前回調査と比較すると、男女とも 0.3 ポイント高くなっています。

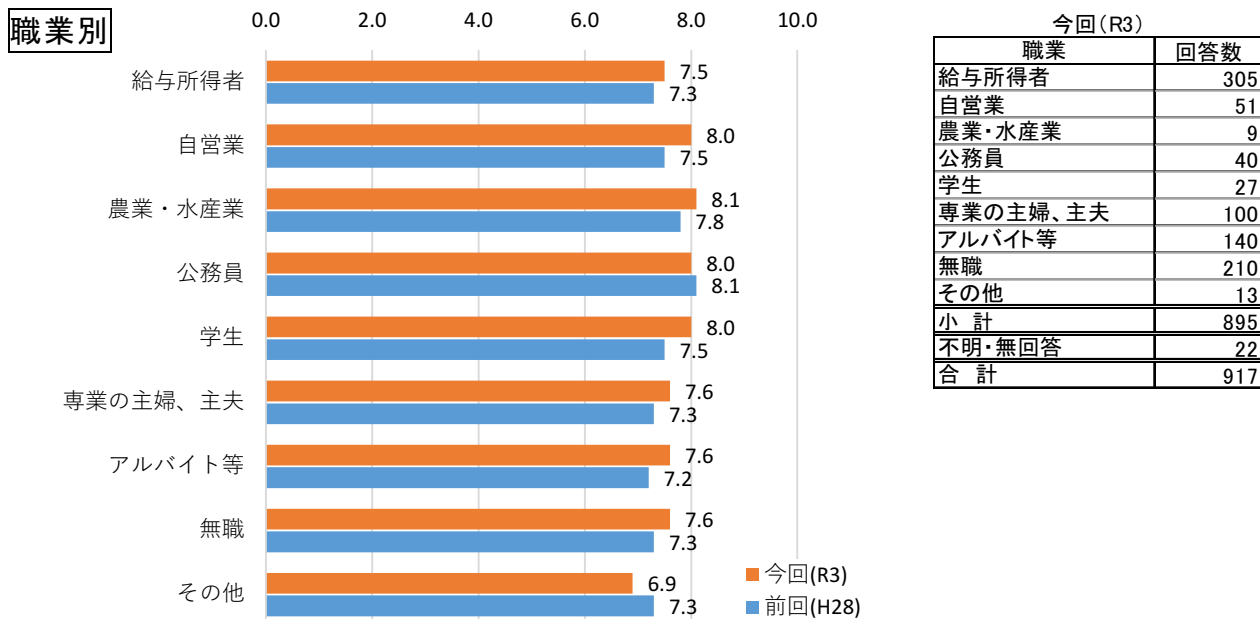
年齢別



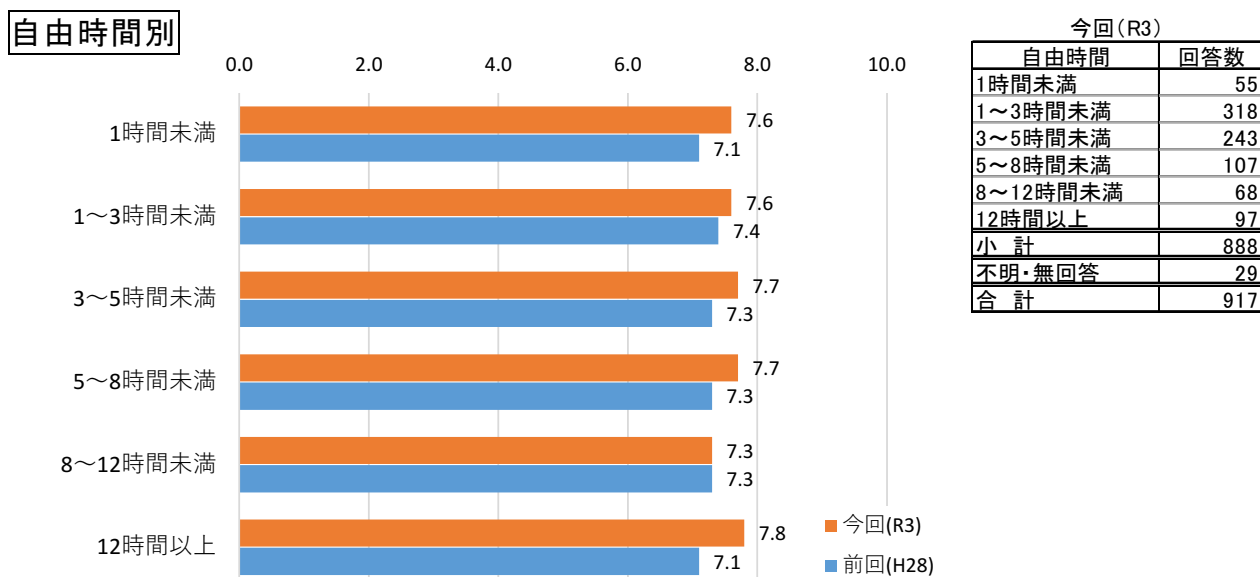
「80代以上」が 7.3♥と最も低く、「10代」が 8.3♥と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「10代」が最も増加しています。

※ただし、「10代」の回答者は 18 歳と 19 歳だけであり 12 人と少ないので、平均ハート数の解釈には注意が必要。



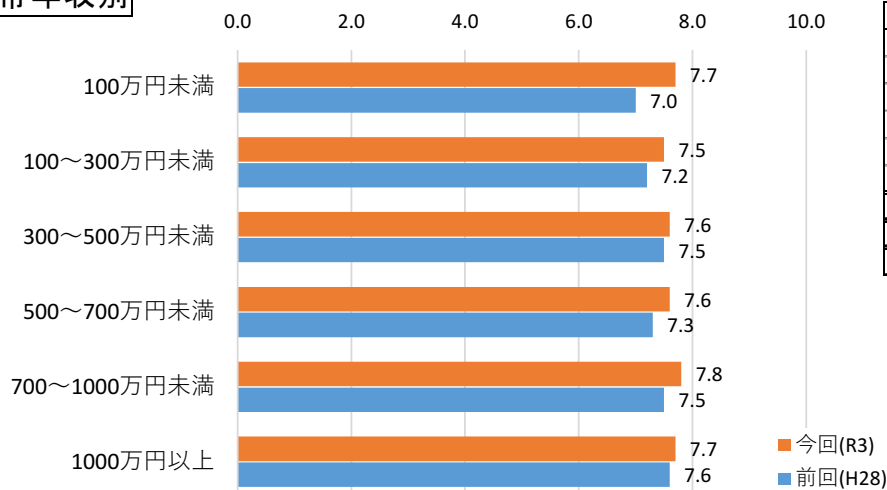
「農業・水産業」、「自営業」、「公務員」、「学生」のハート数が8.1～8.0❤️と高くなっています。前回調査との比較でもほぼ同様な傾向が見られます。



「8～12 時間未満」が7.3❤️と最も低くなっています。その他のハート数は大きな差はありません。

前回調査と比較すると、「12 時間以上」が最も増加しています。

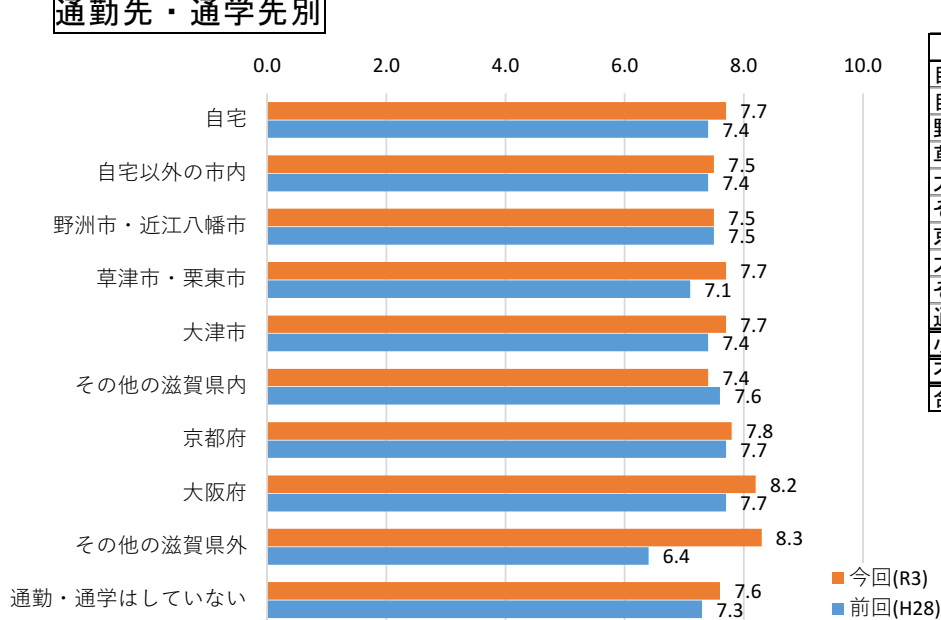
世帯年収別



今回(R3)	
世帯年収	回答数
100万円未満	55
100～300万円未満	233
300～500万円未満	206
500～700万円未満	151
700～1000万円未満	145
1000万円以上	82
小計	872
不明・無回答	45
合計	917

前回調査では世帯年収が上がるに従ってハート数が高くなる傾向が見られましたが、今回は世帯年収に関わらずほぼ同様なハート数になっています。

通勤先・通学先別

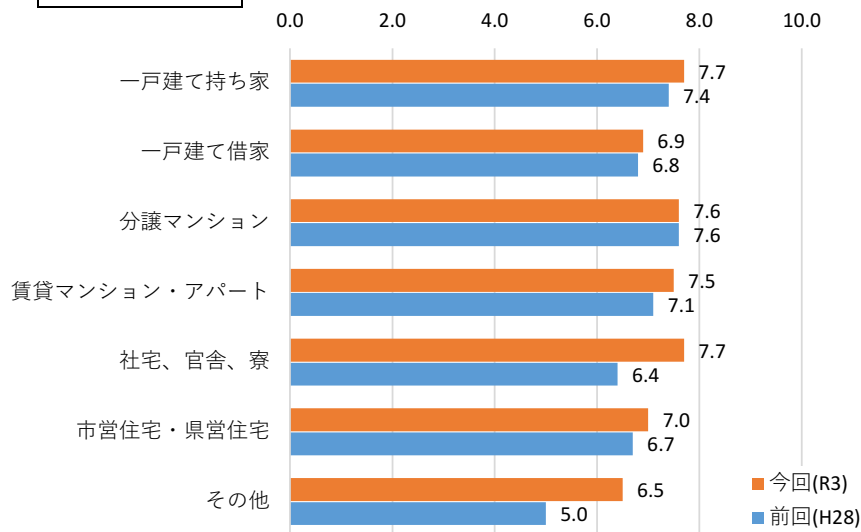


今回(R3)	
通勤先・通学先	回答数
自宅	70
自宅以外の市内	186
野洲市・近江八幡市	51
草津市・栗東市	110
大津市	62
その他の滋賀県内	57
京都府	56
大阪府	18
その他の滋賀県外	6
通勤・通学はしていない	246
小計	862
不明・無回答	55
合計	917

「その他の滋賀県外」、「大阪府」への通勤・通学者が8.2～8.3♥と高くなっています。それ以外はほぼ同様なハート数になっています。

※上記の回答者数は6人、18人と少ないので、平均ハート数の解釈には注意が必要。

住まい形態別

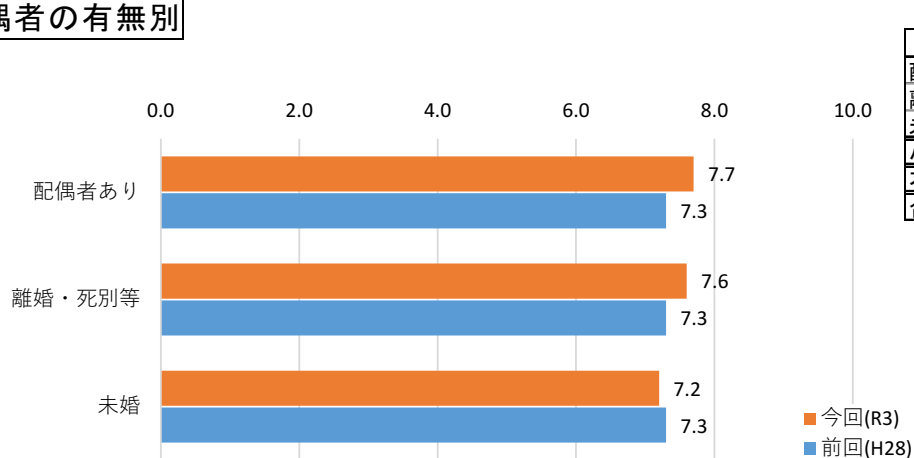


今回(R3)	
住まい形態	回答数
一戸建て持ち家	686
一戸建て借家	10
分譲マンション	91
賃貸マンション・アパート	93
社宅・官舎・寮	11
市営住宅・県営住宅	4
その他	8
小計	903
不明・無回答	14
合計	917

「一戸建て持ち家」、「社宅・官舎・寮」の住まい形態が7.7♥と最も高くなっています。前回調査と比較すると、「社宅・官舎・寮」が最も増加しています。

※「社宅・官舎・寮」の回答者数は11人と少ないので、平均ハート数の解釈には注意が必要です。

配偶者の有無別

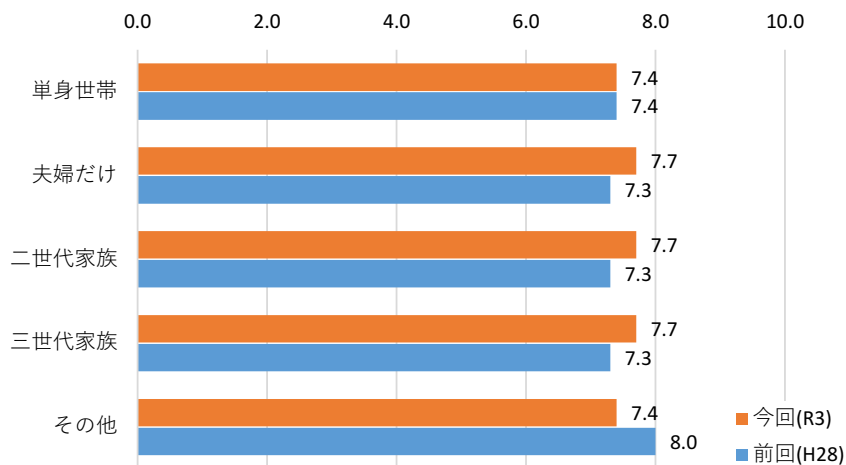


今回(R3)	
配偶者	回答数
配偶者あり	680
離婚・死別等	105
未婚	113
小計	898
不明・無回答	19
合計	917

「未婚」が7.2♥と低くなっています。

前回調査と比較すると、「配偶者あり」、「離婚・死別等」のハート数が高くなっています。

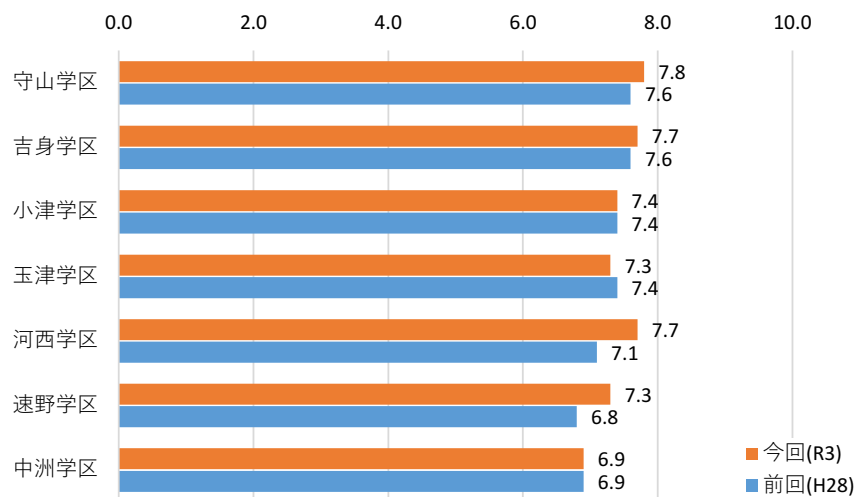
世帯構成別



今回(R3)	
世帯構成	回答数
単身世帯	128
夫婦だけ	252
二世代家族	413
三世代家族	64
その他	44
小 計	901
不明・無回答	16
合 計	917

前回調査は世帯構成によってハート数に大きな差はありませんでしたが、今回は「夫婦だけ」、「二世代家族」、「三世代家族」が 7.7♥と高く、「単身世帯」は 7.4♥と低くなっています。

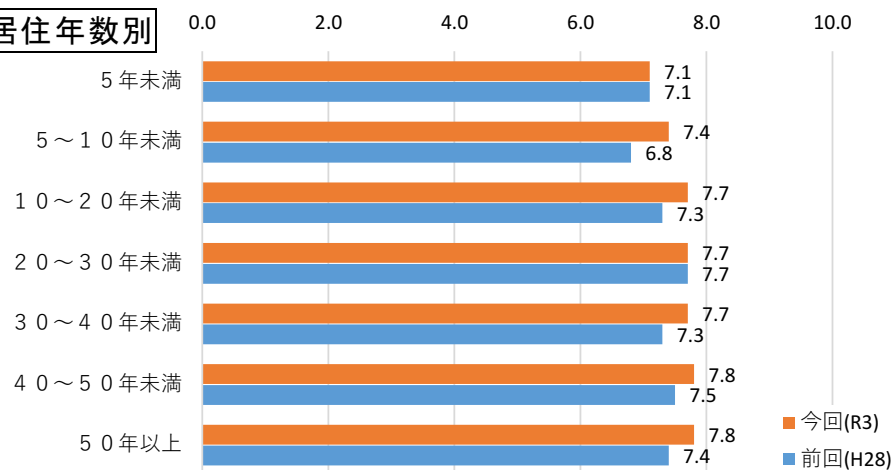
居住学区別



今回(R3)	
居住学区	回答数
守山学区	317
吉身学区	182
小津学区	78
玉津学区	44
河西学区	149
速野学区	104
中洲学区	22
小 計	896
不明・無回答	21
合 計	917

「守山学区」が 7.8♥と最も高く、「中洲学区」が 6.9♥と最も低くなっています。前回調査と比較すると、「河西学区」と「速野学区」が 0.5～0.6 ポイント高くなっています。

居住年数別

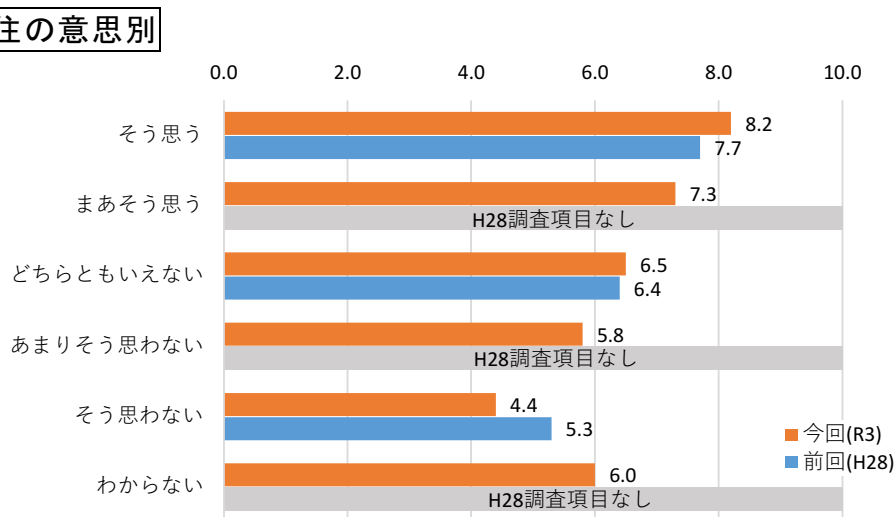


今回(R3)	
居住年数	回答数
5年未満	97
5～10年未満	87
10～20年未満	162
20～30年未満	136
30～40年未満	134
40～50年未満	114
50年以上	175
小計	905
不明・無回答	12
合計	917

40年以上が7.8♥と最も高くなっています。

前回調査と同様に、全体的には居住年数が長いほど平均ハート数が高くなる傾向が伺えます。

居住の意思別

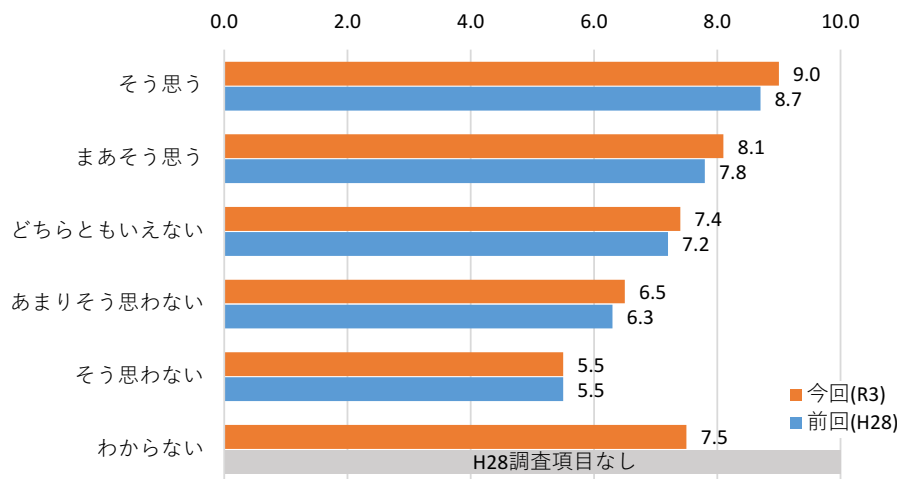


今回(R3)	
居住の意思	回答数
そう思う	499
まあそう思う	257
どちらともいえない	100
あまりそう思わない	22
そう思わない	9
わからない	18
小計	905
不明・無回答	12
合計	917

居住の意思について、前回調査と同様に「そう思う」の平均ハート数が高くなっています。あわせて「そう思わない」の平均ハート数は減少しています。

※前回調査から設問項目が細分化されているので、平均ハート数の解釈には注意が必要。

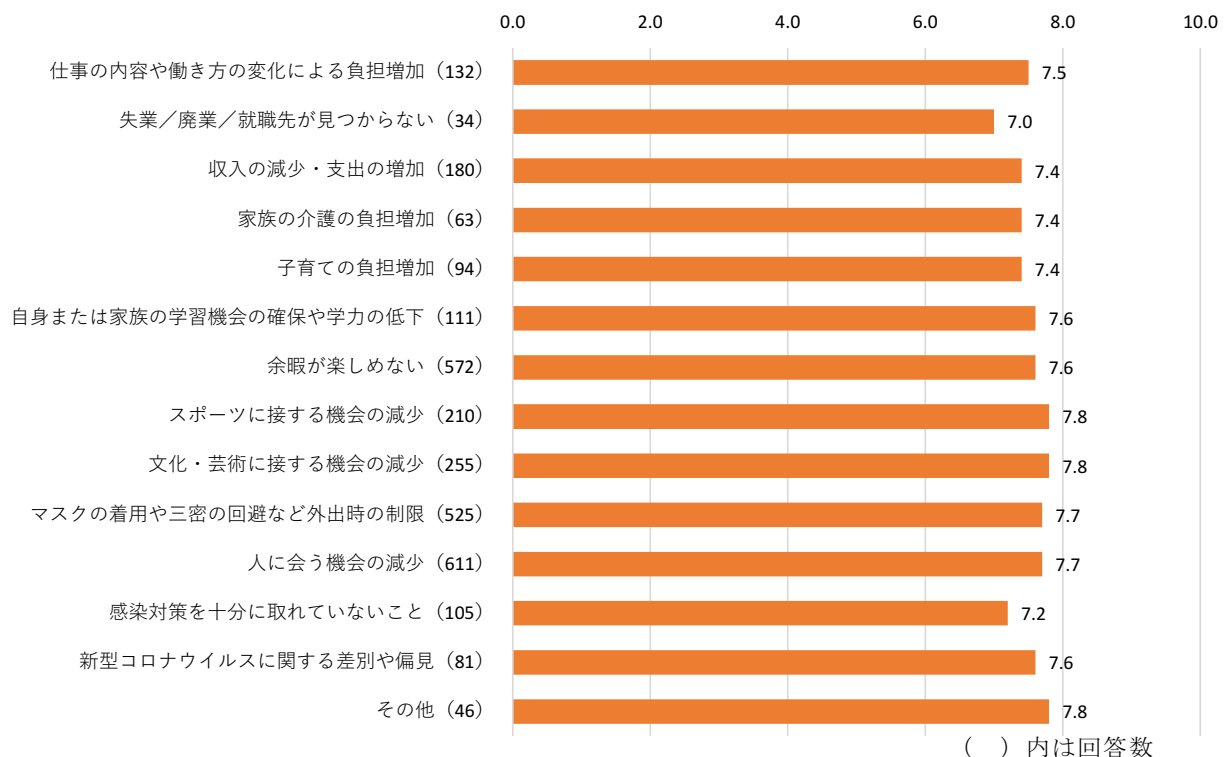
市政への意思反映



今回(R3)	
市政への意思反映	回答数
そう思う	60
まあそう思う	278
どちらともいえない	245
あまりそう思わない	59
そう思わない	37
わからない	221
小 計	900
不明・無回答	17
合 計	917

前回調査と同様に、「そう思う」や「まあそう思う」の住民の意思が市政に反映されていると感じている回答者の平均ハート数が高くなっています。

新型コロナウイルス感染症拡大で困っていることや不安に感じること

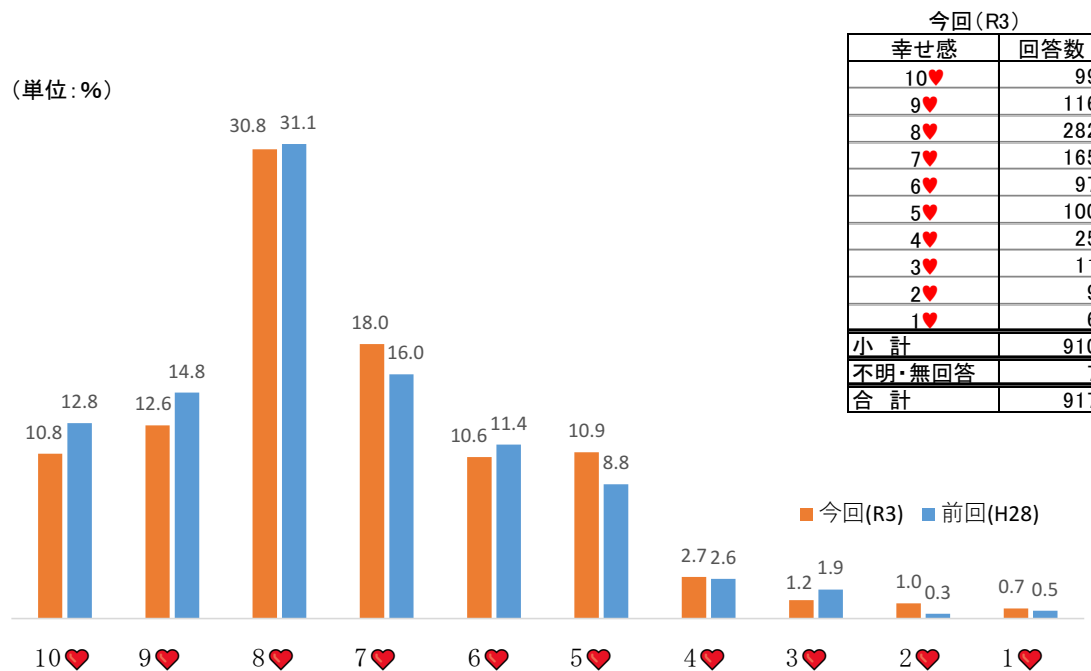


「スポーツに接する機会の減少」、「文化・芸術に接する機会の減少」が7.8♥と最も高く、「失業／廃業／就職先が見つからない」が7.0♥と最も低くなっています。

第6章 主観による「幸せ感」について

幸せ感

問2 あなたは現在幸せですか。「とても幸せ」を10、「とても不幸せ」を1とすると、何くらいになると思いますか。



1. 全体平均について

すべての回答の平均は **7.3♥** です。前回調査 (H28) は 7.5 点だったので、同じハート数に換算し直すと、0.2 ポイント低くなっています。

ハート数で見ると、「8♥」が 30.8% と最も高く、次いで「7♥」が 18.0%、「9♥」が 12.6% となっています。

総合評価による『幸せ感』は **6.8♥** です。

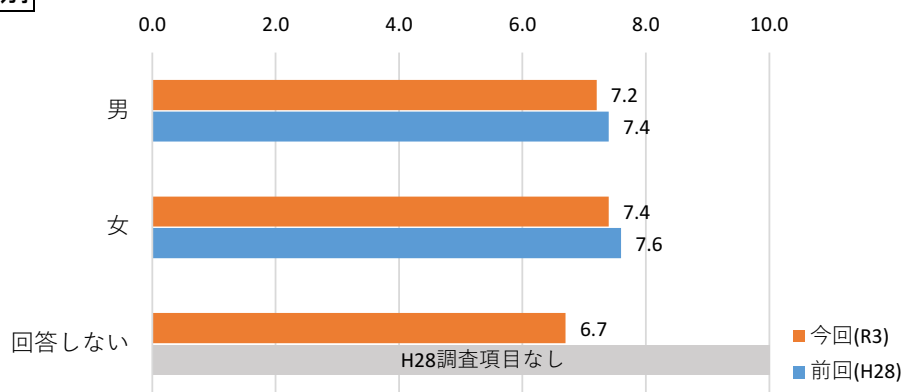
※総合評価の算出方法：「福祉」、「暮らしと働き」、「文化・スポーツ」、「つながり」の各評価分野の平均値（最高 5♥）を、主観による評価と比較できるように 10 段階（最高 10♥）に換算します。

主観による『幸せ感』は、総合評価による『幸せ感』より 0.5 ポイント高くなっています。

2. 「幸せ感」についての属性別平均ハート数

主観による「幸せ感」のハート数について、属性ごとに平均を算出します。

性別

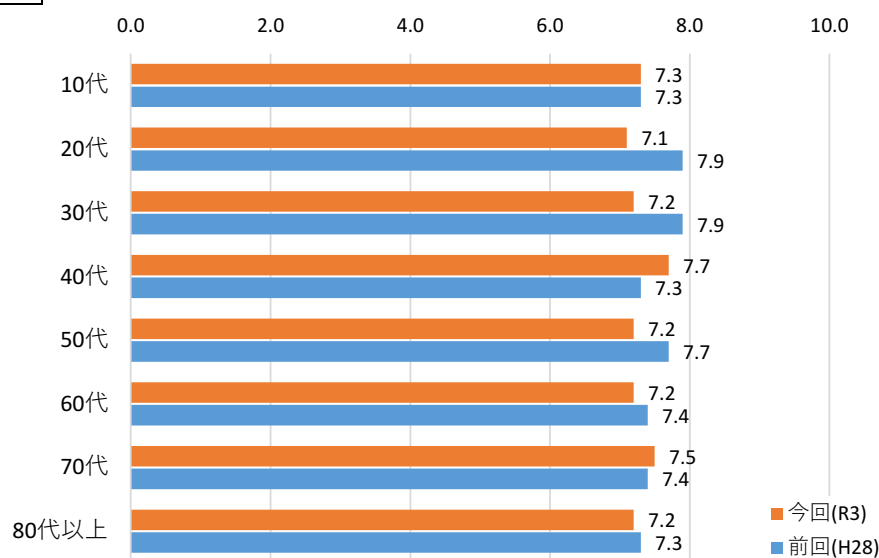


今回(R3)	
性別	回答数
男	376
女	513
回答しない	18
小 計	907
不明・無回答	10
合 計	917

男女でのハート数の差はほとんどありません。

前回調査と比較すると、男女とも 0.2 ポイント低くなっています。

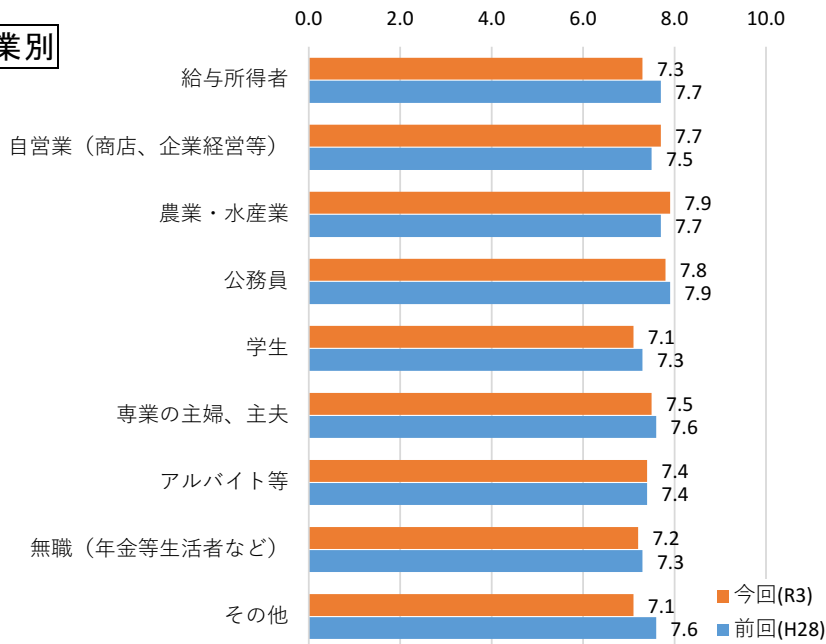
年齢別



今回(R3)	
年齢	回答数
10代(18歳以上)	12
20代	77
30代	120
40代	173
50代	148
60代	131
70代	164
80代以上	80
小 計	905
不明・無回答	12
合 計	917

前回調査では、「20代」と「30代」が高くなっていましたが、今回は「40代」が 7.7♥と最も高くなっています。

職業別



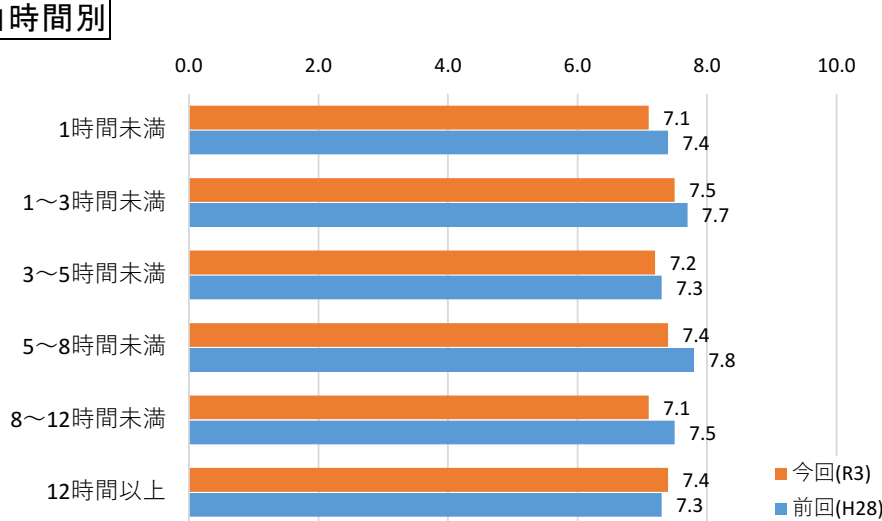
今回(R3)	
職業	回答数
給与所得者	305
自営業	51
農業・水産業	9
公務員	40
学生	27
専業主婦、主夫	100
アルバイト等	140
無職	212
その他	13
小計	897
不明・無回答	20
合計	917

「農業・水産業」が7.9♥と最も高くなっています。

前回調査との比較でもほぼ同様な傾向が見られます。

※上記の回答者数は9人と少ないので、平均ハート数の解釈には注意が必要。

自由時間別

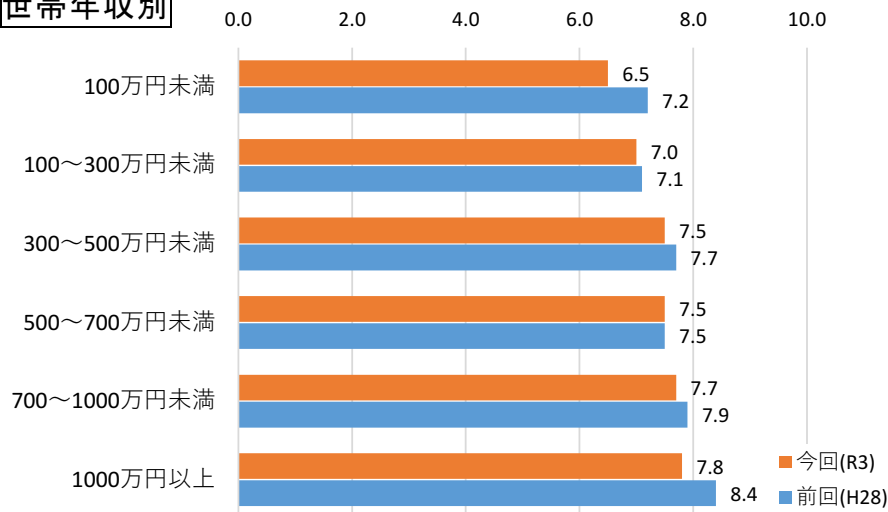


今回(R3)	
自由時間	回答数
1時間未満	56
1～3時間未満	318
3～5時間未満	243
5～8時間未満	108
8～12時間未満	68
12時間以上	98
小計	891
不明・無回答	26
合計	917

「1～3時間未満」が7.5♥と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「12時間以上」を除きハート数が低くなっている傾向が伺えます。

世帯年収別

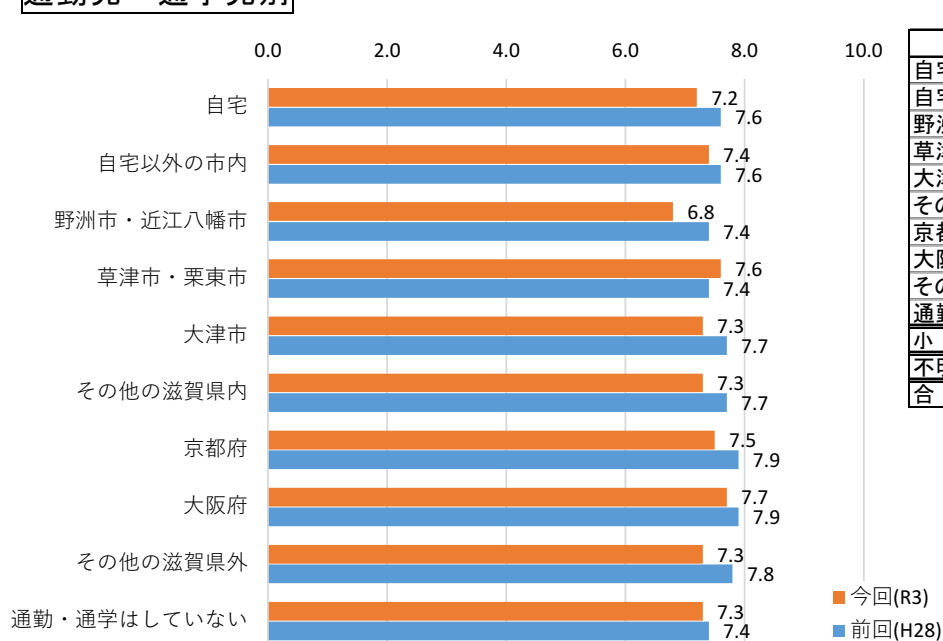


今回(R3)	
世帯年収	回答数
100万円未満	54
100～300万円未満	236
300～500万円未満	207
500～700万円未満	151
700～1000万円未満	145
1000万円以上	82
小計	875
不明・無回答	42
合計	917

前回調査と同様に、「1000 万円以上」が 7.8♥と最も高く、世帯年収が上がるに従ってハート数が高くなる傾向が伺えます。

また、前回調査よりも全体のハート数が低くなっています。

通勤先・通学先別

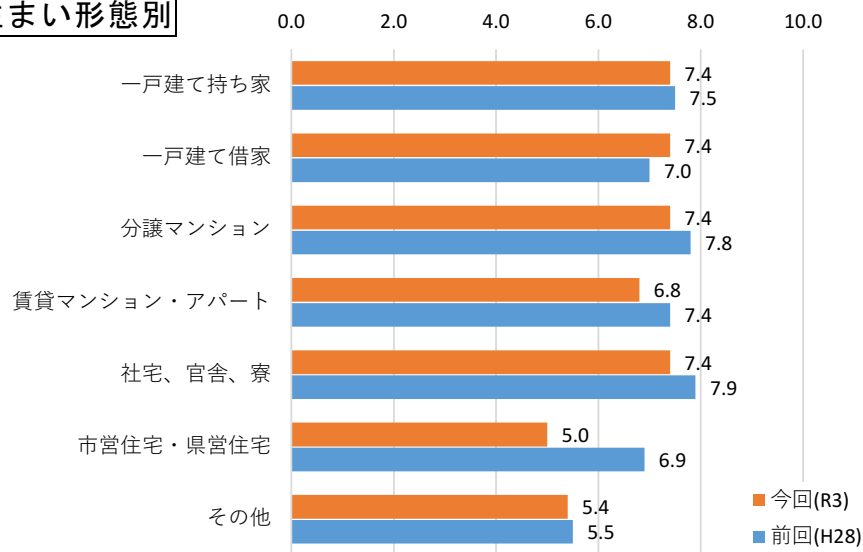


今回(R3)	
通勤先・通学先	回答数
自宅	70
自宅以外の市内	186
野洲市・近江八幡市	51
草津市・栗東市	110
大津市	62
その他の滋賀県内	57
京都府	56
大阪府	18
その他の滋賀県外	6
通勤・通学はしていない	247
小計	863
不明・無回答	54
合計	917

「大阪府」への通勤・通学者が 7.7♥と最も高く、「野洲市・近江八幡市」が 6.8♥と最も低くなっています。前回調査と比較すると、「草津市・栗東市」だけが前回調査よりも若干高くなっています。

※「大阪府」の回答者数は 18 人と少ないので、平均ハート数の解釈には注意が必要。

住まい形態別

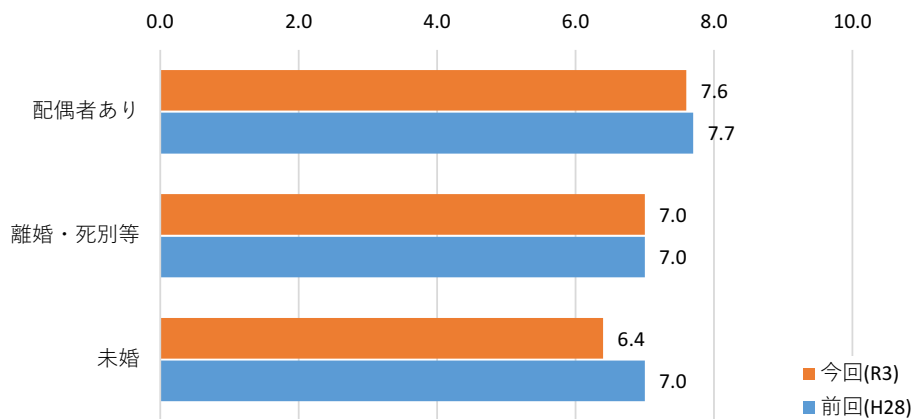


今回(R3)	
住まい形態	回答数
一戸建て持ち家	687
一戸建て借家	10
分譲マンション	91
賃貸マンション・アパート	94
社宅、官舎、寮	11
市営住宅・県営住宅	4
その他	8
小 計	905
不明・無回答	12
合 計	917

「一戸建て持ち家」、「一戸建て借家」、「分譲マンション」、「社宅、官舎、寮」の住まい形態が7.4♥と高くなっています。前回調査と比較すると、「市営住宅・県営住宅」のハート数が最も減少しています。

※「一戸建て借家」、「社宅、官舎、寮」、「市営住宅・県営住宅」の回答者数は10人、11人、4人と少ないので、平均ハート数の解釈には注意が必要。

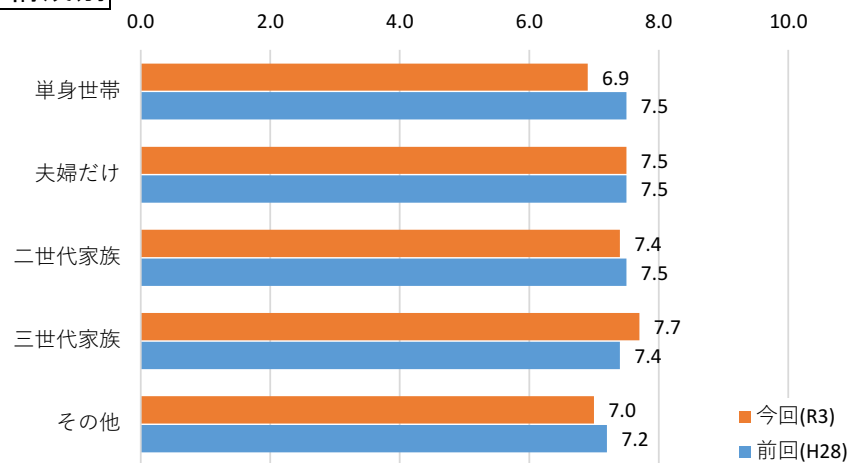
配偶者の有無別



今回(R3)	
配偶者	回答数
配偶者あり	681
離婚・死別等	106
未婚	113
小 計	900
不明・無回答	17
合 計	917

「未婚」が6.4♥と低く、前回調査からハート数が最も減少しています。

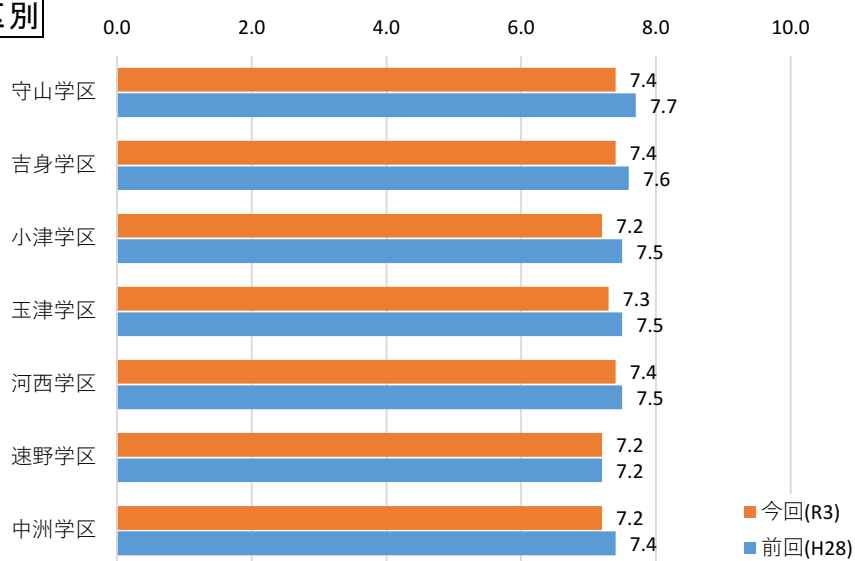
世帯構成別



今回(R3)	
世帯構成	回答数
単身世帯	129
夫婦だけ	254
二世帯家族	412
三世帯家族	64
その他	44
小計	903
不明・無回答	14
合計	917

前回調査は世帯構成によって平均ハート数に大きな差はありませんが、今回は「三世帯家族」が 7.7♥と最も高く、「単身世帯」が 6.9♥と最も低くなっています。

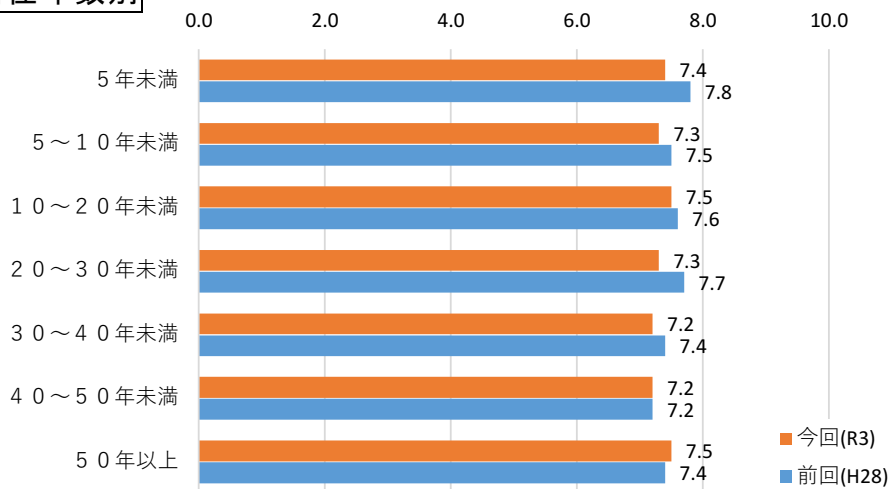
居住学区別



今回(R3)	
居住学区	回答数
守山学区	318
吉身学区	182
小津学区	78
玉津学区	44
河西学区	149
速野学区	105
中洲学区	22
小計	898
不明・無回答	19
合計	917

前回調査と同様に、学区による平均ハート数に大きな差は見られません。
また、前回調査よりも全体の平均ハート数が低くなっています。

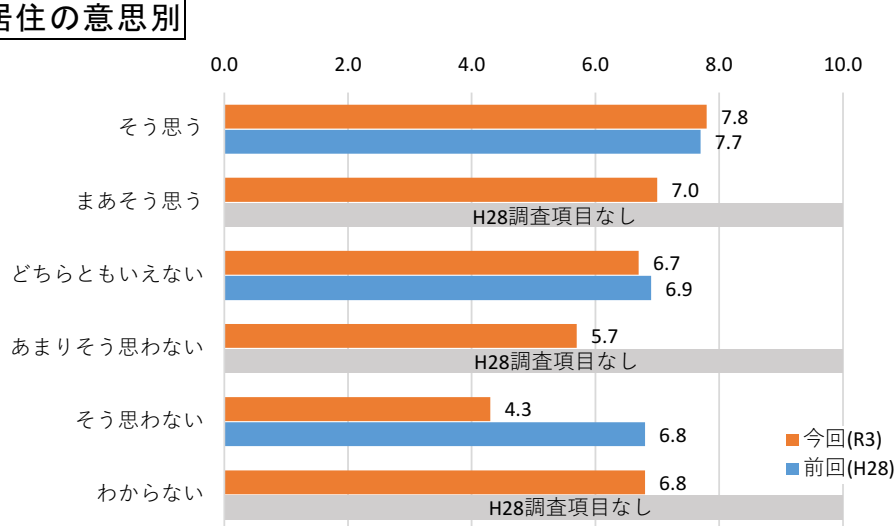
居住年数別



今回(R3)	
居住年数	回答数
5年未満	97
5～10年未満	87
10～20年未満	162
20～30年未満	138
30～40年未満	133
40～50年未満	114
50年以上	176
小計	907
不明・無回答	10
合計	917

前回調査と同様に、居住年数と平均ハート数の相関関係は見られません。

居住の意思別

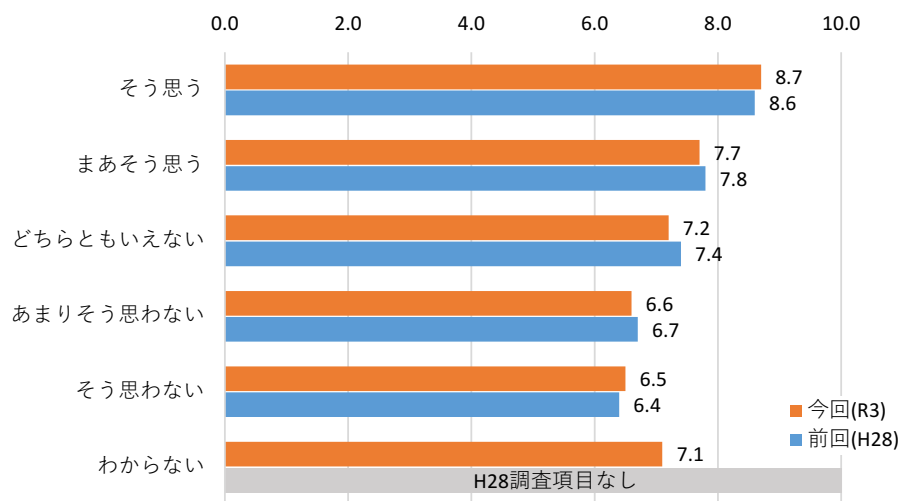


今回(R3)	
居住の意思	回答数
そう思う	499
まあそう思う	258
どちらともいえない	101
あまりそう思わない	22
そう思わない	9
わからない	18
小計	907
不明・無回答	10
合計	917

居住の意思について、前回調査と同様に「そう思う」の平均ハート数が高くなっています。あわせて、「そう思わない」の平均ハート数は大きく減少しています。

※前回調査から設問項目が細分化されているので、平均ハート数の解釈には注意が必要。

市政への意思反映

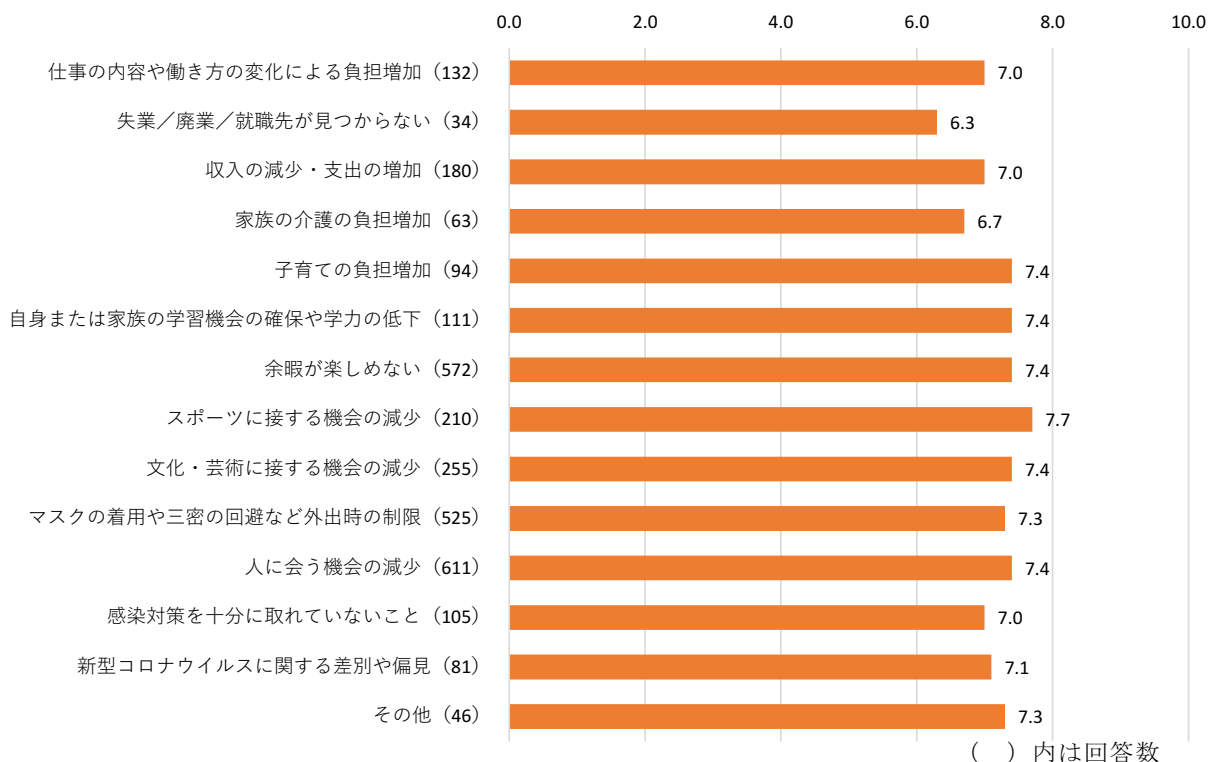


今回(R3)	
市政への意思反映	回答数
そう思う	60
まあそう思う	278
どちらともいえない	247
あまりそう思わない	60
そう思わない	37
わからない	220
小計	902
不明・無回答	15
合計	917

前回調査と同様に、「そう思う」や「まあそう思う」の住民の意思が市政に反映されていると感じている回答者の平均ハート数が高くなっています。

※前回調査から「わからない」の設問項目が足されているので、平均ハート数の解釈には注意が必要。

新型コロナウイルス感染症拡大で困っていることや不安に感じること

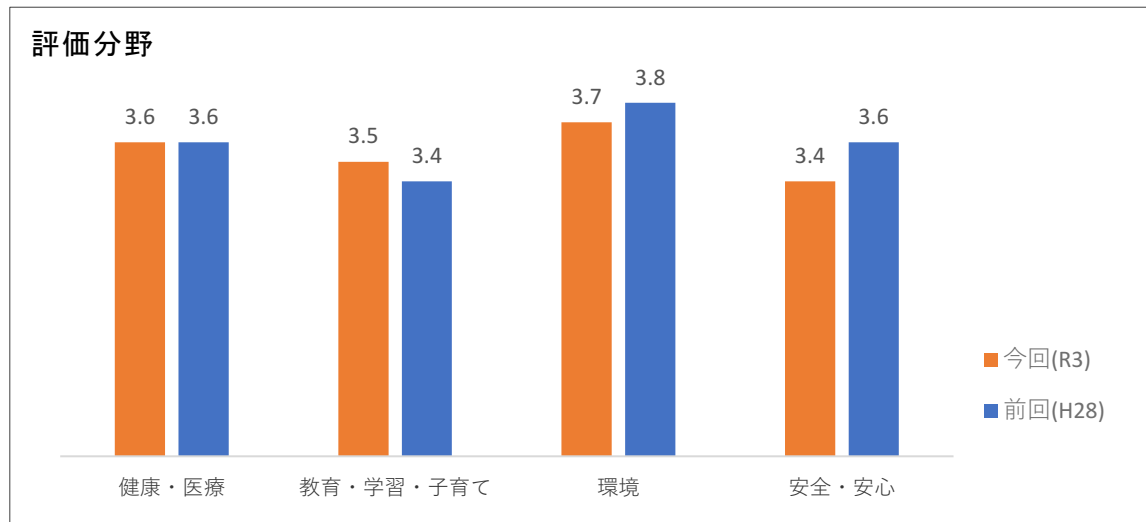


『住み心地』の項目と同様に、「スポーツに接する機会の減少」が7.7♥と最も高く、「失業／廃業／就職先が見つからない」が6.3♥と最も低くなっています。

第7章 住みやすさ実感度（総合評価）

住みやすさ実感度（総合評価）は、『住み心地（7.2♥）』より『幸せ感（6.8♥）』が低くなっています。

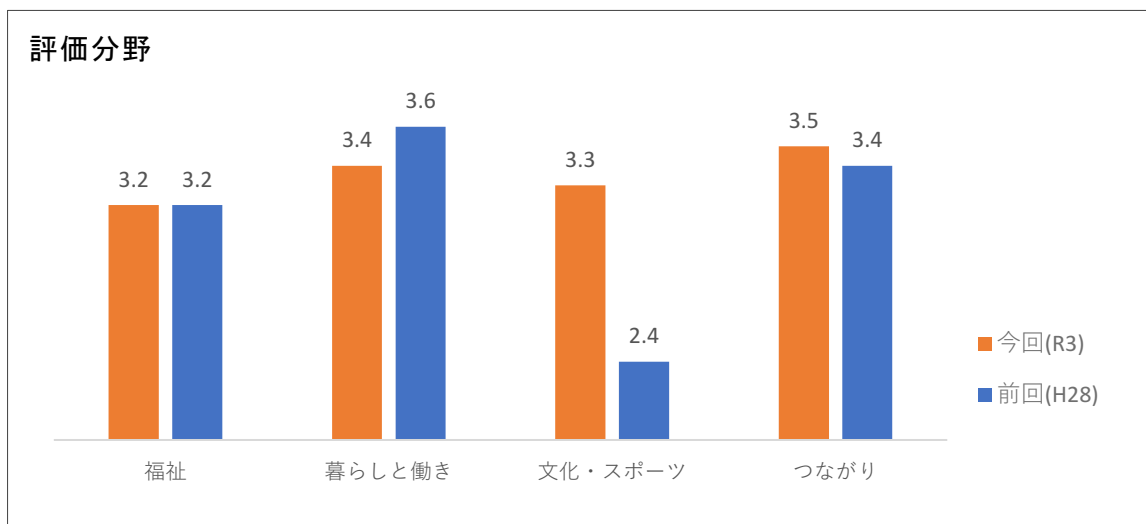
【住み心地】



すべての回答の平均は7.2♥です。前回調査（H28）は72点だったので、同じハート数に換算し直すと、前回と同ポイントとなっています。

「健康・医療」（3.6♥）と「環境」（3.7♥）の評価分野が高くなっています。

【幸せ感】



すべての回答の平均は6.8♥です。前回調査（H28）は63点だったので、同じハート数に換算し直すと、前回よりも0.5ポイント高くなっています。

「福祉」（3.2♥）と「文化・スポーツ」（3.3♥）の評価分野が低くなっています。

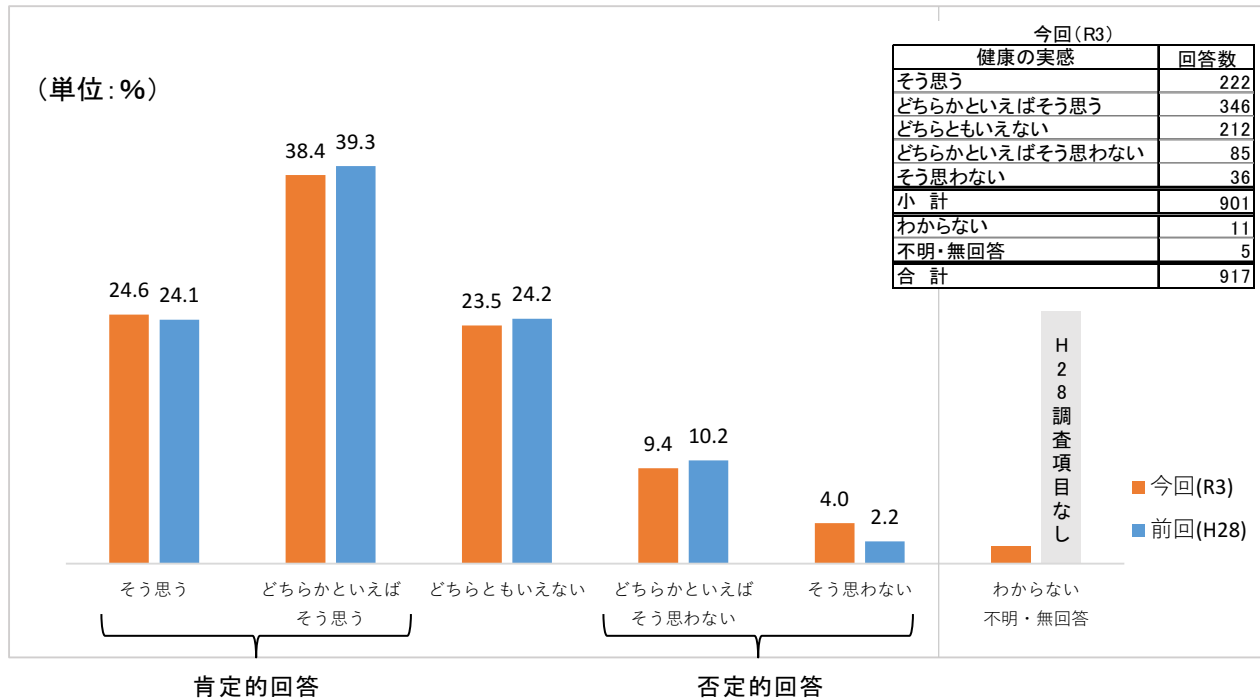
※総合評価は、評価分野（5段階評価）を10段階評価に換算しています。

第8章 評価分野ごとのアンケート結果について

(1) 健康・医療について

① 健康の実感

問3 (1) あなたは、健康であると思いますか。



○「どちらかといえばそう思う」が38.4%と最も高く、次いで「そう思う」が24.6%となっています。

○肯定的回答は63.0%であり、否定的回答（13.4%）の4.7倍です。

○全体の平均ハート数は3.7♥となっています。

◇前回調査と比較すると、「そう思わない」が1.8ポイント高くなっています。

【前回調査の設問内容】

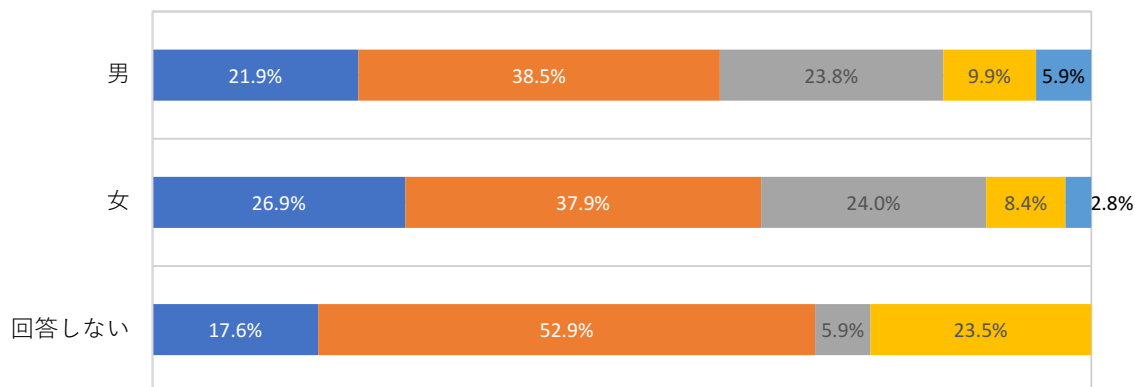
あなたは健康であると思いますか。

そう思う ← 4 3 2 1 → そう思わない
 5

※第8章にある各設問【問3～問10】について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」等の左側2項目を『肯定的回答』、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」等の右側2項目を『否定的回答』として表記し評価しています。

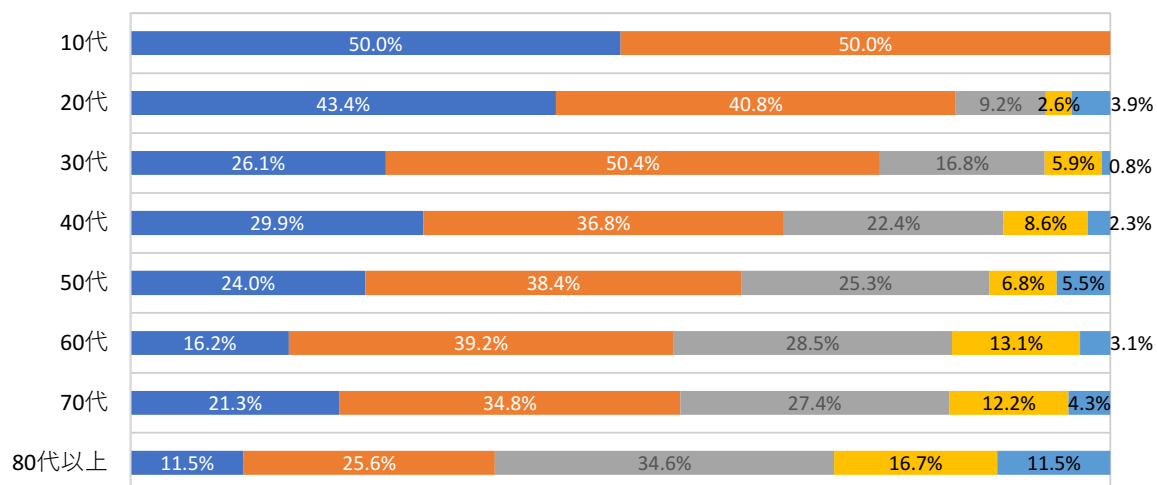
《性別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



性別を見ると、「女性」の肯定的回答が64.8%と「男性」よりも4.4ポイント高くなっています。

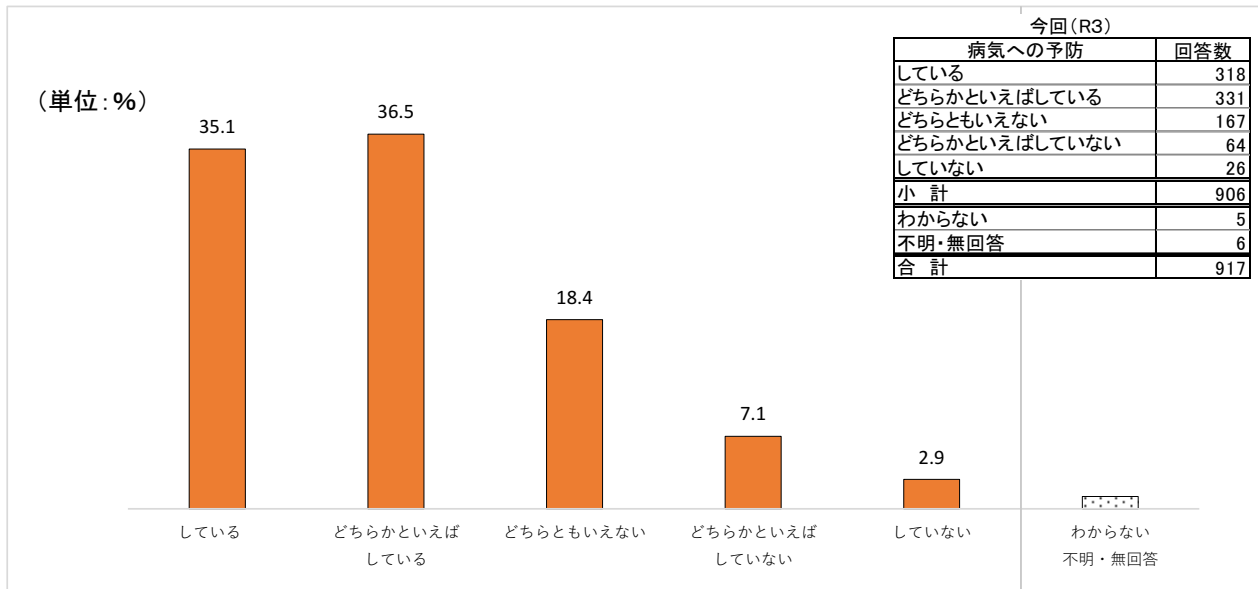
年齢別では、「10代」の肯定的回答は100.0%であり、年齢が上がるに従って肯定的回答が低くなる傾向が伺えます。

※属性別のアンケート結果グラフ

第8章の各設問【問3～問10】について、関連があると思われる属性について掲載しています。

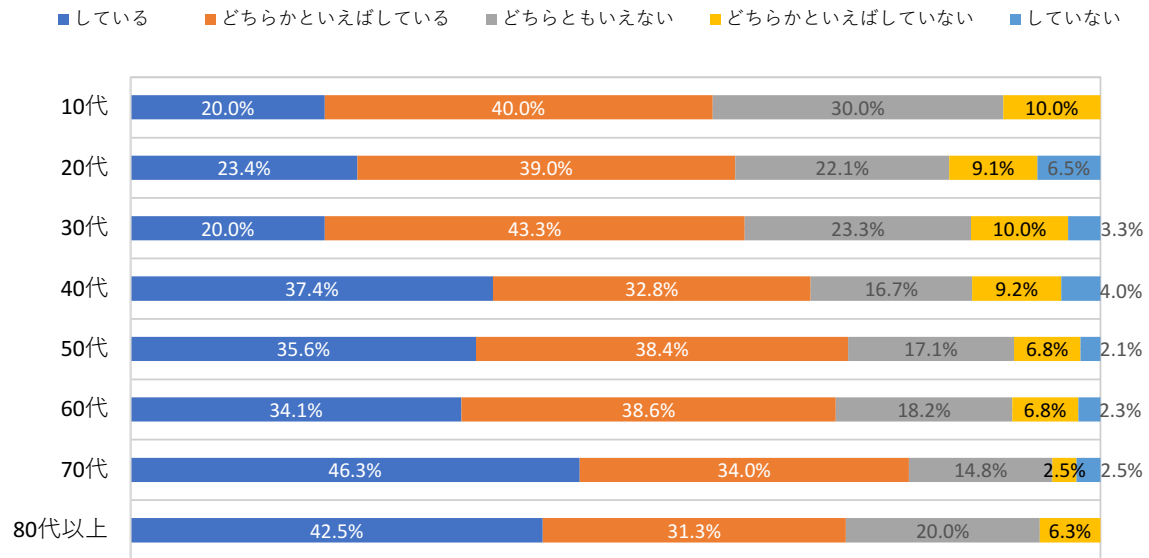
② 病気への予防

問 3 (2) あなたは、病気予防を意識していますか。(定期健康診断など)

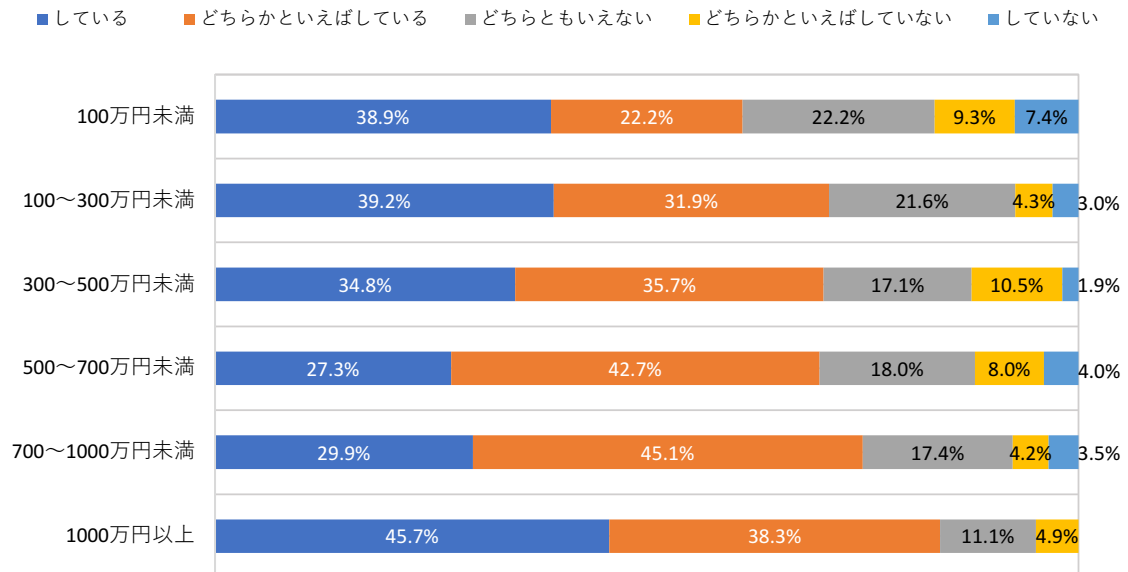


- 「どちらかといえばしている」が 36.5%と最も高く、次いで「している」が 35.1%となっています。
- 肯定的回答は 71.6%であり、否定的回答（10.0%）の 7.1 倍です。
- 全体の平均ハート数は 4.0❤️となっています。

《年齢別》



《世帯年収別》

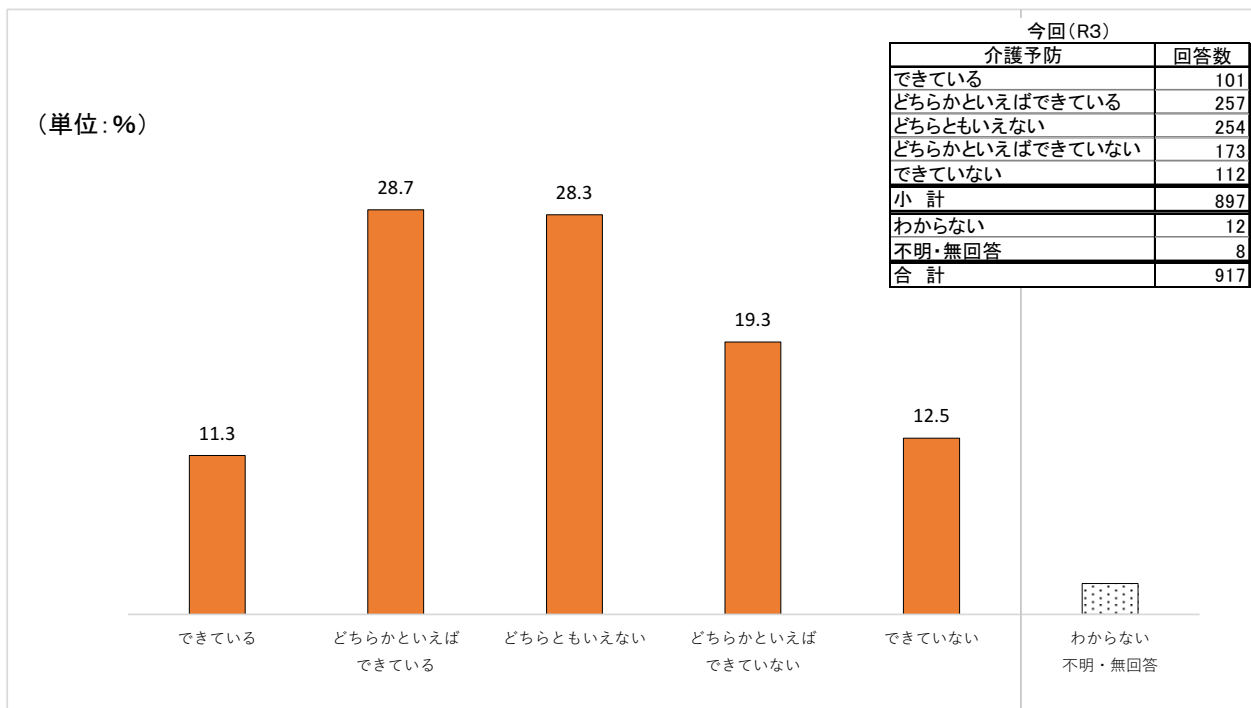


年齢別を見ると、年齢が上がるに従って病気予防に対する意識が高くなる傾向が伺え、「70代」では肯定的回答が8割を超えています。

世帯年収別では、年収が高くなるに従って肯定的回答が高くなる傾向が伺えます。

③ 介護予防

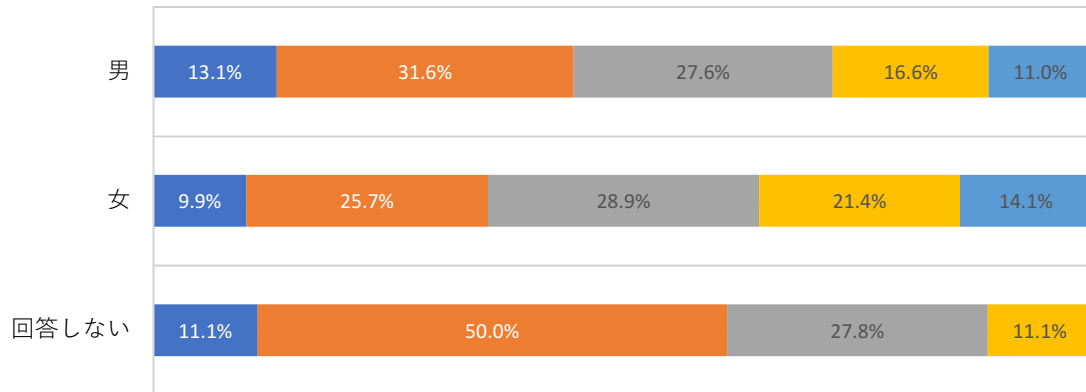
問 3 (3) あなたは、介護予防を意識して取り組んでいますか。
(日頃の体力づくりなど)



- 「どちらかといえばできている」が 28.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 28.3%となっています。
- 肯定的回答は 40.0%であり、否定的回答（31.8%）の 1.2 倍です。
- 全体の平均ハート数は 3.1♥となっています。

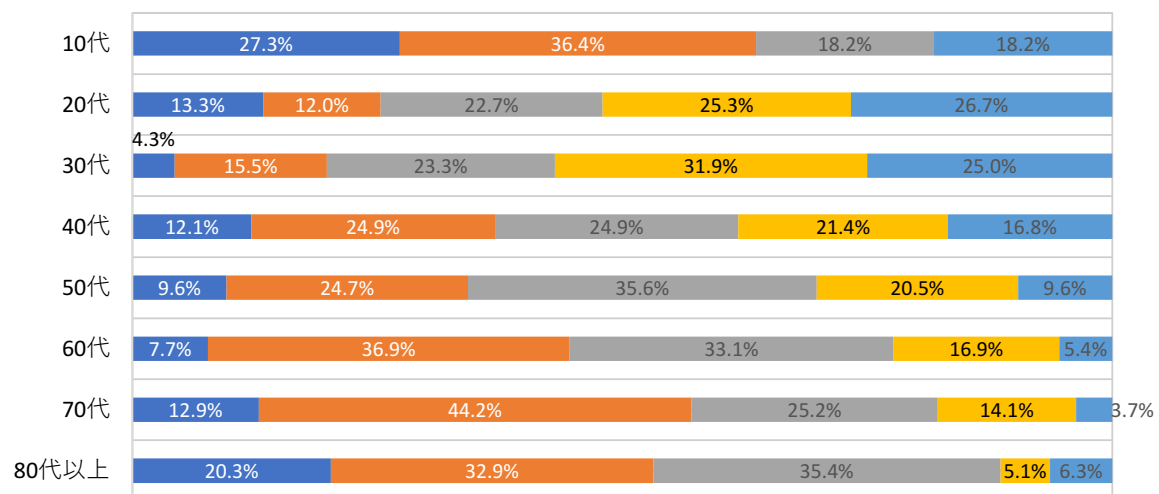
《性別》

■できている ■どちらかといえばできている ■どちらともいえない ■どちらかといえばできていない ■できていない



《年齢別》

■できている ■どちらかといえばできている ■どちらともいえない ■どちらかといえばできていない ■できていない

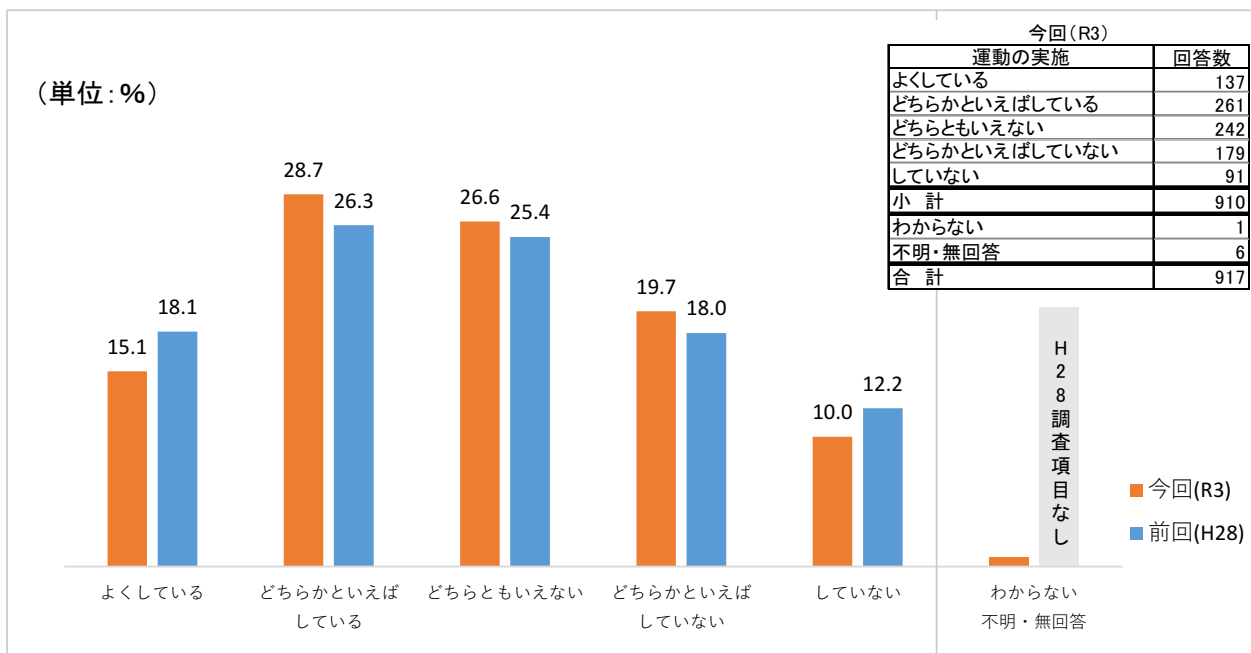


性別を見ると、「男性」の肯定的回答が「女性」よりも9.1ポイント高くなっています。

年齢別では、「10代」の肯定的回答が最も高く、「20代」と「30代」で極端に低くなり、40代以降の年齢層では高くなる傾向が伺えます。

④ 運動の実施

問 3 (4) あなたは、普段の生活のなかで体を動かしたり運動したりしていますか。



○「どちらかといえばしている」が 28.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 26.6%となっています。

○肯定的回答は 43.8%であり、否定的回答（29.7%）の 1.4 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.2♥となっています。

◇前回調査と比較すると、「よくしている」が 3.0 ポイント低くなっています。

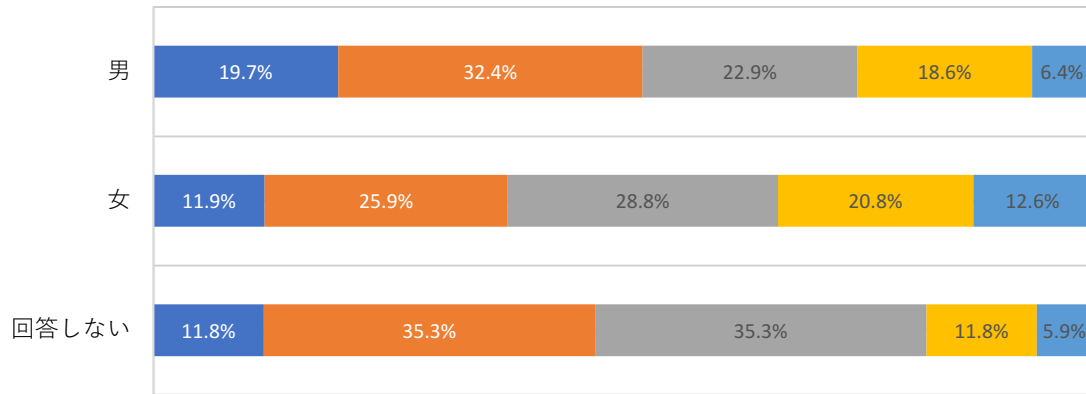
【前回調査の設問内容】

体を動かしたり運動したりしていますか。

している ←————→ していない
 5 4 3 2 1

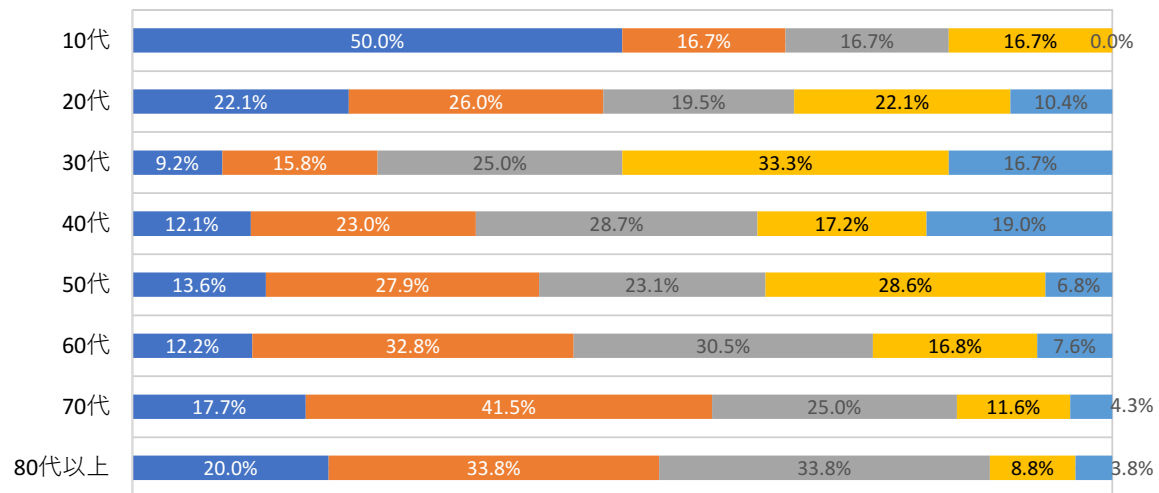
《性別》

■よくしている ■どちらかといえばしている ■どちらともいえない ■どちらかといえばしていない ■していない



《年齢別》

■よくしている ■どちらかといえばしている ■どちらともいえない ■どちらかといえばしていない ■していない

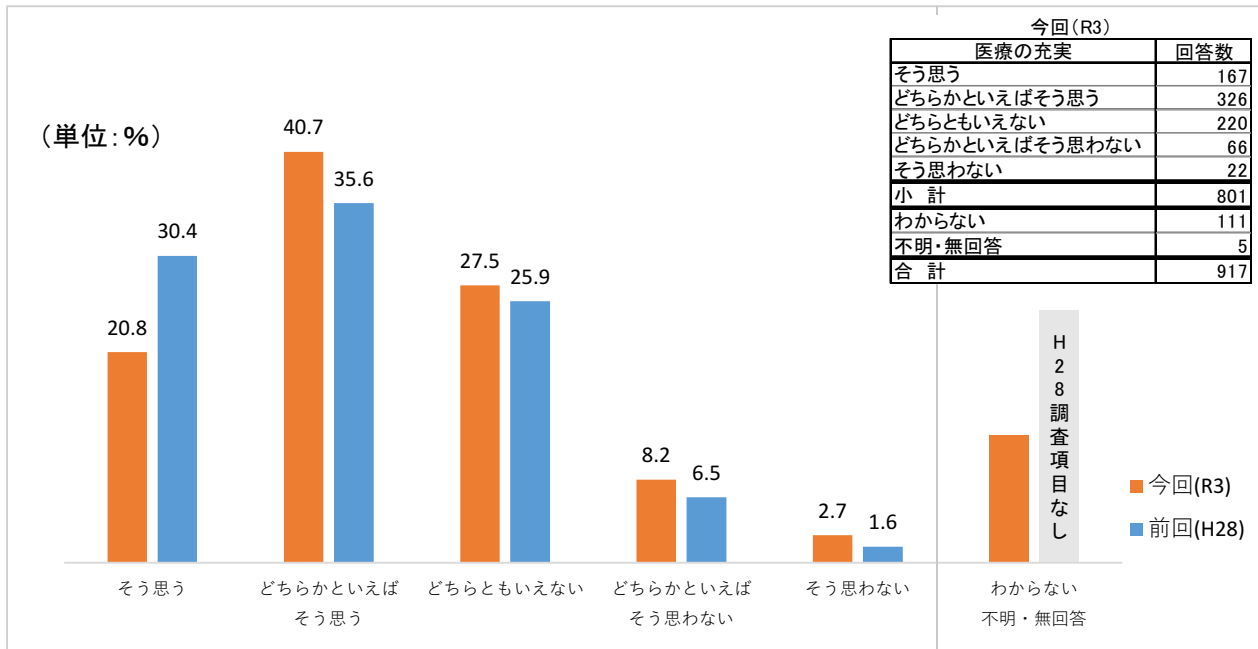


性別を見ると、「男性」の肯定的回答が 52.1%と「女性」よりも 14.3 ポイント高くなっています。

年齢別では、「10代」の肯定的回答が 66.7%と最も高く、次いで「70代」（59.2%）となっています。一方、「20代」から「50代」の働き盛り世代は低く、その中でも特に「30代」が 25.0%と最も低くなっています。

⑤ 医療の充実

問 3 (5) 守山市は、必要なときに安心して医療サービスを受けられるまちだと思いますか。



○「どちらかといえばそう思う」が 40.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 27.5%となっています。

○肯定的回答は 61.5%であり、否定的回答（10.9%）の 5.6 倍です。

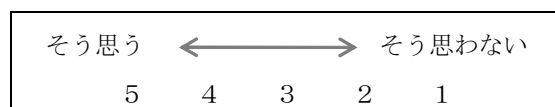
○全体の平均ハート数は 3.7♥となっています。

※「わからない」の回答数は 111 件（全体の約 12%）となっています。

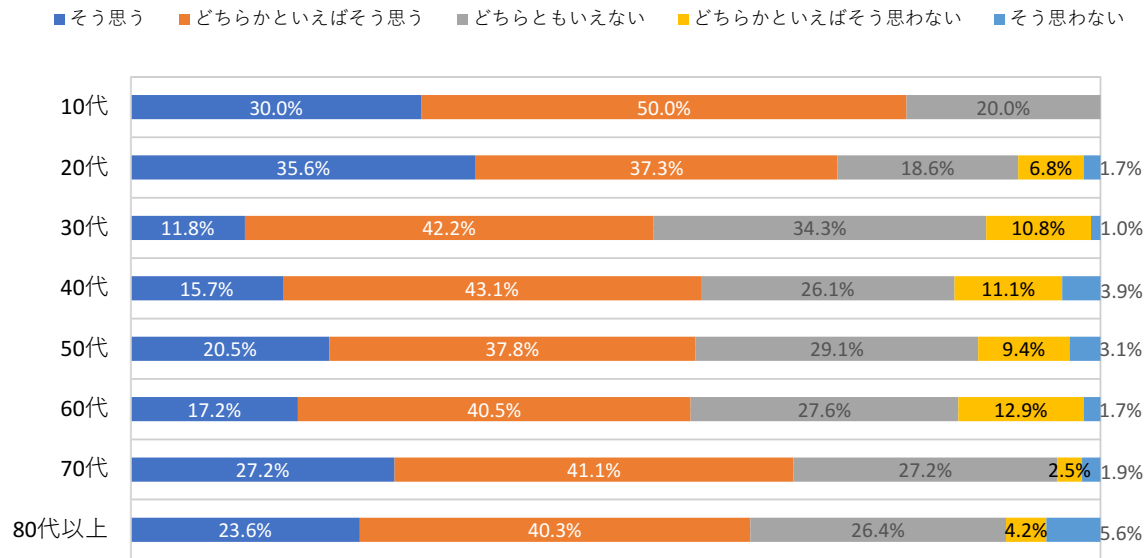
◇前回調査と比較すると、「そう思う」が 9.6 ポイント低くなっています。

【前回調査の設問内容】

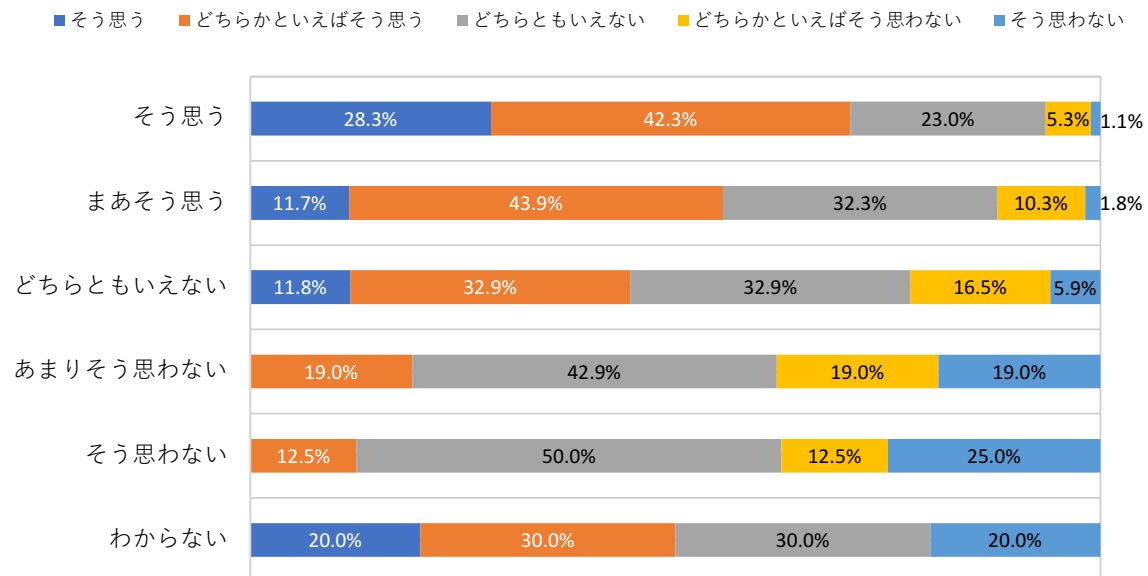
必要な時に安心して医療サービスが受けられていると思いますか。



《年齢別》



《居住の意思別》

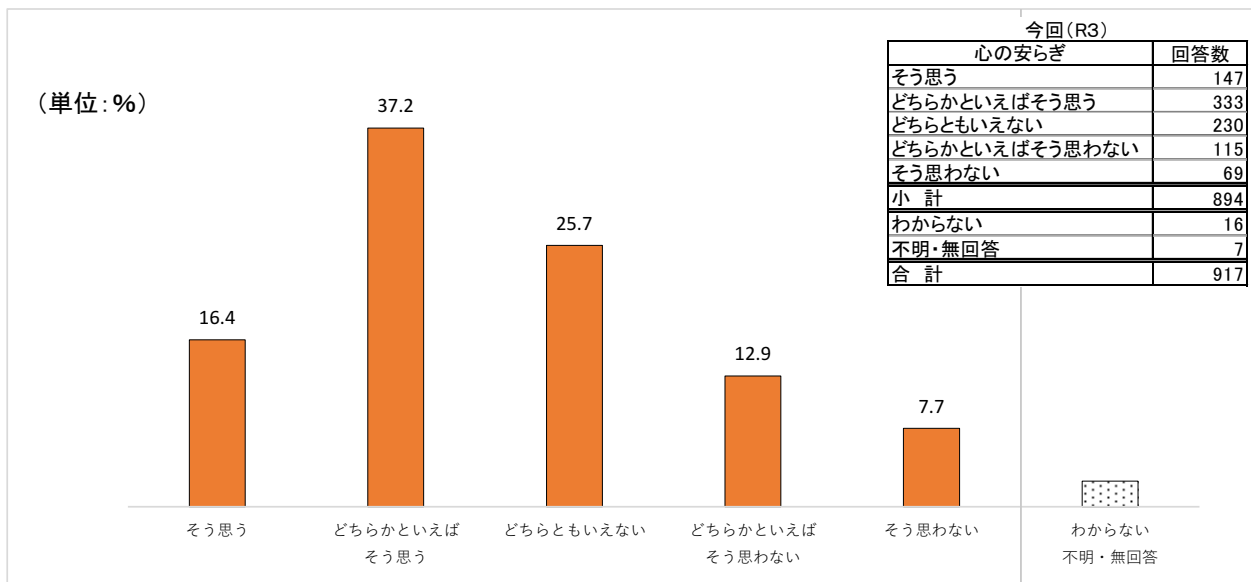


年齢別を見ると、全ての年代で肯定的回答が5割を超えています。

居住の意思別では、「守山に住み続けたいか」の問いで、「そう思う（住み続けたいと思う）」と回答した方の肯定的回答が70.6%と最も高くなっており、「そう思わない（住み続けたいと思わない）」と回答した方の肯定的回答が12.5%と最も低くなっています。

⑥ 心の安らぎ

問3（6） あなたは、休養やリラックスのための余暇の時間を十分に取れていると思いますか。



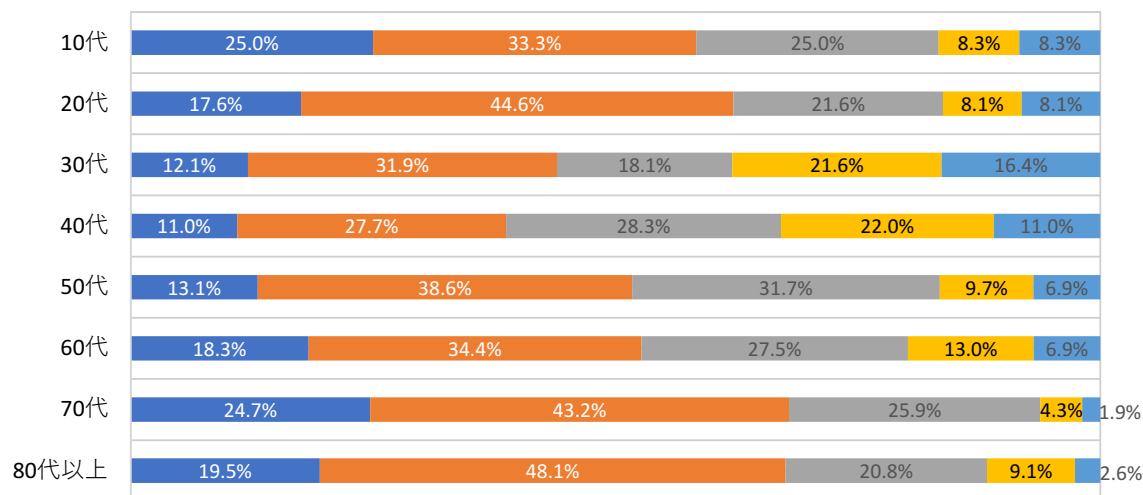
○「どちらかといえばそう思う」が 37.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 25.7%となっています。

○肯定的回答は 53.6%であり、否定的回答（20.6%）の 2.6 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.5♥となっています。

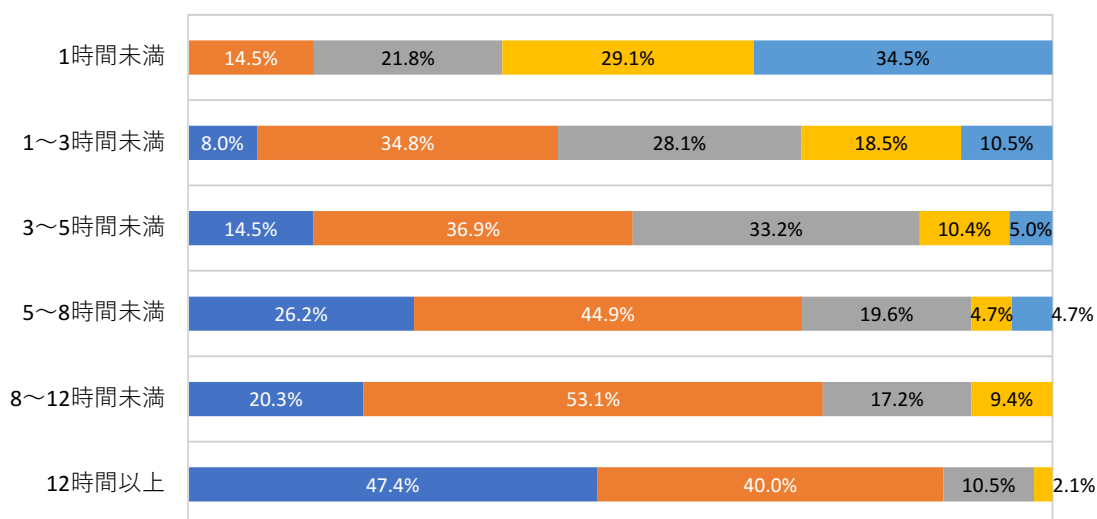
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《自由時間別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



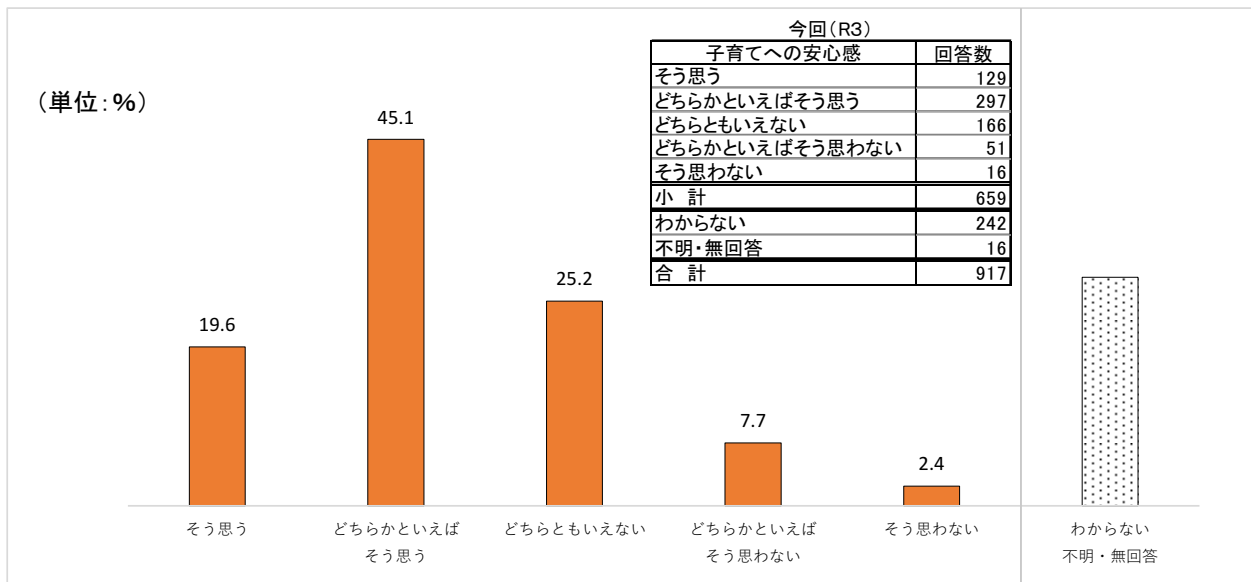
年齢別を見ると、「70代」の肯定的回答が67.9%と最も高く、次いで「80代以上」（67.6%）となっています。その一方で、「30代」と「40代」の働き盛り世代で低くなっています。

自由時間別では、自由時間が多く取れるほど肯定的回答が高くなる傾向が伺えます。

(2) 教育・学習・子育てについて

① 子育てへの安心感

問4 (1) 守山市は、安心して子どもを産み、育てやすいまちだと思いますか。



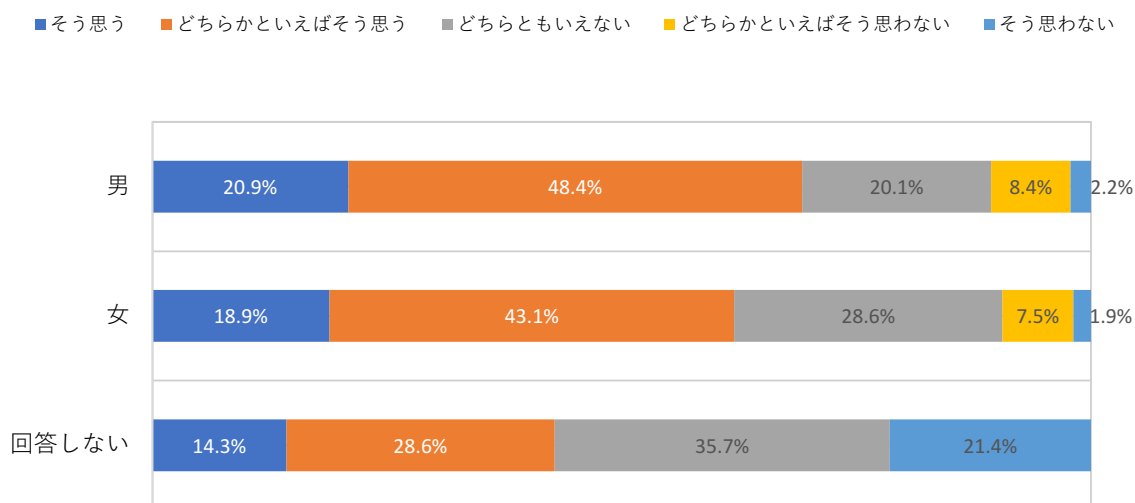
○「どちらかといえばそう思う」が45.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.2%となっています。

○肯定的回答は64.7%であり、否定的回答（10.1%）の6.4倍です。

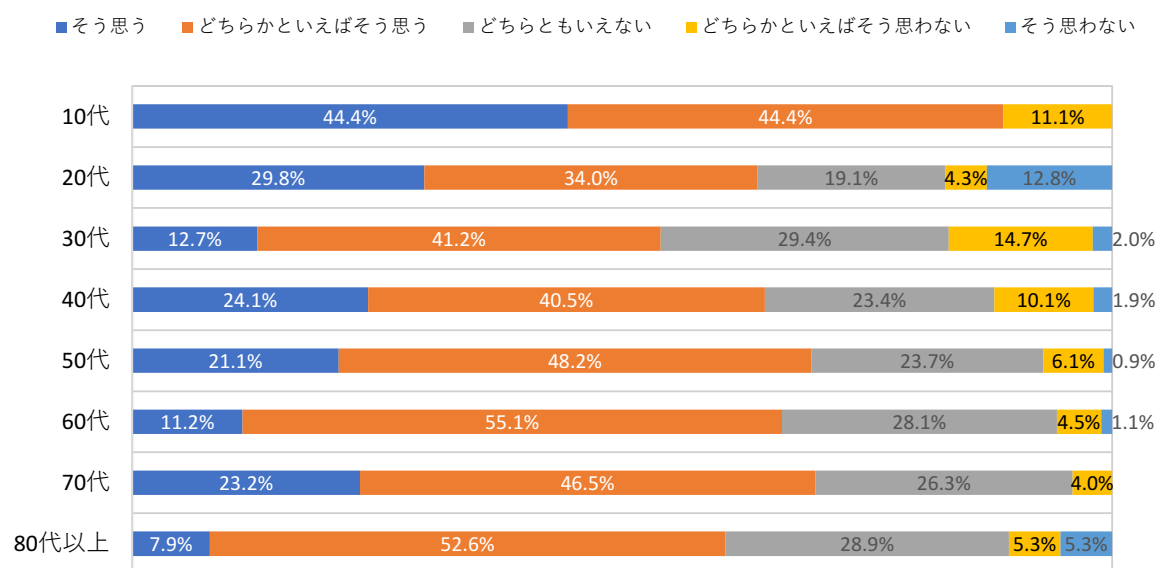
○全体の平均ハート数は3.8♥となっています。

※「わからない」の回答数は242件（全体の約26%）となっています。

《性別》



《年齢別》

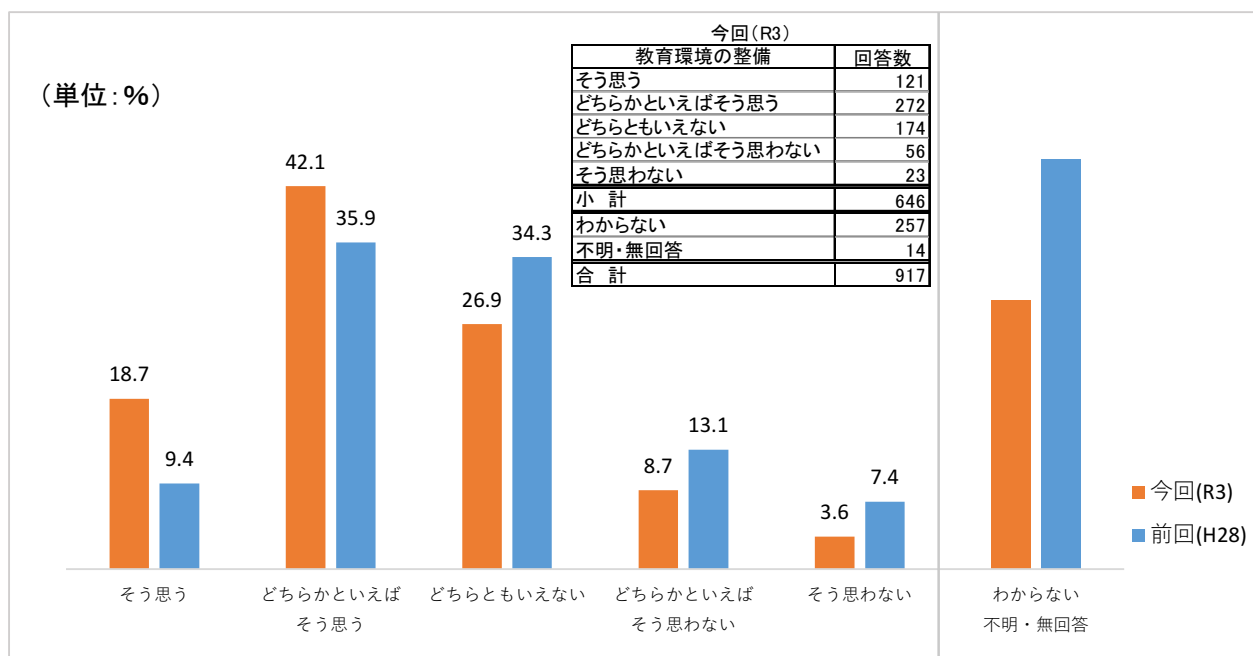


性別を見ると、「男性」の肯定的回答が 69.3%と「女性」よりも 7.3 ポイント高くなっています

年齢別では、全ての年代で肯定的回答が 5 割を超えています。その一方で、「20 代」と「30 代」では否定的回答も 15%を超えています。

② 教育環境の整備

問 4 (2) 守山市は、保育園・幼稚園・こども園が整備されているまちだと思いますか。



○「どちらかといえばそう思う」が 42.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 26.9%となっています。

○肯定的回答は 60.8%であり、否定的回答（12.3%）の 4.9 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.7♥となっています。

※「わからない」の回答数は 257 件（全体の約 28%）となっています。

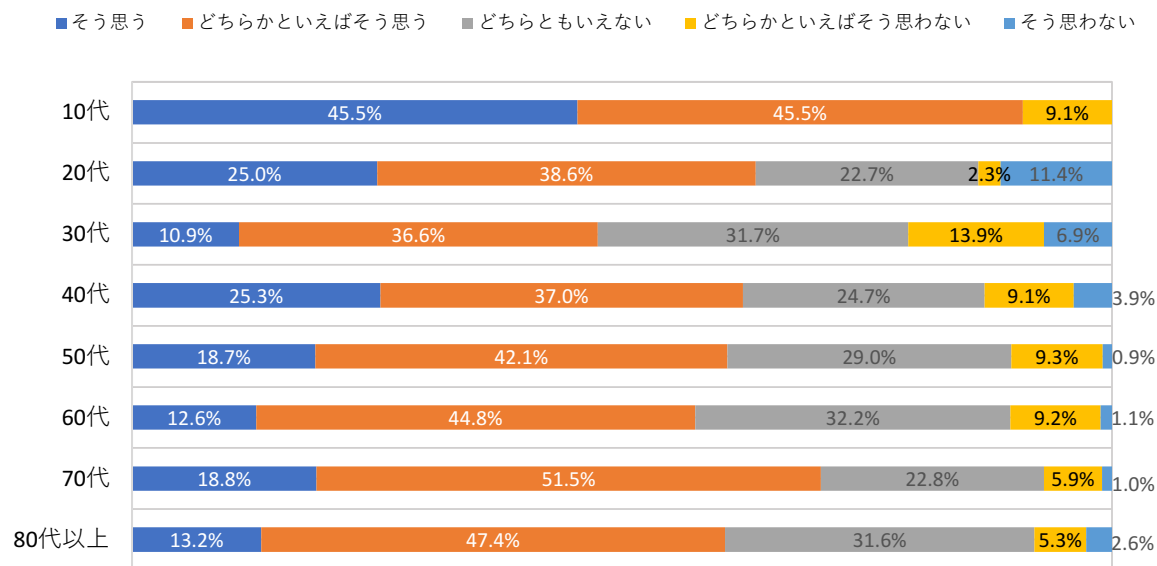
◇前回調査と比較すると、「そう思う」が 9.3 ポイント高くなっています。

【前回調査の設問内容】

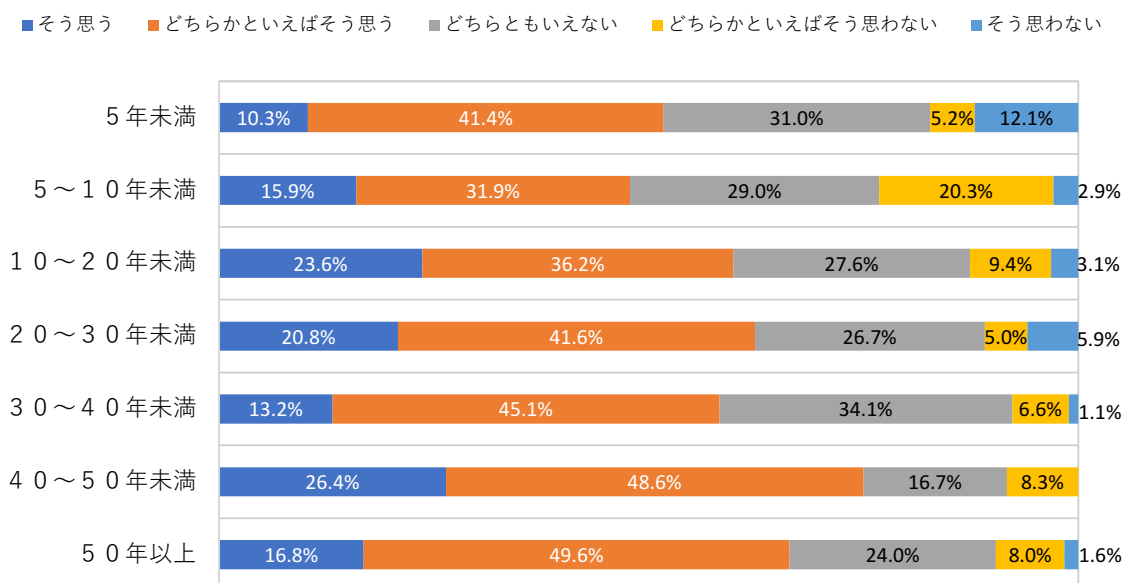
未就学の子どもの子育て環境は充実
していると思いますか。

そう思う ← 4 3 2 1 0 → そう思わない 分からない
 5

《年齢別》



《居住年数別》

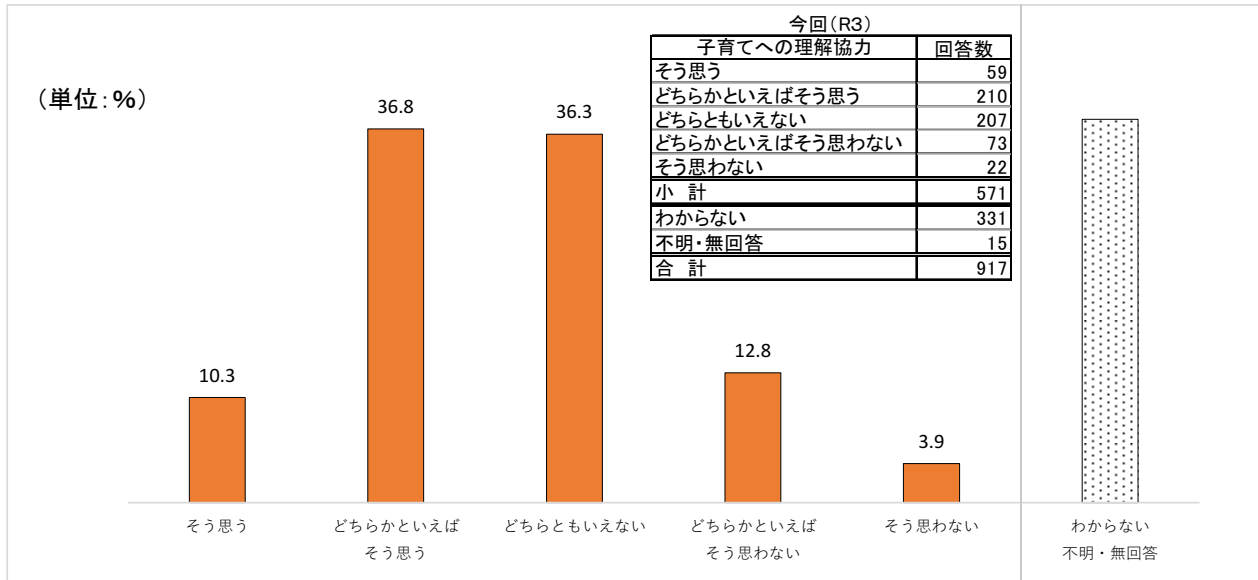


年齢別を見ると、「10 代」の肯定的回答が 91.0%と最も高くなっています。その一方で、「30 代」が最も低くなっています。

居住年数別では、居住年数「40～50 年未満」の肯定的回答が 75.0%と最も高く、居住年数が長くなるに従って肯定的回答が高くなる傾向が伺えます。

③ 子育てへの理解協力

問4（3） 守山市は、子育てについて情報交換や交流、相談のできる場所、機会や人が身近にあるまちだと思いますか。



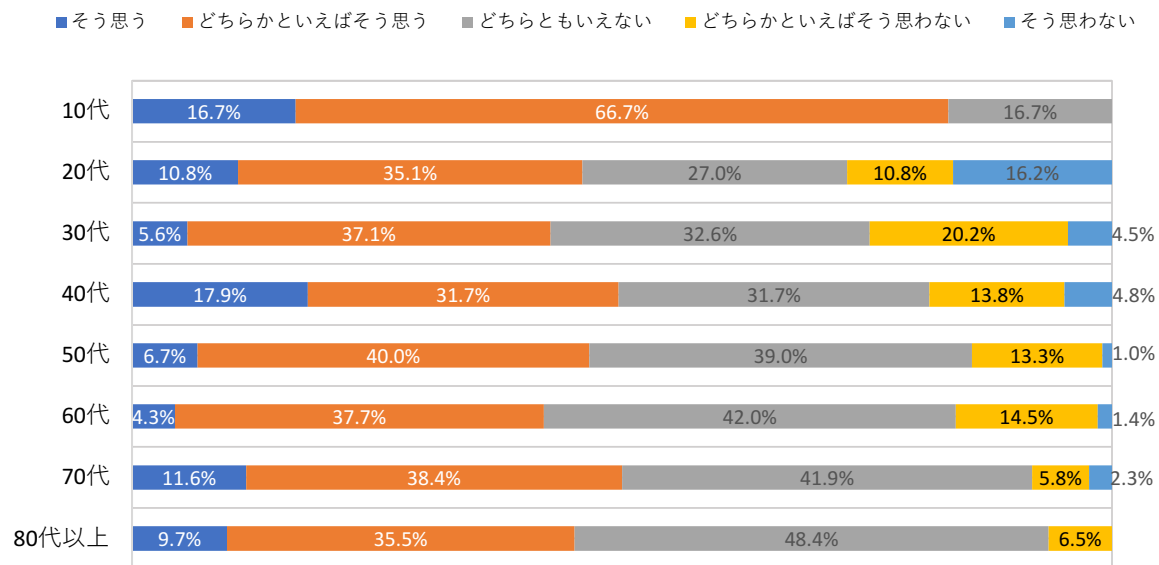
○「どちらかといえばそう思う」が 36.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 36.3%となっています。

○肯定的回答は 47.1%であり、否定的回答（16.7%）の 2.8 倍です。

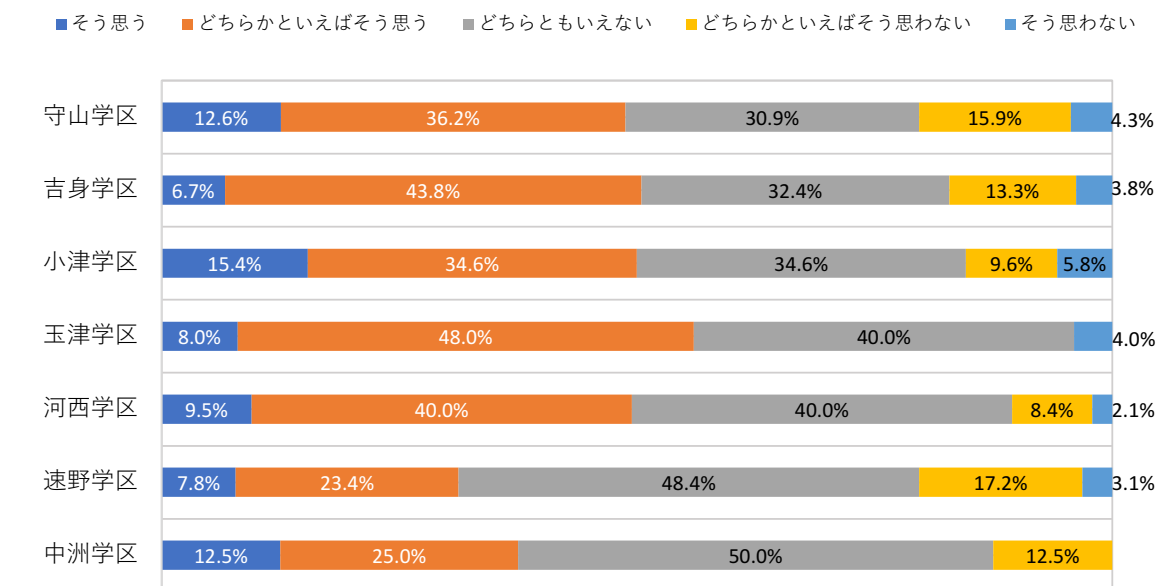
○全体の平均ハート数は 3.4♥となっています。

※「わからない」の回答数は 331 件（全体の約 36%）となっています。

《年齢別》



《学区別》

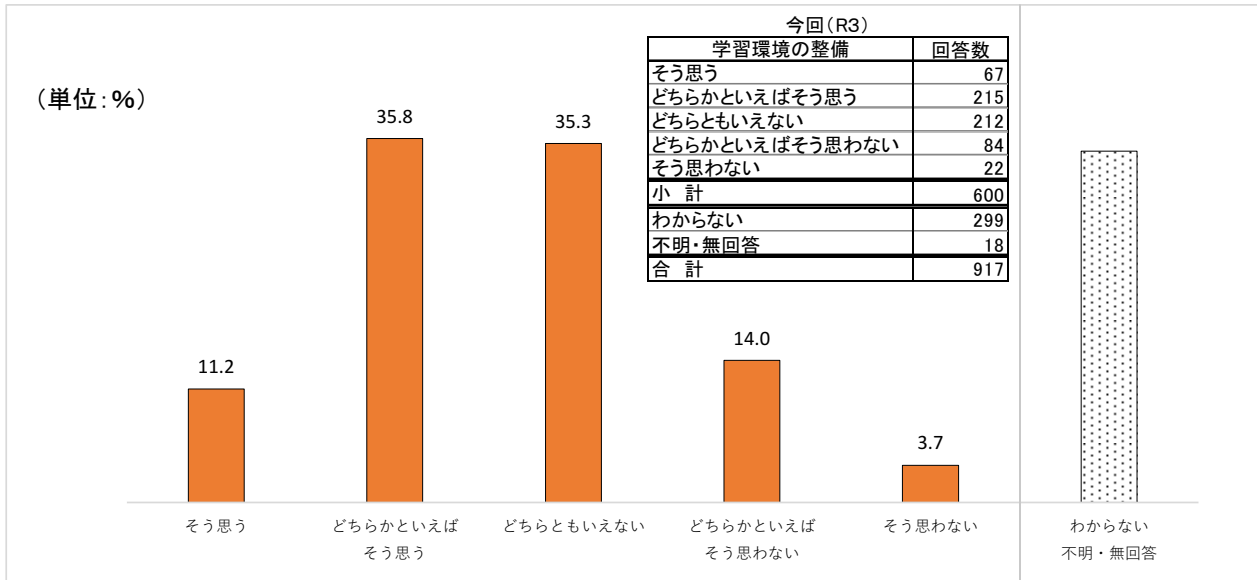


年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が83.4%と最も高くなっています。否定的回答は「20代」で27.0%と最も高く、次いで「30代」（24.7%）となっています。

学区別では、「玉津学区」の肯定的回答が56.0%と最も高く、次いで「吉身学区」（50.5%）となっています。その一方で、「速野学区」では低くなっています。

④ 学習環境の整備

問 4 (4) 守山市は、子どもたちの学びを支える施設（社会教育施設）や環境が充実しているまちだと思いますか。



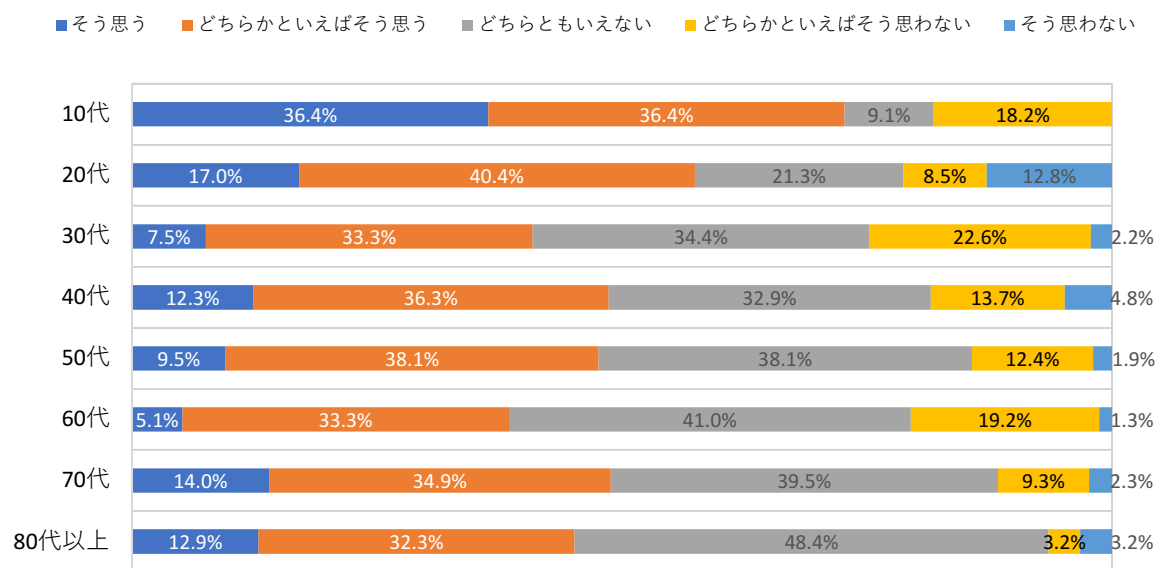
○「どちらかといえばそう思う」が 35.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 35.3%となっています。

○肯定的回答は 47.0%であり、否定的回答（17.7%）の 2.6 倍です。

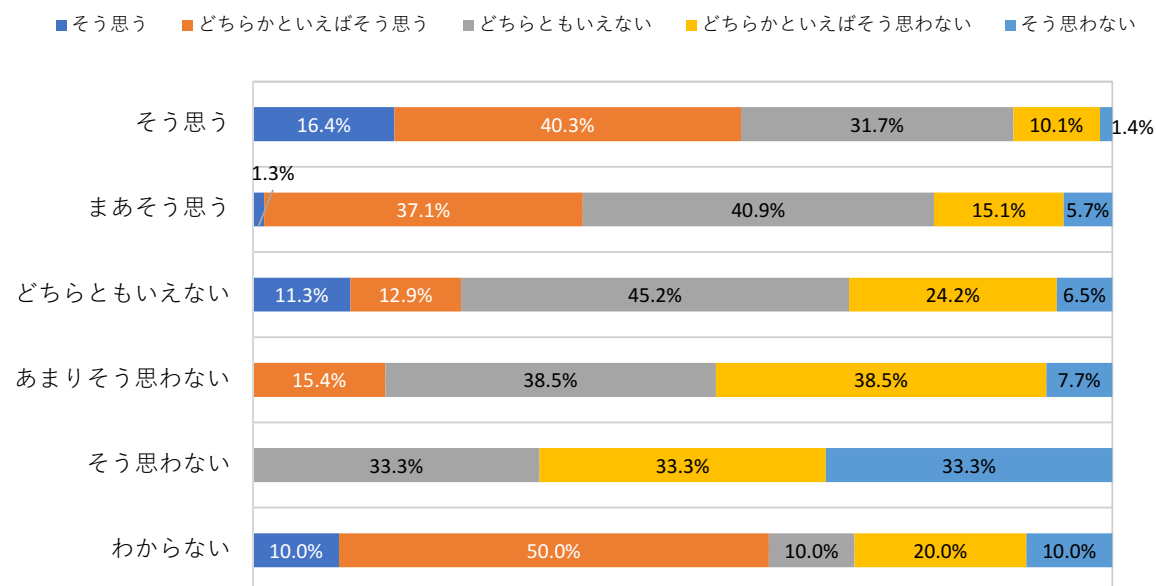
○全体の平均ハート数は 3.4♥となっています。

※「わからない」の回答数は 299 件（全体の約 32%）となっています。

《年齢別》



《居住の意思別》

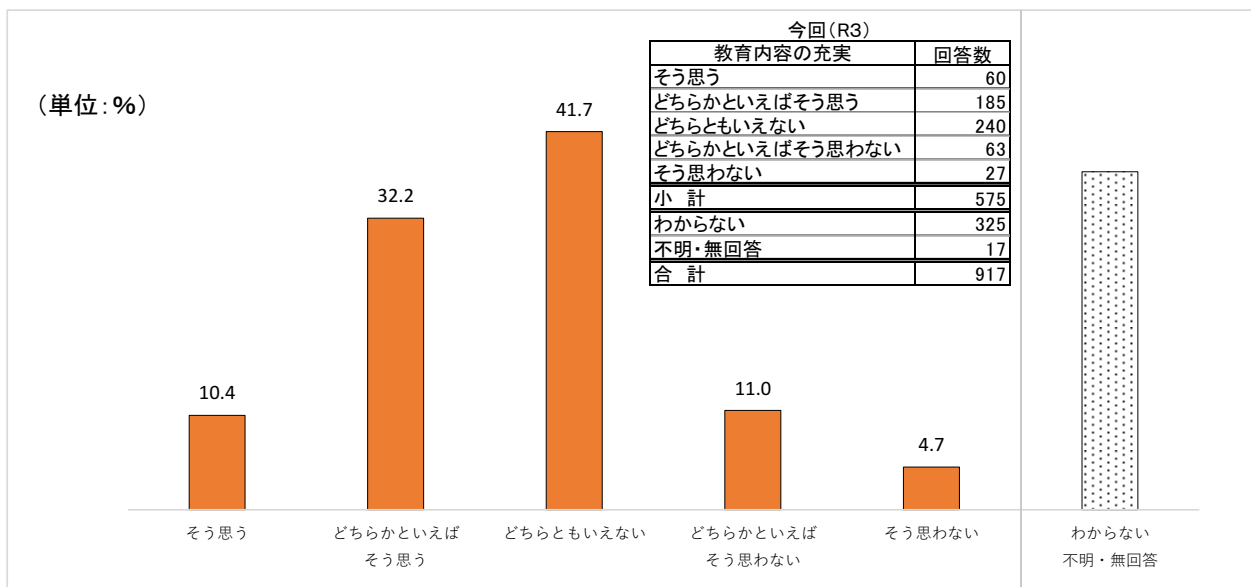


年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が72.8%と最も高く、次いで「20代」（57.4%）となっています。

居住の意思別では、「守山に住み続けたいか」の問いで、「そう思う（住み続けたいと思う）」と回答した方の肯定的回答が56.7%と最も高くなっており、本アンケートでは居住の意思と子どもたちの学びを支える環境への満足度が比例しています。

⑤ 教育内容の充実

問 4 (5) 守山市は、子どもたちにとって教育の内容が充実しているまちだと思いますか。



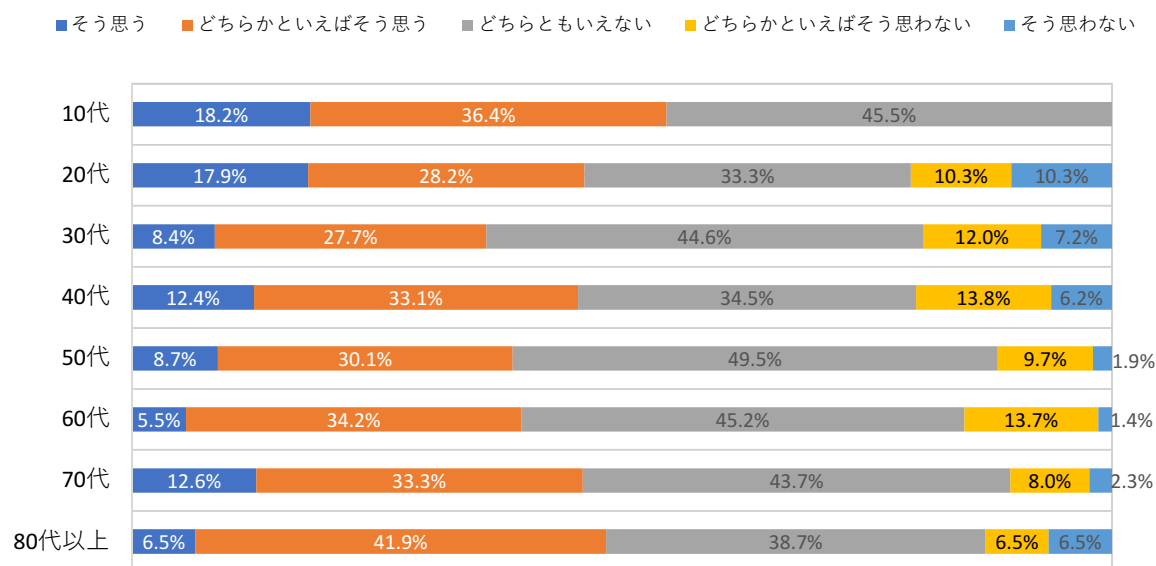
○「どちらともいえない」が 41.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 32.2%となっています。

○肯定的回答は 42.6%であり、否定的回答（15.7%）の 2.7 倍です。

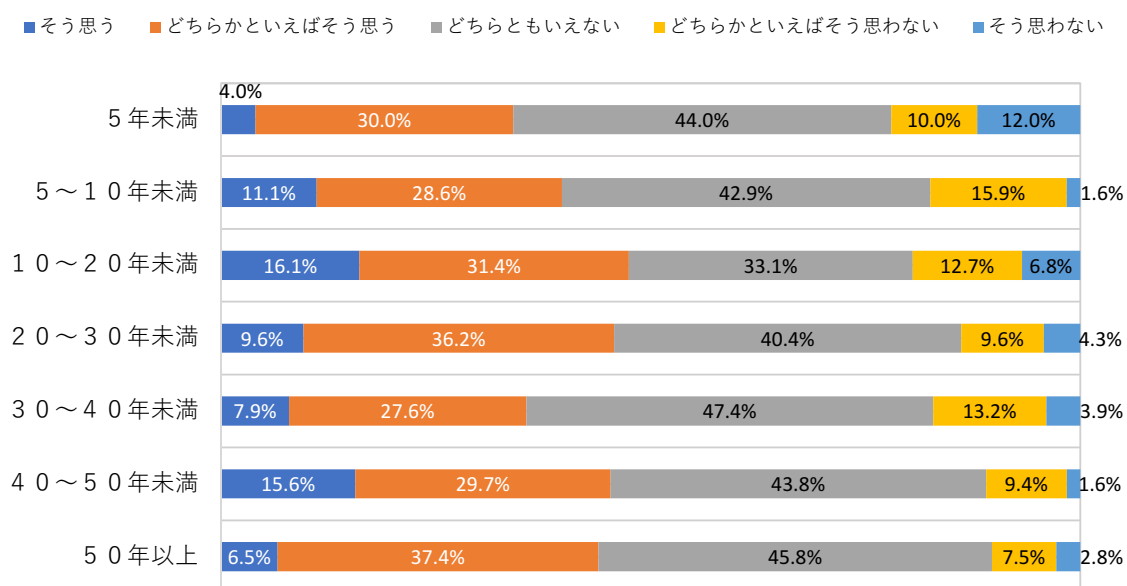
○全体の平均ハート数は 3.4♥となっています。

※「わからない」の回答数は 325 件（全体の約 35%）となっています。

《年齢別》



《居住年数別》

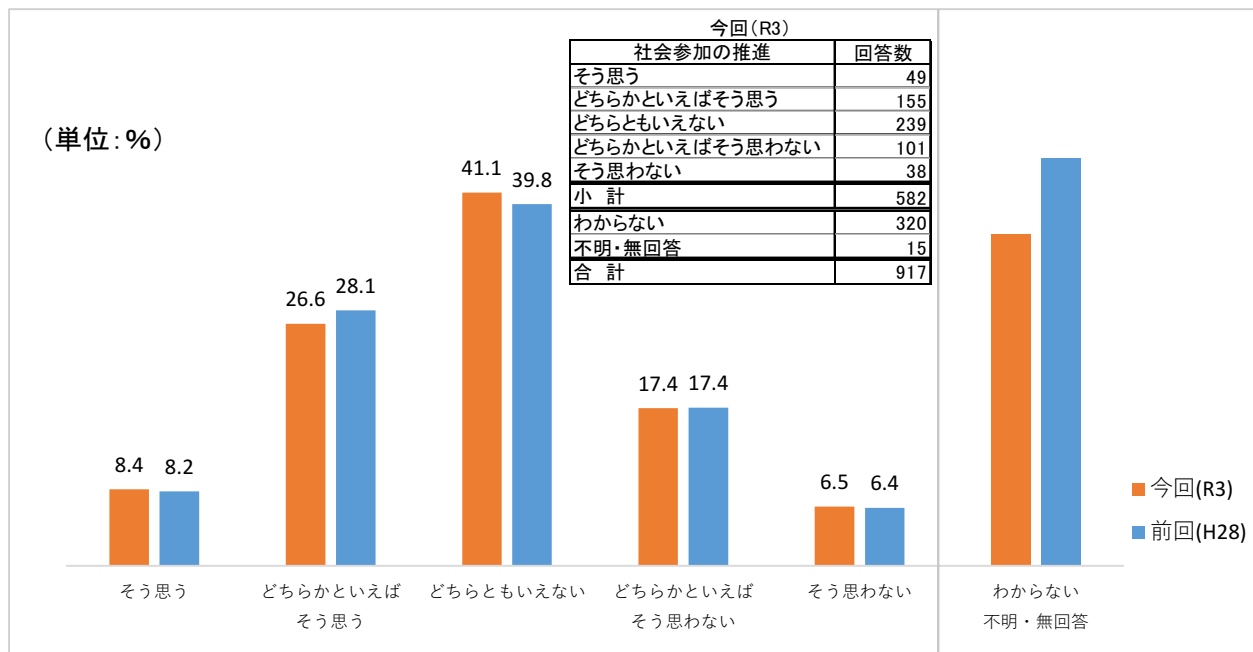


年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が54.6%と最も高く、次いで「80代以上」(48.4%)となっています

居住年数別では、居住年数「10～20年未満」の肯定的回答が47.5%と最も高く、次いで「20～30年未満」(45.8%)となっています。その一方で、「5年未満」(34.0%)が最も低く、次いで「30～40年未満」(35.5%)となっています。

⑥ 社会参加の推進

問 4 (6) 守山市は、子どもたちが地域の活動（清掃活動など）に参加する機会が充実しているまちだと思いますか。



○「どちらともいえない」が41.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が26.6%となっています。

○肯定的回答は35.0%であり、否定的回答（23.9%）の1.4倍です。

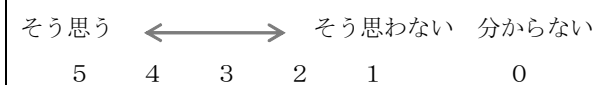
○全体の平均ハート数は3.2♥となっています。

※「わからない」の回答数は320件（全体の約34%）となっています。

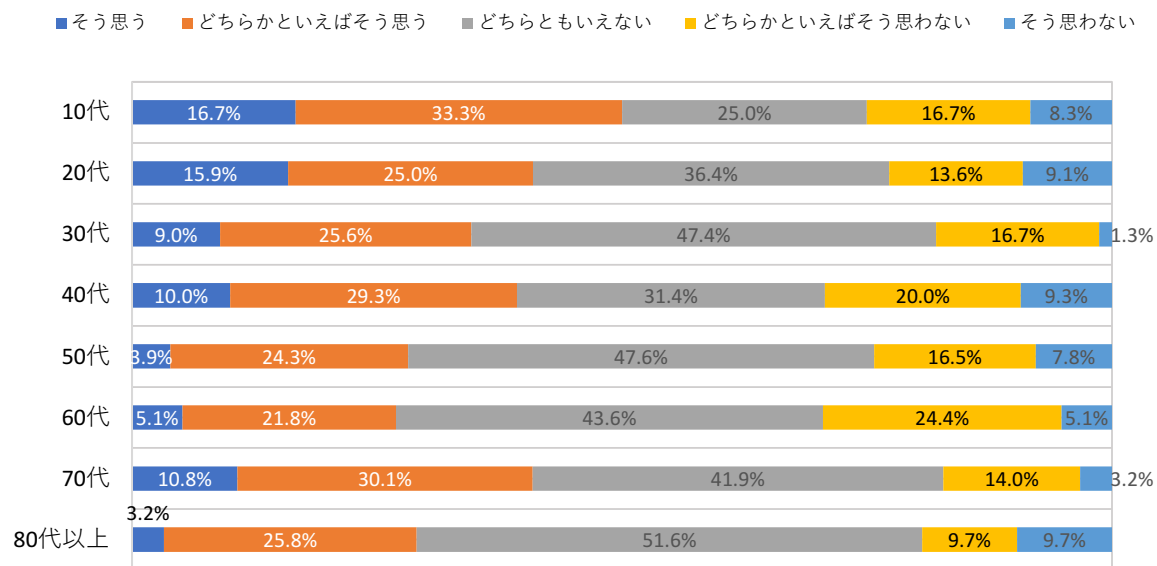
◇前回調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」が1.5ポイント低くなっています。

【前回調査の設問内容】

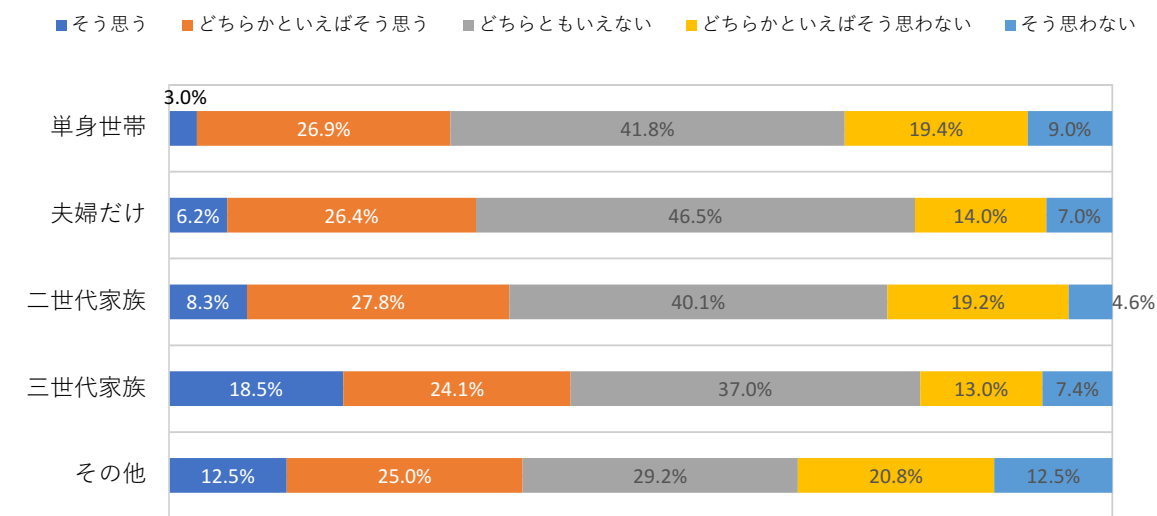
子どもの地域活動（世代を超えた交流を含む）の機会は充実していると思いますか。



《年齢別》



《世帯構成別》



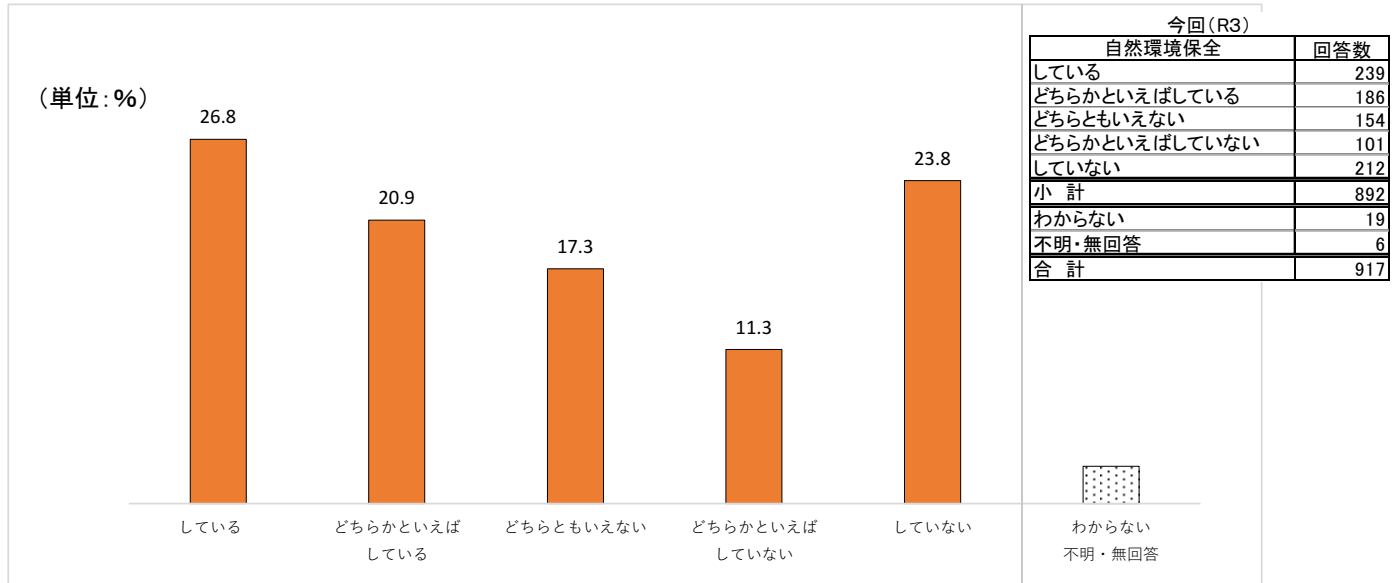
年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が50.0%と最も高く、次いで「20代」と「70代」が40.9%となっています。

世帯構成別では、「三世代家族」の肯定的回答が42.6%と最も高くなっています。その一方で、「単身世帯」の肯定的回答は29.9%と最も低くなっています。

(3) 環境について

① 自然環境保全

問5(1) あなたは、市内で行われる環境美化活動に積極的に参加していますか。



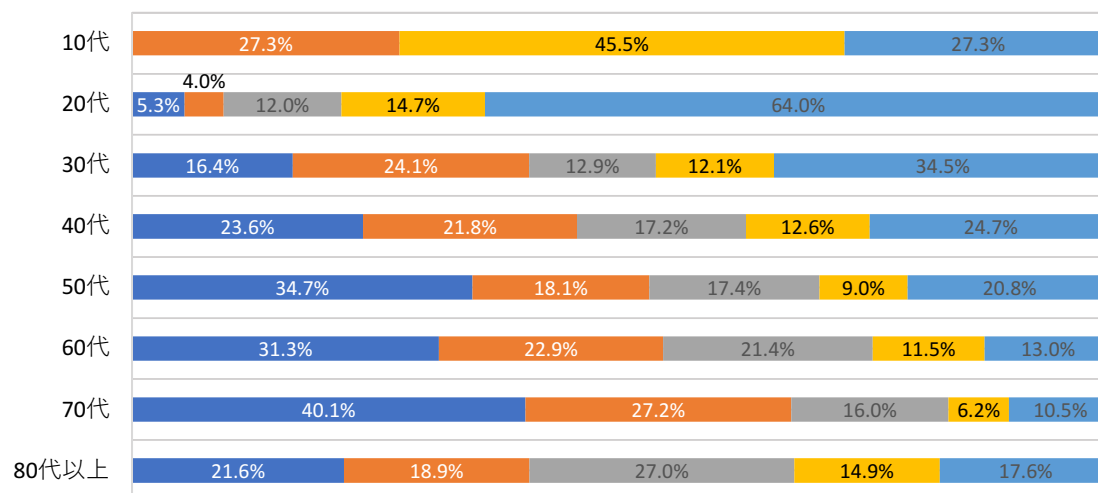
○「している」が26.8%と最も高く、次いで「していない」が23.8%となっています。

○肯定的回答は47.7%であり、否定的回答(35.1%)の1.3倍です。

○全体の平均ハート数は3.2♥となっています。

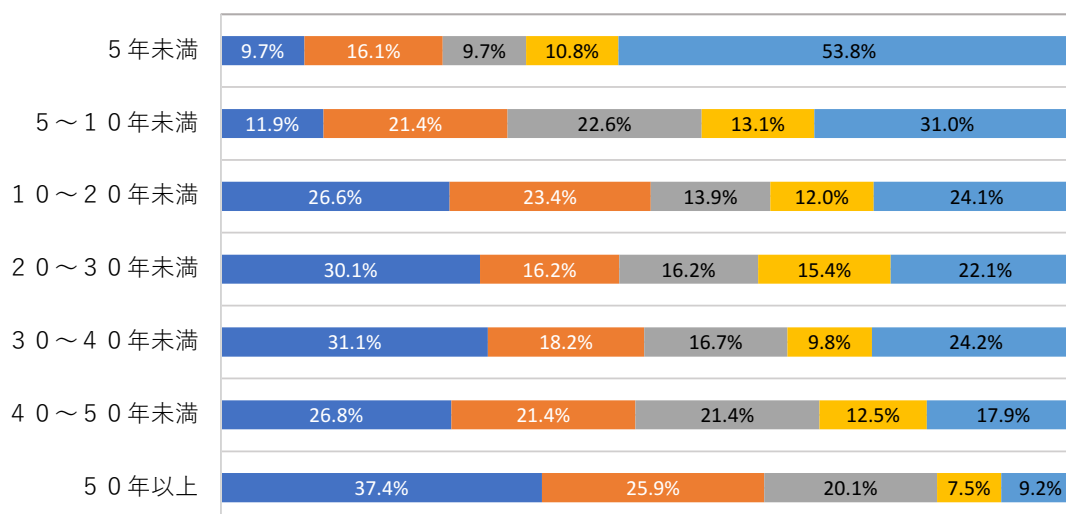
《年齢別》

■ している ■ どちらかといえばしている ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばしていない ■ していない



《居住年数別》

■ している ■ どちらかといえばしている ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばしていない ■ していない

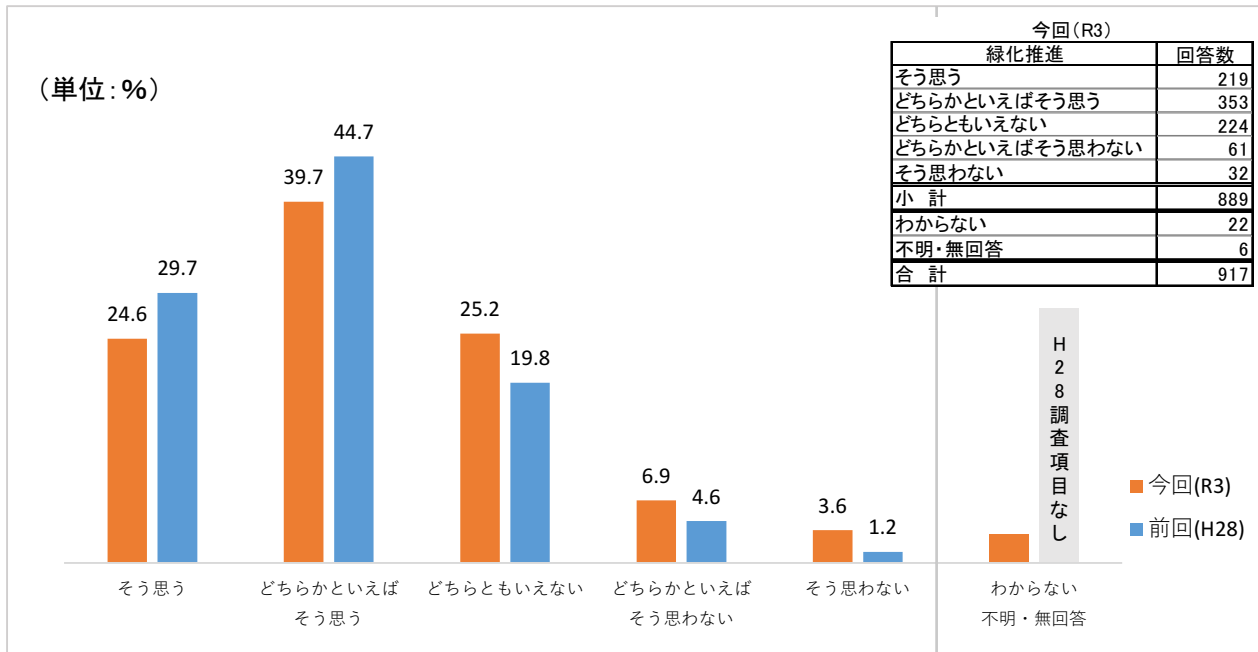


年齢別を見ると、「70代」で参加割合が67.3%と最も高く、この年代から年齢が下がるに従って参加割合が低くなる傾向が伺えます。

居住年数別では、「50年以上」が63.3%と最も高く、居住年数が短いほど不参加割合が高くなる傾向が伺えます。

② 緑化推進

問 5 (2) 守山市は、草木など「緑」が多いまちだと思いますか。



○「どちらかといえばそう思う」が 39.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 25.2%となっています。

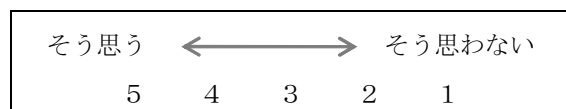
○肯定的回答は 64.3%であり、否定的回答（10.5%）の 6.1 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.8♥となっています。

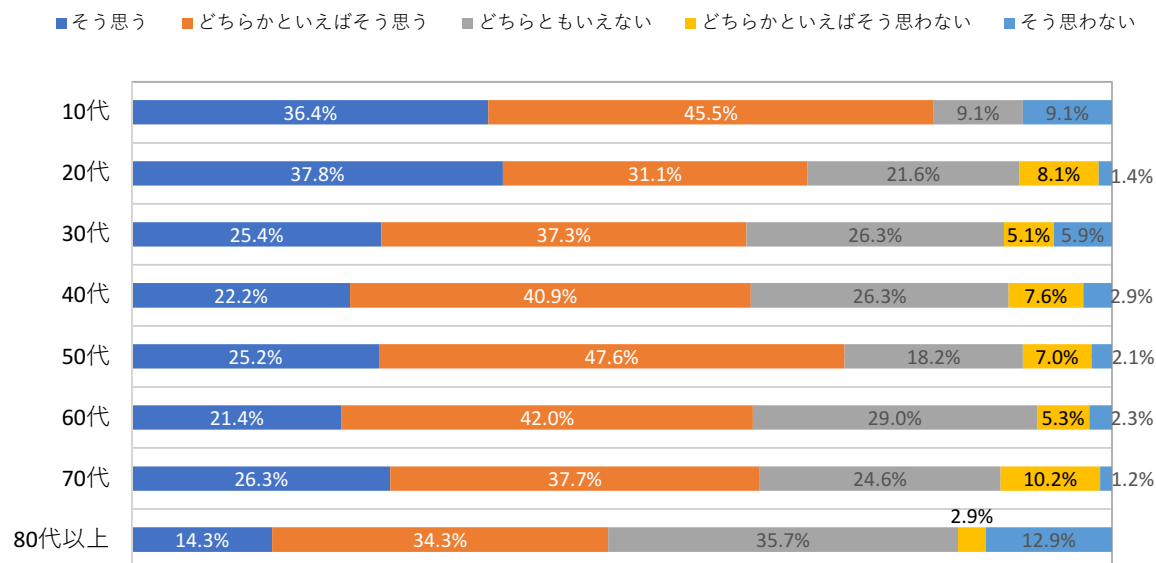
◇前回調査と比較すると、「そう思う」が 5.1 ポイント、「どちらかといえばそう思う」が 5.0 ポイント低くなっています。

【前回調査の設問内容】

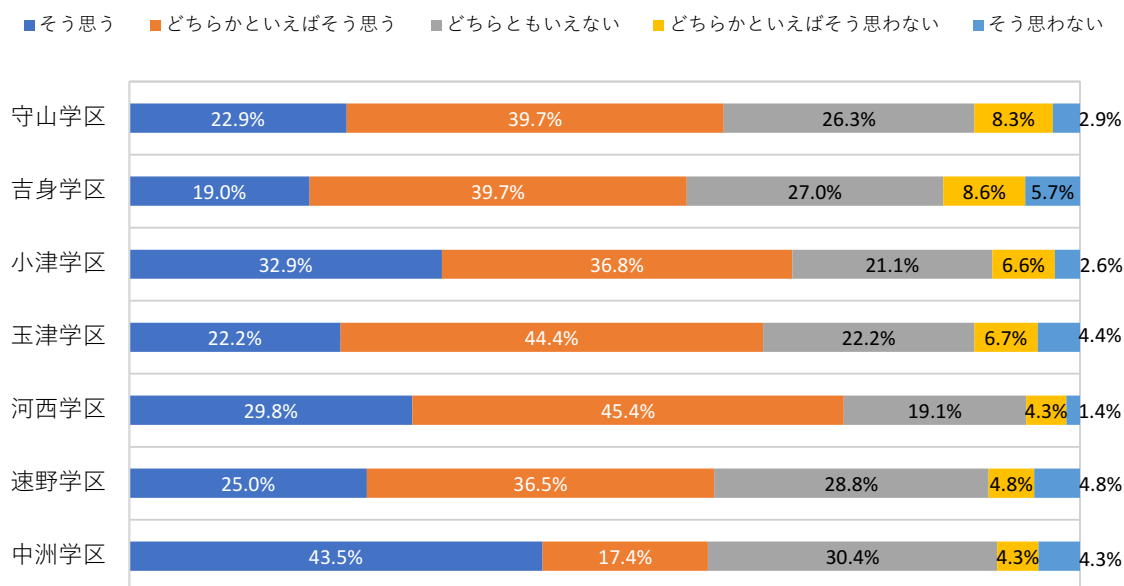
守山市の自然は豊かだと思いますか。



《年齢別》



《学区別》

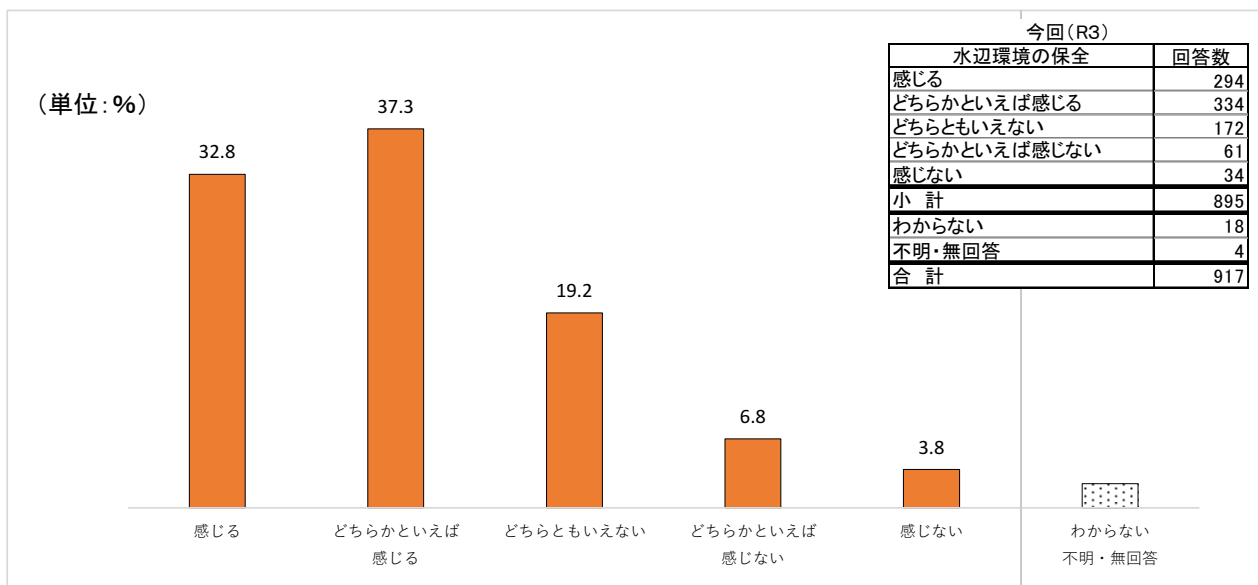


年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が81.9%と最も高く、年齢が上がるに従って肯定的回答が低くなる傾向が伺えます。

学区別では、全ての学区で肯定的回答が5割を超えています。

③ 水辺環境の保全

問5（3） あなたは、琵琶湖や地域の水辺（川など）に親しみを感じますか。



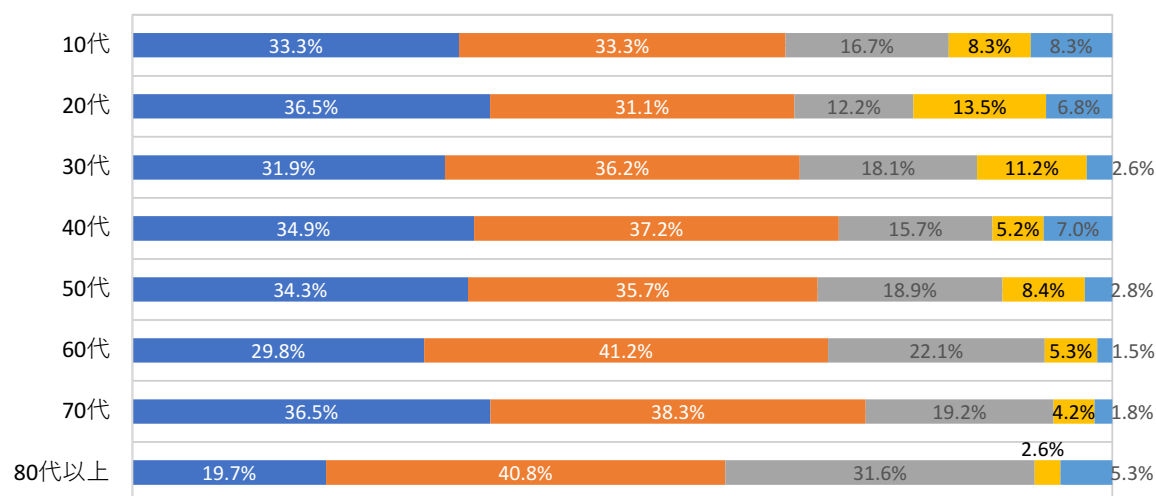
○「どちらかといえば感じる」が 37.3%と最も高く、次いで「感じる」が 32.8%となっています。

○肯定的回答は 70.1%であり、否定的回答（10.6%）の 6.6 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.9♥となっています。

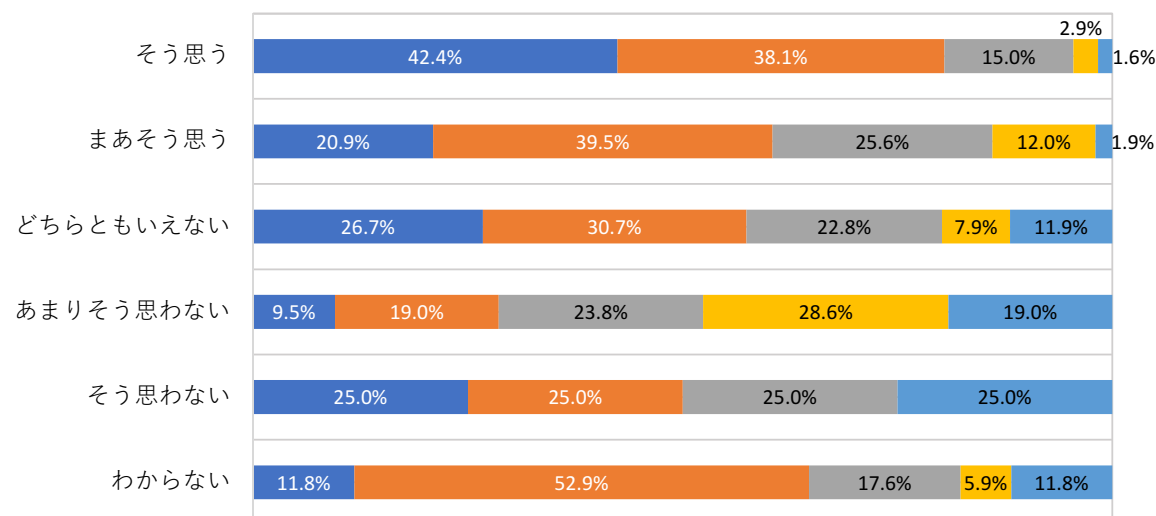
《年齢別》

■感じる ■どちらかといえば感じる ■どちらともいえない ■どちらかといえば感じない ■感じない



《居住の意思別》

■感じる ■どちらかといえば感じる ■どちらともいえない ■どちらかといえば感じない ■感じない

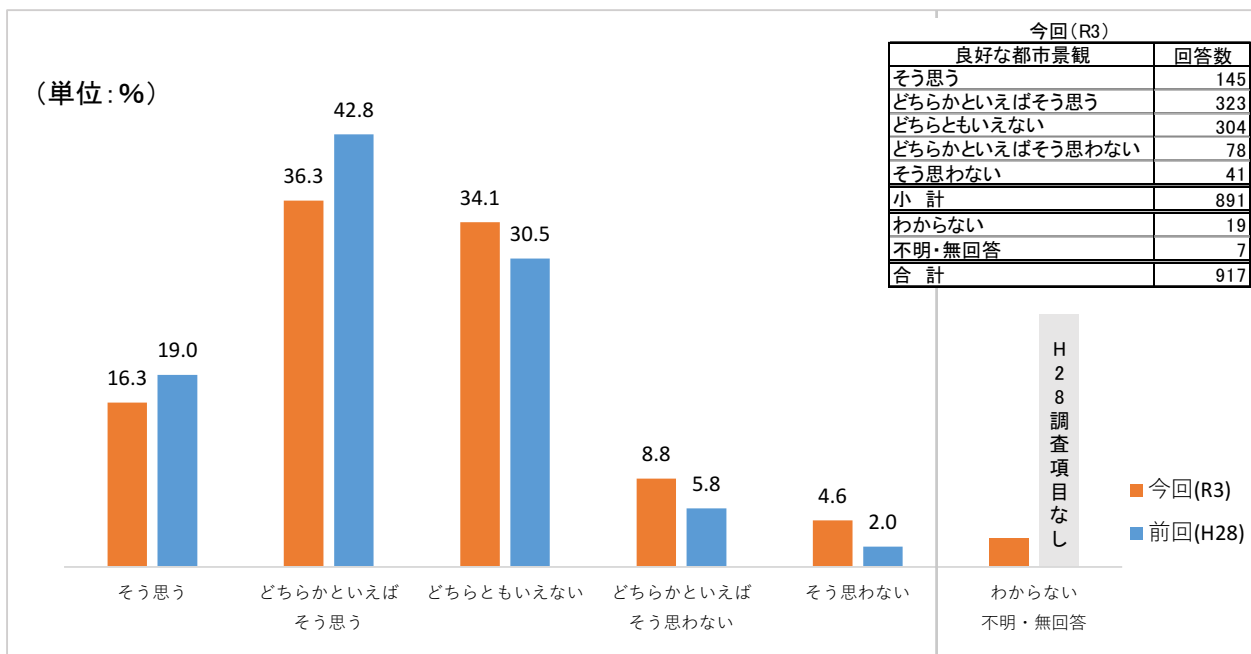


年齢別を見ると、全ての年代で肯定的回答が6割を超えています。

居住の意思別では、「守山に住み続けたいか」の問いで、「そう思う（住み続けたいと思う）」と回答した方の肯定的回答が80.5%と最も高くなっています。

④ 良好な都市景観

問 5 (4) 守山市は、まちなみ・景観・風景が美しいまちだと思いますか。



○「どちらかといえばそう思う」が 36.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 34.1%となっています。

○肯定的回答は 52.6%であり、否定的回答（13.4%）の 3.9 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.5♥となっています。

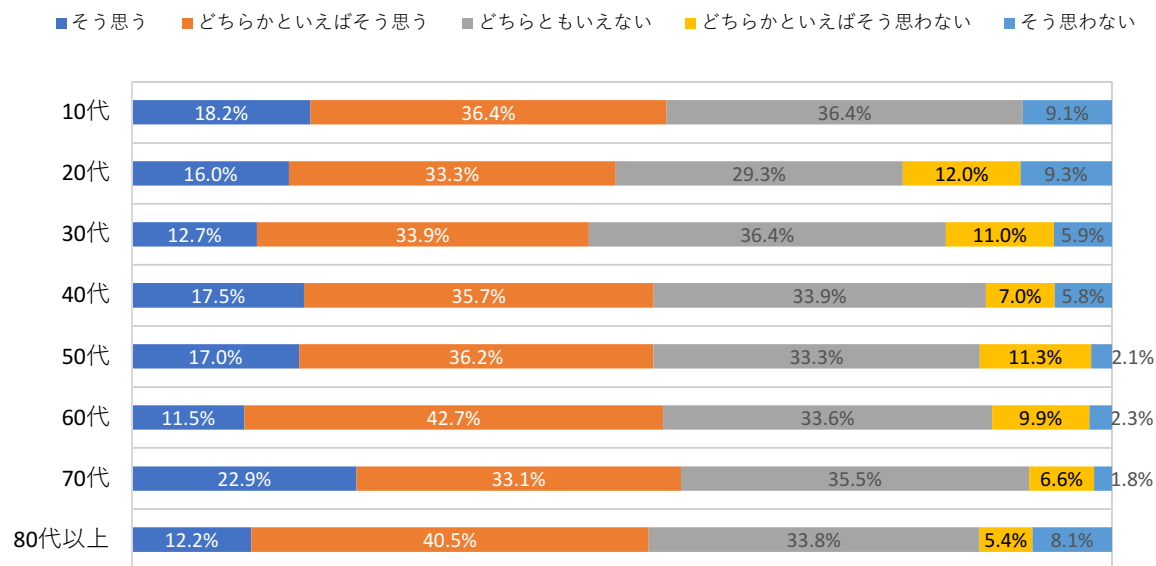
◇前回調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」が 6.5 ポイント低く、「どちらかといえばそう思わない」が 3.0 ポイント高くなっています。

【前回調査の設問内容】

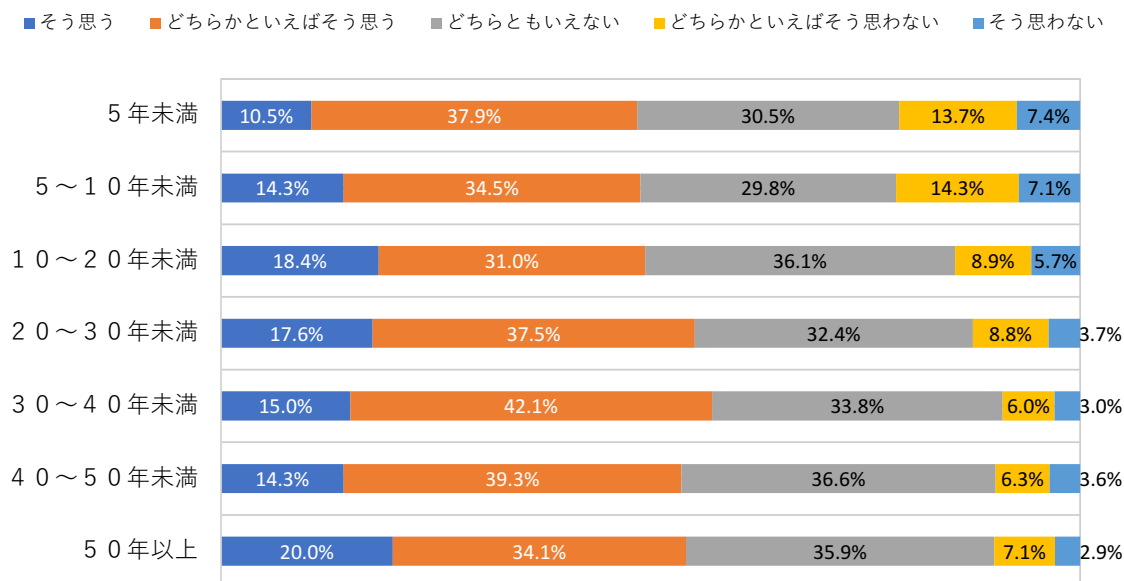
お住まいの地域を美しいと思いますか。

そう思う ←————→ そう思わない
 5 4 3 2 1

《年齢別》



《居住年数別》

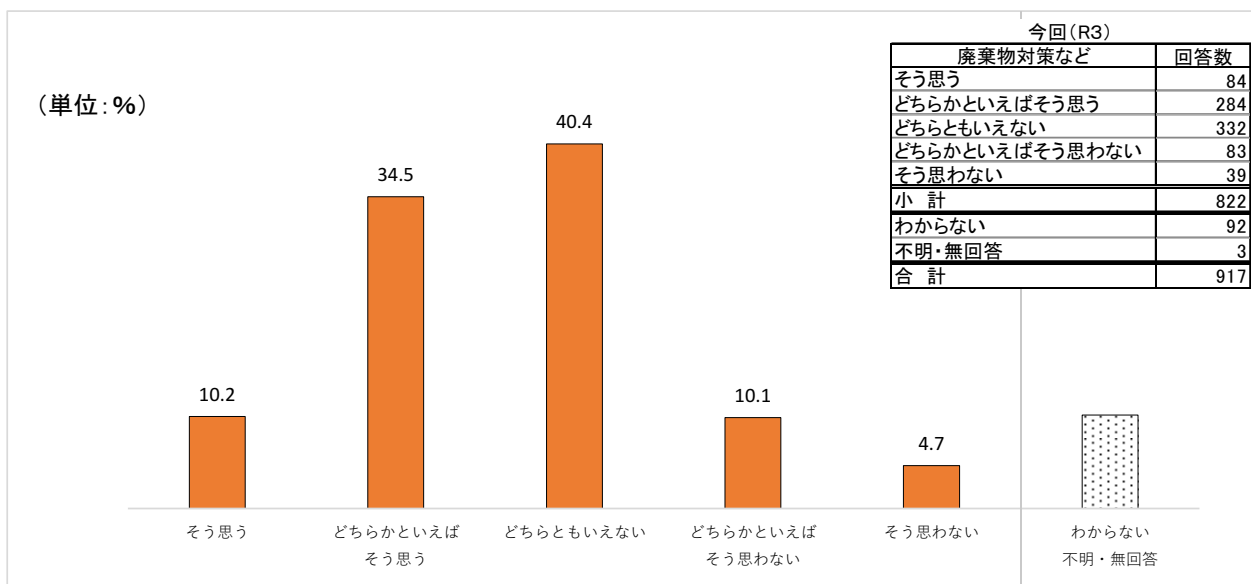


年齢別を見ると、年齢が上がるに従って否定的回答が低くなる傾向が伺えます。

居住年数別の否定的回答を見ると、居住年数が 30 年を超える場合は 10% 程度であるのに対し、10 年未満の場合は 20% を超え、わずかに差が見られます。

⑤ 廃棄物対策など

問 5 (5) 守山市は、ごみの減量化や節水・節電など地球環境にやさしい取り組みが充実しているまちだと思いますか。



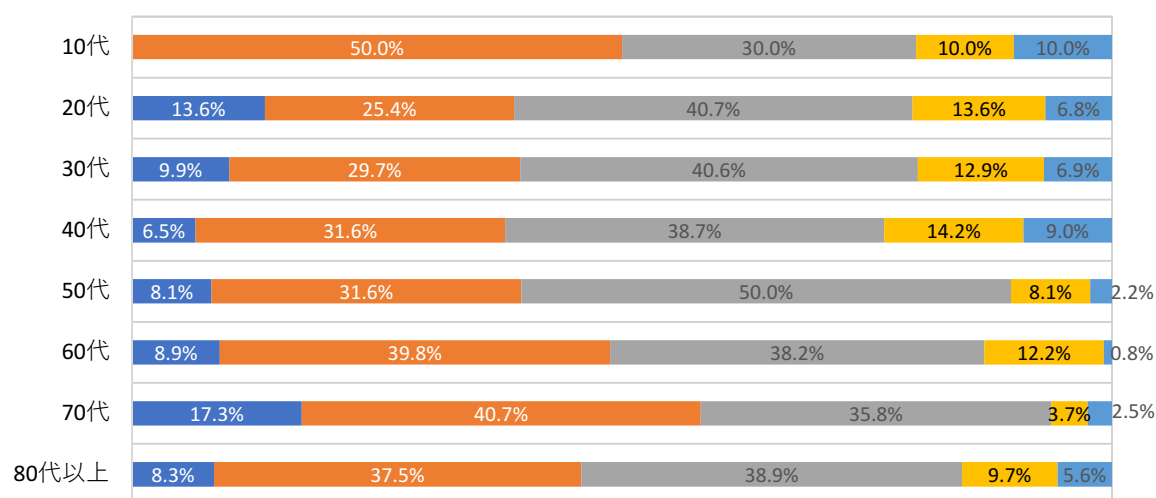
○「どちらともいえない」が 40.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 34.5%となっています。

○肯定的回答は 44.7%であり、否定的回答（14.8%）の 3.0 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.4♥となっています。

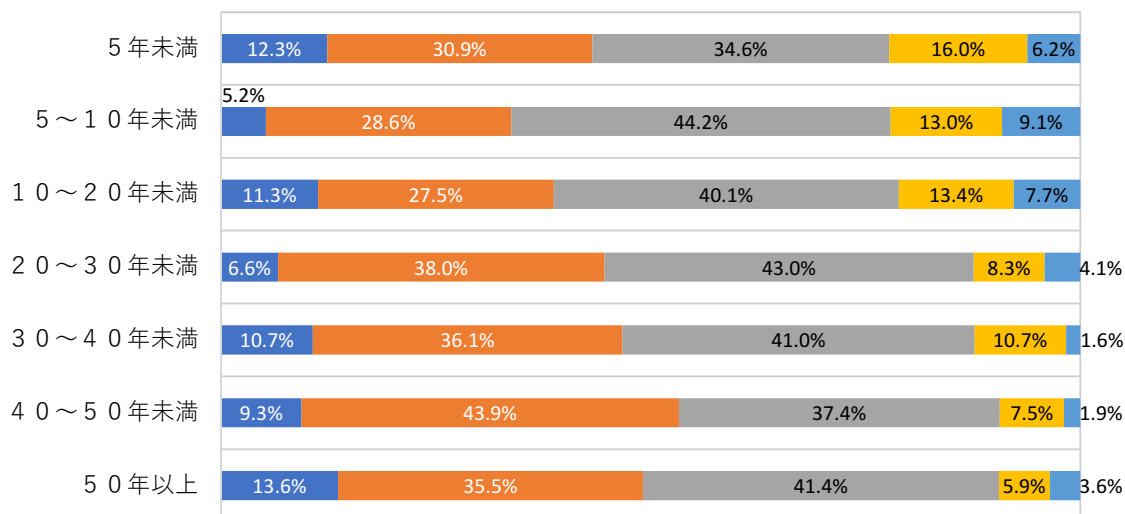
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《居住年数別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

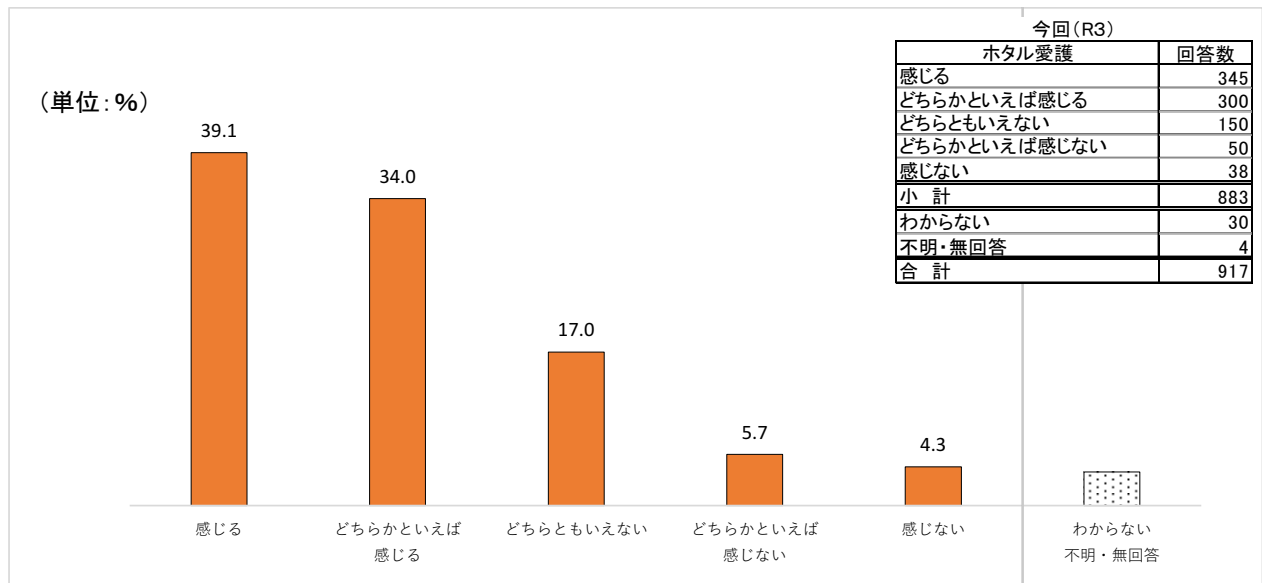


年齢別を見ると、「70代」の肯定的回答が58.0%と最も高くなっています。その一方で、「40代」では38.1%と最も低くなっています。

居住年数別では、居住年数が短いほど否定的回答が高くなる傾向が伺えます。

⑥ ホタル愛護

問 5 (6) あなたは、ホタルが飛び交う景色に親しみを感じますか。

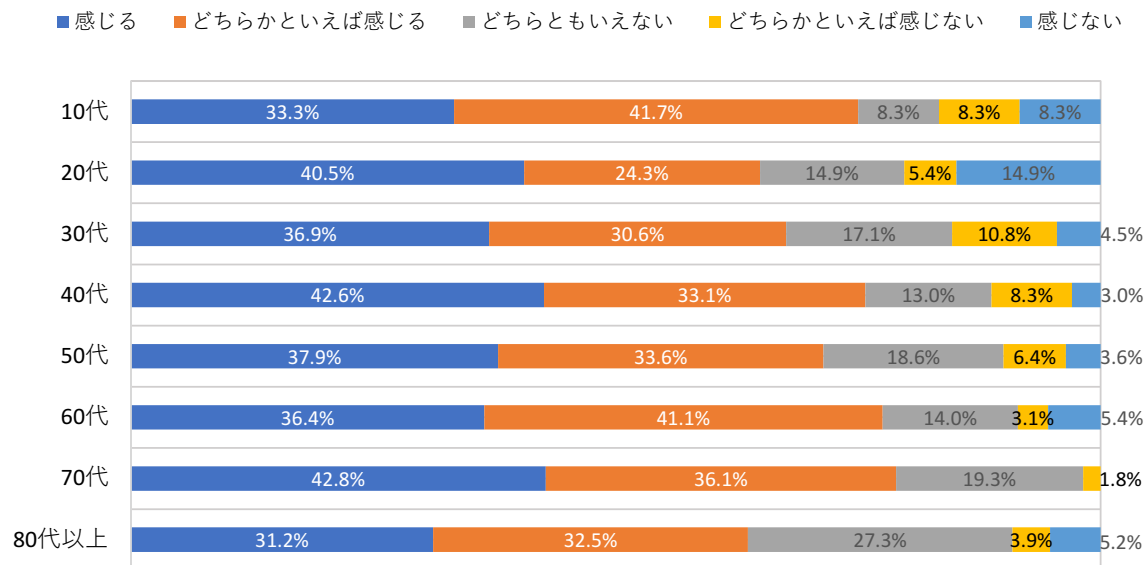


○「感じる」が 39.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば感じる」が 34.0%となっています。

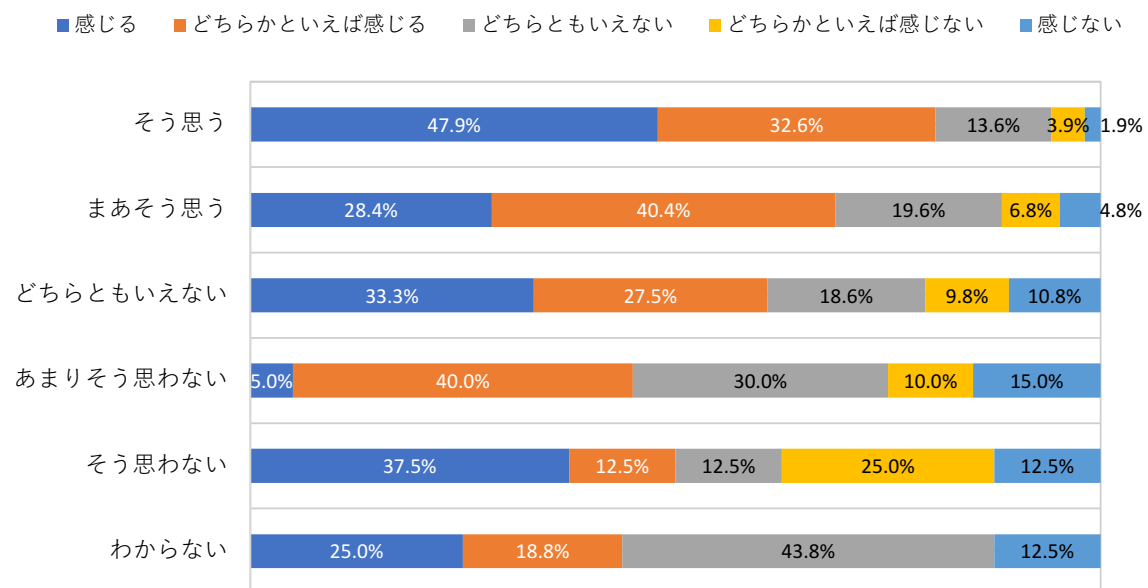
○肯定的回答は 73.1%であり、否定的回答（10.0%）の 7.3 倍です。

○全体の平均ハート数は 4.0❤️となっています。

《年齢別》



《居住の意思別》



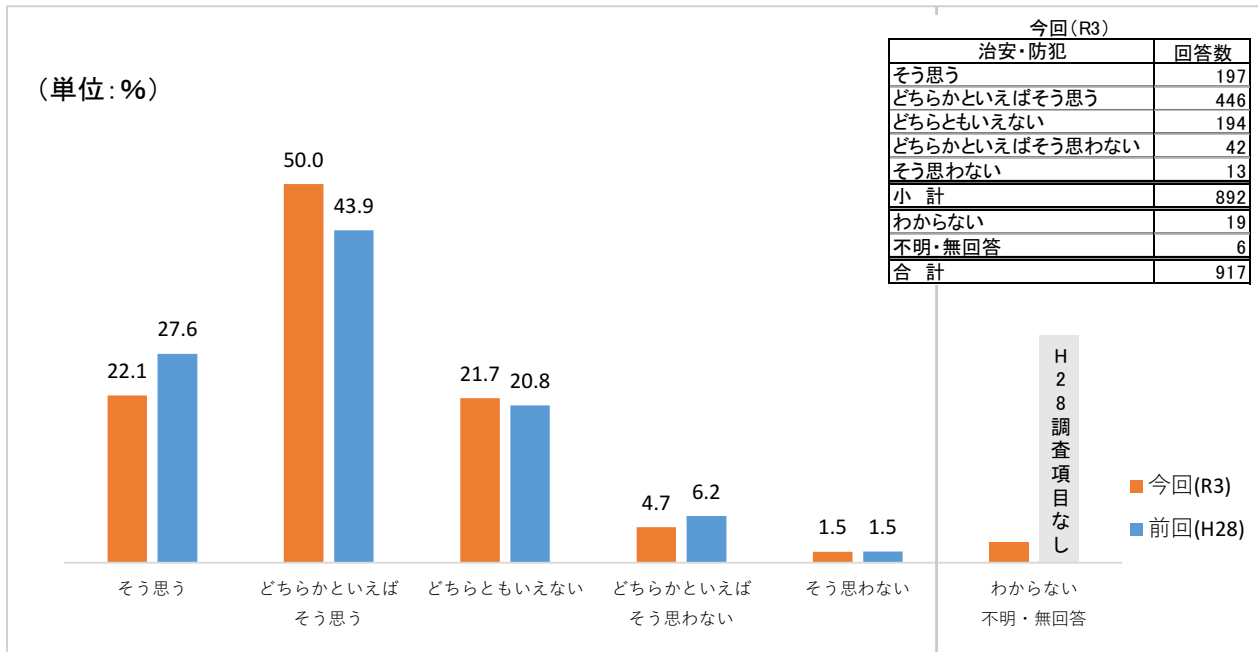
年齢別を見ると、全ての年代で肯定的回答が6割を超えています。その一方で、「20代」の否定的回答が20.3%と最も高く、年齢が上がるに従って否定的回答が低くなる傾向も伺えます。

居住の意思別では、「守山に住み続けたいか」の問いで、「そう思う（住み続けたい）」と回答した方の肯定的回答が80.5%と最も高くなっています。その一方で、「そう思わない（住み続けたくない）」と回答した方の否定的回答が37.5%と最も高くなっています。

(4) 安全・安心について

① 治安・防犯

問6 (1) 守山市は、治安が良く、安心して暮らせるまちだと思いますか。



○「どちらかといえばそう思う」が 50.0%と最も高く、次いで「そう思う」が 22.1%となっています。

○肯定的回答は 72.1%であり、否定的回答（6.2%）の 11.6 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.9♥となっています。

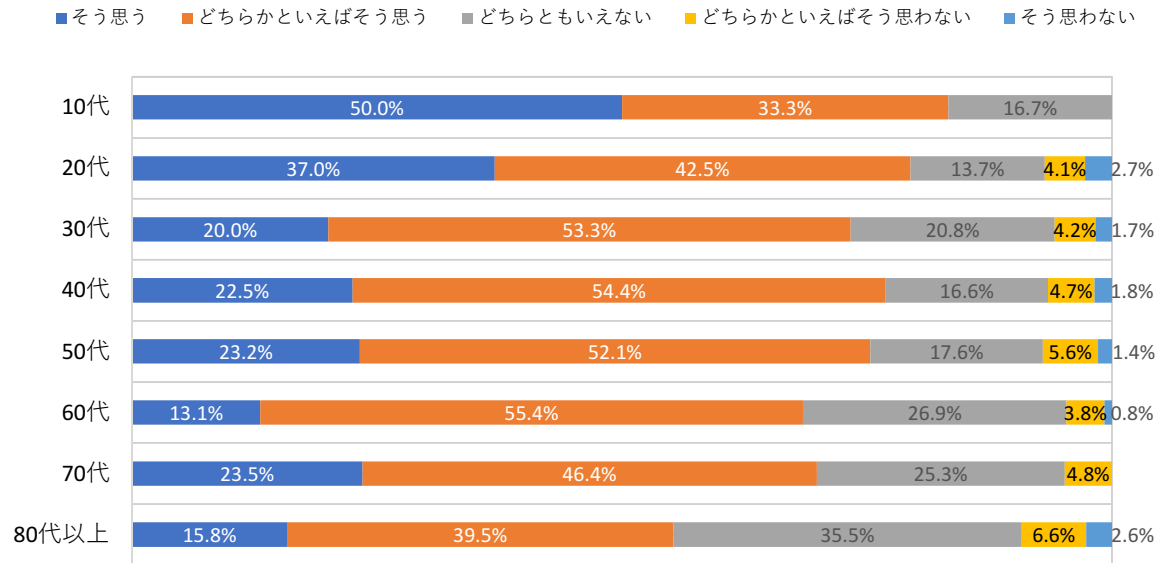
◇前回調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」が 6.1 ポイント高くなっています。

【前回調査の設問内容】

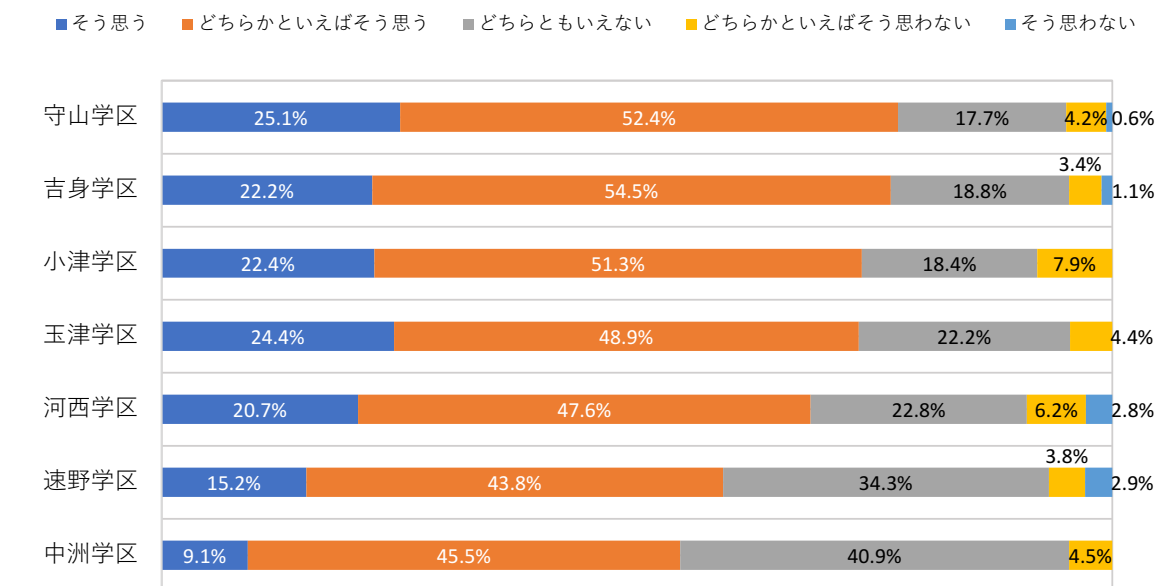
お住まいの地域は、治安がよく、安心して暮らせますか。

暮らせる ←————→ 暮らせない
5 4 3 2 1

《年齢別》



《学区別》

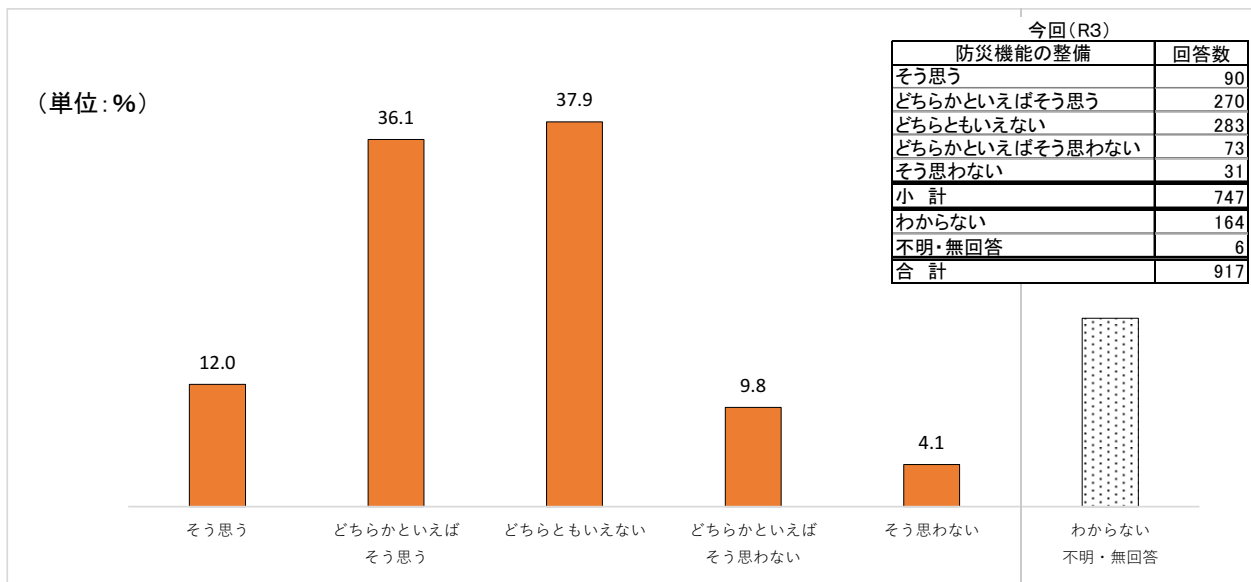


年齢別を見ると、全ての年代で肯定的回答が5割を超えています。また、年齢が上がるに従って肯定的回答が低くなる傾向が伺えます。

学区別では、全ての学区で肯定的回答が5割を超えています。その中でも「守山学区」の肯定的回答が77.5%と最も高くなっています。

② 防災機能の整備

問 6 (2) 守山市は、大雨・台風・地震などの災害に対する備えができているま
ちだと思いませんか。



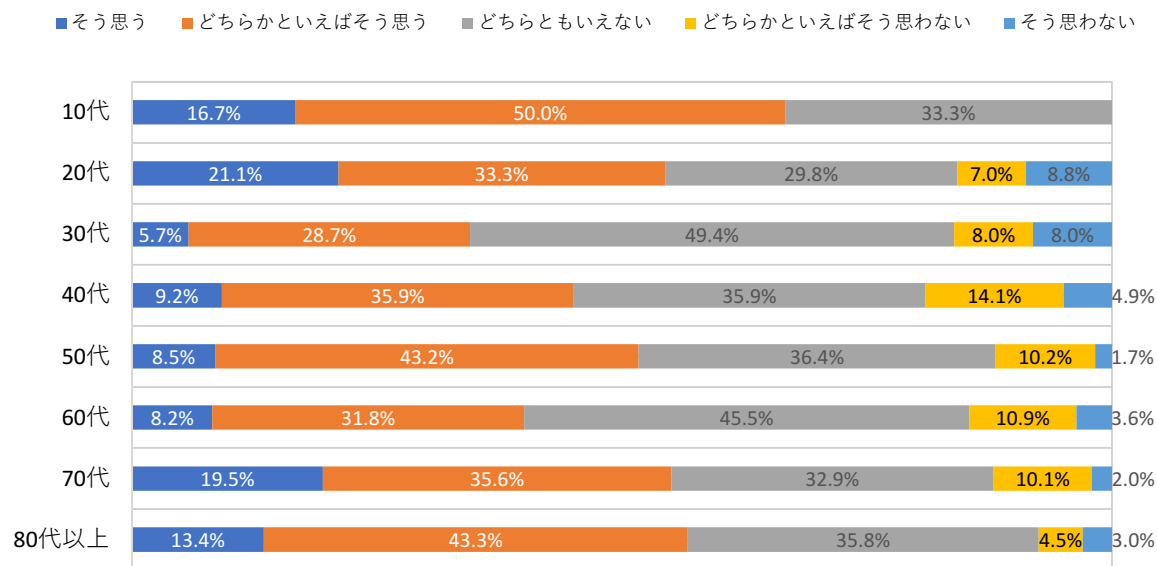
○「どちらともいえない」が 37.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 36.1%となっています。

○肯定的回答は 48.1%であり、否定的回答（13.9%）の 3.5 倍です。

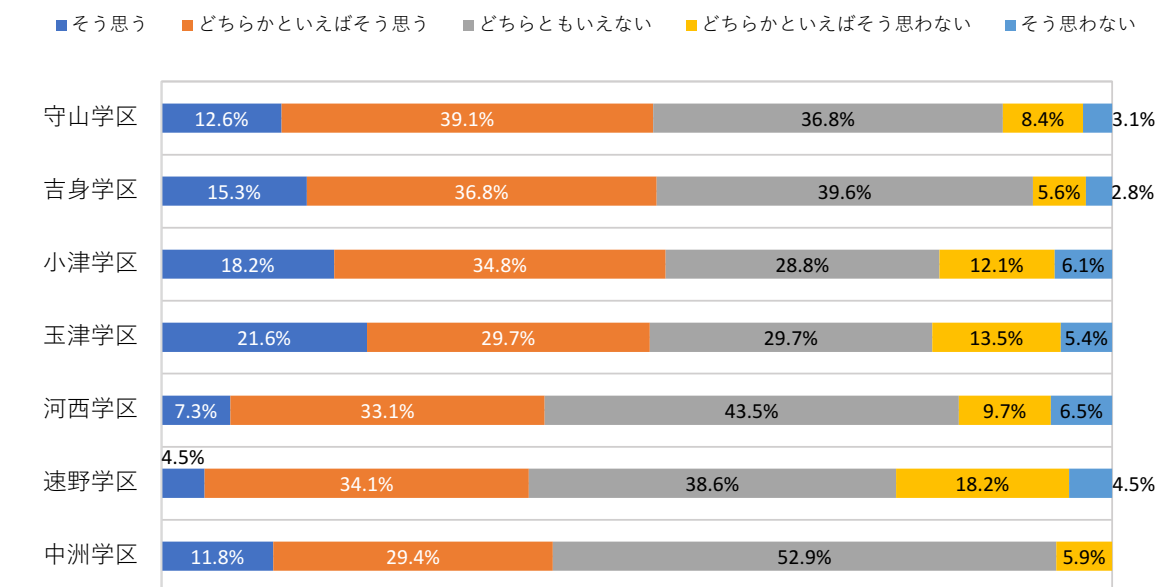
○全体の平均ハート数は 3.5♥となっています。

※「わからない」の回答数は 164 件（全体の約 17%）となっています。

《年齢別》



《学区別》

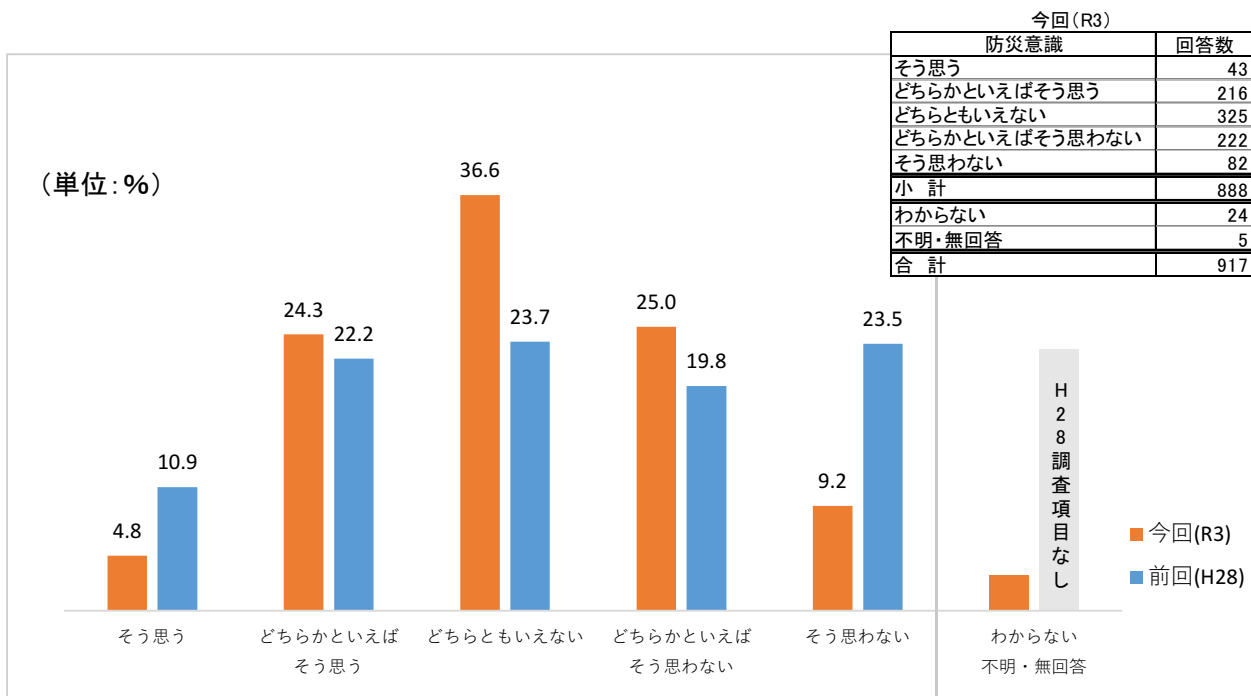


年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が66.7%と最も高く、次いで「80代以上」(56.7%)となっています。その一方で、「30代」と「40代」の否定的回答が高くなっています。

学区別では、「小津学区」の肯定的回答が53.0%と最も高く、次いで「吉身学区」(52.1%)となっています。一方で、「速野学区」、「河西学区」、「中洲学区」が低くなっています。

③ 防災意識

問6（3） あなたは、大雨・台風・地震などの災害に対する備えが普段の生活の中でできていると思いますか。



○「どちらともいえない」が36.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が25.0%となっています。

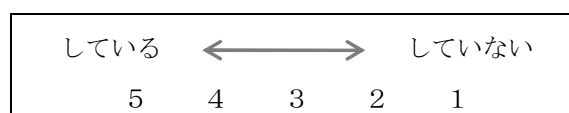
○肯定的回答は29.1%であり、否定的回答（34.2%）を下回っています。

○全体の平均ハート数は2.9♥となっています。

◇前回調査と比較すると、「そう思わない」が14.3ポイント低くなっています。

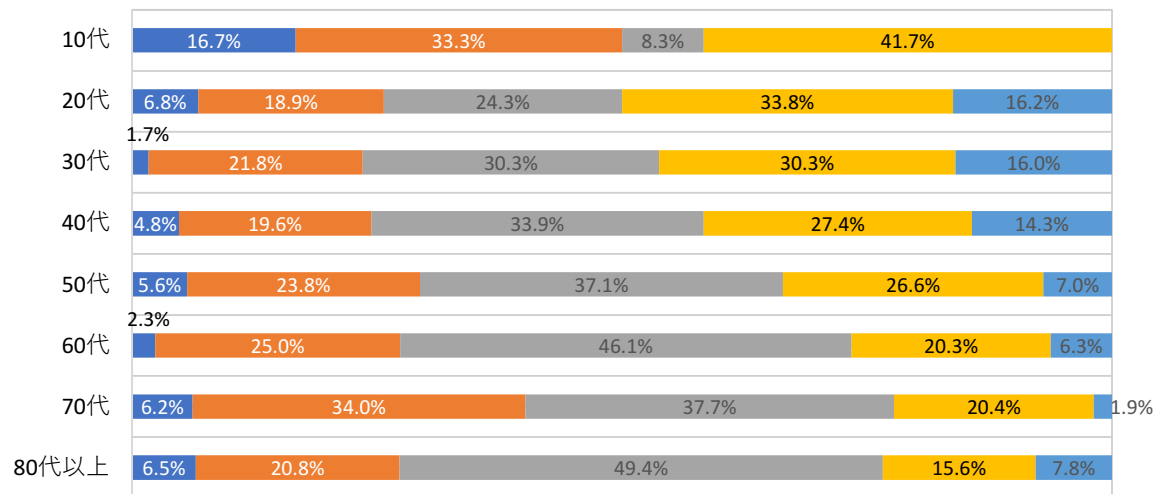
【前回調査の設問内容】

家庭において、災害に対する自主的な備え（避難方法の把握、非常用持ち出し袋の準備など）をしていますか。



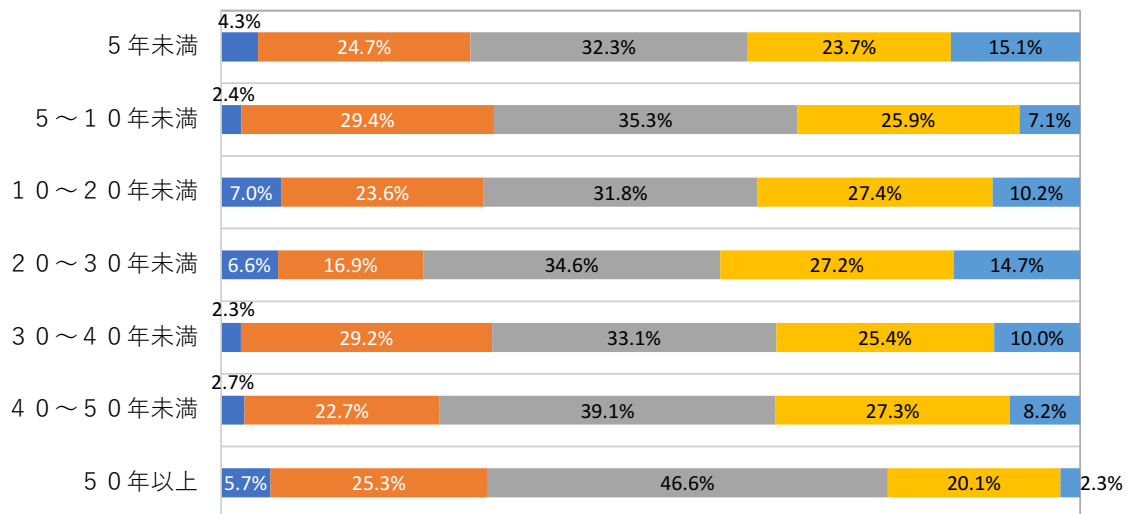
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《居住年数別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

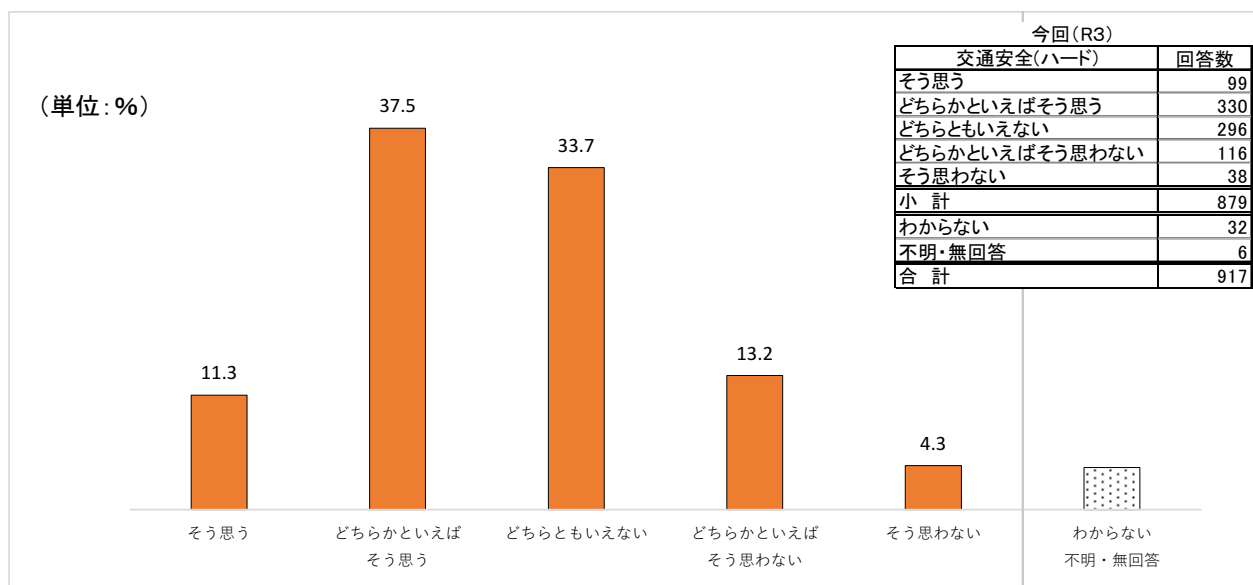


年齢別を見ると、年齢が下がるに従って否定的回答が高くなる傾向が伺えます。

居住年数別では、50 年未満の肯定的回答が、否定的回答よりも低くなっている傾向が伺えます。

④ 交通安全（ハード）

問 6（４） 守山市は、交通安全施設（信号機や道路標識など）が整備されているまちだと思いますか。

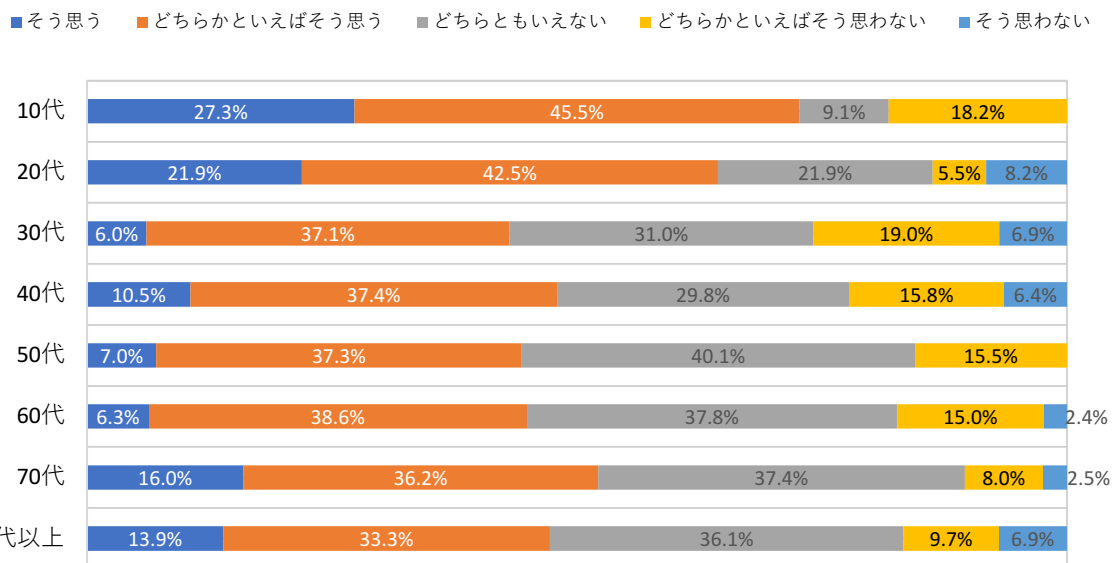


○「どちらかといえばそう思う」が 37.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 33.7%となっています。

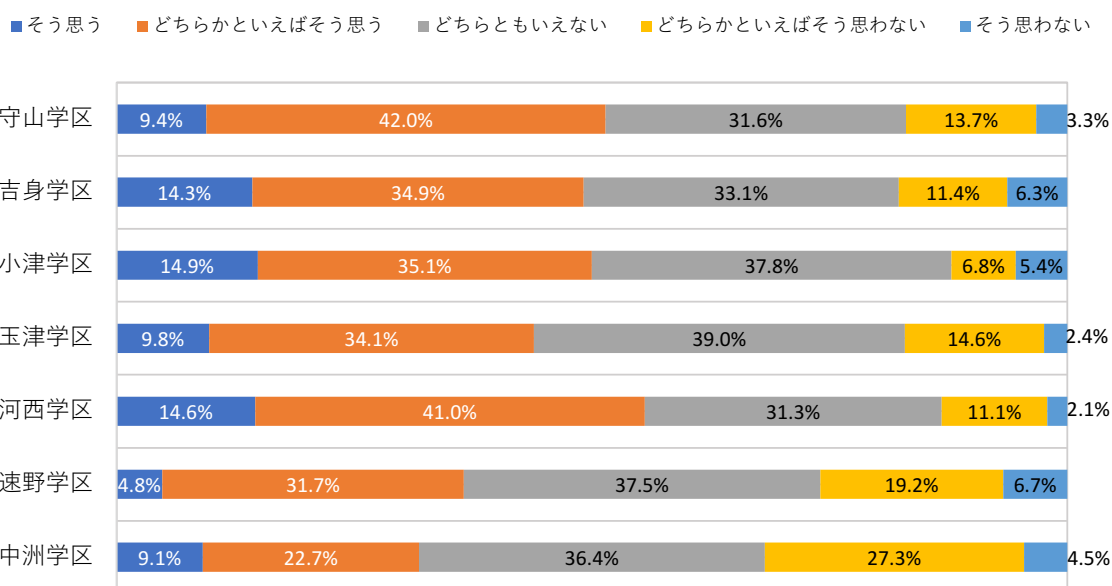
○肯定的回答は 48.8%であり、否定的回答（17.5%）の 2.7 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.4♥となっています。

《年齢別》



《学区別》

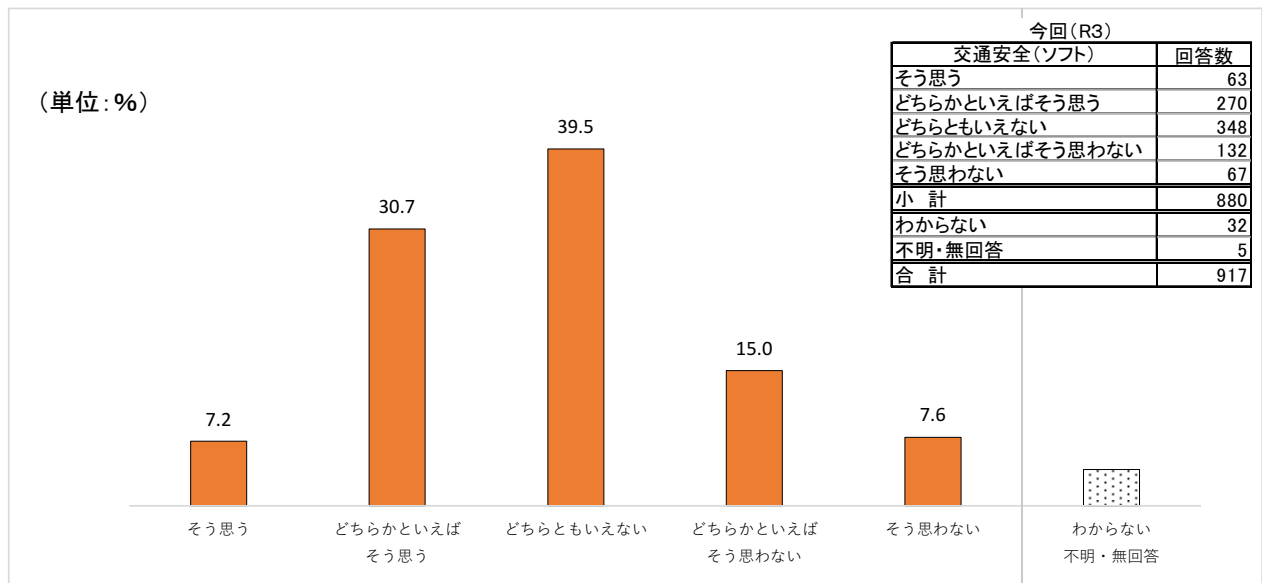


年齢別を見ると、「10代」と「20代」の肯定的回答が高くなっています。その一方で、「30代」で否定的回答が最も高くなり、年齢が上がるに従って否定的回答が低くなる傾向が伺えます。

学区別では、「河西学区」の肯定的回答が55.6%と最も高くなっています。その一方で、「中洲学区」が低くなっています。

⑤ 交通安全（ソフト）

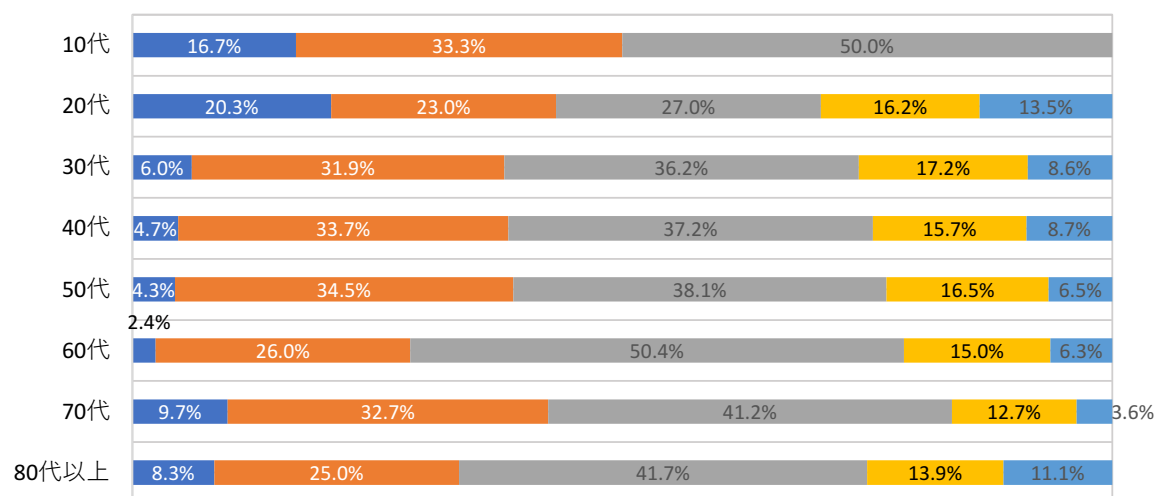
問 6（5） 守山市は、交通ルールやマナーが守られているまちだと思いますか。



- 「どちらともいえない」が 39.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 30.7%となっています。
- 肯定的回答は 37.9%であり、否定的回答（22.6%）の 1.6 倍です。
- 全体の平均ハート数は 3.2❤️となっています。

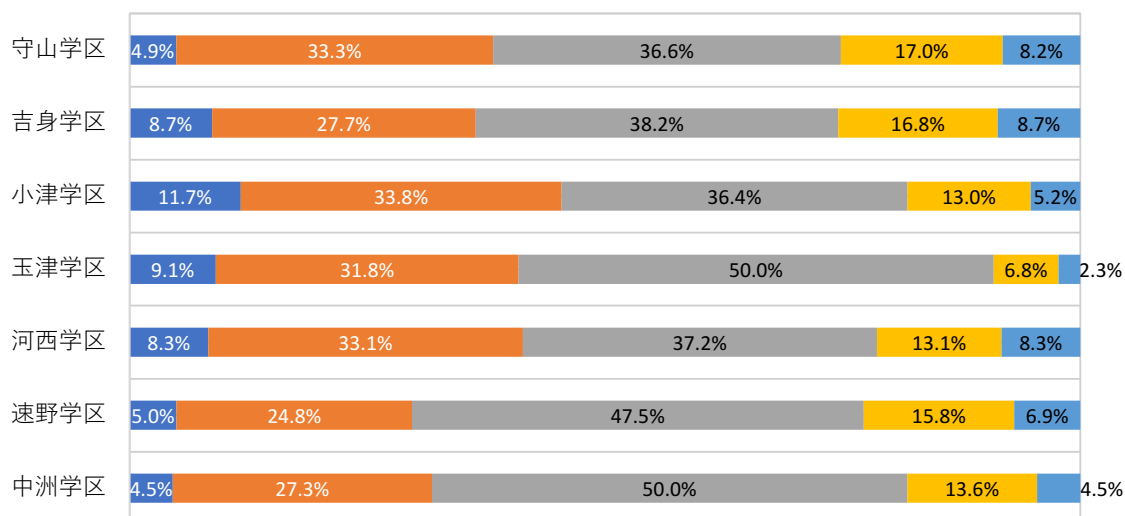
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



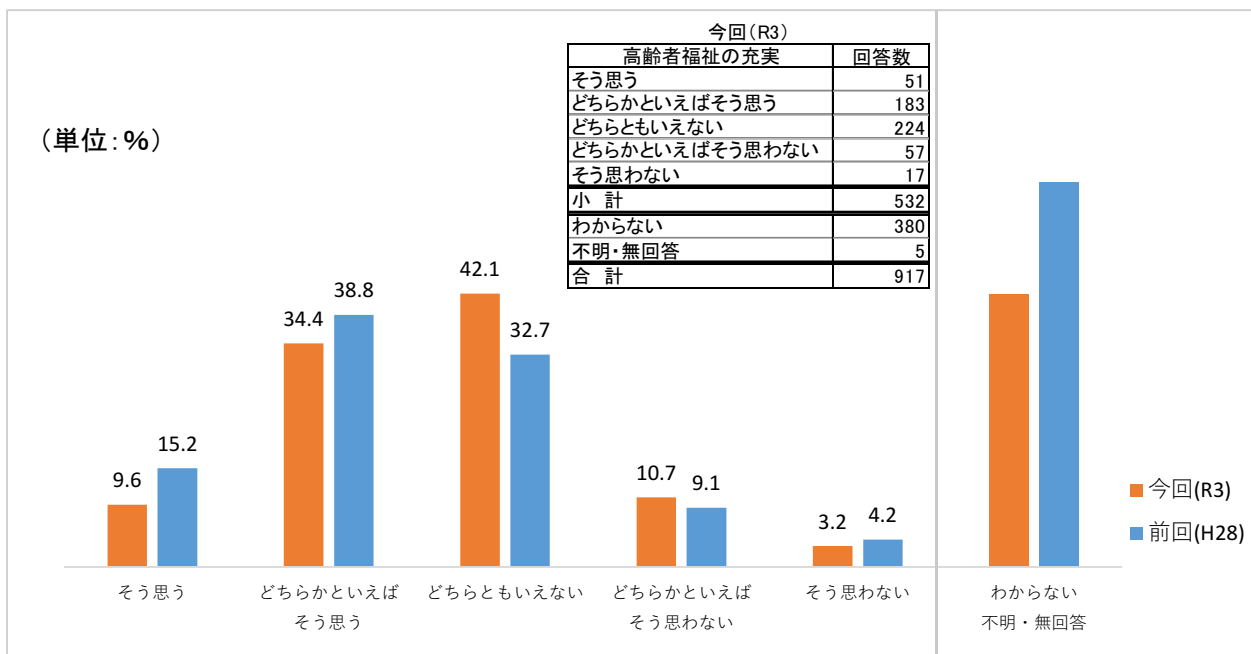
年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が50.0%と最も高く、次いで「20代」（43.3%）となっています。その一方で、「20代」で否定的回答が最も高く、年齢が上がるに従って否定的回答が低くなる傾向が伺えます。

学区別には、「小津学区」の肯定的回答が45.5%と最も高くなっています。その一方で、「速野学区」と「中洲学区」が低くなっています。

(5) 福祉について

① 高齢者福祉の充実

問7(1) 守山市は、高齢者福祉に関する情報やサービスの提供が充実している
まちだと思いますか。



○「どちらともいえない」が42.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.4%となっています。

○肯定的回答は44.0%であり、否定的回答（13.9%）の3.1倍です。

○全体の平均ハート数は3.4♥となっています。

※「わからない」の回答数は380件（全体の約41%）となっています。

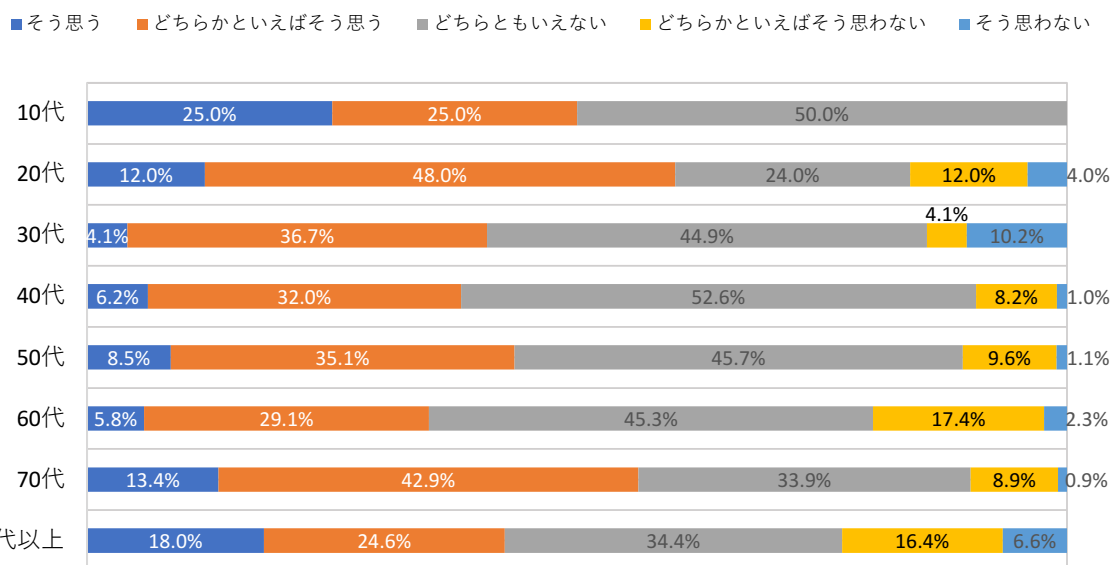
◇前回調査と比較すると、「そう思う」が5.6ポイント、「どちらかといえばそう思う」が4.4ポイント低くなっています。

【前回調査の設問内容】

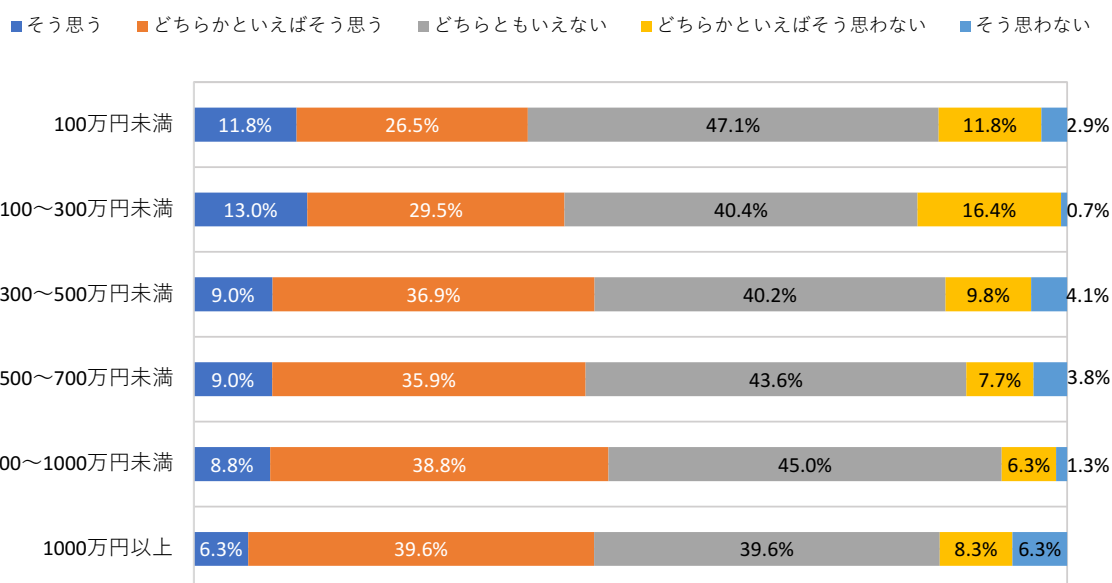
高齢者福祉（生きがいきづくり、介護予防、介護サービス）について

そう思う ←————→ そう思わない 分からない
 5 4 3 2 1 0

《年齢別》



《世帯年収別》

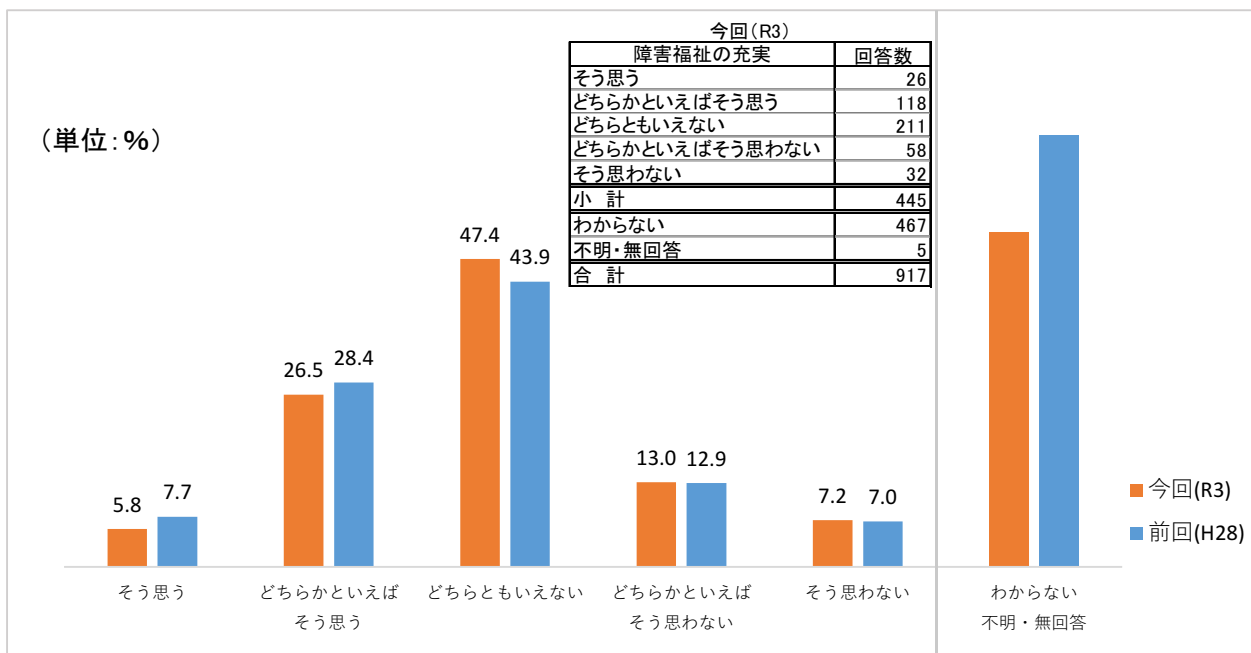


年齢別を見ると、「20代」の肯定的回答が60.0%と最も高く、次いで「70代」（56.3%）となっています。

世帯年収別では、年収が上がるに従って肯定的回答が高くなる傾向が伺えます。

② 障害者福祉の充実

問 7 (2) 守山市は、障害者（児）に関する情報やサービスの提供が充実しているまちだと思いますか。



○「どちらともいえない」が 47.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.5%となっています。

○肯定的回答は 32.3%であり、否定的回答（20.2%）の 1.5 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.1♥となっています。

※「わからない」の回答数は 467 件（全体の約 50%）となっています。

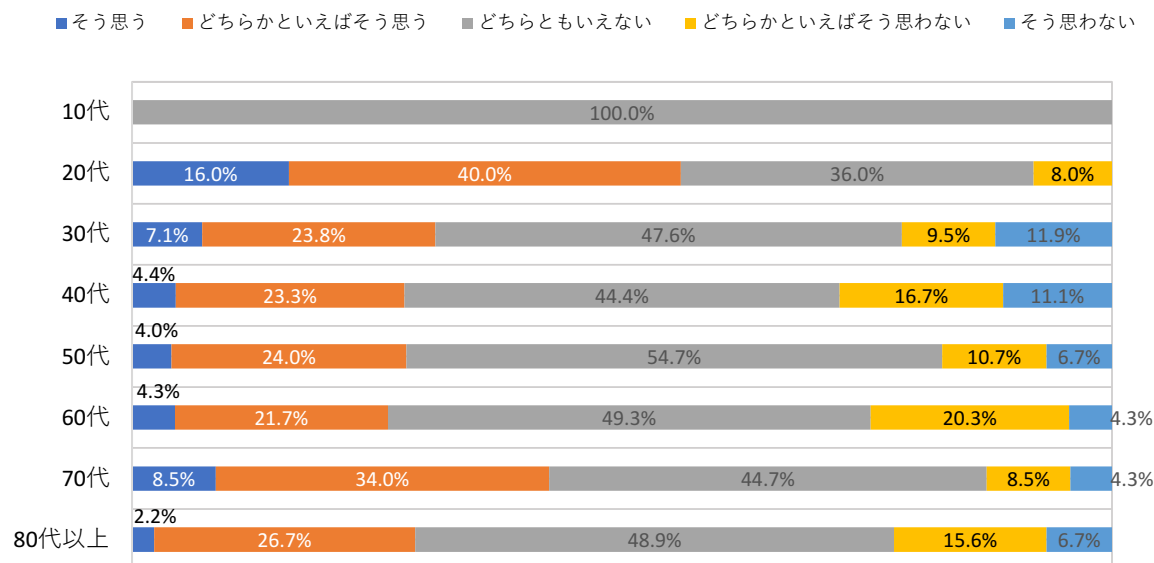
◇前回調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」がそれぞれ 1.9 ポイント低くなっています。

【前回調査の設問内容】

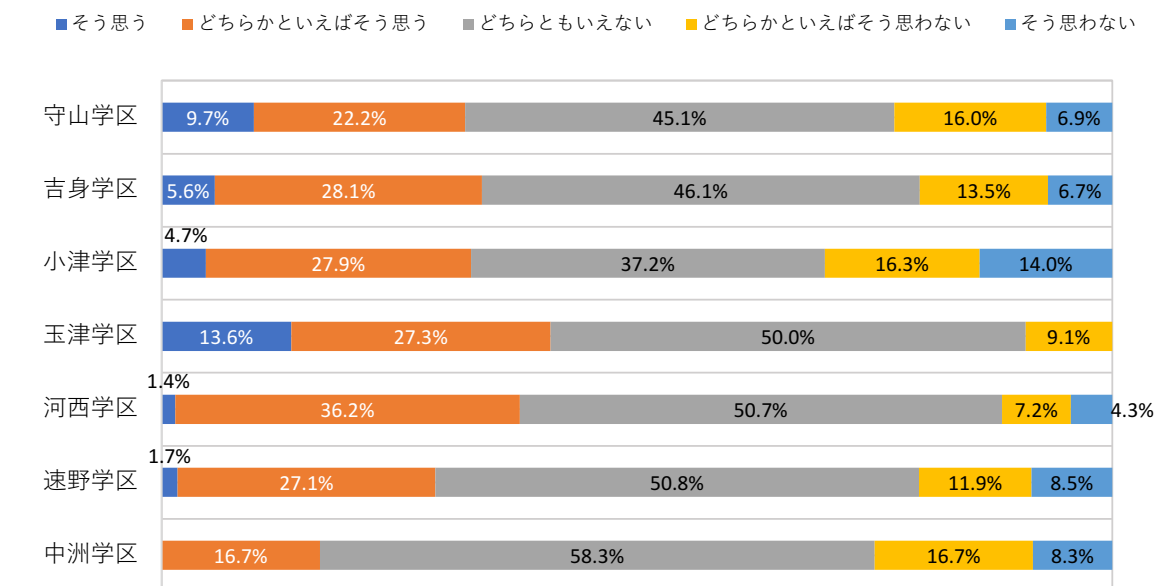
障害者福祉（障害者ケア体制の推進、発達障害者への支援など）について

そう思う ←————→ そう思わない 分からない
 5 4 3 2 1 0

《年齢別》



《学区別》

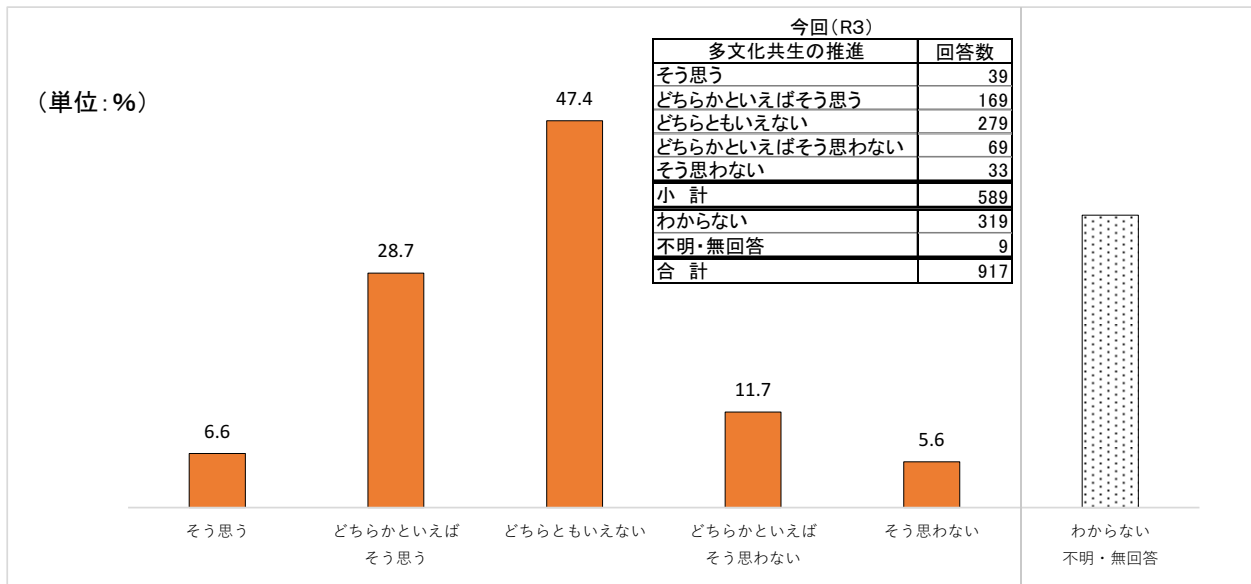


年齢別を見ると、「20代」の肯定的回答が56.0%と最も高く、次いで「70代」（42.5%）となっています。その一方で、「40代」の否定的回答が27.8%と最も高くなっています。

学区別では、「玉津学区」の肯定的回答が40.9%と最も高くなっています。その一方で、「中洲学区」が低くなっています。

③ 多文化共生の推進

問 7 (3) 守山市は、文化や考え方が異なる者同士でも互いを尊重できる、誰もがともに住みやすいまちだと思いますか。



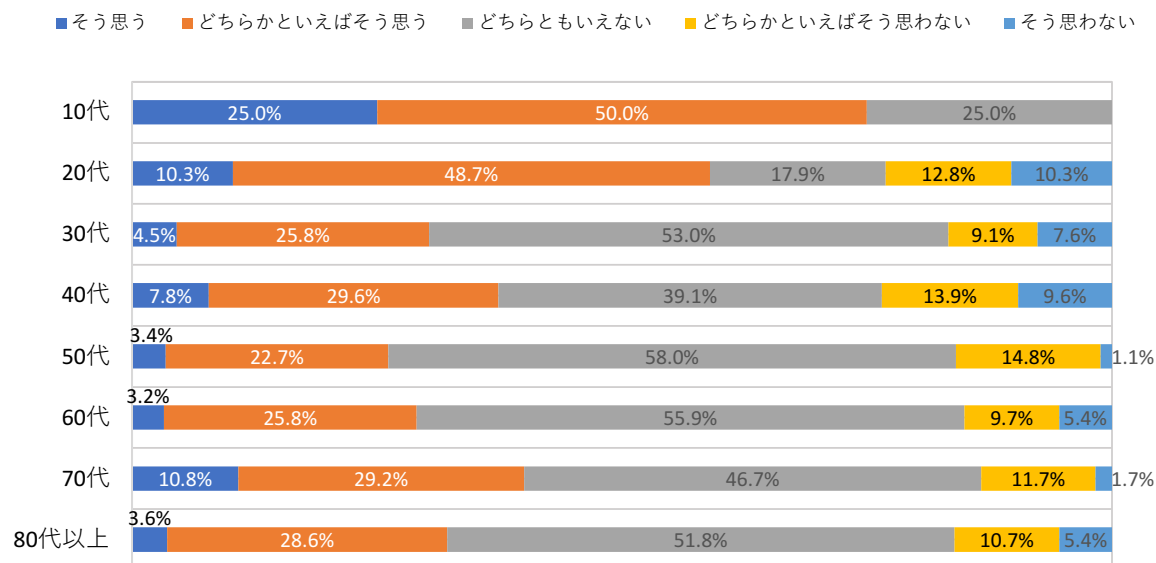
○「どちらともいえない」が 47.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.7%となっています。

○肯定的回答は 35.3%であり、否定的回答（17.3%）の 2.0 倍です。

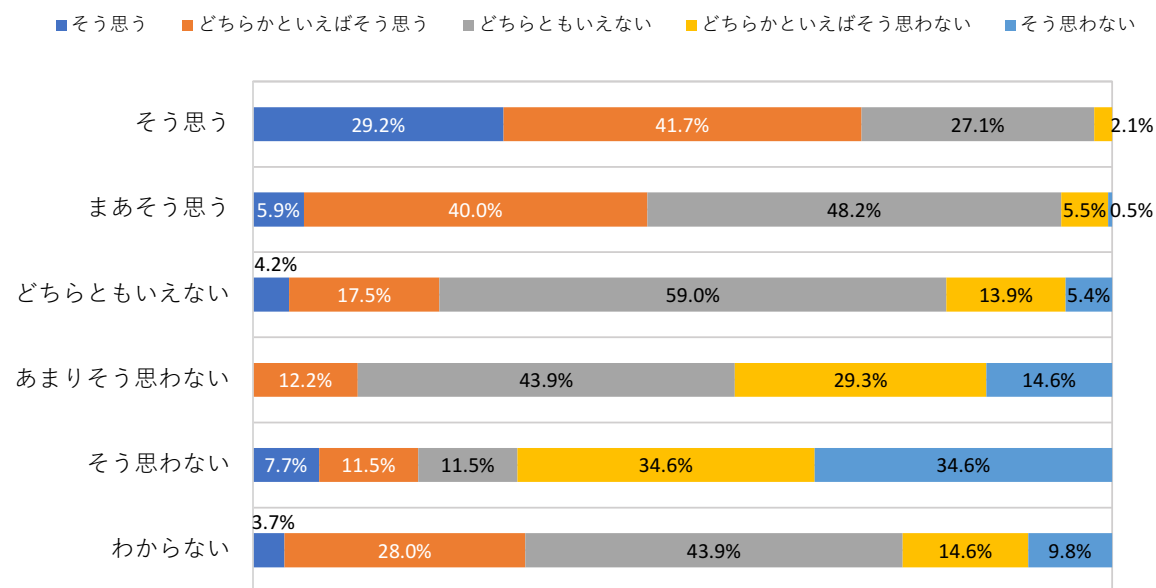
○全体の平均ハート数は 3.2♥となっています。

※「わからない」の回答数は 319 件（全体の約 34%）となっています。

《年齢別》



《市政の反映度別》

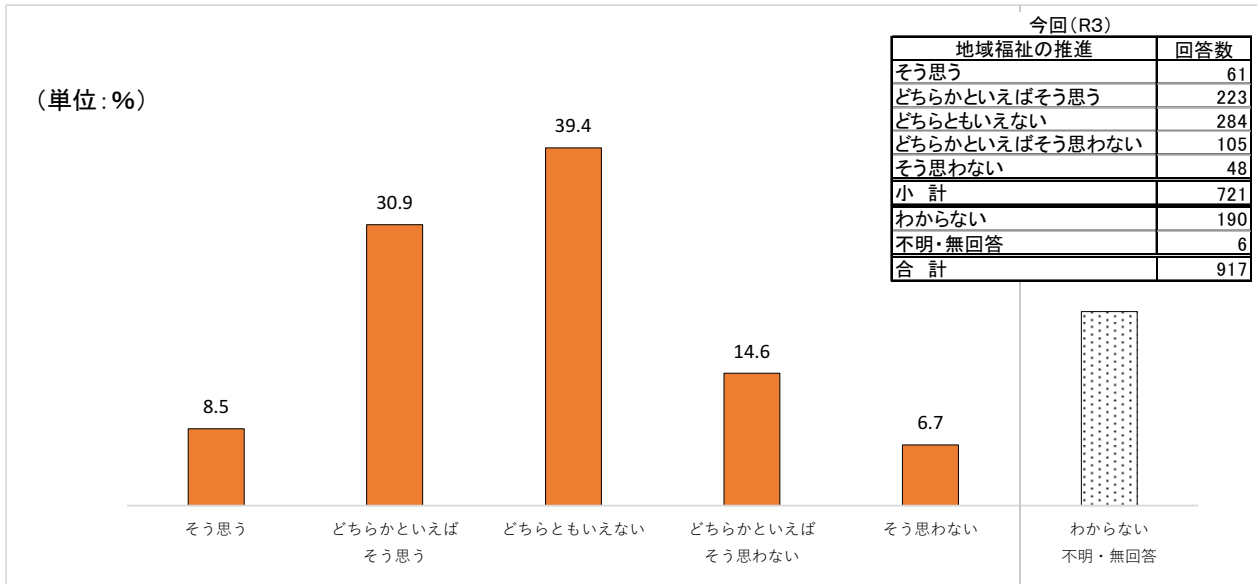


年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が75.0%と最も高く、次いで「20代」（59.0%）となっています。年齢が上がるに従って否定的回答が低くなる傾向が伺えます。

市政の反映度別では、「守山市政は、住民の意思が活かされているか」の問いで、「そう思う（活かされていると思う）」と回答した方の肯定的回答が70.9%と最も高くなっています。その一方で、「そう思わない（活かされていないと思う）」と回答した方の否定的回答が69.2%と最も高くなっています。

④ 地域福祉の推進

問 7 (4) 守山市は、地域、近所で困った人がいれば互いに助け合いができるまちだと思いますか。



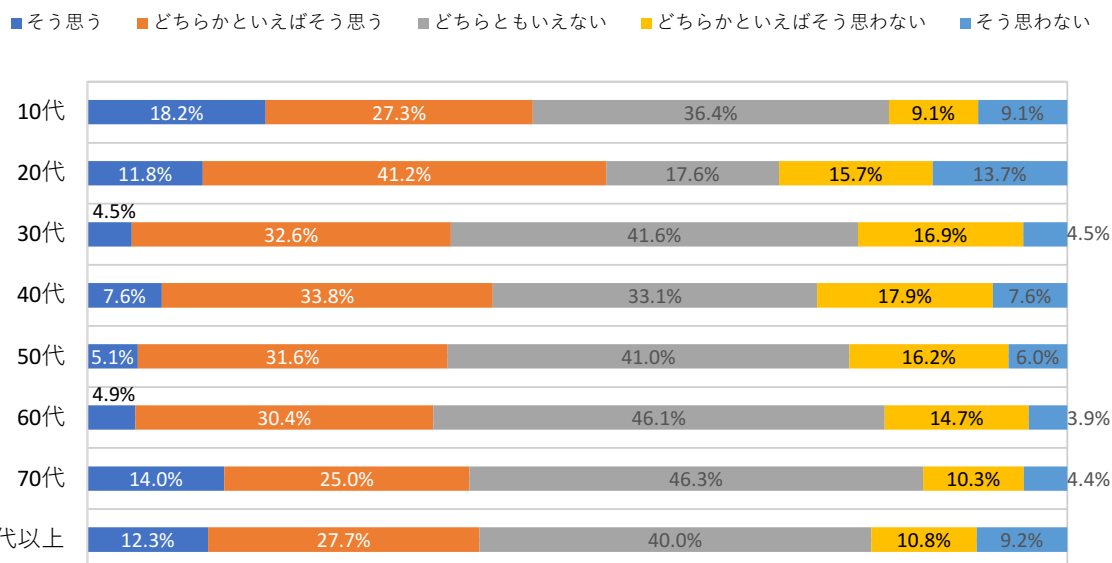
○「どちらともいえない」が 39.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 30.9%となっています。

○肯定的回答は 39.4%であり、否定的回答（21.3%）の 1.8 倍です。

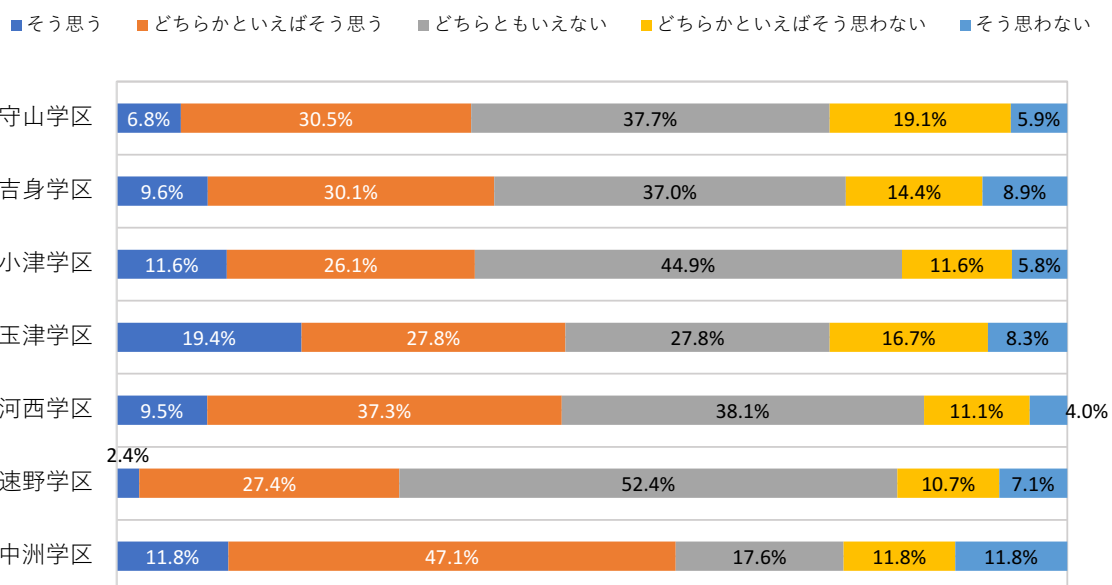
○全体の平均ハート数は 3.2♥となっています。

※「わからない」の回答数は 190 件（全体の約 20%）となっています。

《年齢別》



《学区別》

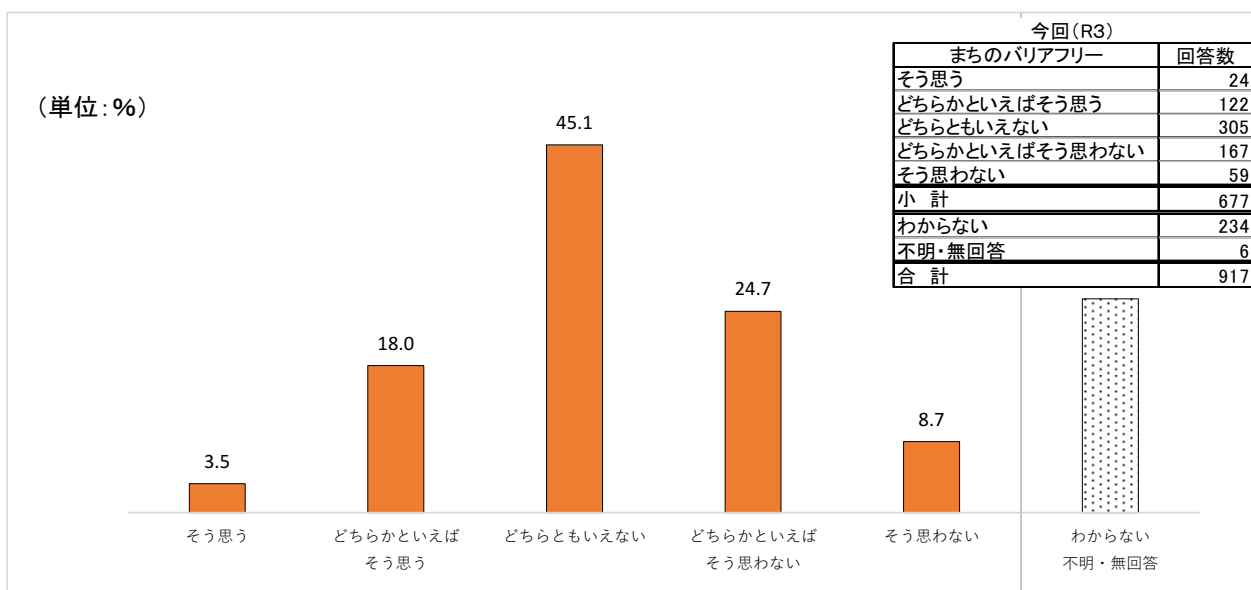


年齢別を見ると、「20代」の肯定的回答が53.0%と最も高く、次いで「10代」（45.5%）となっています。

学区別では、「中洲学区」の肯定的回答が58.9%と最も高くなっています。その一方で、「速野学区」が低くなっています。

⑤ まちのバリアフリー

問 7 (5) 守山市は、まちなかのバリアフリーが充実しているまちだと思いますか。



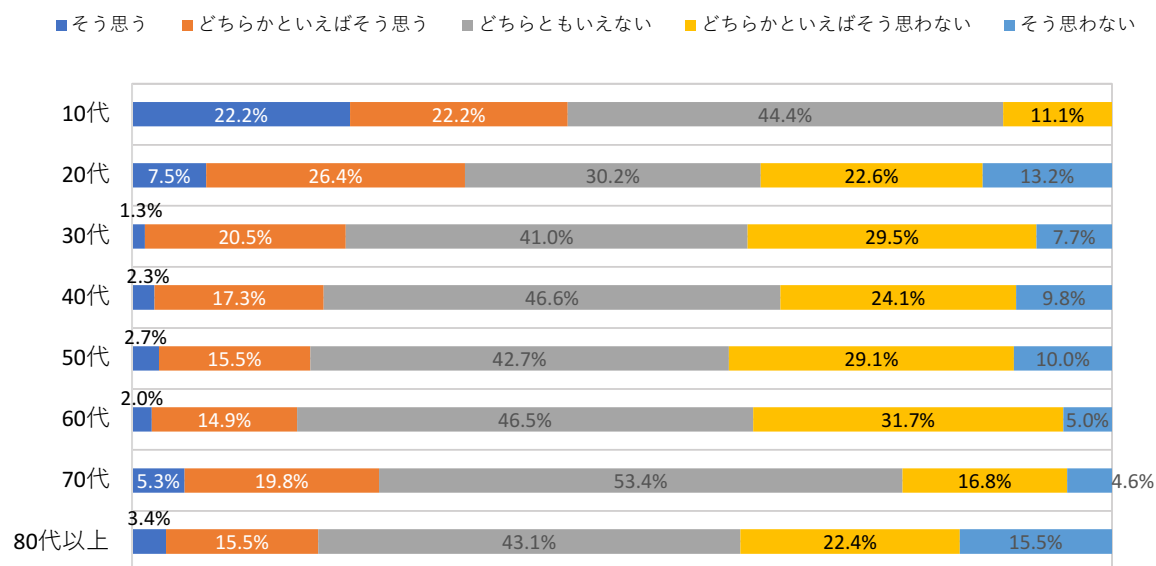
○「どちらともいえない」が 45.1% と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 24.7% となっています。

○肯定的回答は 21.5% であり、否定的回答 (33.4%) を下回っています。

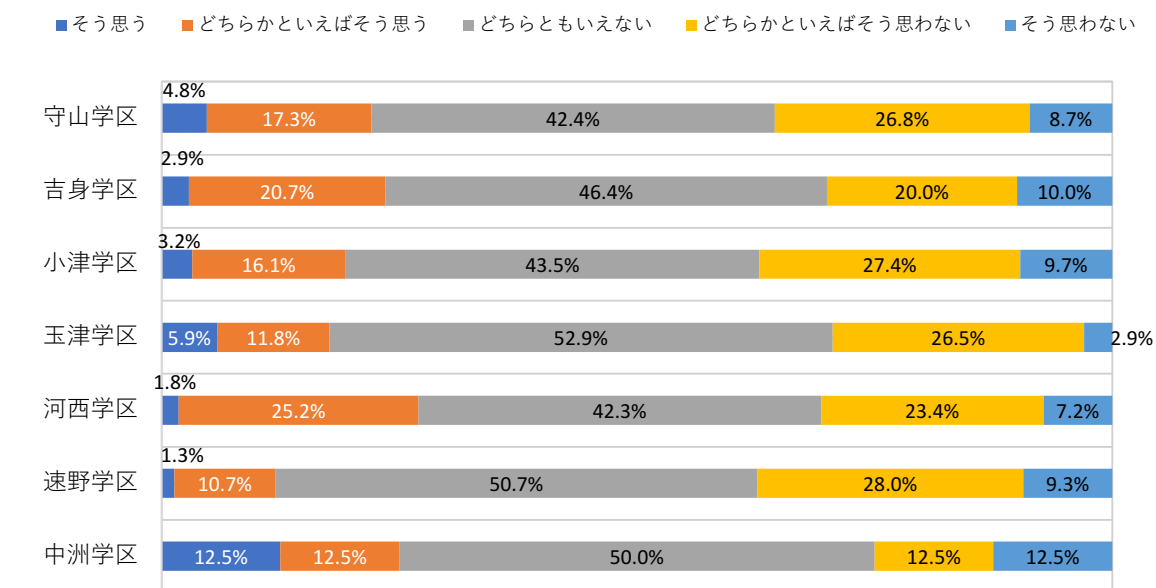
○全体の平均ハート数は 2.9  となっています。

※「わからない」の回答数は 234 件 (全体の約 25%) となっています。

《年齢別》



《学区別》



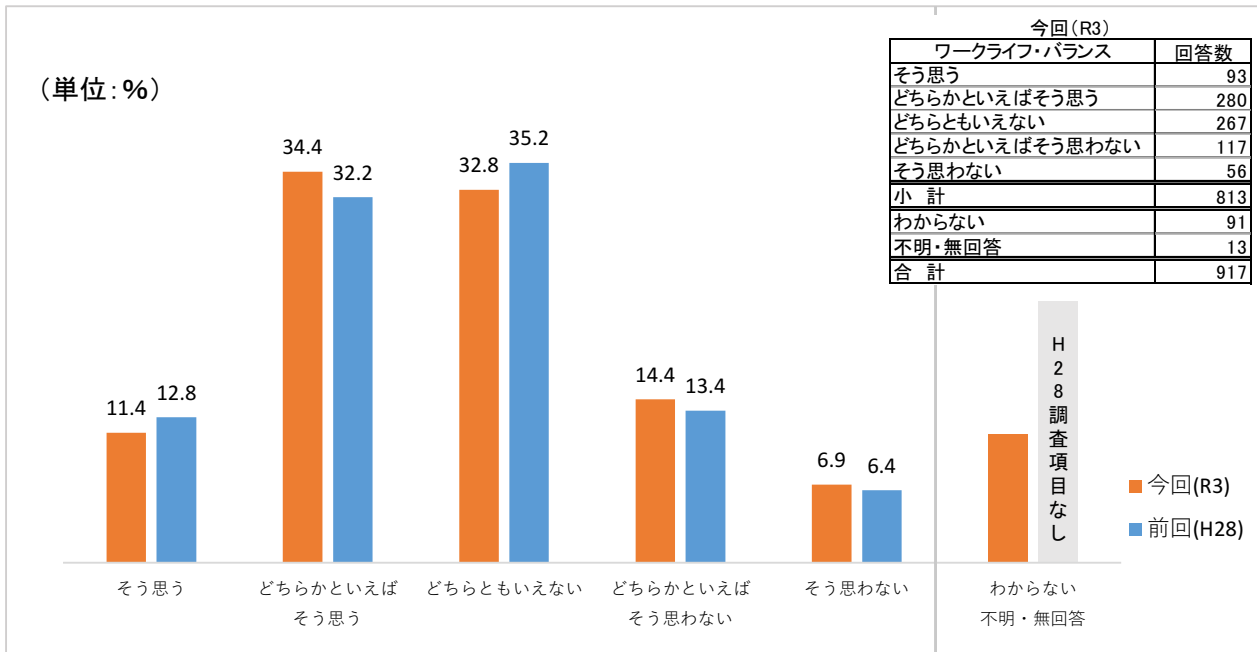
年齢別を見ると、「10代」と「70代」では肯定的回答の割合が否定的回答より高く、その他の年代では否定的回答の方が高くなっています。

学区別では、全ての学区において肯定的回答が否定的回答より低くなっています。

(6) 暮らしと働きについて

① ワークライフバランス

問 8 (1) あなたは、仕事と生活のバランスが取れていると思いますか。



○「どちらかといえばそう思う」が 34.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 32.8%となっています。

○肯定的回答は 45.8%であり、否定的回答（21.3%）の 2.1 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.3♥となっています。

◇前回調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」が 2.2 ポイント高くなっていますが、ほぼ同様な傾向が伺えます。

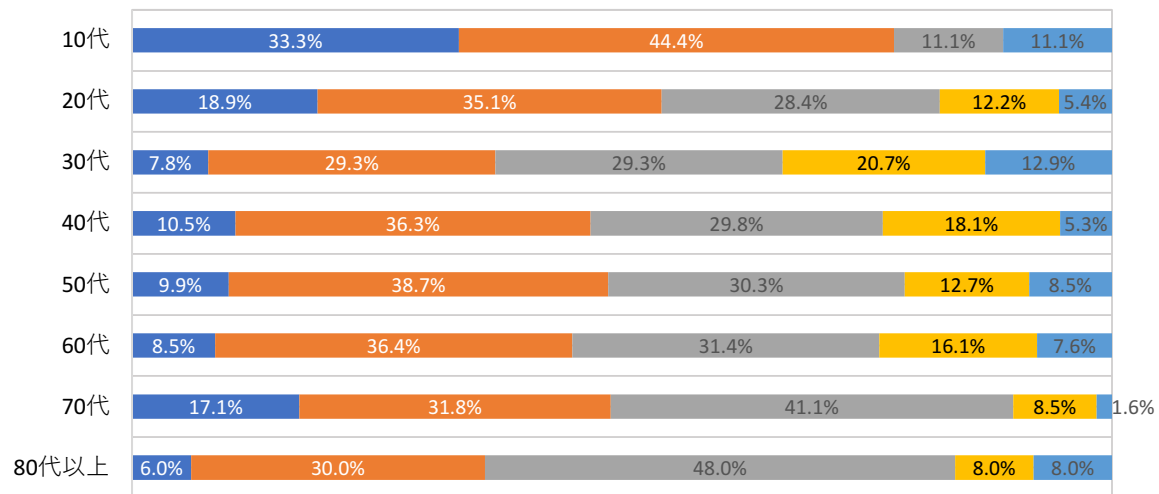
【前回調査の設問内容】

育児や家事などを含め、仕事と生活のバランスに満足していますか。



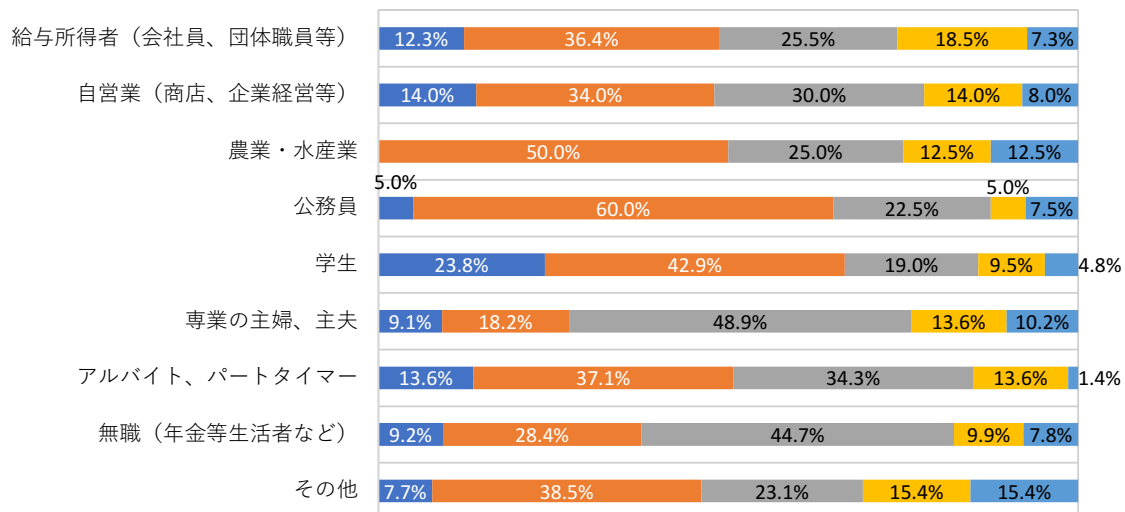
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《職業別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

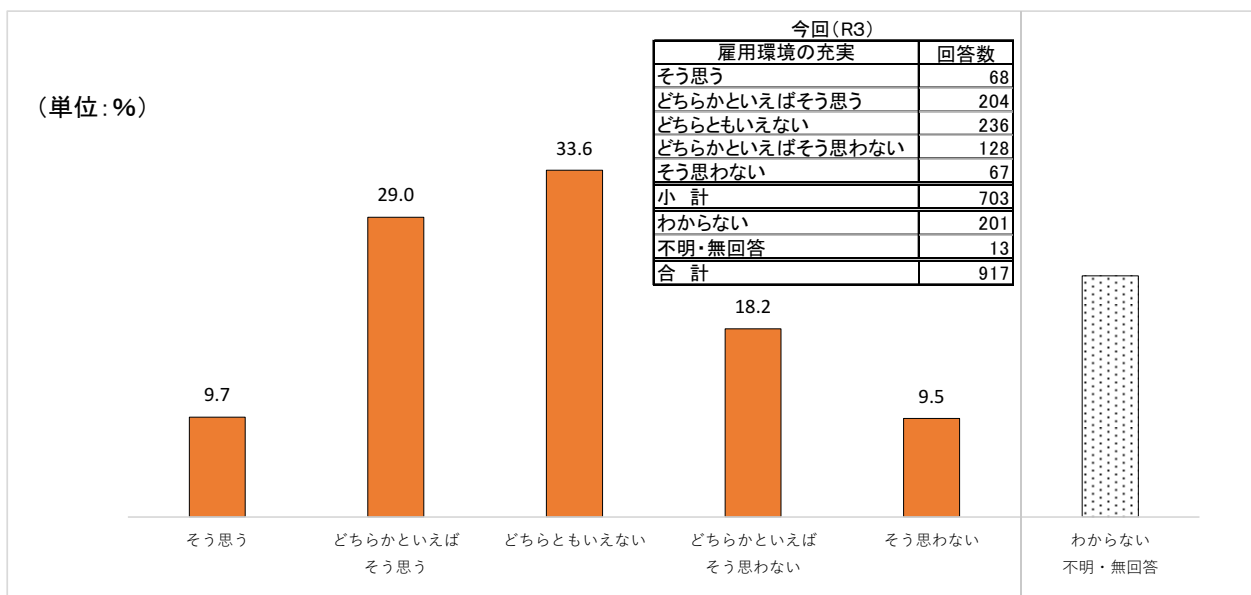


年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が77.7%と最も高く、次いで「20代」（54.0%）となっています。その一方で、「30代」が低くなっています。

職業別では、全ての職業において肯定的回答の割合が否定的回答より高くなっています。

② 雇用環境の充実

問 8 (2) 守山市は、通勤圏内に働く場所がある、もしくは仕事を見つけやすく、仕事に就きやすいまちだと思いますか。



○「どちらともいえない」が 33.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 29.0%となっています。

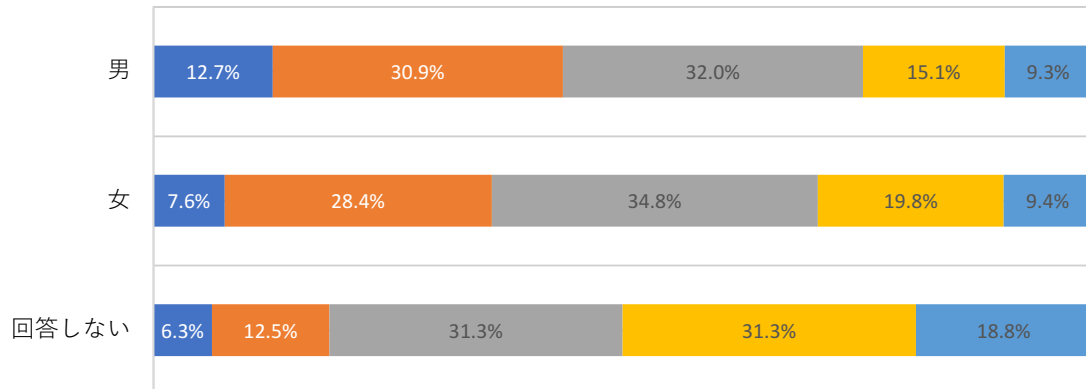
○肯定的回答は 38.7%であり、否定的回答（27.7%）の 1.3 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.2♥となっています。

※「わからない」の回答数は 201 件（全体の約 21%）となっています。

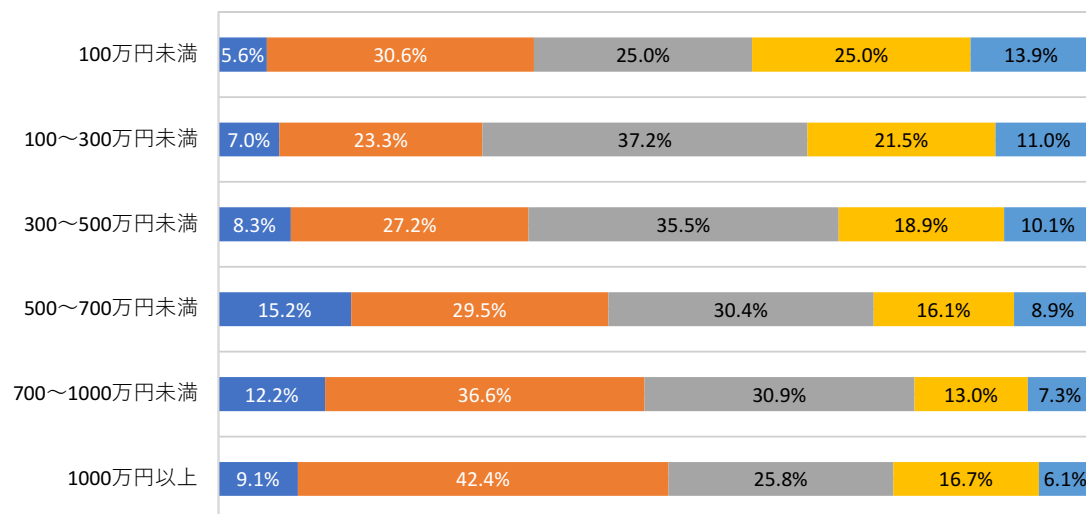
《性別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《世帯年収別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

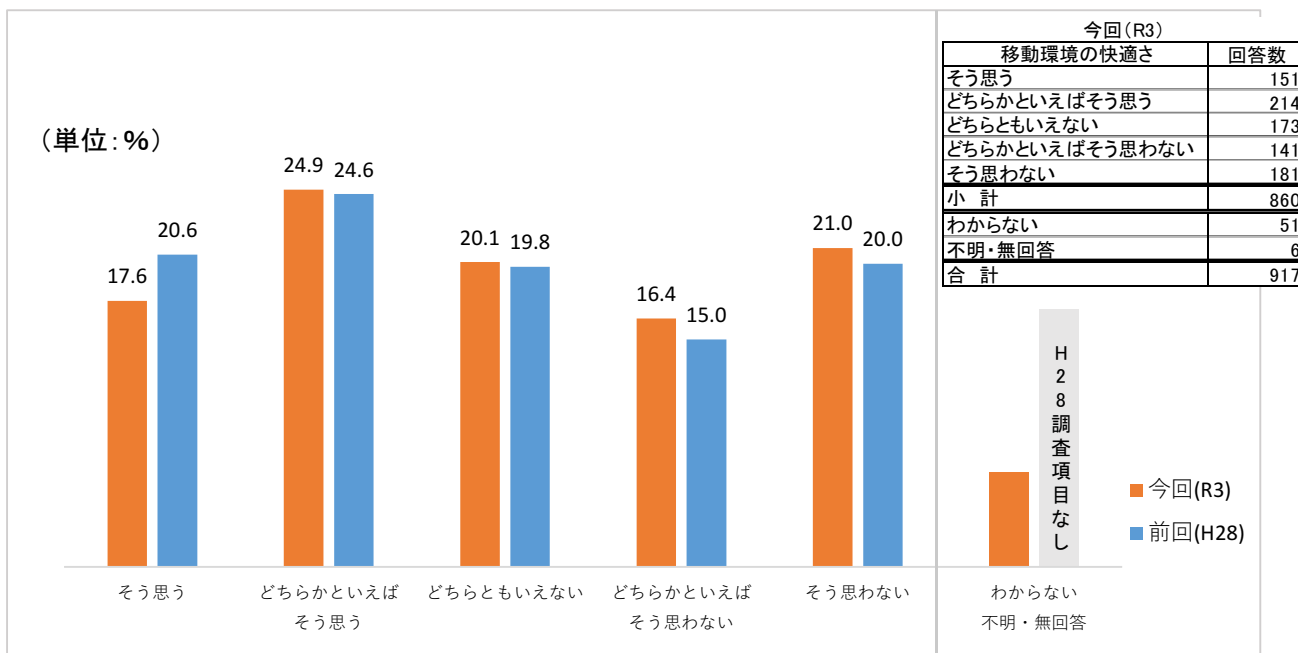


性別を見ると、「男性」の肯定的回答が 43.6%と「女性」よりも 7.6 ポイント高くなっています。

世帯年収別を見ると、「100～300 万円未満」の肯定的回答が 30.3%と最も低くなっています。

③ 移動環境の快適さ

問 8 (3) あなたは、徒歩や自転車、バスや「モーリーカー」などの公共交通による移動で、生活することは可能ですか。



○「どちらかといえばそう思う」が 24.9%と最も高く、次いで「そう思わない」が 21.0%となっています。

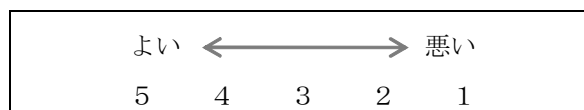
○肯定的回答は 42.5%であり、否定的回答（37.4%）の 1.1 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.1♥となっています。

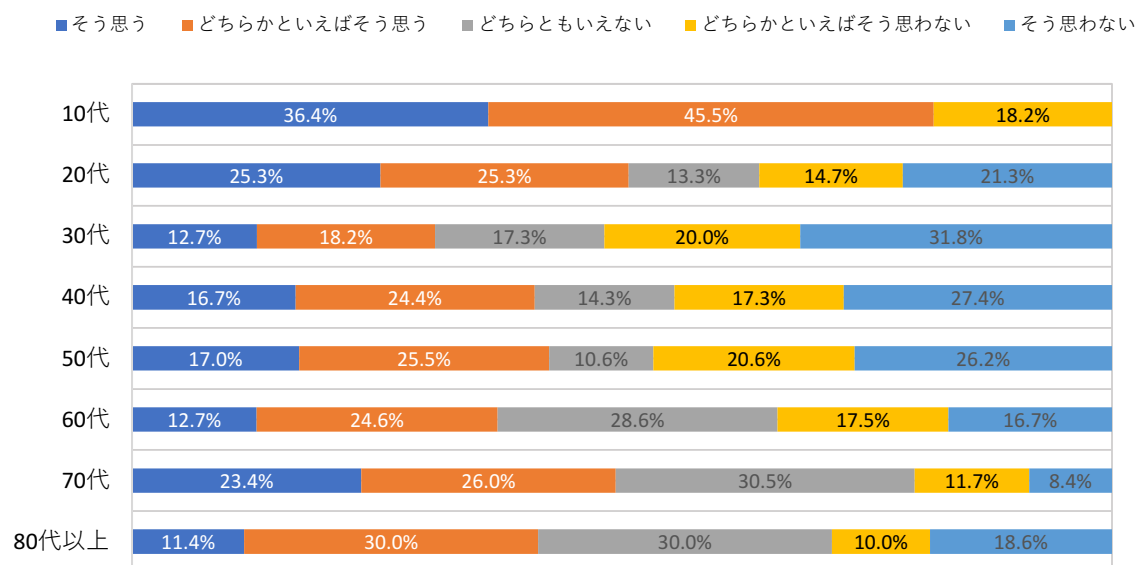
◇前回調査と比較すると、「そう思う」が 3.0 ポイント低くなっています。

【前回調査の設問内容】

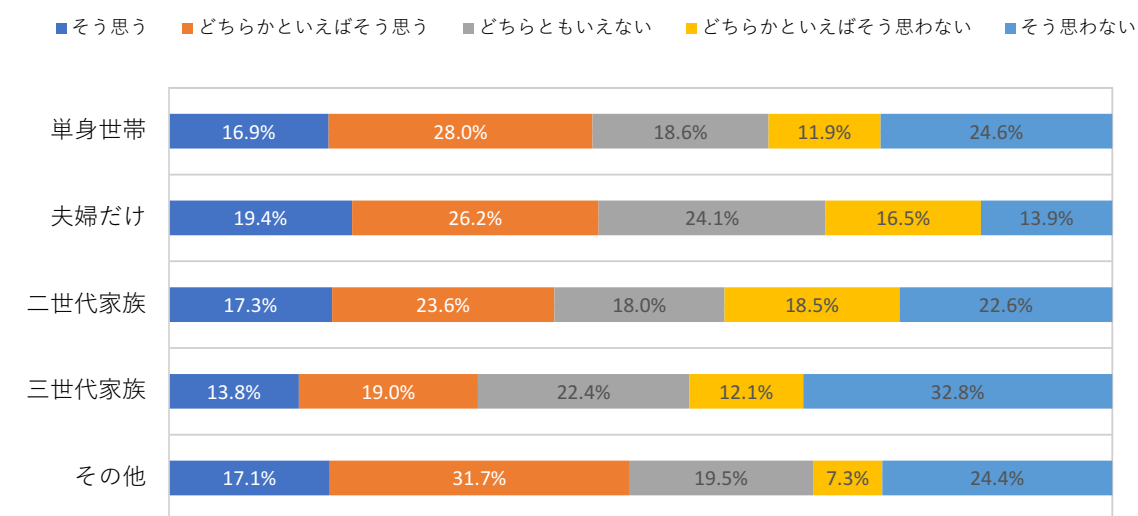
お住まいの地域は、交通の利便性がよいですか。



《年齢別》



《世帯構成別》

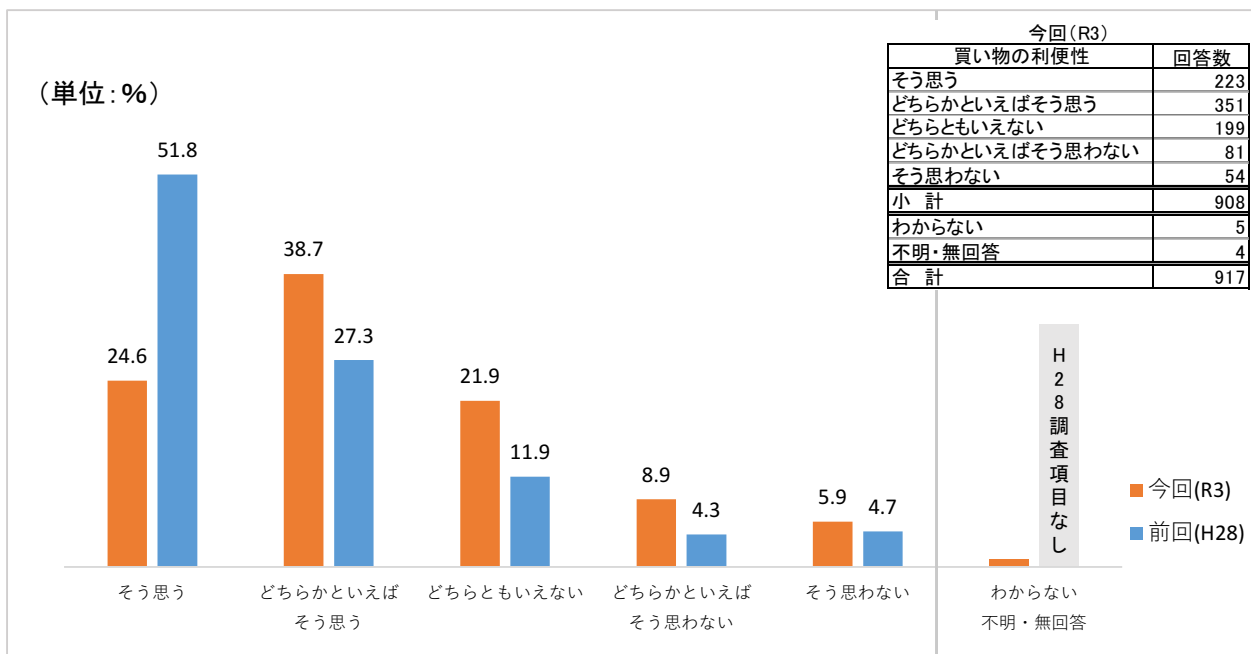


年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が81.9%と最も高く、次いで「20代」（50.6%）となっています。その一方で、「30代」から「50代」の否定的回答が高くなっています。

世帯構成別では、「単身世帯」および「夫婦だけ」の世帯に比べ、「二世世代家族」および「三世世代家族」の肯定的回答が低く、子連れの場合は公共交通機関による移動が困難と判断されているのではないかと考えられます。

④ 買い物の利便性

問 8 (4) 守山市は、日常の買い物をするのに便利なまちだと思いますか。



○「どちらかといえばそう思う」が 38.7%と最も高く、次いで「そう思う」が 24.6%となっています。

○肯定的回答は 63.3%であり、否定的回答（14.8%）の 4.2 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.7♥となっています。

◇前回調査と比較すると、「そう思う」が 27.2 ポイント低くなっています。

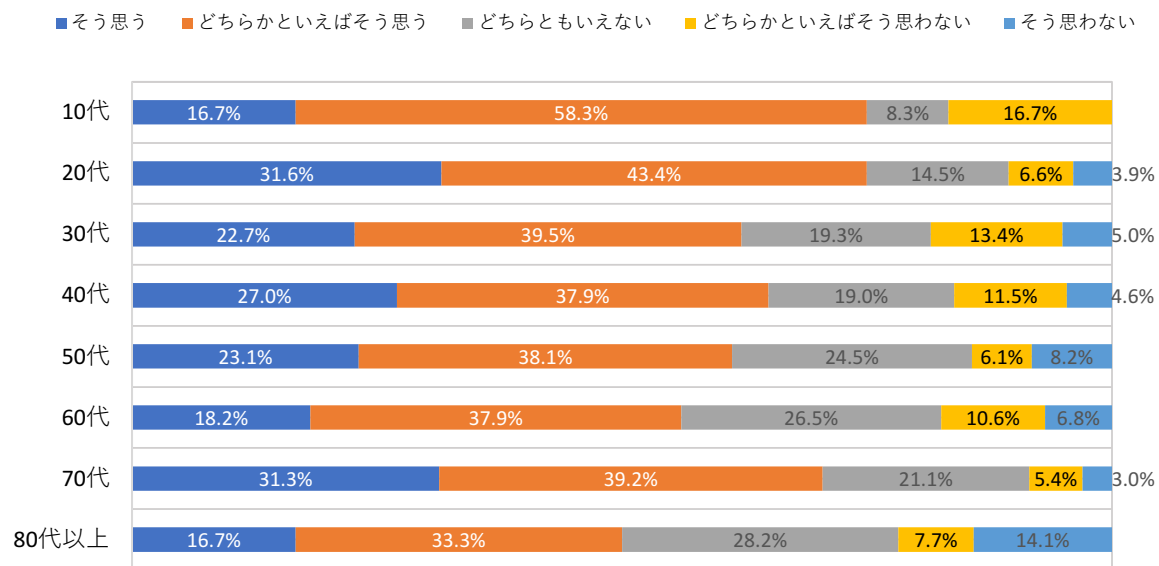
【前回調査の設問内容】

主な買い物先が市内にありますか。

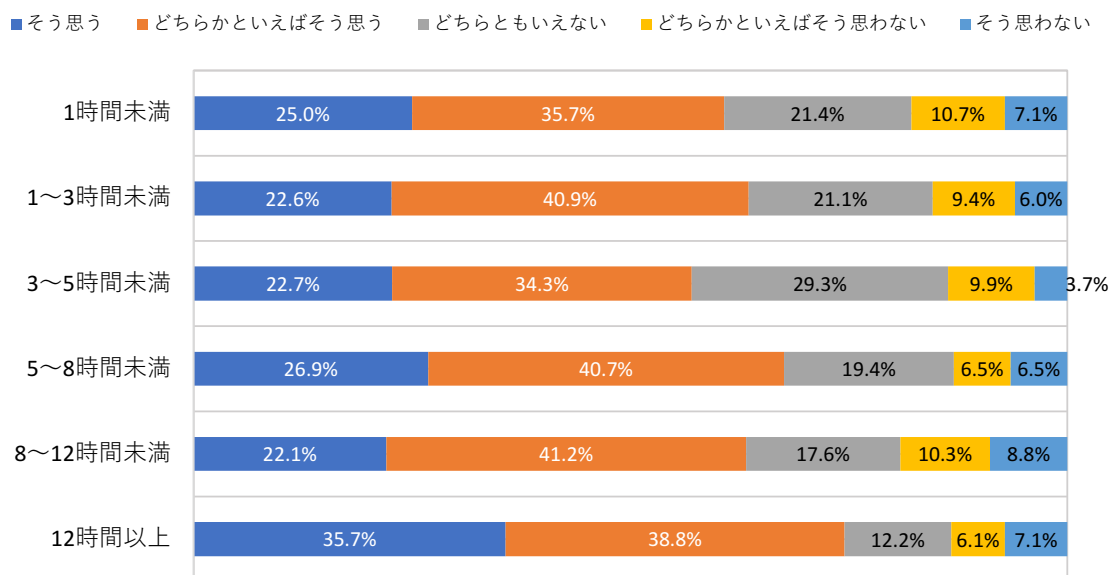
ある ←————→ ない

5 4 3 2 1

《年齢別》



《自由時間別》

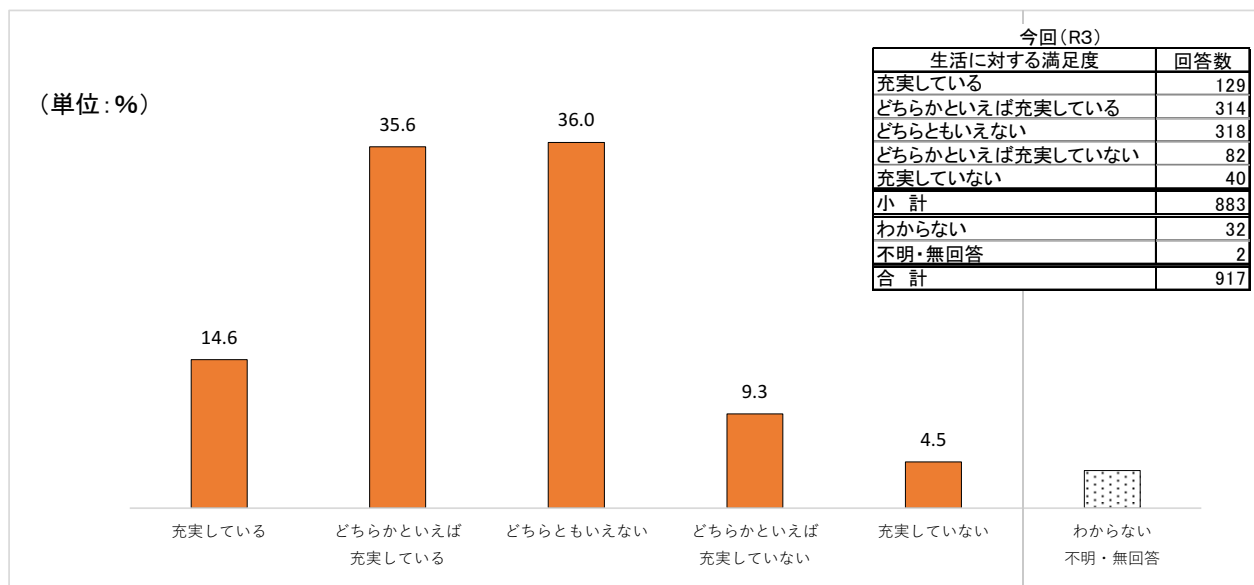


年齢別を見ると、全ての年代において肯定的回答が5割を超えています。

自由時間別では、「1時間未満」と「8～12時間未満」の肯定的回答の差はあまり見られず、自由時間と日常の買い物の便利性に対する満足度の相関については、本アンケートからは見られません。

⑤ 生活に対する肯定的回答

問 8 (5) あなたは、生きがいのある充実した生活を送っていますか。



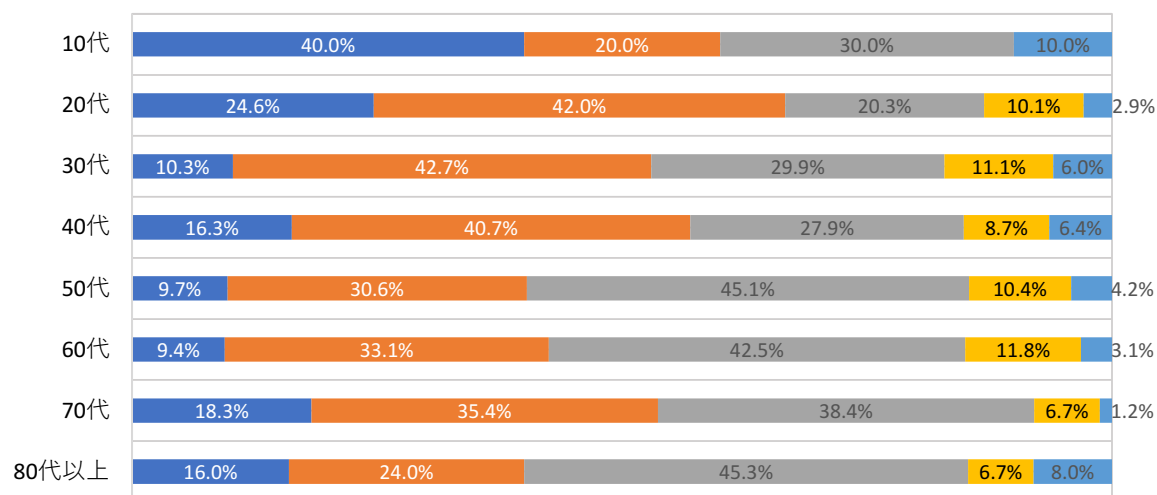
○「どちらともいえない」が 36.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば充実している」が 35.6%となっています。

○肯定的回答は 50.2%であり、否定的回答（13.8%）の 3.6 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.5❤️となっています。

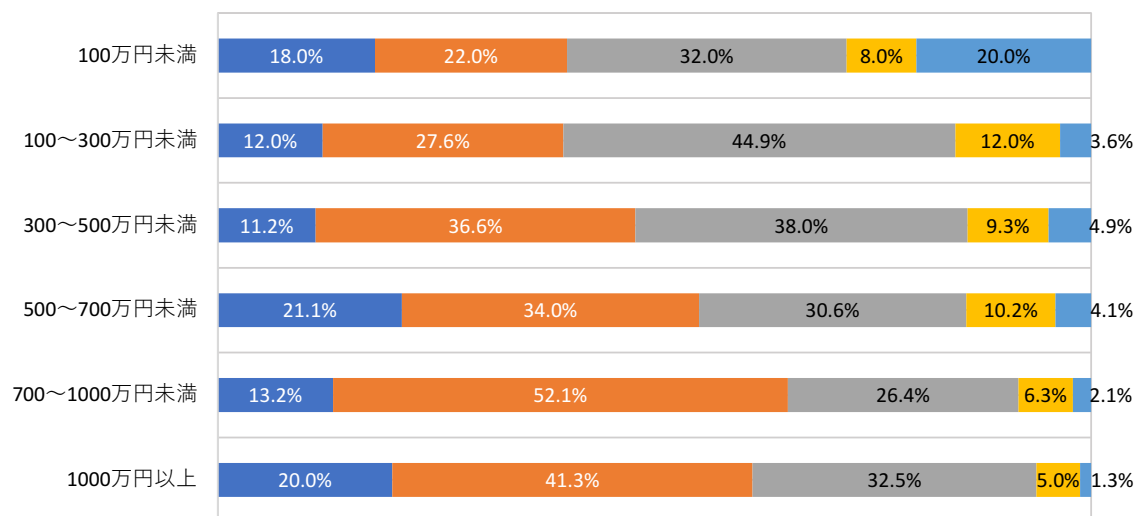
《年齢別》

■ 充実している ■ どちらかといえば充実している ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば充実していない ■ 充実していない



《世帯年収別》

■ 充実している ■ どちらかといえば充実している ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば充実していない ■ 充実していない



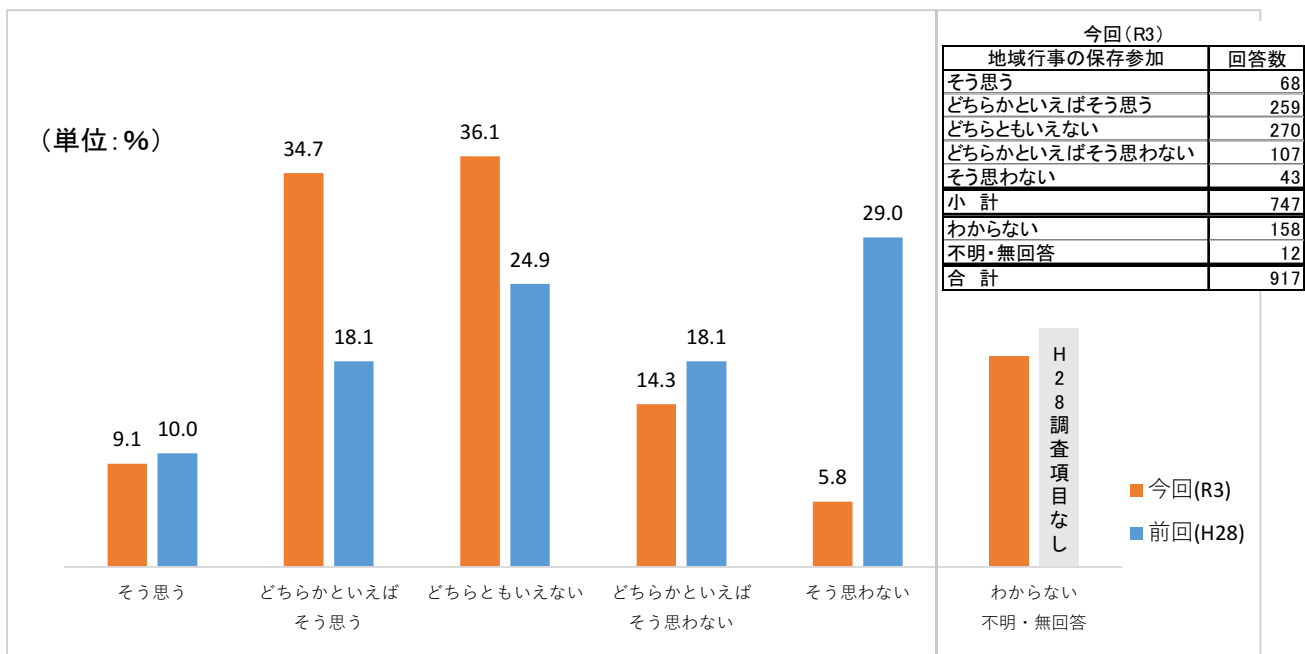
年齢別を見ると、「20代」の肯定的回答が66.6%と最も高く、次いで「10代」（60.0%）となっています。

世帯年収別では、世帯年収「100万円未満」の肯定的回答が40.0%と最も低く、世帯年収が上がるに従って肯定的回答が高くなる傾向が伺えます。

(7) 文化・スポーツについて

① 地域行事の保存参加

問9 (1) 守山市は、地域の伝統文化行事（祭りなど）に参加する機会が充実しているまちだと思いますか。



○「どちらともいえない」が36.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.7%となっています。

○肯定的回答は43.8%であり、否定的回答（20.1%）の2.1倍です。

○全体の平均ハート数は3.3♥となっています。

※「わからない」の回答数は158件（全体の約17%）となっています。

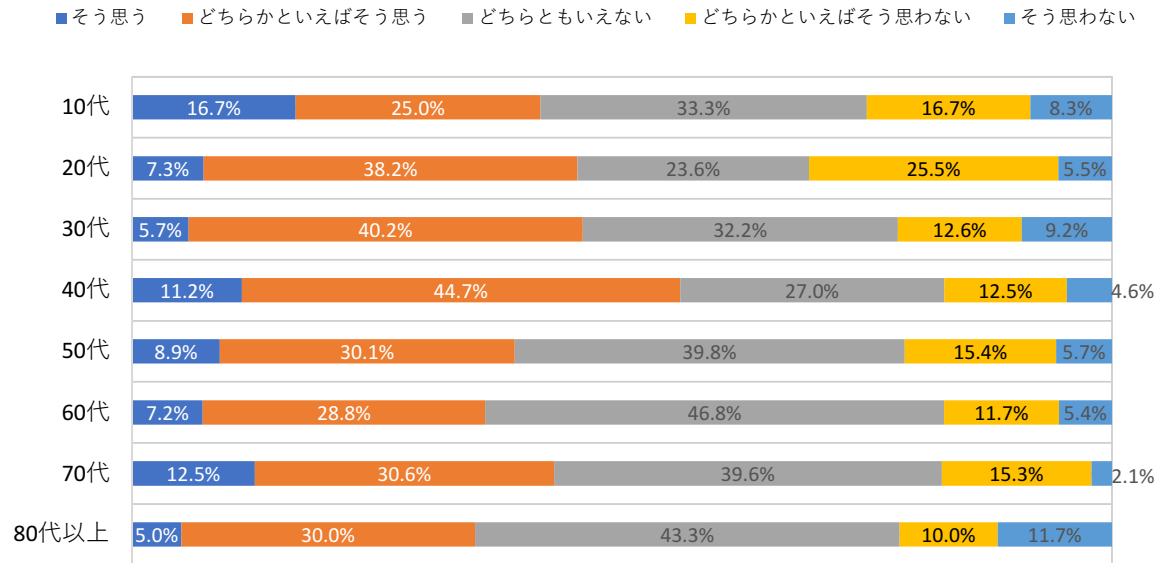
◇前回調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」が16.6ポイント高く、「そう思わない」が23.2ポイント低くなっています。

【前回調査の設問内容】

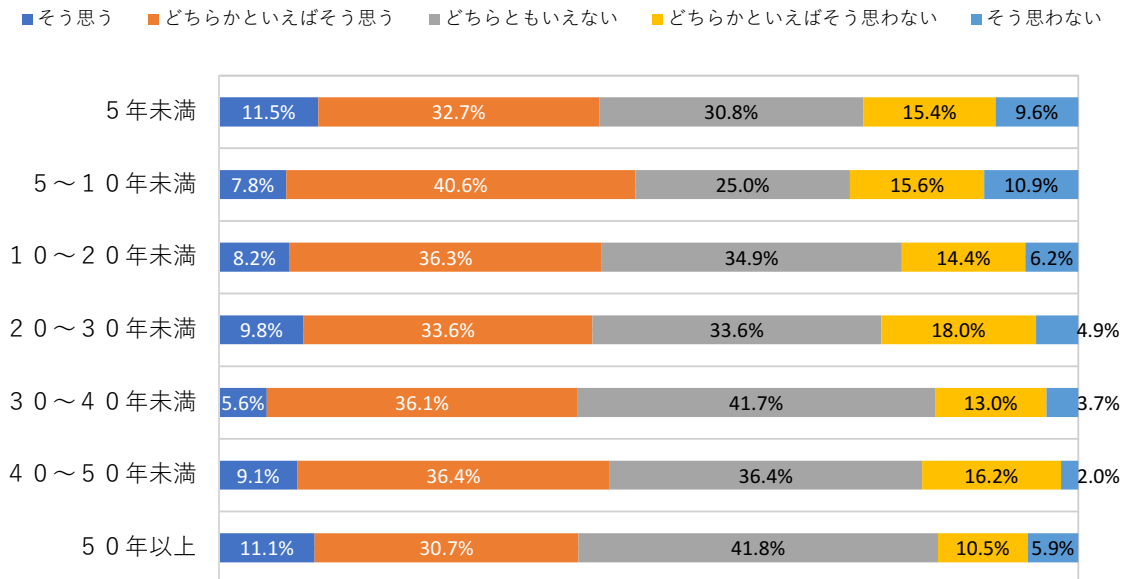
地域の歴史や伝統文化についてふれる機会がありますか。

ある ←————→ ない
5 4 3 2 1

《年齢別》



《居住年数別》

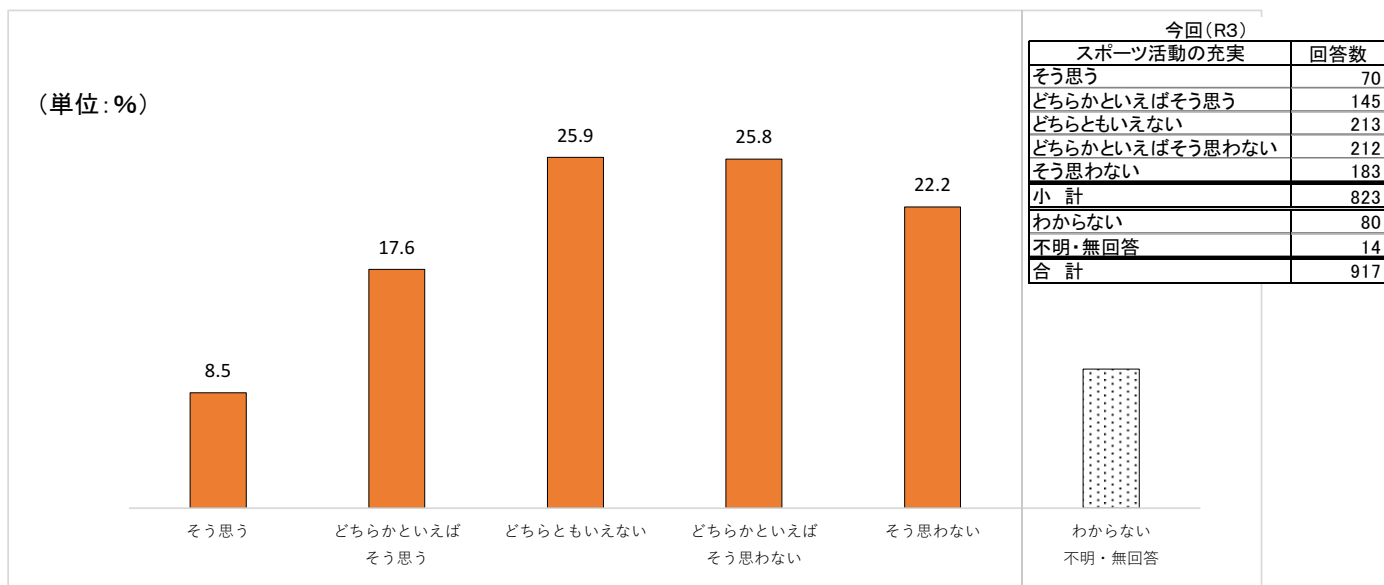


年齢別を見ると、「40代」の肯定的回答が55.9%と最も高く、次いで「30代」（45.9%）、「20代」（45.5%）となっています。その一方で、「20代」の否定的回答が31.0%と最も高くなっています。

居住年数別では、年数の長さによって肯定的回答にあまり差は見られないものの、「5年未満」と「30～40年未満」以降の否定的回答を比較すると、居住年数が長い方が、否定的回答が低くなる傾向が伺えます。

② スポーツ活動の充実

問 9 (2) あなたは、日常的にスポーツに接する機会があると思いますか。



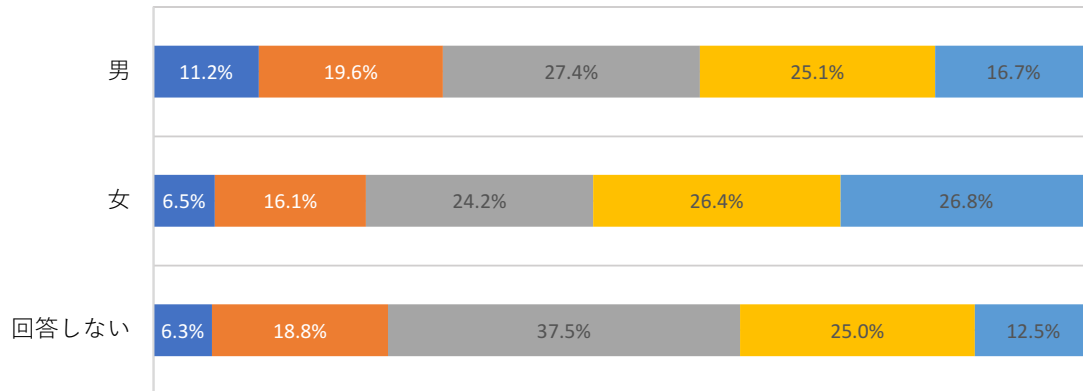
○「どちらともいえない」が 25.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 25.8%となっています。

○肯定的回答は 26.1%であり、否定的回答（48.0%）を下回っています。

○全体の平均ハート数は 2.7❤️となっています。

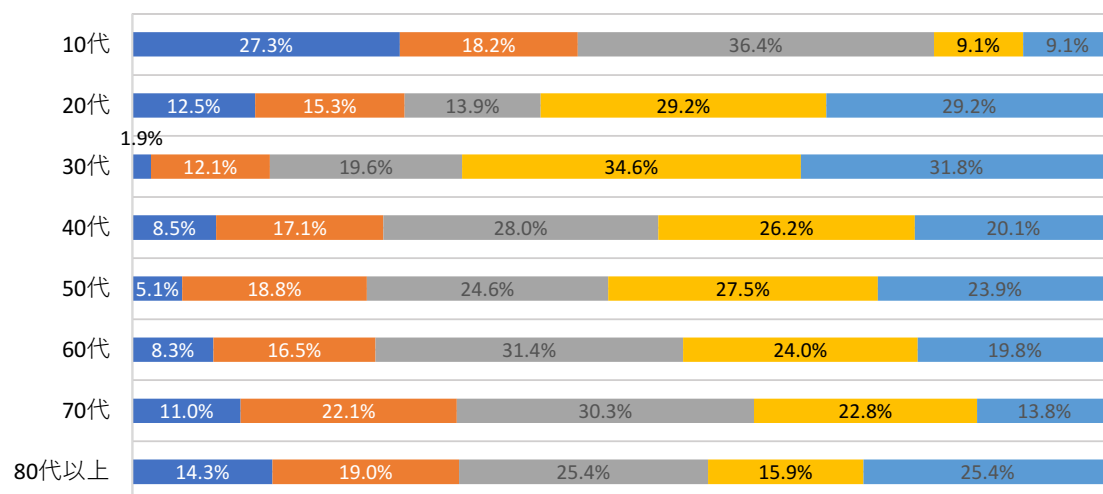
《性別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

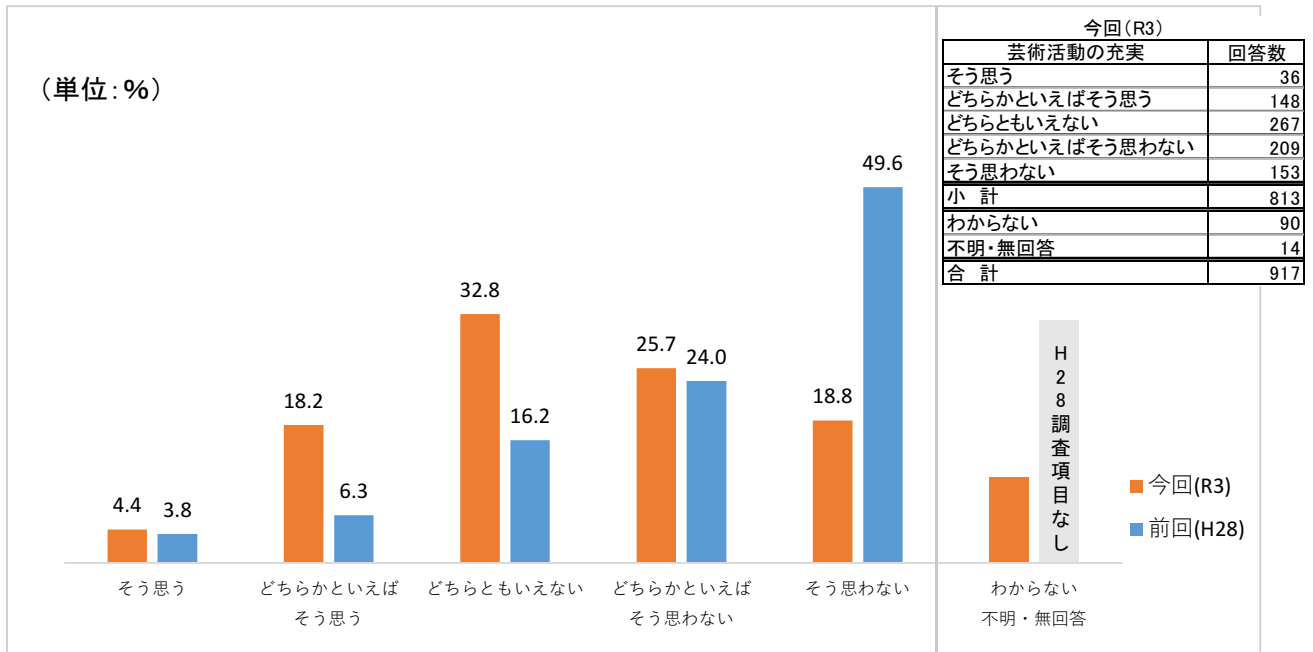


性別を見ると、「女性」の否定的回答が 53.2%と「男性」より 11.4 ポイント高くなっています。

年齢別では、「10 代」の肯定的回答が 45.5%と最も高くなっています。その一方で、「30 代」が低くなっています。

③ 芸術活動の充実

問 9 (3) あなたは、日常的に文化・芸術に接する機会があると思いますか。



○「どちらともいえない」が 32.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 25.7%となっています。

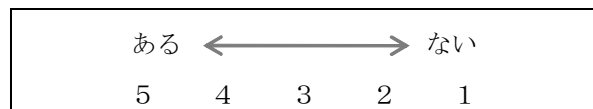
○肯定的回答は 22.6%であり、否定的回答（44.5%）を下回っています。

○全体の平均ハート数は 2.7♥となっています。

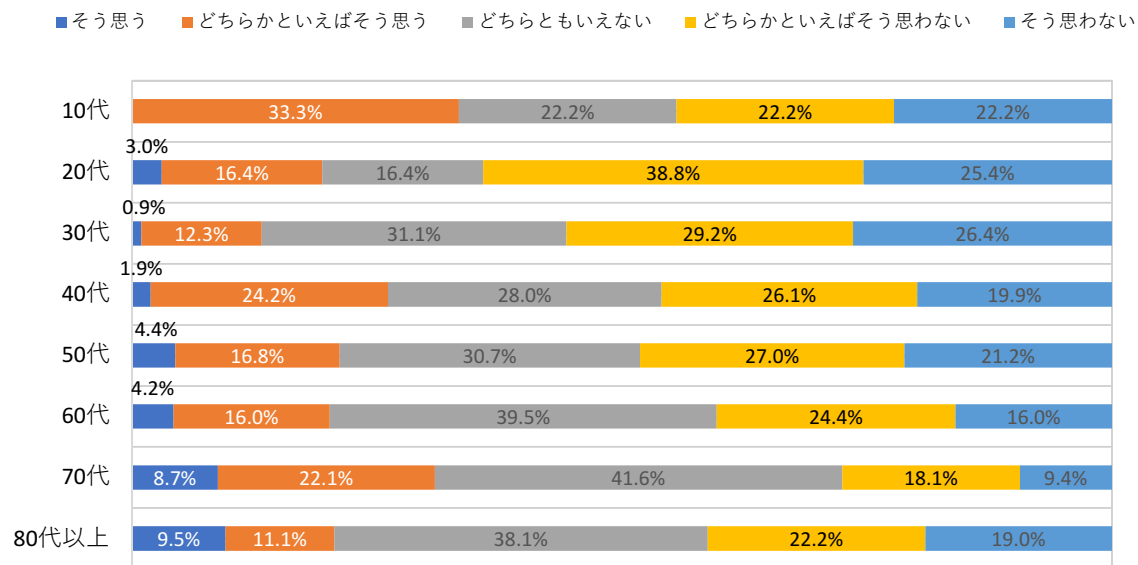
◇前回調査と比較すると、「そう思わない」が 30.8 ポイント低くなっています。

【前回調査の設問内容】

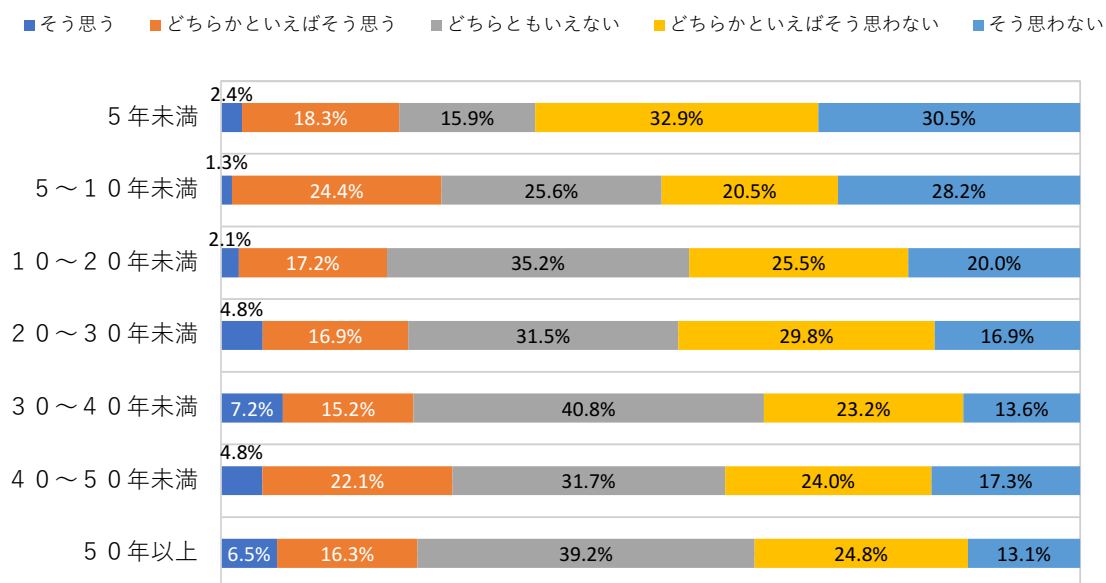
市内で芸術文化に主体的に関わる機会がありますか。



《年齢別》



《居住年数別》

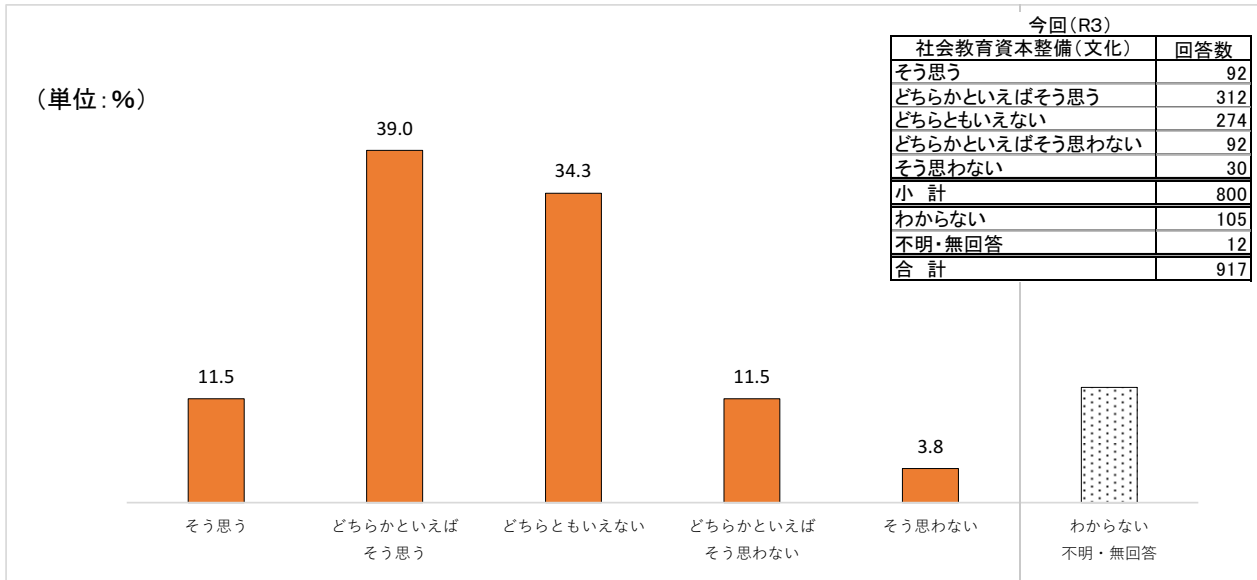


年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が33.3%と最も高くなっています。一方で、「20代」の否定的回答が64.2%と最も高く、20代以降年齢が上がるに従って否定的回答が低くなる傾向が伺えます。

居住年数別では、否定的回答を見ると「5年未満」が63.4%と最も高く、居住年数が長くなるに従って否定的回答が低くなる傾向が伺えます。

④ 社会教育資本の整備充実（文化）

問 9（４） 守山市は、文化活動に関する施設・環境（市民ホールなど）が整備されているまちだと思いますか。



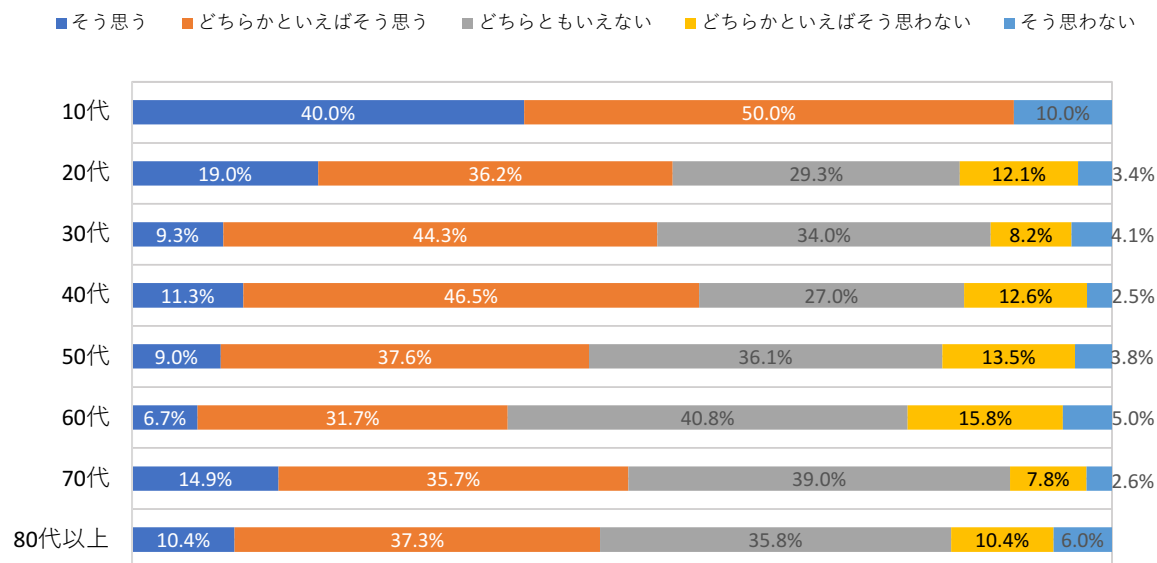
○「どちらかといえばそう思う」が 39.0％と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 34.3％となっています。

○肯定的回答は 50.5％であり、否定的回答（15.3％）の 3.3 倍です。

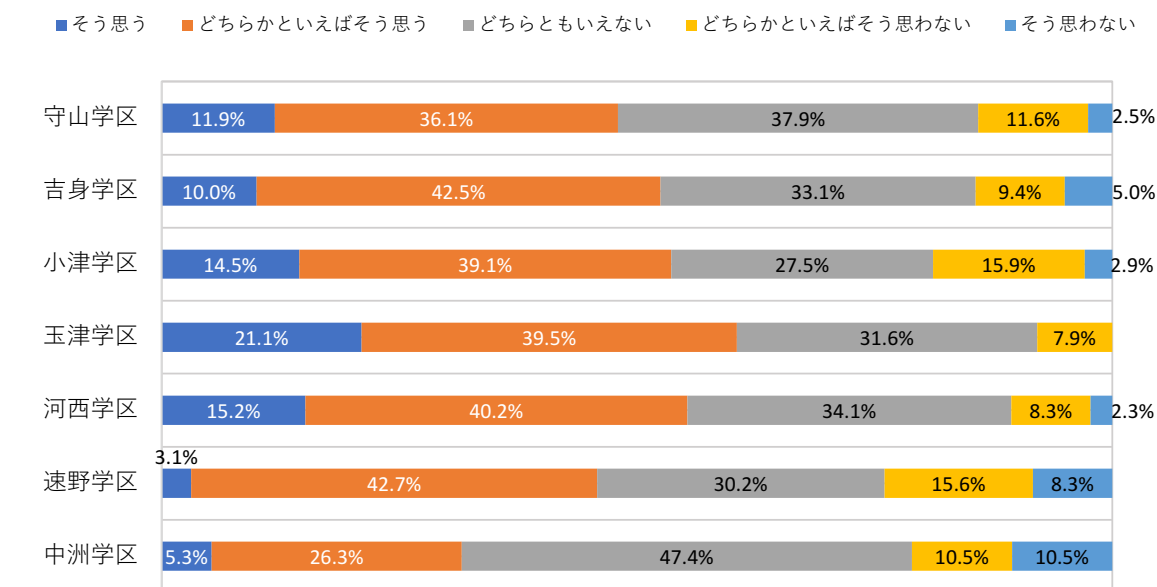
○全体の平均ハート数は 3.5♥となっています。

※「わからない」の回答数は 105 件（全体の約 11％）となっています。

《年齢別》



《学区別》

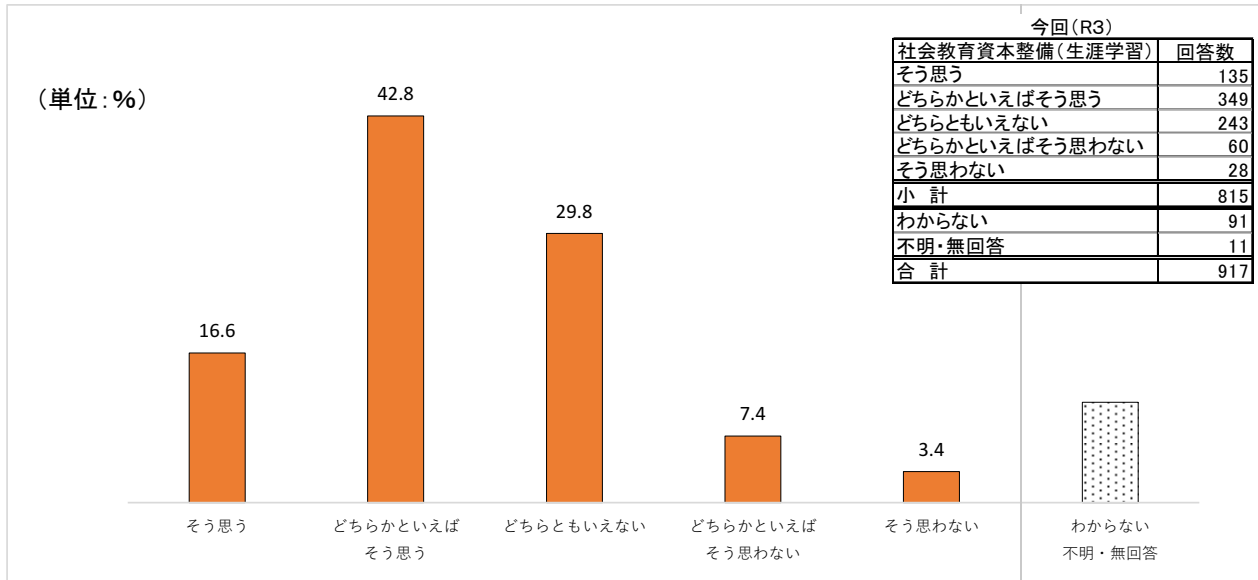


年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が90.0%と最も高く、次いで「40代」(57.8%)となっています。

学区別では、「玉津学区」の肯定的回答が60.6%と最も高くなっています。その一方で、「速野学区」の否定的回答が最も高くなっています。

⑤ 社会教育資本の整備充実（生涯学習）

問 9（5） 守山市は、生涯学習のための施設・環境（図書館、公民館など）が充実しているまちだと思いますか。

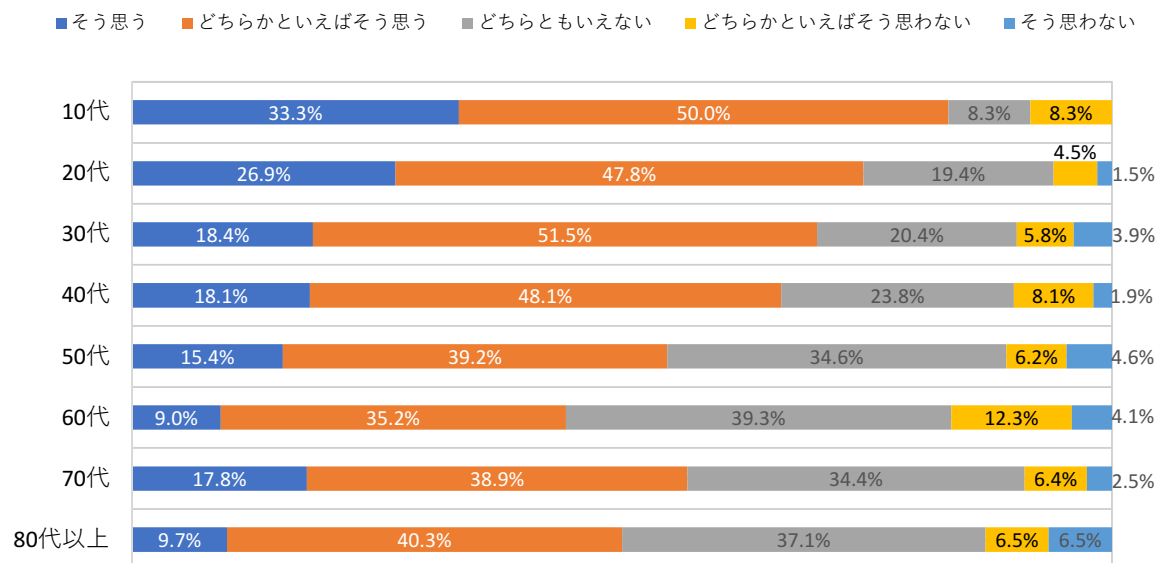


○「どちらかといえばそう思う」が 42.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 29.8%となっています。

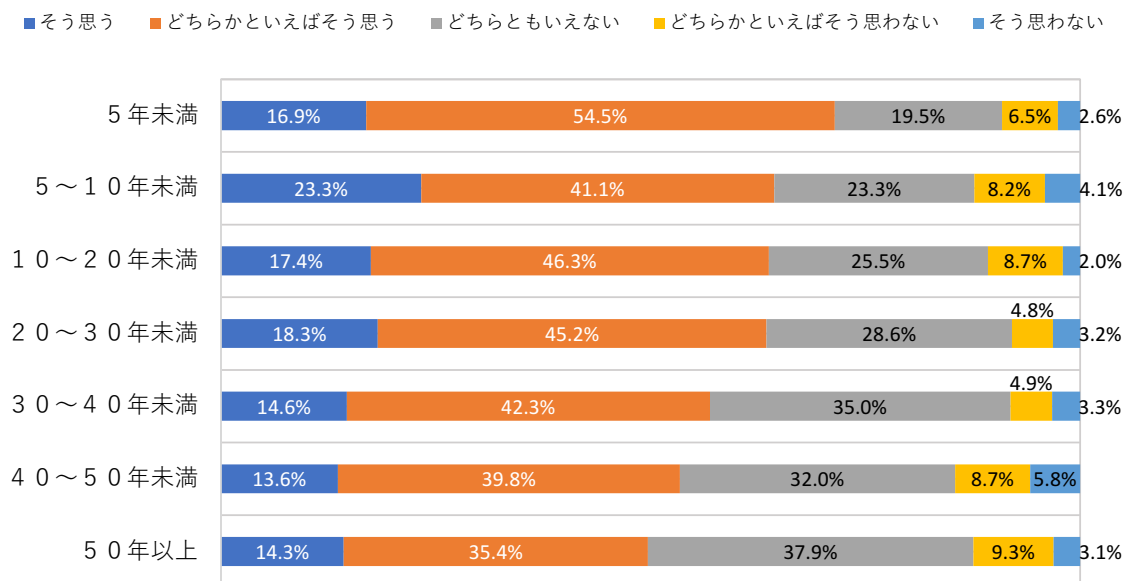
○肯定的回答は 59.4%であり、否定的回答（10.8%）の 5.5 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.7♥となっています。

《年齢別》



《居住年数別》

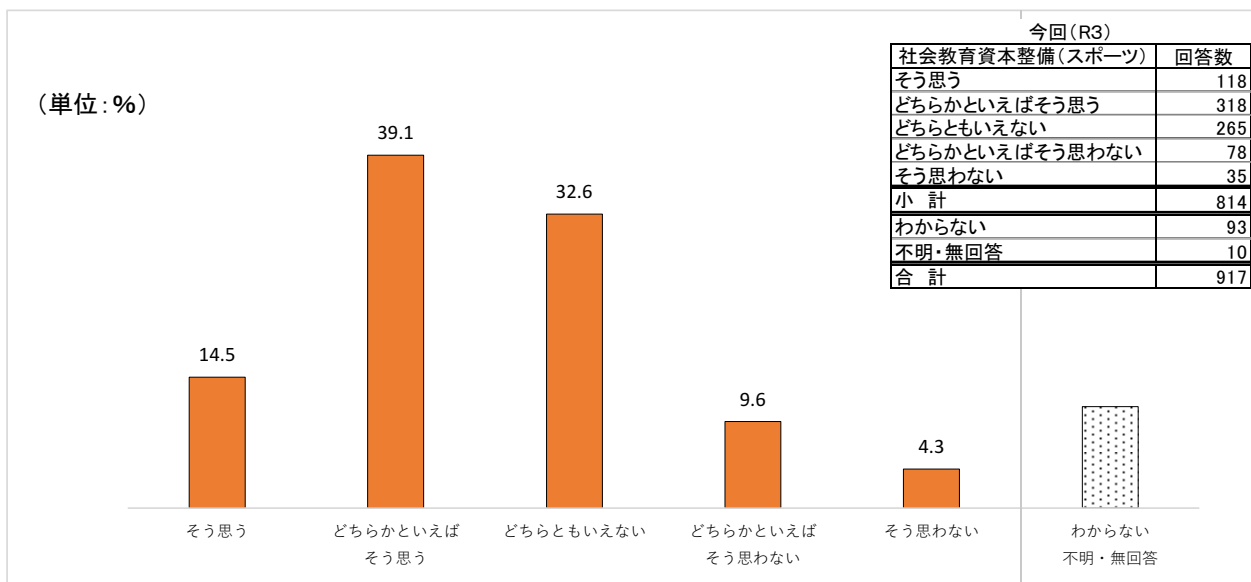


年齢別を見ると、「10 代」の肯定的回答が 83.3%と最も高く、「60 代」で 44.2%と最も低くなっています。年齢が上がるに従って肯定的回答が低くなる傾向が伺えます。

居住年数別では、年数が上がるに従って肯定的回答が低くなる傾向が伺えます。

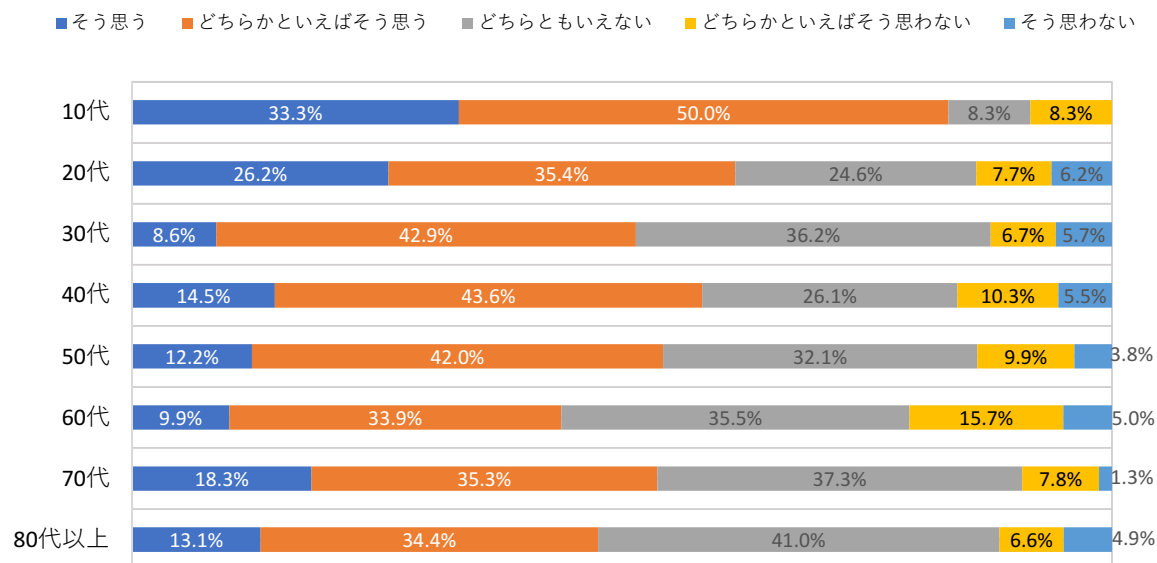
⑤ 社会教育資本の整備充実（スポーツ）

問 9（6） 守山市は、スポーツに関する施設・環境（体育館、運動公園など）が充実しているまちだと思いますか。

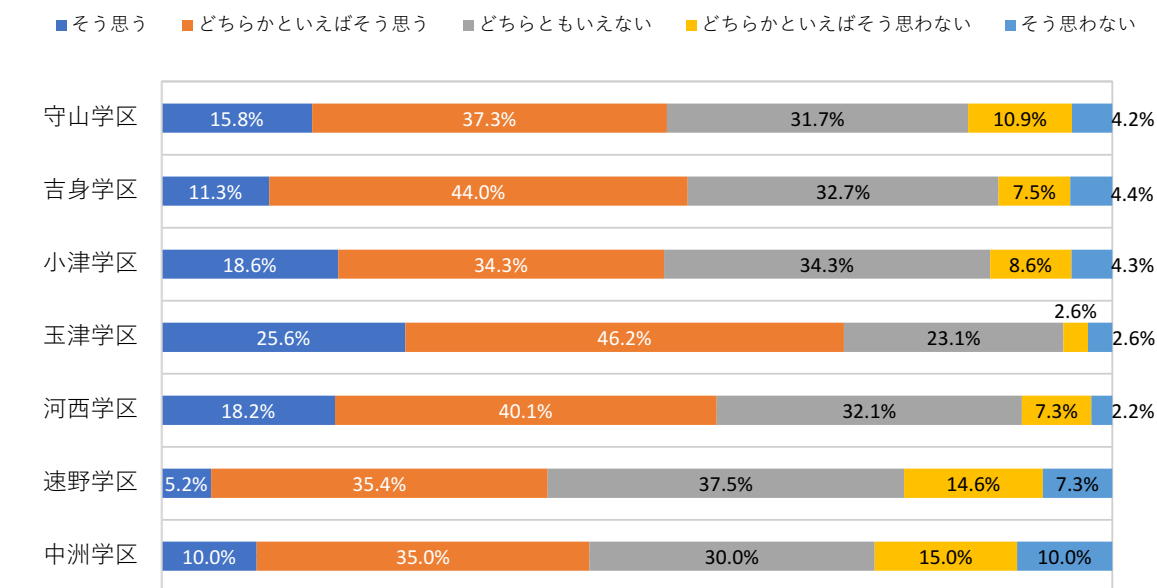


- 「どちらかといえばそう思う」が 39.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 32.6%となっています。
- 肯定的回答は 53.6%であり、否定的回答（13.9%）の 3.8 倍です。
- 全体の平均ハート数は 3.5♥となっています。

《年齢別》



《学区別》



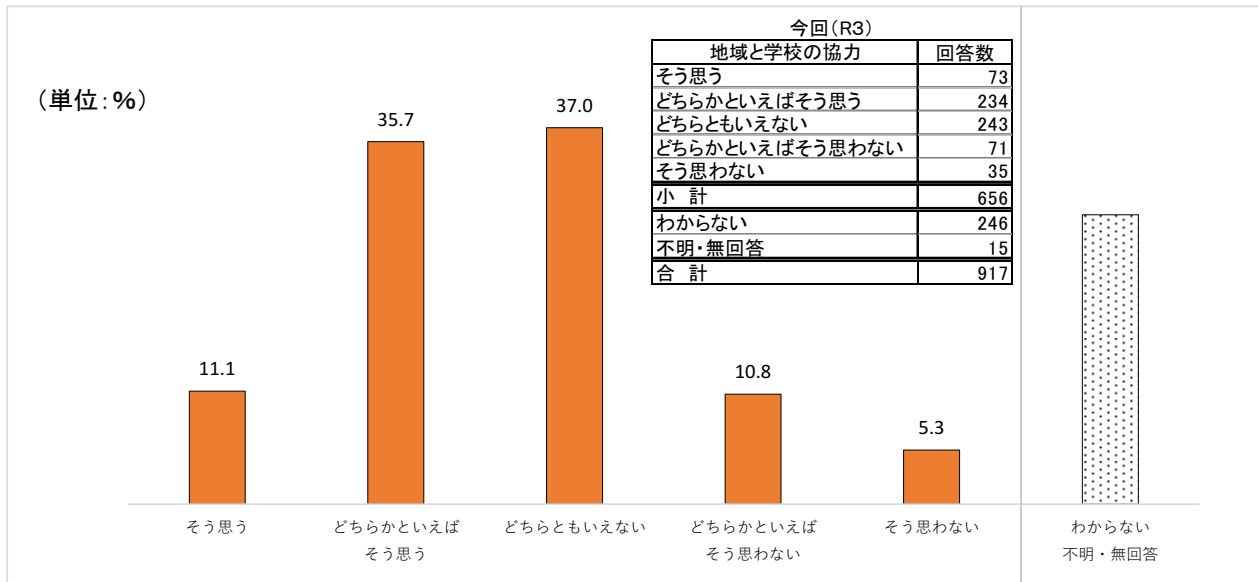
年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が83.3%と最も高く、年齢が上がるに従って肯定的回答が低くなる傾向が伺えます。その一方で、「60代」の否定的回答が20.7%と最も高くなっています。

学区別では、「玉津学区」の肯定的回答が71.8%と最も高く、次いで「河西学区」(58.3%)となっています。

(8) つながりについて

① 地域と学校との協力

問 10 (1) 守山市は、地域と学校が深く結び付いているまちだと思いますか。



○「どちらともいえない」が 37.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 35.7%となっています。

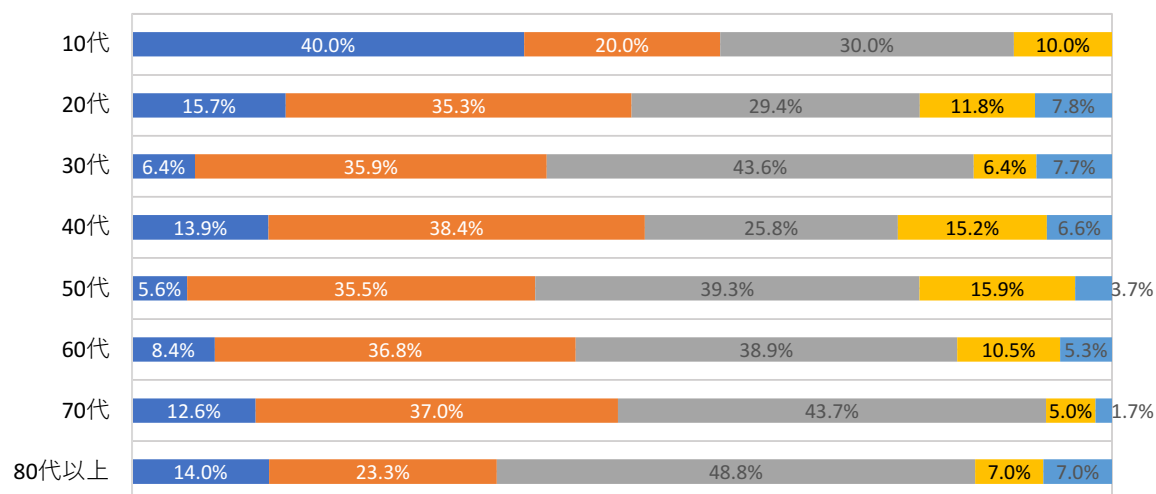
○肯定的回答は 46.8%であり、否定的回答（16.1%）の 2.9 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.4❤️となっています。

※「わからない」の回答数は 246 件（全体の約 26%）となっています。

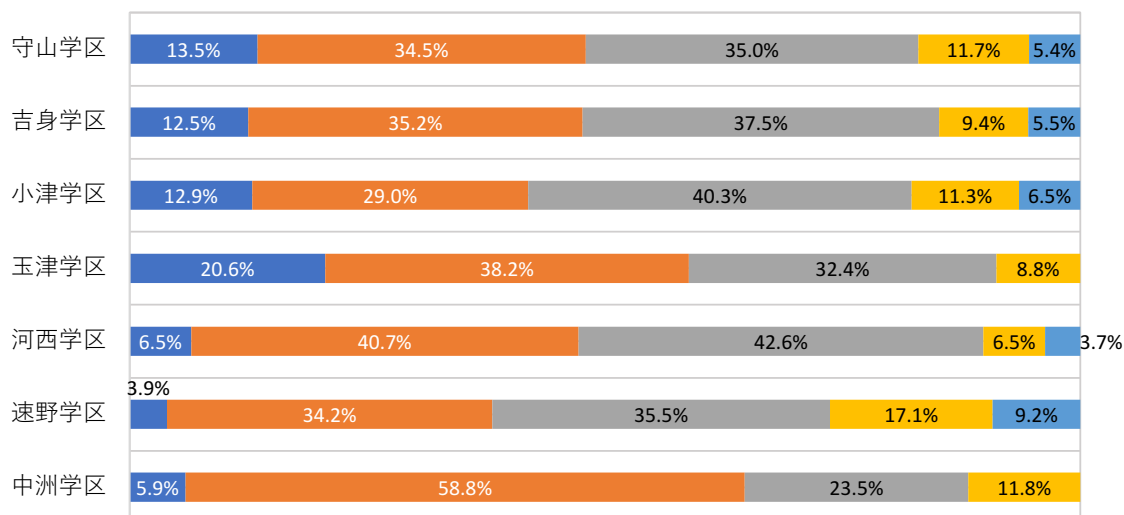
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

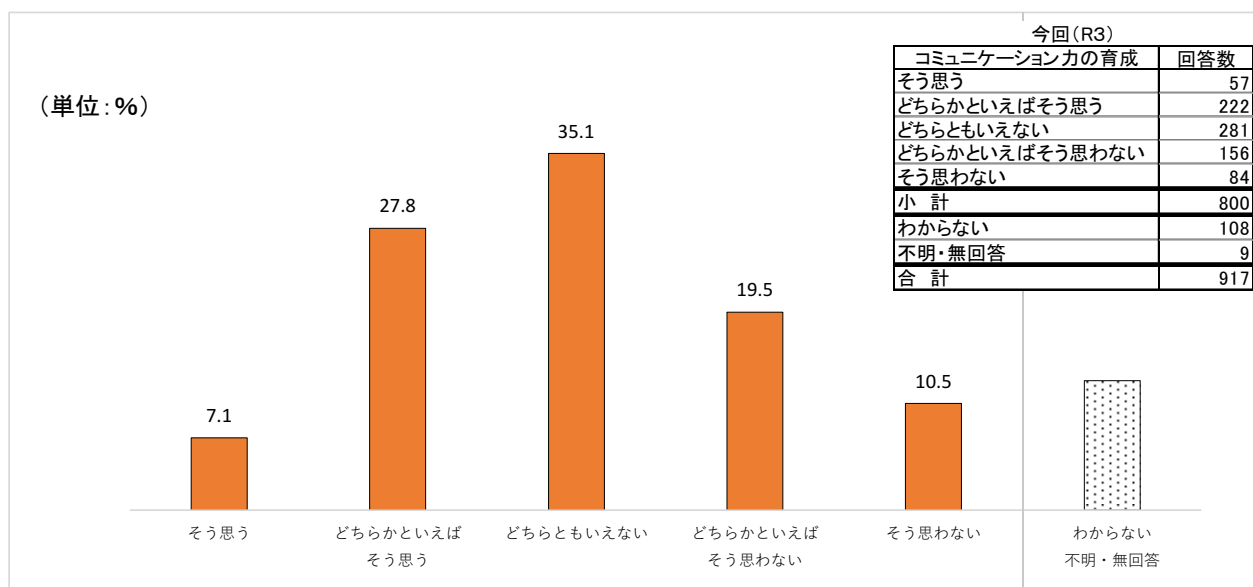


年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が60.0%と最も高く、次いで「40代」（52.3%）となっています。

学区別では、「中洲学区」の肯定的回答が64.7%と最も高く、次いで「玉津学区」（58.8%）となっています。その一方で、「速野学区」の否定的回答が最も高くなっています。

② 子どもコミュニケーション力の育成

問 10（2） 守山市は、子どもたちが挨拶できているまちだと思いますか。



○「どちらともいえない」が 35.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.8%となっています。

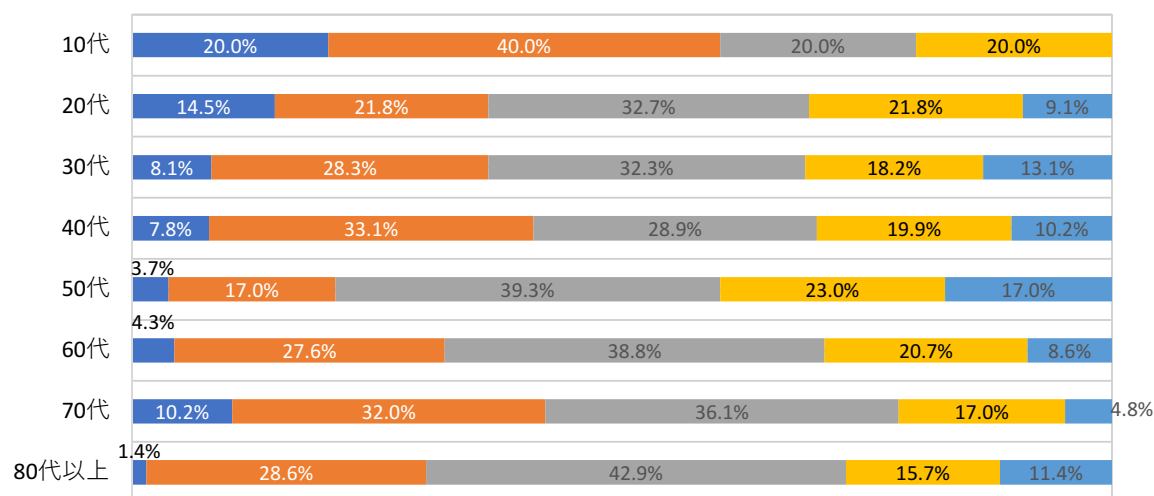
○肯定的回答は 34.9%であり、否定的回答（30.0%）の 1.1 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.1❤️となっています。

※「わからない」の回答数は 108 件（全体の約 11%）となっています。

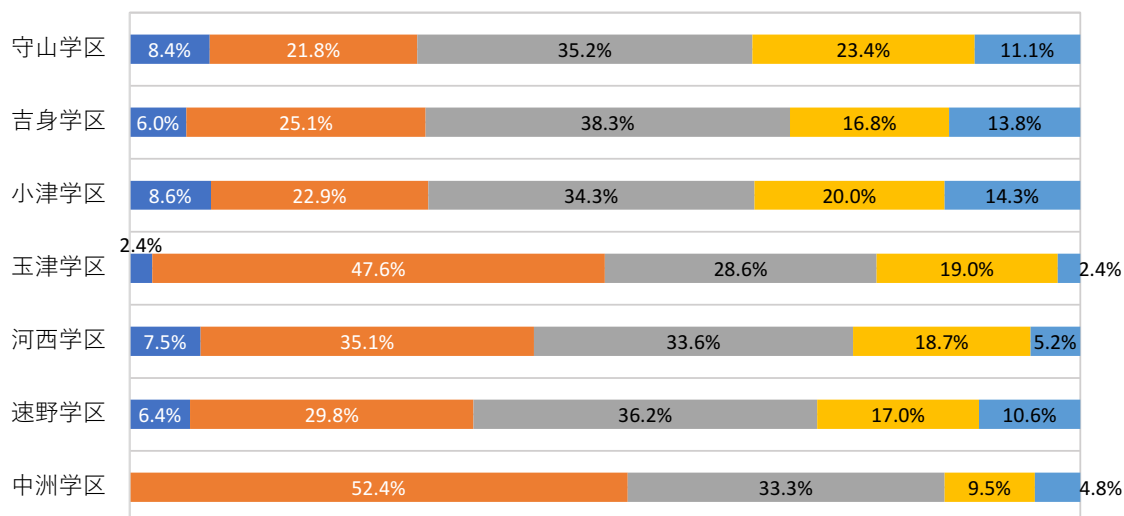
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

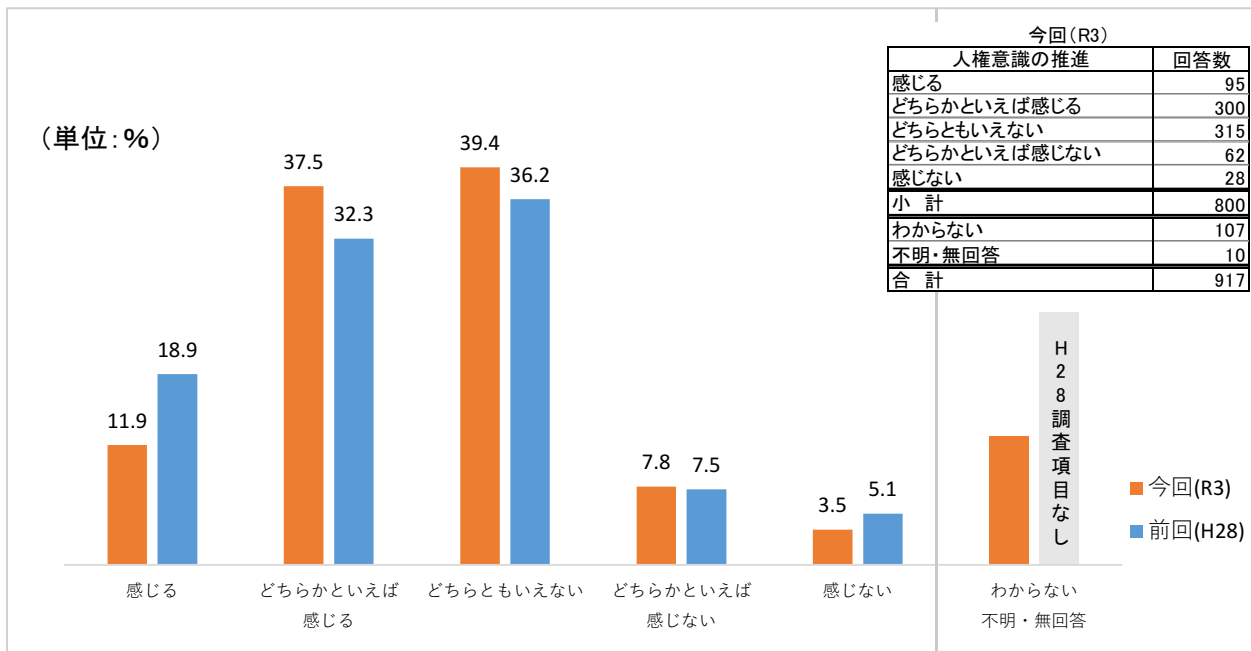


年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が60.0%と最も高く、次いで「70代」(42.2%)となっています。その一方で、「50代」が低くなっています。

学区別では、「中洲学区」の肯定的回答が52.4%と最も高く、次いで「玉津学区」(50.0%)となっています。その一方で、「守山学区」、「吉身学区」、「小津学区」が低くなっています。

③ 人権意識の推進

問 10（3） 学校・職場・地域・家庭において、あなた自身の人権が尊重されていると感じますか。



○「どちらともいえない」が 39.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば感じる」が 37.5%となっています。

○肯定的回答は 49.4%であり、否定的回答（11.3%）の 4.3 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.5♥となっています。

※「わからない」の回答数は 107 件（全体の約 11%）となっています。

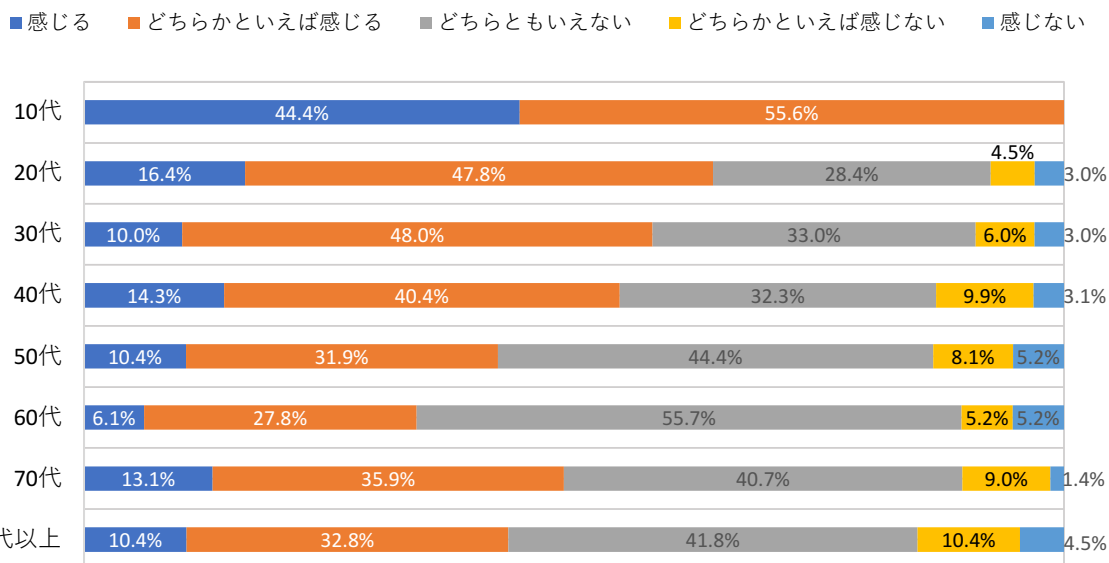
◇前回調査と比較すると、「感じる」が 7.0 ポイント低くなっています。

【前回調査の設問内容】

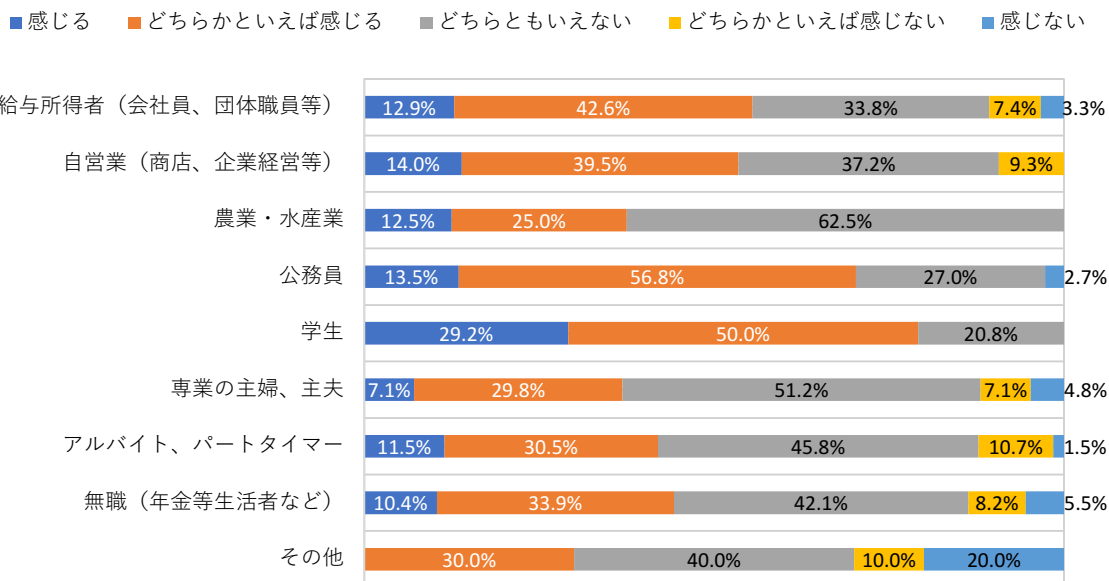
あなたは学校・職場・家庭で尊重されていると思いますか。

5 ← 4 3 2 1 → そう思う ←→ そう思わない

《年齢別》



《職業別》

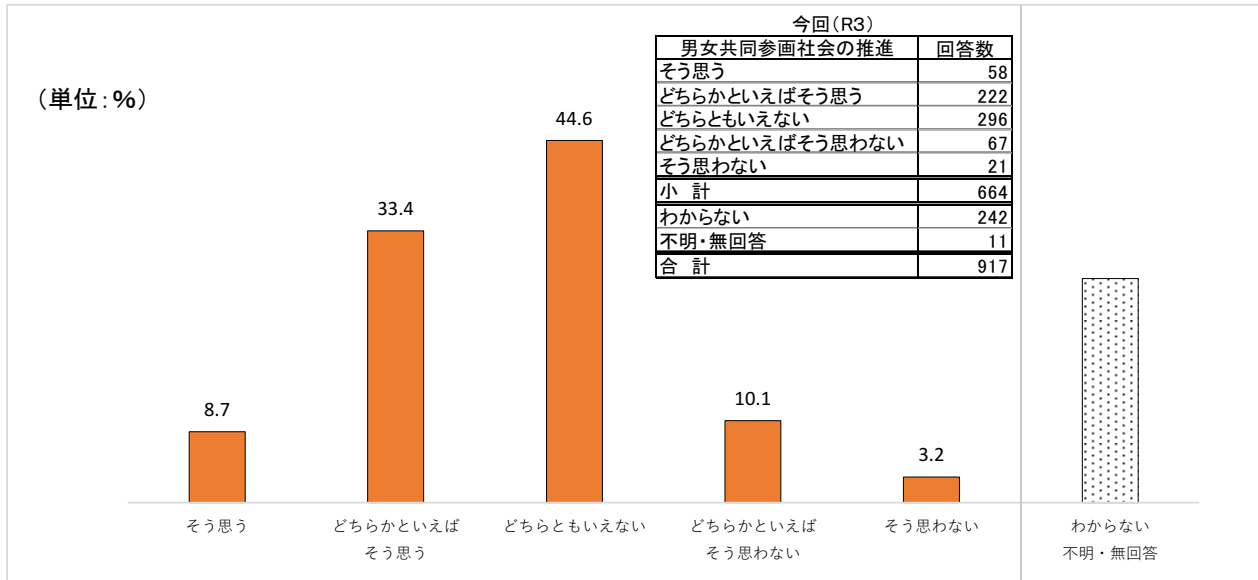


年齢別を見ると、「10代」の肯定的回答が100.0%であり、年齢が上がるに従って肯定的回答が低くなる傾向が伺えます。

職業別では、「公務員」と「学生」は肯定的回答が70%を超えるのに対し、肯定的回答が50%を下回るものもあり、職業により差が見られます。

④ 男女共同参画社会意識の推進

問 10（４） 守山市は、性別の区別なく、働きやすく、暮らしやすいまちだと思いますか。



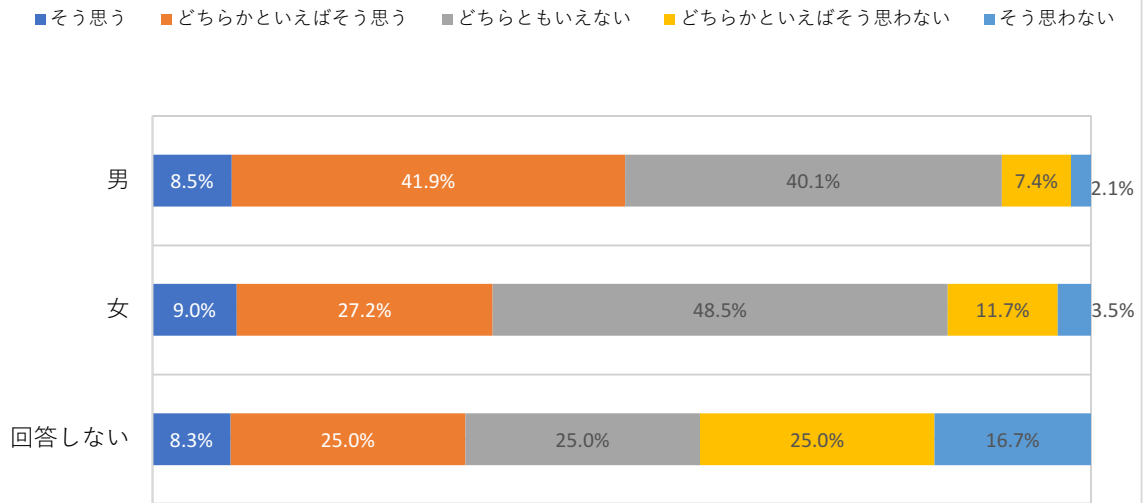
○「どちらともいえない」が 44.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.4%となっています。

○肯定的回答は 42.1%であり、否定的回答（13.3%）の 3.1 倍です。

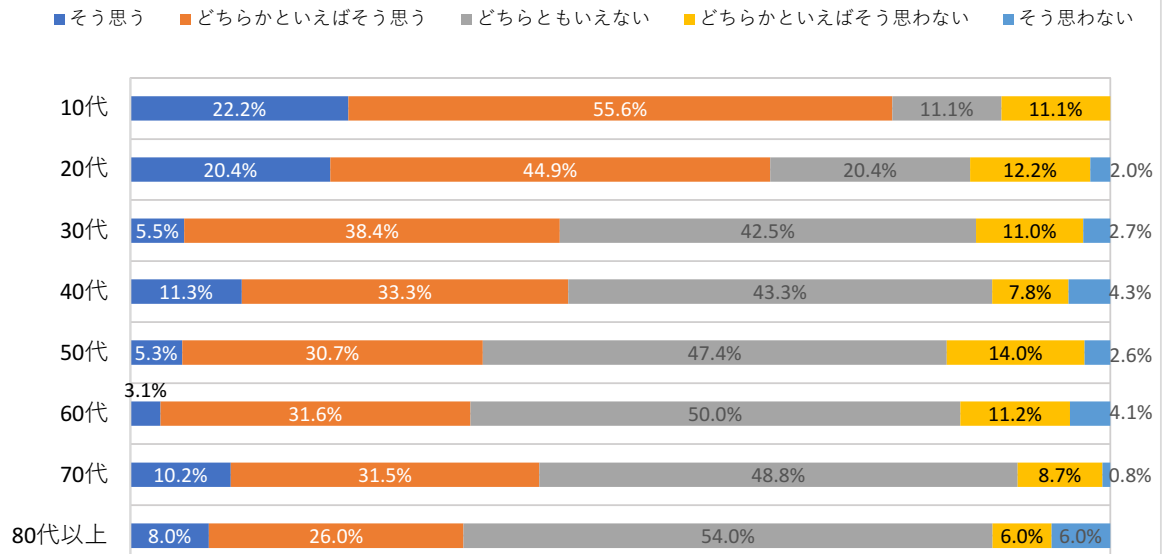
○全体の平均ハート数は 3.4♥となっています。

※「わからない」の回答数は 242 件（全体の約 26%）となっています。

《性別》



《年齢別》

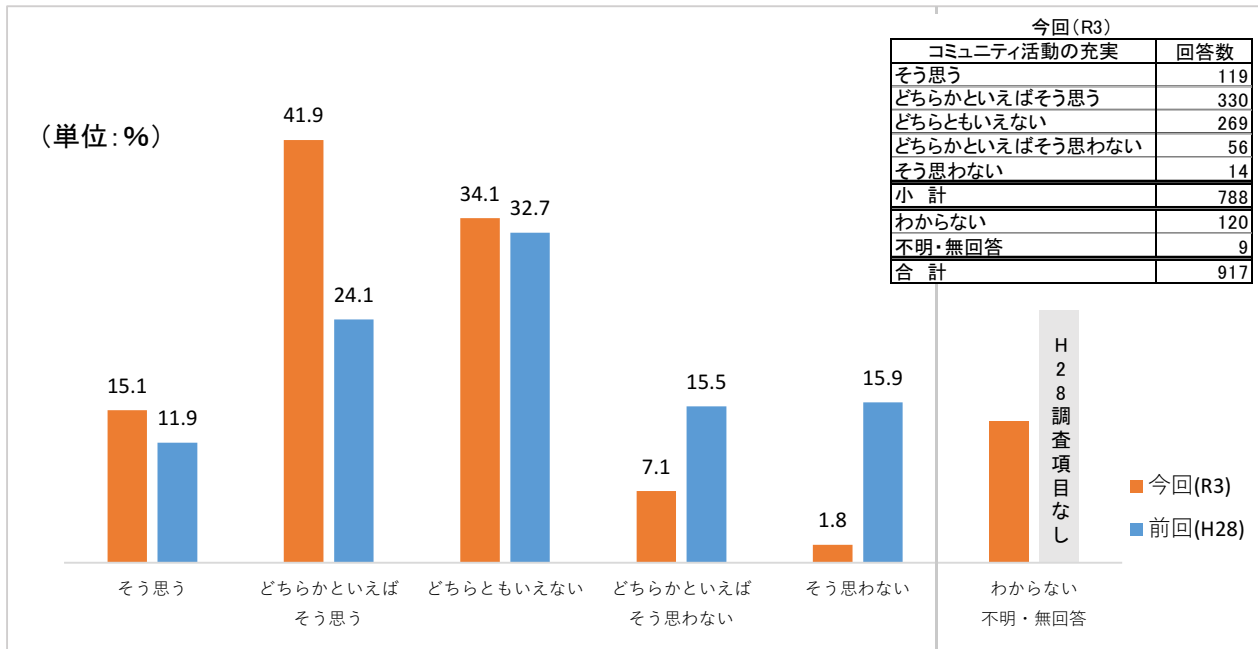


性別を見ると、「男性」の肯定的回答が50.4%と「女性」より14.2ポイント高くなっています。

年齢別では、「10代」の肯定的回答が77.8%と最も高く、次いで「20代」(65.3%)となっており、年齢が上がるに従って肯定的回答が低くなる傾向が伺えます。

⑤ コミュニティ活動の充実

問 10（５） 守山市は、自治会など地縁団体の活動（地域清掃や相互交流など）が活発に行われているまちだと思いますか。



○「どちらかといえばそう思う」が 41.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 34.1%となっています。

○肯定的回答は 57.0%であり、否定的回答（8.9%）の 6.4 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.7♥となっています。

※「わからない」の回答数は 120 件（全体の約 13%）となっています。

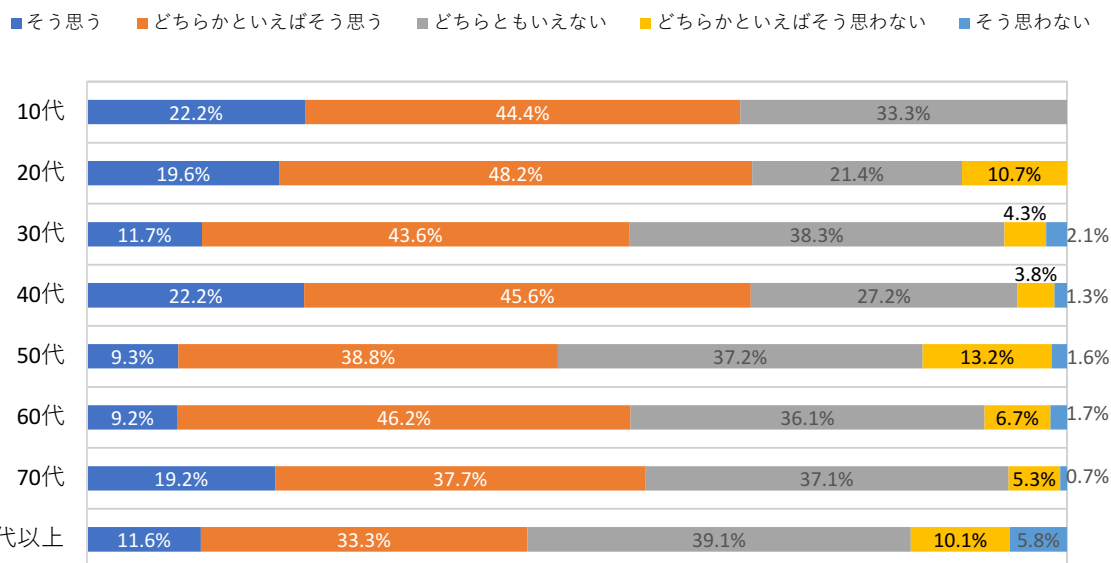
◇前回調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」が 17.8 ポイント高く、「そう思わない」が 14.1 ポイント低くなっています。

【前回調査の設問内容】

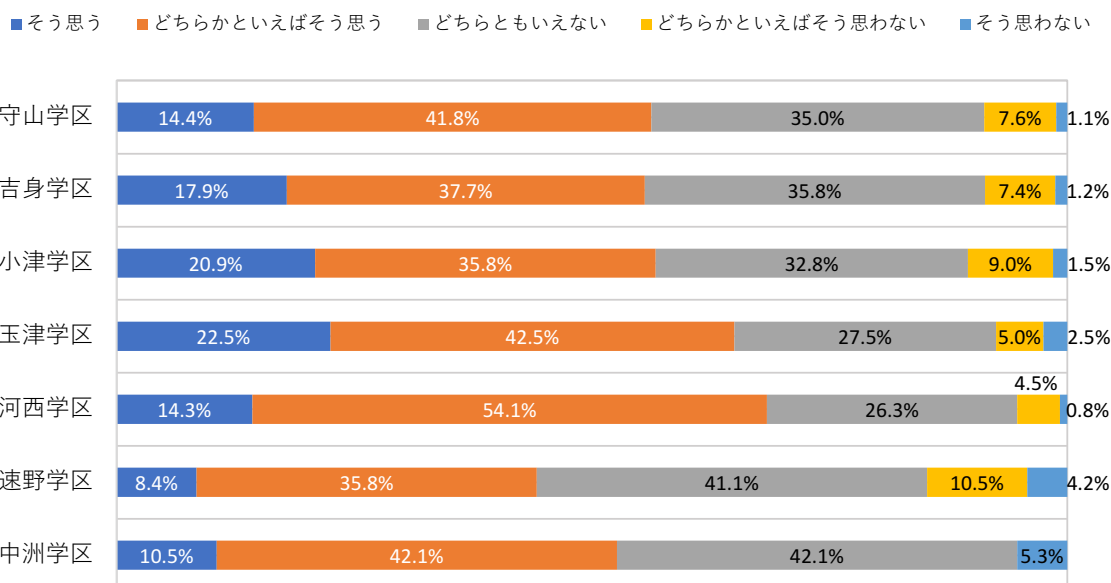
困ったときに近所、自治会などで助け合っていますか。

している ←————→ していない
5 4 3 2 1

《年齢別》



《学区別》

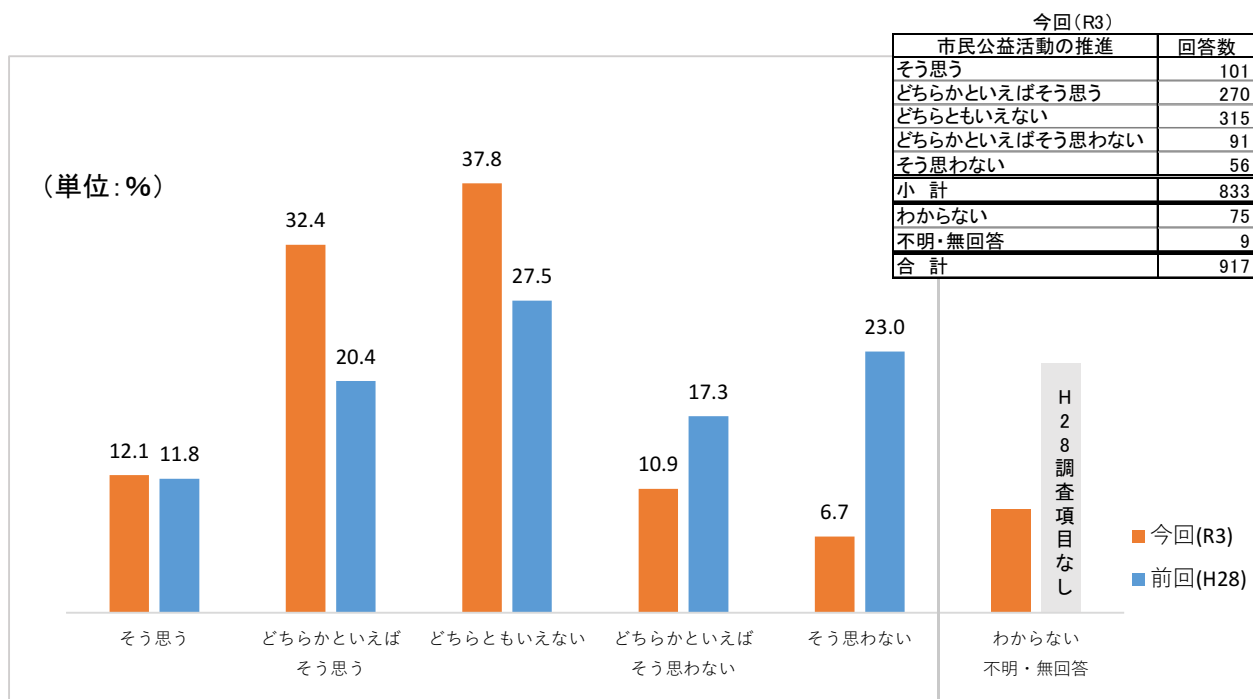


年齢別を見ると、「20代」と「40代」の肯定的回答が67.8%と最も高く、次いで「10代」（66.6%）となっています。

学区別では、「河西学区」の肯定的回答が68.4%と最も高く、次いで「玉津学区」（65.0%）となっています。その一方で、「速野学区」が低くなっています。

⑥ 市民公益活動・協働の推進

問 10（6） あなたは、地域活動や公益活動に参加するなど、社会のために役に立ちたいと思いますか。



○「どちらともいえない」が 37.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 32.4%となっています。

○肯定的回答は 44.5%であり、否定的回答（17.6%）の 2.5 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.4♥となっています。

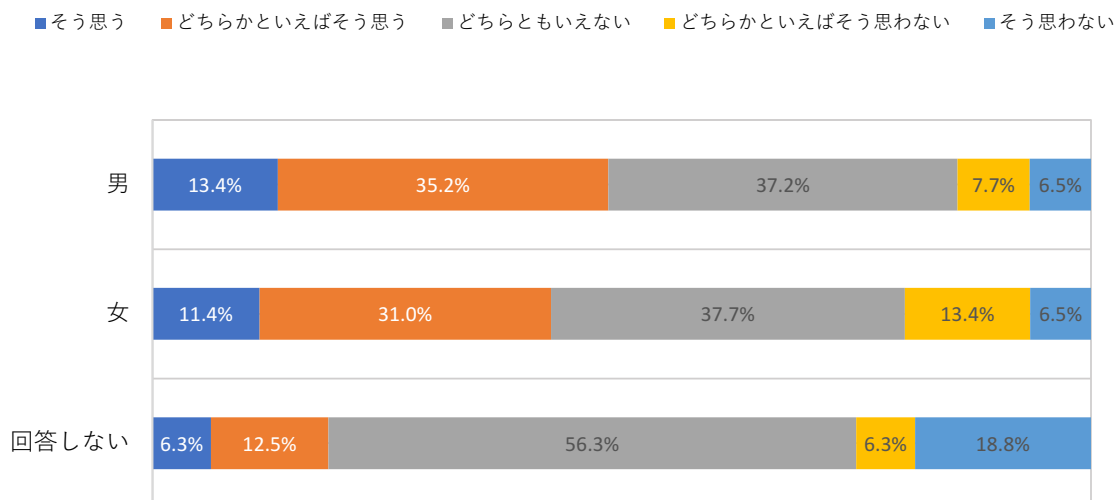
◇前回調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」が 12.0 ポイント高くなっています。

【前回調査の設問内容】

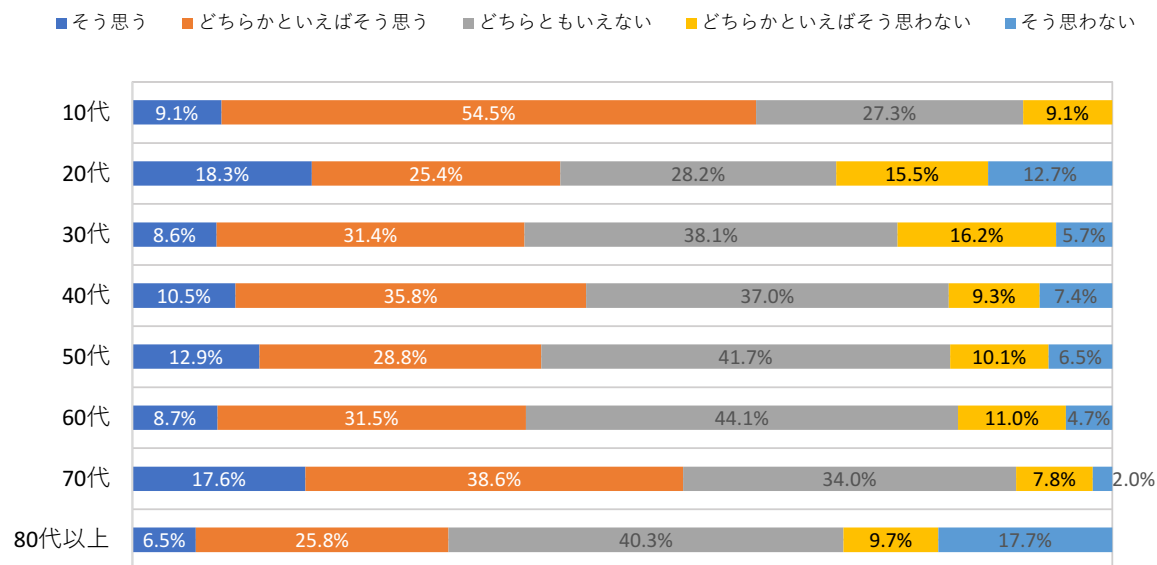
仕事、趣味、ボランティアなどを通じて地域社会に貢献していると思いますか。

そう思う ←————→ そう思わない
5 4 3 2 1

《性別》



《年齢別》

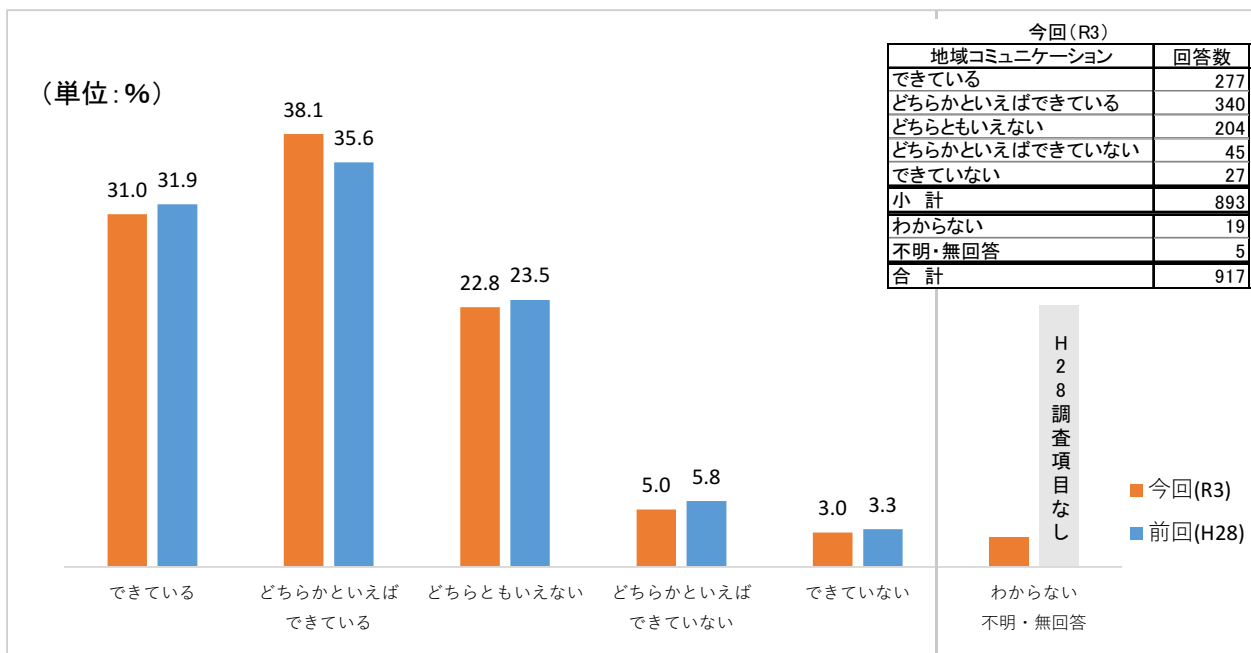


性別を見ると、「男性」の肯定的回答が48.6%と「女性」より6.2ポイント高くなっています。

年齢別では、「10代」と「70代」の肯定的回答が5割を超えて高くなっています。その一方で、「20代」と「80代以上」の否定的回答が高くなっています。

⑦ 地域コミュニケーション

問 10（7） あなたは、地域で顔を合わせたときに、挨拶や声掛けができていますか。



○「どちらかといえばできている」が 38.1%と最も高く、次いで「できている」が 31.0%となっています。

○肯定的回答は 69.1%であり、否定的回答（8.0%）の 8.6 倍です。

○全体の平均ハート数は 3.9♥となっています。

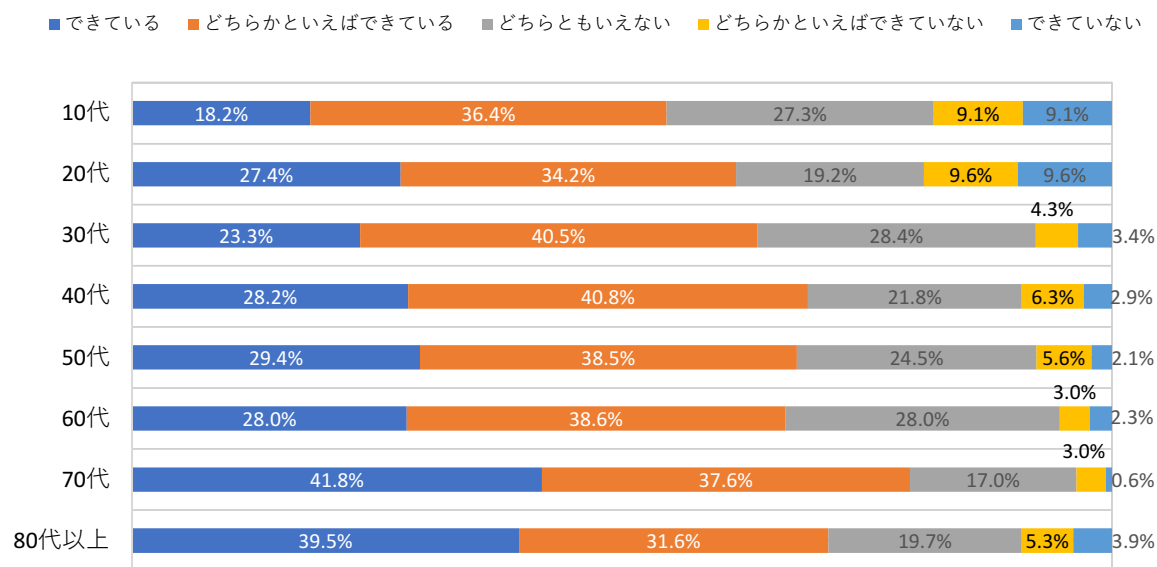
◇前回調査と比較すると、「どちらかといえばできている」が 2.5 ポイント高くなっていますが、全体的にほぼ同様となっています。

【前回調査の設問内容】

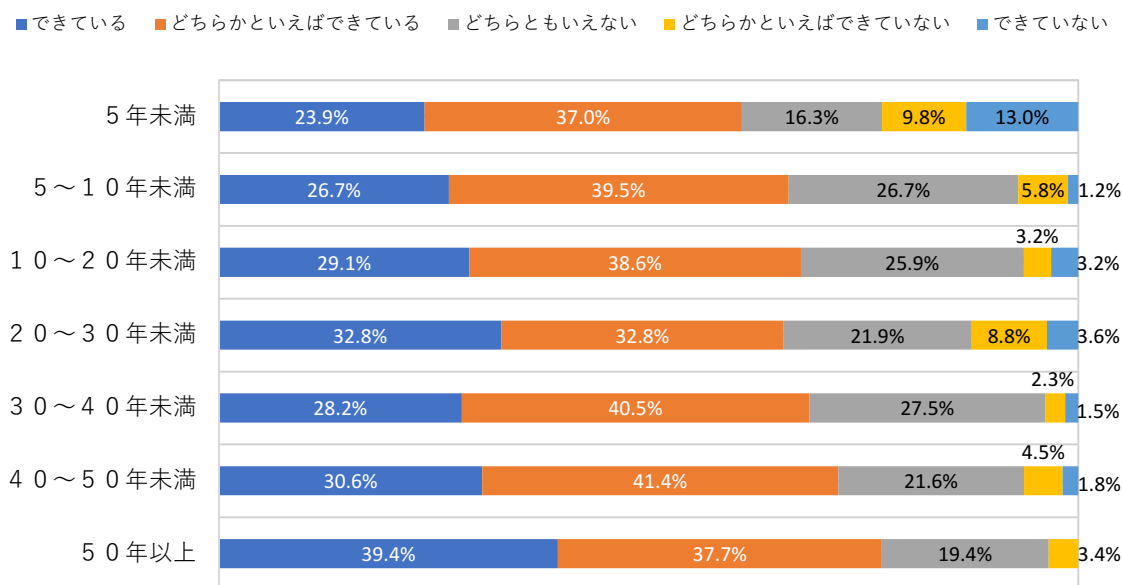
日々の生活で積極的に挨拶や声掛けをしていますか。

している ←————→ していない
 5 4 3 2 1

《年齢別》



《居住年数別》



年齢別を見ると、全ての年代で肯定的回答が5割を超えています。「70代」の肯定的回答が79.4%と最も高く、年齢が下がるに従って肯定的回答が低くなる傾向が伺えます。

「50年以上」の肯定的回答が77.1%と最も高く、居住年数が短くなるに従って肯定的回答が低くなる傾向が伺えますが、居住年数別では、全ての層において肯定的回答が6割を超えています。

【資料編】

アンケート調査票	1
住みやすさ指標にかかるこれまでの経過.....	9
守山市市民参加と協働のまちづくり条例および施行規則.....	10



守山市PR
キャラクター
「もーりー」

住みやすさ指標（もりやま“大好き”指標）に係る市民意識調査 ～住みやすさ日本一が実感できるまちを目指して～

ご協力をお願い

日ごろから、市政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

守山市では「住みやすさ日本一が実感できるまち守山」を目指し、市民のみなさまの幸せに対する実感や日常生活への思い、また新型コロナウイルス感染拡大による生活様式の変化と住みやすさ実感の関係性を見出すため、アンケートを実施させていただきます。

このアンケート結果は、本市の住みやすさ実感度としての評価に用い、新たな生活様式への対応や地域課題の解決等に向けた基礎データとして活用してまいりたいと考えております。

市民の皆様には、このアンケートの趣旨をご理解賜り、大変お手数とは存じますがご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和3年8月 守山市長 宮本 和宏

ご記入にあたって

- 1 このアンケートは、市内にお住まいの満18歳以上の方の中から、無作為に選んだ2,000名の方にご協力をお願いするものです。
- 2 このアンケートは無記名方式で実施するとともに、ご回答いただいた内容は統計手法により処理いたしますので、個人が特定されることはありません。
- 3 ご記入の際に ご本人が都合により記入いただけない場合は、代理の方お一人がご自身のこととして記入いただければ幸いです。
- 4 アンケートの回答は、インターネットまたは郵送か、どちらかをお選びください。

【インターネット回答を希望される方】

- QRコードを読み取り、回答フォームからご回答ください。



回答フォーム

【郵送提出を希望される方】

- 回答は、この調査票に直接に記入してください。
- 記入後は、同封の返送用の封筒に入れていただきポストにご投函をお願いします。切手は不要です。

回答期限：インターネット・郵送とも

○お問い合わせ

9月17日（金）まで

守山市役所 環境生活部 市民協働課

TEL:077-582-1149 FAX:077-583-4654

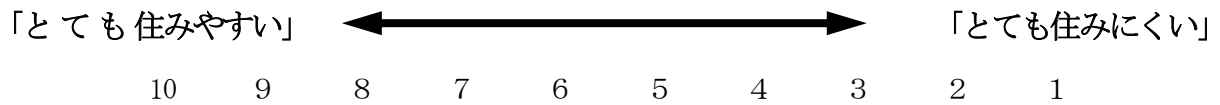
E-mail:shiminkyoudou@city.moriyama.lg.jp





1. 守山市の住み心地についてお答えください。

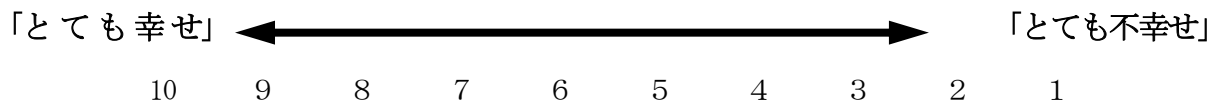
問1 守山市は住みやすいまちだと思いますか。「とても住みやすい」を10、「とても住みにくい」を1とすると、何くらいになると思いますか。あてはまる数字を選んでください。【〇は1つ】



また、その数字を選んだ理由がある方は、自由にご記入ください。なお、特に理由がない方は、問2にお進みください

2. あなたの幸せ感についてお答えください。

問2 あなたは現在幸せですか。「とても幸せ」を10、「とても不幸せ」を1とすると、何くらいになると思いますか。あてはまる数字を選んでください。【〇は1つ】



また、その数字を選んだ理由がある方は、自由にご記入ください。なお、特に理由がない方は、問3にお進みください。



3. あなたの暮らしやお住まいの地域のことについてお答えください。

① 健康・医療について

問3 次の(1)～(6)の質問について、あてはまる数字を選び、○をつけてください。

(1) あなたは、健康であると思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4 3	2 1	0

(2) あなたは、病気予防を意識していますか。
(定期健康診断など)

している	←→	していない	わからない
5	4 3	2 1	0

(3) あなたは、介護予防を意識して取り組んでいますか。(日頃の体力づくりなど)

できている	←→	できていない	わからない
5	4 3	2 1	0

(4) あなたは、普段の生活のなかで体を動かしたり運動したりしていますか。

よくしている	←→	していない	わからない
5	4 3	2 1	0

(5) 守山市は、必要なときに安心して医療サービスを受けられるまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4 3	2 1	0

(6) あなたは、休養やリラックスのための余暇の時間を十分に取れていると思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4 3	2 1	0

② 教育・学習・子育てについて

問4 次の(1)～(6)の質問について、あてはまる数字を選び、○をつけてください。

※ご家族の中に子どもがいないなどの理由から回答しにくい場合は、「0」に○をつけてください。

(1) 守山市は、安心して子どもを産み、育てやすいまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4 3	2 1	0

(2) 守山市は、保育園・幼稚園・こども園が整備されているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4 3	2 1	0

(3) 守山市は、子育てについて情報交換や交流、相談のできる場所、機会や人が身近にあるまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4 3	2 1	0

(4) 守山市は、子どもたちの学びを支える施設(社会教育施設)や環境が充実しているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4 3	2 1	0

(5) 守山市は、子どもたちにとって教育の内容が充実しているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4 3	2 1	0

(6) 守山市は、子どもたちが地域の活動(清掃活動など)に参加する機会が充実しているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4 3	2 1	0



③ 環境について

問5 次の（１）～（６）の質問について、あてはまる数字を選び、○をつけてください。

（１）あなたは、市内で行われる環境美化活動に積極的に参加していますか。

している	←→	していない	わからない
5	4	3	2
		1	0

（２）守山市は、草木など「緑」が多いまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

（３）あなたは、琵琶湖や地域の水辺（川など）に親しみを感ずますか。

感じる	←→	感じない	わからない
5	4	3	2
		1	0

（４）守山市は、まちなみ・景観・風景が美しいまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

（５）守山市は、ごみの減量化や節水・節電など地球環境にやさしい取り組みが充実しているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

（６）あなたは、ホテルが飛び交う景色に親しみを感ずますか。

感じる	←→	感じない	わからない
5	4	3	2
		1	0

④ 安全・安心について

問6 次の（１）～（５）の質問について、あてはまる数字を選び、○をつけてください。

（１）守山市は、治安が良く、安心して暮らせるまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

（２）守山市は、大雨・台風・地震などの災害に対する備えができているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

（３）あなたは、大雨・台風・地震などの災害に対する備えが普段の生活の中でできていると思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

（４）守山市は、交通安全施設（信号機や道路標識など）が整備されているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

（５）守山市は、交通ルールやマナーが守られているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0



⑤福祉について

問7 次の(1)～(5)の質問について、あてはまる数字を選び、○をつけてください。

※福祉サービスを利用したことがないなどの理由から回答しにくい場合は、「0」に○をつけてください。

(1) 守山市は、高齢者福祉に関する情報やサービスの提供が充実しているまちだと思いますか。

そう思う	←	→	そう思わない	わからない
5	4	3	2	1
				0

(2) 守山市は、障害者(児)に関する情報やサービスの提供が充実しているまちだと思いますか。

そう思う	←	→	そう思わない	わからない
5	4	3	2	1
				0

(3) 守山市は、文化や考え方が異なる者同士でも互いを尊重できる、誰もがともに住みやすいまちだと思いますか。

そう思う	←	→	そう思わない	わからない
5	4	3	2	1
				0

(4) 守山市は、地域、近所で困った人がいれば互いに助け合いができるまちだと思いますか。

そう思う	←	→	そう思わない	わからない
5	4	3	2	1
				0

(5) 守山市は、まちなかのバリアフリーが充実しているまちだと思いますか。

そう思う	←	→	そう思わない	わからない
5	4	3	2	1
				0

⑥暮らしと働きについて

問8 次の(1)～(5)の質問について、あてはまる数字を選び、○をつけてください。

(1) あなたは、仕事と生活のバランスが取れていると思いますか。

そう思う	←	→	そう思わない	わからない
5	4	3	2	1
				0

(2) 守山市は、通勤圏内に働く場所がある、もしくは仕事が見つけやすく、仕事に就きやすいまちだと思いますか。

そう思う	←	→	そう思わない	わからない
5	4	3	2	1
				0

(3) あなたは、徒歩や自転車、バスや「もーりーカー」などの公共交通による移動で、生活することは可能ですか。

そう思う	←	→	そう思わない	わからない
5	4	3	2	1
				0

(4) 守山市は、日常の買い物をするのに便利なまちだと思いますか。

そう思う	←	→	そう思わない	わからない
5	4	3	2	1
				0

(5) あなたは、生きがいのある充実した生活を送っていますか。

充実している	←	→	充実していない	わからない
5	4	3	2	1
				0



⑦ 文化・スポーツについて

問9 次の(1)～(6)の質問について、あてはまる数字を選び、○をつけてください。

(1) 守山市は、地域の伝統文化行事(祭りなど)に参加する機会が充実しているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

(2) あなたは、日常的にスポーツに接する機会があると思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

(3) あなたは、日常的に文化・芸術に接する機会があると思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

(4) 守山市は、文化活動に関する施設・環境(市民ホールなど)が整備されているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

(5) 守山市は、生涯学習のための施設・環境(図書館、公民館など)が充実しているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

(6) 守山市は、スポーツに関する施設・環境(体育館、運動公園など)が充実しているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

⑧ つながりについて

問10 次の(1)～(7)の質問について、あてはまる数字を選び、○をつけてください。

(1) 守山市は、地域と学校が深く結び付いているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

(2) 守山市は、子どもたちが挨拶できているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

(3) 学校・職場・地域・家庭において、あなた自身の人権が尊重されていると感じますか。

感じる	←→	感じない	わからない
5	4	3	2
		1	0

(4) 守山市は、性別の区別なく、働きやすく、暮らしやすいまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

(5) 守山市は、自治会など地縁団体の活動(地域清掃や相互交流など)が活発に行われているまちだと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

(6) あなたは、地域活動や公益活動に参加するなど、社会のために役に立ちたいと思いますか。

そう思う	←→	そう思わない	わからない
5	4	3	2
		1	0

(7) あなたは、地域で顔を合わせたときに、挨拶や声掛けができていますか。

できている	←→	できていない	わからない
5	4	3	2
		1	0



4. あなたご自身についてお答えください。

(1) あなたの性別は、次のうちどれですか。

- | | | |
|------|------|----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. 回答しない |
|------|------|----------|

(2) あなたの年齢は、次のうちどれですか。

- | | | | |
|--------|--------|--------|----------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代 | 8. 80代以上 |

(3) あなたの職業は、次のうちどれですか。

- | | | |
|--------------------------------|------------------|-------------|
| 1. 給与所得者（会社員、団体職員等） | 2. 自営業（商店、企業経営等） | 3. 農業・水産業 |
| 4. 公務員 | 5. 学生 | 6. 専業の主婦、主夫 |
| 7. アルバイト、パートタイマー | 8. 無職（年金等生活者など） | |
| 9. その他（ ） | | |

(4) あなたが一日あたり自由に使える時間はどのくらいですか。

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. 1時間未満 | 2. 1～3時間未満 | 3. 3～5時間未満 |
| 4. 5～8時間未満 | 5. 8～12時間未満 | 6. 12時間以上 |

(5) あなたの世帯年収（年金を含む。）は、おおよそどのくらいですか。

- | | | |
|------------------|-----------------|----------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100～300万円未満 | 3. 300～500万円未満 |
| 4. 500万円～700万円未満 | 5. 700～1000万円未満 | 6. 1000万円以上 |

(6) あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。

- | | | |
|-------------------|------------|---------------|
| 1. 自宅（家事専業・無職を除く） | 2. 自宅以外の市内 | 3. 野洲市・近江八幡市 |
| 4. 草津市・栗東市 | 5. 大津市 | 6. 3～5以外の滋賀県内 |
| 7. 京都府 | 8. 大阪府 | 9. 7・8以外の滋賀県外 |
| 10. 通勤・通学はしていない | | |

(7) あなたのお住まいは、次のうちどれですか。

- | | | |
|--------------------------------|------------|--------------|
| 1. 一戸建て持ち家 | 2. 一戸建て借家 | 3. 分譲マンション |
| 4. 賃貸マンション・アパート | 5. 社宅、官舎、寮 | 6. 市営住宅・県営住宅 |
| 7. その他（ ） | | |

(8) あなたには配偶者がいますか。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 現在、配偶者がいる（婚姻届の有無にかかわらず、お答えください） |
| 2. 結婚していたが、離婚・死別等で現在は配偶者がいない |
| 3. 結婚したことはない |



(9) あなたの世帯構成は、次のうちどれですか。

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦だけ | 3. 二世大家族 |
| 4. 三世大家族 | 5. その他 () | |

(10) あなたがお住まいの学区はどこですか。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 守山学区 | 2. 吉身学区 | 3. 小津学区 |
| 4. 玉津学区 | 5. 河西学区 | 6. 速野学区 |
| 7. 中洲学区 | | |

(11) あなたは、守山市に居住して何年になりますか。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～10年未満 | 3. 10～20年未満 |
| 4. 20～30年未満 | 5. 30～40年未満 | 6. 40～50年未満 |
| 7. 50年以上 | | |

(12) 今後も守山に住み続けたいですか。

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

(13) 守山市政は、住民の意思が活かされていると思いますか。

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

(14) 新型コロナウイルス感染症拡大により、生活の中で困っていること・不安に感じていることを選択してください。(複数選択可)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 仕事の内容や働き方の変化による負担増加 | 2. 失業／廃業／就職先が見つからない |
| 3. 収入の減少・支出の増加 | 4. 家族の介護の負担増加 |
| 5. 子育ての負担増加 | 6. 自身または家族の学習機会の確保や学力の低下 |
| 7. 余暇が楽しめない | 8. スポーツに接する機会の減少 |
| 9. 文化・芸術に接する機会の減少 | 10. マスクの着用や三密の回避など外出時の制限 |
| 11. 人に会う機会の減少 | 12. 感染対策を十分に取れていないこと |
| 13. 新型コロナウイルスに関する差別や偏見 | 14. その他 () |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケートを郵送される場合は、同封の返送用の封筒に入れていただき、**9月17日(金)**までにポストにご投函をお願いします。切手は不要です。

住みやすさ指標にかかるこれまでの経過

平成 26 年 6 月 守山市住みやすさ指標研究会設置

平成 26 年 9 月～平成 27 年 11 月 住みやすさ指標研究会の開催（計 10 回）

※当時の研究会委員は、以下名簿参照

平成 28 年 7 月 守山市市民参加と協働のまちづくり条例の一部改正

「住みやすさ指標の活用」に関する条文の追加

平成 28 年度 第 1 回市民アンケート 実施・結果公表

平成 30 年度 第 2 回市民アンケート 見送り（事業統合化の検討のため）

令和元年度 アンケート項目等の見直し

令和 2 年度 第 2 回市民アンケート 見送り（新型コロナ感染拡大のため）

令和 3 年度 第 2 回市民アンケート 実施

守山市住みやすさ指標研究会委員名簿（H27. 4. 1～H28. 3. 31）

No	委員区分	団体名等	氏名	備考
1	1 号委員	市民（自治会、市民活動）	金野 弘子	
2	1 号委員	市民（NPO 活動）	辻 ひとみ	
3	1 号委員	守山市民交流センター	中出 弘一郎	
4	1 号委員	守山商工会議所	葭本 勝利	
5	2 号委員	滋賀大学経済学部教授	中野 桂	会長
6	2 号委員	龍谷大学政策学部教授	只友 景士	職務代理
7	3 号委員	市民（公募）	片木 佑美	
8	3 号委員	市民（公募）	野村 由希	
9	3 号委員	市民（公募）	山田 暢子	
10	4 号委員	市職員（みらい政策課係長）	河本 文彦	
11	4 号委員	市職員（地域振興課係長）	井上 紀彦	
12	4 号委員	市職員（健康福祉政策課係長）	犬丸 智則	
13	4 号委員	市職員（生涯学習課係長）	岡田 秀樹	

（※） 1 号委員：市民参加に精通した者 2 号委員：学識経験を有する者

3 号委員：公募による市民 4 号委員：職員

5 号委員：市長が必要と認めた者

○守山市市民参加と協働のまちづくり条例

平成22年3月23日

条例第1号

改正 平成24年9月25日 条例第28号

平成26年3月20日 条例第1号

平成28年6月24日 条例第19号

平成29年10月23日 条例第21号

目次

第1章 総則(第1条—第6条)

第2章 市民参画制度の運用(第7条—第12条)

第3章 市民公益活動の促進(第13条・第14条)

第4章 協働の推進(第15条・第16条)

第5章 市民参加および協働のまちづくりの推進体制(第17条)

第6章 その他(第18条)

付則

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、守山市における市民参加および協働の理念を明らかにするとともに、市民および市のそれぞれの役割および責務を明確にし、市民参加および協働のまちづくりに関する基本的な事項およびその仕組みを定めることにより市民が主役のまちづくりを推進し、活力に満ちた地域社会の実現を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによるものとする。

- (1) 市民 市内に在住する個人のほか、市内の事業所等に勤務または市内の学校に通学する個人および市内において事業を行い、または活動する法人その他の団体(自治会、各種団体、ボランティア団体・NPOおよび事業者)をいう。
- (2) 市 市長、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、農業委員会および固定資産評価審査委員会をいう。
- (3) 市民参加 市民参画および市民公益活動への参加をいう。
- (4) 市民参画 市民が、市の政策および施策の企画立案、実施および評価に至るそれぞれの過程において、責任を持って主体的に参加することをいう。

(5) 市民公益活動 市民が、自主的および自発的に社会のために行う非営利の活動という。

(6) 協働 市民および市または市民相互が共通の目的を達成するために、互いの自主性および特性を尊重し、対等な立場でそれぞれの果たすべき責任および役割を分担し、協力することをいう。

(7) 住みやすさ指標 住みやすさとは、人と人との絆に育まれながら、市民が安心して健康で元気に暮らせることをいい、住みやすさ指標とは、市政の発展および市民福祉の向上を図るため、住み心地および幸せ感の観点から住みやすさの実感の度合いを評価する指標で、規則で定めるものをいう。

(平24条例28・平28条例19・平29条例21・一部改正)

(市の基本姿勢)

第3条 市は、地方自治体としての独自性および自主性を発揮し、市民の創意と活力にあふれた市民が主役のまちづくりを推進するものとする。

(市民の役割)

第4条 市民は、自らがまちづくりの主体であることを自覚し、自らの発言および行動に責任を持って、自主的および自発的な市民参加に努めるものとする。

2 市民は、市民相互の連携、情報共有等を通じて、地域社会の課題の解決およびまちづくりの推進に努めるものとする。

(市の役割)

第5条 市は、市民に対して積極的に市政に関する情報を提供するとともに、情報の共有に努めるものとする。

2 市は、市民に対して市民参加の機会の提供に努めるものとする。

3 市は、市民の意向および意見を的確に把握し、市政に反映させるよう努めるものとする。

4 市は、市民に対して市政に関する説明責任を果たすよう努めるものとする。

5 市は、市民参画に対して参画しやすい環境整備に努めるものとする。

6 市は、市民公益活動に対して積極的な支援に努めるものとする。

(平26条例1・一部改正)

(住みやすさ指標の活用)

第6条 市は、住みやすさ指標を活用し、市民参加および協働を推進するものとする。

2 市は、住みやすさ指標について、市民アンケートを実施し、住みやすさの実感の度合いを把握し、かつ、その結果を公表しなければならない。

(平28条例19・追加)

第2章 市民参画制度の運用

(市民参画の対象)

第7条 市は、原則として市政全般を市民参画の対象とする。

(平28条例19・旧第6条繰下)

(市民参画の時期)

第8条 市は、政策および施策の企画立案、実施および評価の各段階の適正な時期に市民参画を求めるものとする。

(平28条例19・旧第7条繰下)

(市民参画の方法)

第9条 市が市民参画を求めるときは、次の各号に掲げる方法によるものとする。

- (1) パブリックコメント 政策および施策の企画立案がまとまった段階において、その趣旨、内容等を公表し、広く市民の意見または提案を求め、その意見等を考慮して、政策および施策の最終案に反映させる手続きをいう。
- (2) 審議会等 審議会その他の附属機関およびこれらに類するもので、市の基本的な政策および施策の企画立案段階等において、専門的および技術的な立場からの審議、答申、報告等を求める場合に設置する組織をいう。
- (3) 市民説明会 市民に対して直接政策および施策の概要または市の考え方を説明し、市民から広く様々な意見を聴く場合に開催する会合をいう。
- (4) 市民アンケート 広く市民の意向等を把握するために、設定する項目または設問に対して一定期間内に市民から回答または意見を求めることをいう。
- (5) 市民懇談会 市の基本的な政策および施策の企画立案段階等において、無作為抽出の手法を用いて集まった市民により、意見またはアイデアを出し合う会合をいう。
- (6) 市民ワークショップ 市民が自由に意見またはアイデアを出し合いながら、課題、問題点等を抽出し、より良い解決方法を導き出す会合をいう。
- (7) 市民意見聴取制度 市の基本的な政策および施策の企画立案段階等において、その基本的な考え方について、広く市民の意見またはアイデアを聴く制度をいう。
- (8) 市民提案制度 市民公益活動を行う団体等が、自ら掲げるテーマ、市が定めたテーマ等について提案し、または提案した上で自ら実施する制度をいう。
- (9) 市民広聴制度 市政およびまちづくりについて、市民から意見または提言を聞き、市政運営に活かしていく制度をいう。
- (10) その他市が適当と認める方法

(平26条例1・一部改正、平28条例19・旧第8条繰下)

(市民参画の手続き)

第10条 市は、次の各号に掲げる政策および施策を実施しようとする場合、あらかじめ前条に定める方法のうちから2以上のものにより市民参画の手続きを経なければならない。

- (1) 市の基本構想、基本計画その他の基本的な事項を定める計画の策定または変更
- (2) 市政に関する基本方針を定める条例の制定、改正または廃止
- (3) 市民に義務を課し、または市民の権利を制限することを内容とする条例の制定、改正または廃止

(4) 市民の生活に重大な影響を及ぼす条例の制定、改正または廃止

(5) 公共の用に供される大規模な市の施設の設置、改修または廃止

(6) その他市民の関心が高く、市民生活に重大な影響のある制度の導入、改正または廃止

2 市は、前項の規定にかかわらず、次に掲げるものについてはこの手続きを省略することができる。

(1) 軽易な変更、改正、改修等

(2) 緊急に実施しなければならないもの

(3) 法令の規定により対象施策の基準が定められており、その基準に基づいて実施するもの

(4) 地方税の賦課徴収ならびに分担金、使用料および手数料の徴収に関するもの

(5) その他市が認めるもの

(平26条例1・一部改正、平28条例19・旧第9条繰下)

(審議会等の公開および委員の委嘱)

第11条 市は、審議会等の会議について、公開するものとする。ただし、法令または条例等により非公開とされているもののほか、審議事項が個人情報等に関する事項で、審議会等で非公開と決定した場合はこの限りでない。

2 市は、審議会等の委員を委嘱する場合は、委員の年齢構成、男女比率、任期の期間、他の審議会との兼職状況等に配慮するとともに、審議会等の設置目的、性格等を勘案した上で、委員の一部を公募により選考するよう努めるものとする。

3 市は、審議会等の開催に当たっては、委員の氏名、選任の区分等を公表するものとする。

(平28条例19・旧第10条繰下)

(公表の方法)

第12条 市は、市民参画の手続きに関する事項を公表するときは、次に掲げる方法のいずれかによるものとする。

- (1) 市の窓口での供覧または配布
 - (2) 市の広報紙への掲載
 - (3) 市のホームページへの掲載
 - (4) その他市が適当と認めるもの
- (平28条例19・旧第11条繰下)

第3章 市民公益活動の促進

(市民公益活動における市民および市の役割)

第13条 市民および市は、市民公益活動の多様性その他の特性を認識し、その社会的な役割および意義を理解した上で市民公益活動を推進し、地域の発展に努めるものとする。

(平28条例19・旧第12条繰下)

(市民公益活動の促進のための方法)

第14条 市は、次の各号に掲げる方法により市民公益活動の促進に努めるものとする。

- (1) 市民への意識啓発 市民公益活動に関する市民の理解および関心を高めることをいう。
- (2) 情報の収集および提供 市民公益活動に必要な情報を収集し、広く市民に提供することをいう。
- (3) 人材の発掘および育成 市民公益活動を担う人材の発掘および育成を図ることをいう。
- (4) 活動の支援 市民公益活動の自主性および主体性を損なわないよう配慮した上で活動拠点の確保、財政等の支援をすることをいう。
- (5) ネットワーク化の推進 市民公益活動の支援を行っている団体または組織と情報交換、連携等を進めることをいう。

(平28条例19・旧第13条繰下)

第4章 協働の推進

(協働の推進)

第15条 市民および市は、それぞれの役割および責任を分担しながら、双方の特性を活かし、互いに連携かつ協力して、協働を推進するものとする。

2 市民は、相互にそれぞれの持つ知識および経験を活かし、連携かつ協力して、協働を推進するものとする。

(平28条例19・旧第14条繰下)

(市民と市の協働の原則)

第16条 市民および市は、次の各号に掲げる原則に基づき、協働に取り組むものとする。

- (1) 対等の原則 市民および市は、対等の関係であることをいう。
- (2) 自主性・自立の原則 市は市民の自主性を尊重し、市民は自立した存在として自己責任を持つことをいう。
- (3) 相互理解の原則 市民および市は、協働の目的を共有し、信頼関係の醸成および相互協力関係を形成することをいう。
- (4) 情報の公開・共有の原則 市民および市は、個人情報の保護に配慮した上でそれぞれが持つ協働に関わる情報を公開し、共有することをいう。
- (5) 評価および説明の原則 市民および市は、協働について評価および説明の責任を果たすことをいう。

(平28条例19・旧第15条繰下)

第5章 市民参加および協働のまちづくりの推進体制

(市民参加および協働のまちづくりの推進体制)

第17条 市は、市民参加および協働のまちづくりを総合的に進めるため、推進体制の強化を図るものとする。

- 2 市は、市民参加および協働のまちづくりの成果を検証するため、市民参画による検証機関を設置することとし、その組織および運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(平28条例19・旧第16条繰下)

第6章 その他

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平28条例19・旧第17条繰下)

付 則

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

付 則(平成24年9月25日条例第28号)抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

付 則(平成26年3月20日条例第1号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

付 則(平成28年6月24日条例第19号)

この条例は、平成28年7月1日から施行する。

付 則(平成29年10月23日条例第21号)抄
(施行期日)

- 1 この条例は、平成30年4月1日から施行する。

○守山市市民参加と協働のまちづくり条例施行規則

平成26年4月1日

規則第16号

改正 平成27年4月1日規則第49号

平成28年7月1日規則第84号

(趣旨)

第1条 この規則は、守山市市民参加と協働のまちづくり条例(平成22年条例第1号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則で使用する用語の意義は、条例の例による。

(市の役割)

第3条 条例第5条第5項の参画しやすい環境整備とは、必要に応じて、参画しようとする市民に対して、託児、通訳の手配、移動手段の確保等を行うことをいう。

2 市は、条例第9条各号に掲げる市民参画の方法を経て、施策等について意思決定を行ったときは、提出された意見等の概要およびこれらに対する市の考え方を公表するよう努めるものとする。

(平28規則84・一部改正)

(パブリックコメントの実施)

第4条 市は、パブリックコメントを実施するときには、次に掲げる事項を公表する。

- (1) 施策等の原案を作成した目的および背景
- (2) 施策等の原案の概要
- (3) 意見等の提出方法、提出期間および提出先
- (4) 施策等の原案および前3号に掲げる資料の入手方法
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市が必要があると認めるもの

2 市は、市民が意見等を提出するために必要な期間として、20日間の期間を確保するものとする。ただし、緊急その他やむを得ない理由により当該期間を確保できない場合は、この限りでない。

3 意見等の提出方法は、郵便、ファクシミリ、電子メール、直接持参等の方法のうちから、市が定めるものとする。このときにおいて、いずれの方法においても、氏名および住所の明記を意見等の受付条件とする。

(市民説明会の開催)

第5条 市は、市民説明会を開催するときには、幅広い市民の参画が得られるよう、開催

日時、開催場所等を選定するものとする。

2 市は、市民説明会を開催するときには、参加者に施策等の案についての理解が深まるよう、資料の充実に努めなければならない。

3 市は、市民説明会を開催するときには、開催日時、開催場所、議題等を事前に公表しなければならない。

(市民アンケートの実施)

第6条 市は市民アンケートを実施するときには、アンケートの対象者、対象人数、対象区域等を考慮して幅広い意見等を求めるよう努めなければならない。

第7条 市は、アンケート調査を実施したときには、その結果を公表するものとする。

(市民懇談会の開催)

第8条 市は、市民懇談会を開催するときには、幅広い市民の参画が得られるよう、開催日時、開催場所等を選定するものとする。

2 市は、市民懇談会を開催するときには、施策等の基本的な考え方についての議論が深まるよう適切な運営に努めなければならない。

3 市は、市民懇談会を開催するときには、議題の設定およびファシリテーター(中立的な立場から参加者の発言を促進し、より多くの参加者が議論に参加できるよう、話し合いを進行する者をいう。以下同じ。)の選任等を適切に行い、参加者が自由に意見またはアイデアを出し合えるよう努めなければならない。

(市民ワークショップの開催)

第9条 市は、市民ワークショップを開催するときには、幅広い市民の参画が得られるよう開催日時、開催場所等を選定するものとする。

2 市は、市民ワークショップを開催するときには、施策等の基本的な考え方についての議論が深まるよう適切な運営に努めなければならない。

3 市は、市民ワークショップを開催するときには、議題の設定、ファシリテーターの選任等を適切に行うことで、参加者が自由に意見等を述べ、または議論をすることができ環境を確保し、参加者の意見等の方向性を適切に見出すように努めなければならない。

(市民意見聴取制度の実施)

第10条 市は、市民意見の聴取を実施するときには、幅広い市民の参画が得られるよう体制整備を行い、参加者が自由に意見を出せる環境の確保に努めなければならない。

2 市は、市民意見の聴取を実施するときには、参加者に施策等についての理解が深まるよう、資料の充実に努めなければならない。

(市民提案制度の実施)

第11条 市は、市民公益活動団体が自主的および自発的に取り組むまちづくり活動の実施に要する経費に対し、予算の範囲内で助成金を交付するものとする。

(市民広聴制度の実施)

第12条 市民広聴制度を公開にて実施するときにおいて必要な規定は、第5条の規定を準用する。

(公表の方法)

第13条 市は、報道機関への情報提供等により、条例第12条に規定する公表が行われたことを市民に周知するよう努めなければならない。

2 市は、市民参画手続きを公開において実施したときには、開催記録の作成および結果取りまとめを行い、公表するものとする。

(平28規則84・一部改正)

(住みやすさ指標の把握の方法)

第14条 条例第2条第7号に規定する規則で定めるものは、次の各号に定める項目をいう。

(1) 住み心地 健康・医療、教育・学習・子育て、環境および安全・安心

(2) 幸せ感 福祉、暮らしと働き、文化・スポーツおよびつながり

2 条例第2条第7号で定義する指標は、「もりやま“大好き”指標」という。

3 条例第6条第2項に規定する市民アンケートは、概ね2年に1回実施するものとし、当該アンケートの実施にあたっては、第6条および第7条の規定を準用する。

(平28規則84・追加)

(守山市市民参加と協働のまちづくり推進会議の所掌事務)

第15条 条例第17条の検証機関として守山市市民参加と協働のまちづくり推進会議(以下「協働のまちづくり推進会議」という。)を置き、市の諮問に応じて次に掲げる事項について審議する。

(1) 市民参加と協働のまちづくりの取り組み成果の検証

(2) 市民参画および協働のまちづくりの一層の推進に係る施策等の検討

(平28規則84・旧第14条繰下・一部改正)

(組織)

第16条 推進会議は、守山市市民参加と協働のまちづくり推進委員(以下「委員」という。)20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市が委嘱する。

(1) 市民参加と協働のまちづくりに精通した者

- (2) 学識経験を有する者
- (3) 公募による市民
- (4) その他市が必要と認めた者

(平28規則84・旧第15条繰下)

(任期)

第17条 委員の任期は、2年間とする。ただし、委員が欠けたときにおける補欠委員の任期はその残任期間とする。

2 前項の規定にかかわらず、他の委員の任期途中で新たに委嘱された委員の任期は、その残任期間とする。

3 委員は、再任することができる。

(平28規則84・旧第16条繰下)

(委員長および副委員長)

第18条 推進会議に委員長および副委員長を置き、委員長は委員の互選により選出し、副委員長は委員長が指名する。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 この規則に定めるもののほか、推進会議の運営について必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、または委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平28規則84・旧第17条繰下)

(会議)

第19条 推進会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 推進会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができないものとする。

3 推進会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(平28規則84・旧第18条繰下)

(専門部会)

第20条 推進会議は、その所掌事務を分掌させるため、必要に応じ専門部会を置くことができる。

2 専門部会は、推進会議から付議された事項を所掌する。

3 専門部会所属の委員は、委員長が指名する。

4 専門部会に部会長および副部会長を置く。

- 5 部会長および副部会長は、専門部会に所属する委員の互選によって定める。
- 6 部会長は、専門部会の事務を総理し、専門部会の経過および結果を推進会議に報告する。
- 7 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときはその職務を代理する。

(平28規則84・旧第19条繰下)

(関係者の出席)

第21条 委員長は、推進会議の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者を推進会議に出席させて、意見の聴取または資料の提出を求めることができる。

(平28規則84・旧第20条繰下)

(報償)

第22条 推進会議に出席した委員および前条第2項の規定により推進会議に出席したものに対し、予算の範囲内において日額5,000円の報償金を支払うものとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、公務で出席した公務員またはそれに準ずる者に対しては、報償金は支払わないものとする。

(平28規則84・旧第21条繰下)

(事務局)

第23条 推進会議の事務局は、環境生活部市民協働課に置く。

(平27規則49・一部改正、平28規則84・旧第22条繰下)

(委任)

第24条 この規則の施行に関し必要な事項は、市が別に定める。

(平28規則84・旧第23条繰下)

付 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 守山市市民参加と協働のまちづくり推進会議設置規則(平成23年規則第23号)は、廃止する。

付 則(平成27年4月1日規則第49号)

この規則は、公布の日から施行する。

付 則(平成28年7月1日規則第84号)

この規則は、公布の日から施行する。